

155

理學博士 松村松年著

# 新式昆蟲標本全書

東京 警醒社書店

63-155

理學博士 松村松年 著

# 新式昆蟲標本全書

東京 警醒社書店

明治  
41 7 18  
内交



採集昆蟲ヲ打テ落ス圖

新式昆蟲標本全書

凡例

- 一、本書ハ著者ガ二十年間歐洲、亞佛利加、印度、馬來、支那、臺灣及本邦ニアリテ實驗シタル事實ニ目今歐米ニ刊行セラレタル著者ヲ參考トシテ編纂シタルモノナレバ普通坊間ニ販賣スル著書ト大ニ其趣キテ異ニセルヲ確信ス、
- 一、本書ハ米人らしいレ氏著 *Directions for collecting and preserving Insects* ニ記載セル事實ヲ引用セル事少ナシトセズ、
- 一、本書ニ記載セル圖畫ハ歐米ニ販賣セル昆蟲標本用器具目錄殊ニ墮國をるとな一商會ノ發行セル (*Birds, Orner & Co.*) *Mitteilungen über Naturwissenschaftliche Hilfsmittel aller Art* ニ記載セルモノ多シ、

凡例

明治  
41 7 18  
内交





第二編 昆蟲製作法

第一章 製作器具

第一節	展翅板	……	六八
第二節	昆蟲針	……	七〇
第三節	貼附紙	……	七一
第四節	髓貼	……	七一
第五節	貼附硝子	……	七二
第六節	貼附膠	……	七二
第七節	沾濕器	……	七三
第八節	刺針粘	……	七四
第九節	乾燥粘	……	七四
第十節	鋸子	……	七五

第二章 製作各論

第十一節	缺子	……	七六
第十二節	吹脹器	……	七六
第十三節	ふればらりと製法	……	七七
第十四節	種名及び地名札	……	七九
第十五節	針入箱	……	八一
第一節	彈尾目	……	八二
第二節	蜉蝣目	……	八二
第三節	蜻蛉目	……	八三
第四節	積翅目	……	八四
第五節	白蟻目	……	八四
第六節	嚙蟲目	……	八四
第七節	食毛目	……	八五

目録

第八節	蠟翅目	……	八五
第九節	直翅目	……	八五
第十節	總翅目	……	八六
第十一節	有吻目	……	八六
第十二節	脈翅目	……	八七
第十三節	蠍蟲目	……	八七
第十四節	毛翅目	……	八八
第十五節	鱗翅目	……	八八
第十六節	雙翅目	……	八八
第十七節	微翅目	……	八九
第十八節	鞘翅目	……	八九
第十九節	膜翅目	……	八九

目録

### 第三編 標本保存法

#### 第一章 標本貯藏具

第一節	標本箱	……	九〇
第二節	假標本箱	……	九四
第三節	携帶用標本箱	……	九六
第四節	浸漬標本箱	……	九六
第五節	浸漬標本立	……	九七
第六節	三角包紙	……	九七
第七節	げらちんかぶせる	……	九八

#### 第二章 浸漬劑

第一節	酒精	……	九九
-----	----	----	----



目録

第二節	亞砒酸酒精	一〇〇
第三節	昇汞酒精	一〇〇
第四節	ぐり	一〇一
第五節	ほろ	一〇一
第六節	殺菌用合劑	一〇一

第三章 保存劑

第一節	那不多林	一〇三
第二節	安息香酸	一〇三
第三節	樟腦	一〇四
第四節	固形ほるまりん	一〇四
第五節	水銀	一〇四
第六節	青酸加里	一〇五
第七節	二硫化炭素	一〇五

目録

第八節	べんぞー	一〇五
第九節	みるばん油	一〇六
第十節	依的兒	一〇六

第四章 標本ノ害蟲

第一節	鞘翅目	一〇七
第二節	鱗翅目	一一六
第三節	標本害蟲目錄	一一九

第四編 研究法

第一章 研究用器具

第一節	顯微鏡	一二二
第二節	廓大鏡	一二三





# 新式昆蟲標本全書

東北帝國大學 農科大學教授 理學博士 松村松年著

## 第一編

### 昆蟲ノ採集

#### 第一章

##### 採集器具

###### 第一節

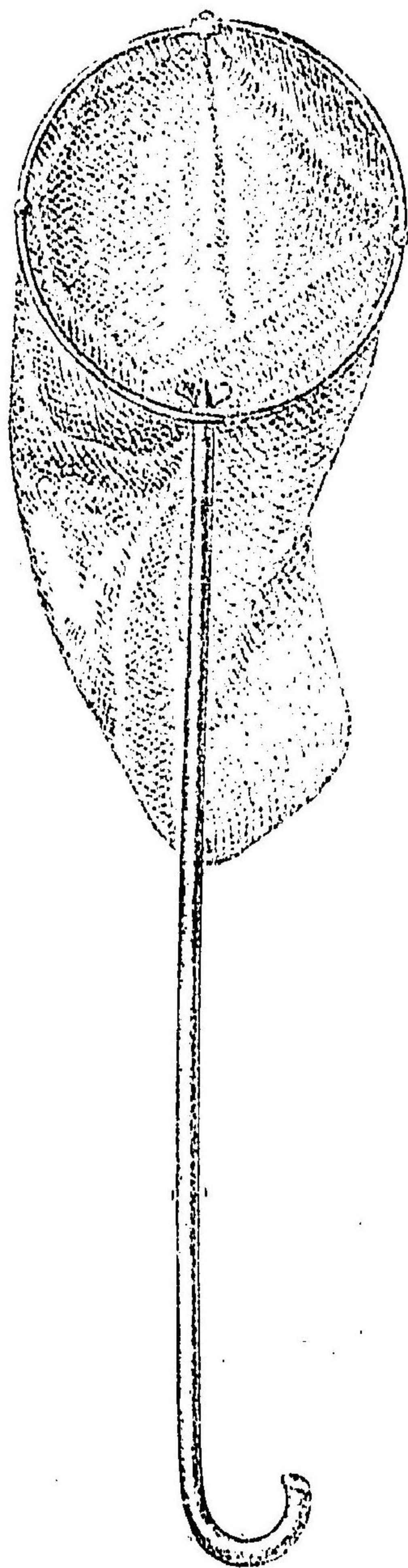
###### 捕蟲網

一、捕網（第一圖）此ハ蝶、蛾、蜂、蜻蛉其他飛翔ノ迅速ナル昆蟲ヲ捕獲スルニ用ユルモノニシテ其種類頗ル多シ、何レモ徑一尺四五寸、深サ二尺五寸位ヲ適當トス、而シテ網布ヲ張ルニハ可成垂直ニナスベシ、若シ傾斜スルトキハ蝶蛾ノ翅ヲ損シ或ハ爪ヲ以テ網目ニ懸ラシメ爲ニ網底ニ至ラシメザルコトアリ、網框ニハ普通電信線ノ太キモノヲ用ヒ、携帶用ニハ四折トナスヲ便トス、其基部ニ四角形ノ目ヲ造リ之レヲ柄ニ符マル様螺旋付ニナスベシ、柄ニハ普通用、すてつきヲ用ユルヲ便トス、又特

第一編 昆蟲ノ採集

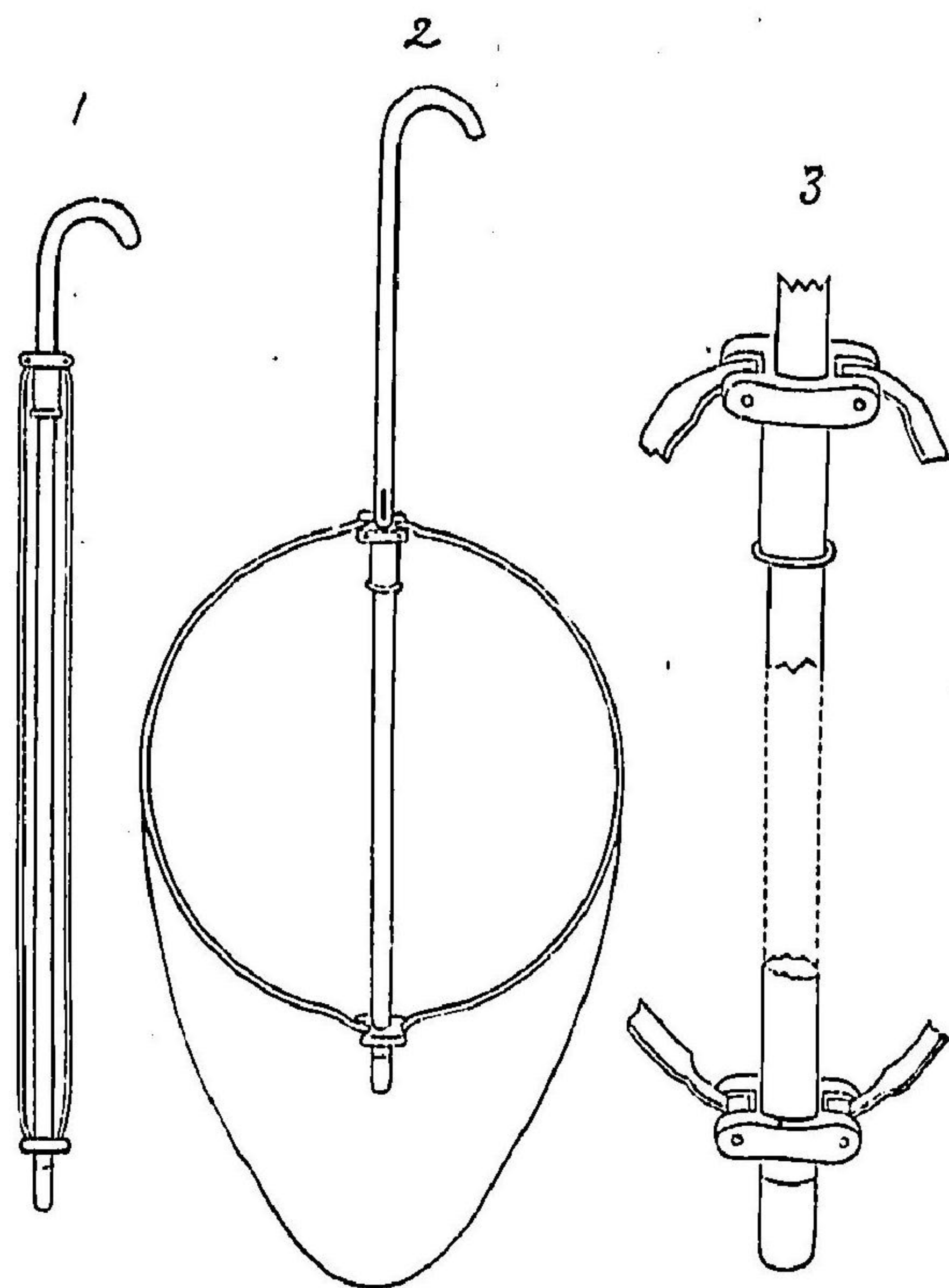
第一編 昆蟲ノ採集

第一圖 拂網



別ノ蝶ニハ六尺位ノ輕キ柄ヲ附シ、柄上ノ花間ニ徘徊スルモノヲ捕フルニハ繼竿ヲ用ユ、電信線ノ代ニ藤黃ヲ用ユルコトアリ、此場合ニハ眞鍮製ノ刺股ヲ造リ之レニ藤黃ヲ挿入スベシ、尤モ携帶用ニハ四折トナシ、眞鍮管ニテ繼ギ合スベシ、嚴乘ニナスニハ藤黃ノ代ニ基部ニ小木ヲ挿入スベシ、携帶用トシテ最モ便利ナルハ第三圖ニ示スガ如キ傘形ノ捕蟲網ナリ、此ハ普通ノ傘柄ニ恰モ傘ノ骨ヲ附スルガ如ク兩側ニ各一本ノ細キ鋼鐵條ヲ附着セシメ(第貳

第二圖 傘形捕蟲網



- (1) 疊ミタルモノ
- (2) 開キタルモノ
- (3) 蝶番ヲ廓大セ  
ルモノ

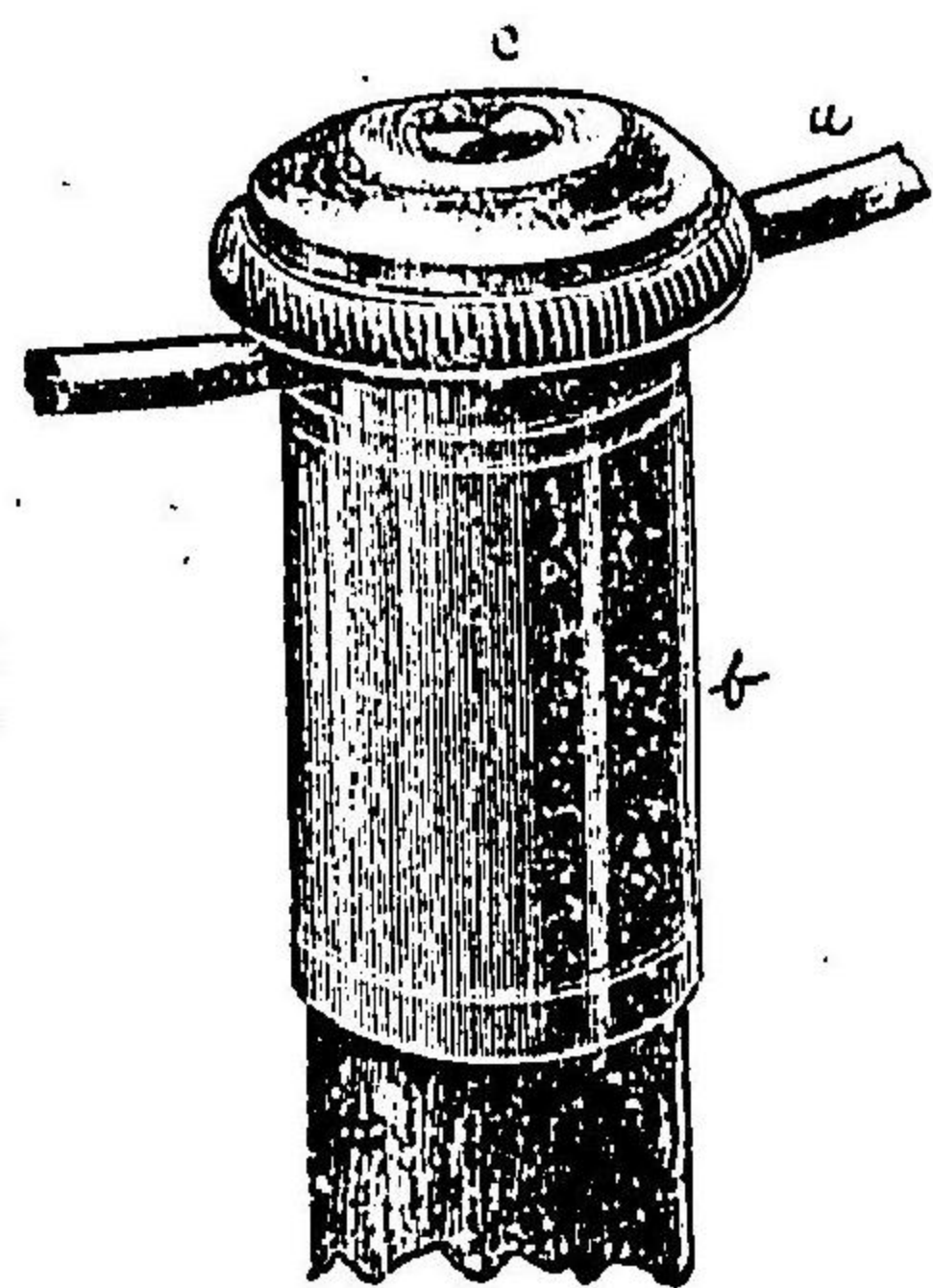
圖(1)柄ノ中程ニ至リ圓形ニ張ル様ニナスベシ(第貳圖(2)之レニ附スル網布ハ西洋

蚊張布若クハ紗布ヲ最モ便トス、

第一編 昆蟲ノ採集

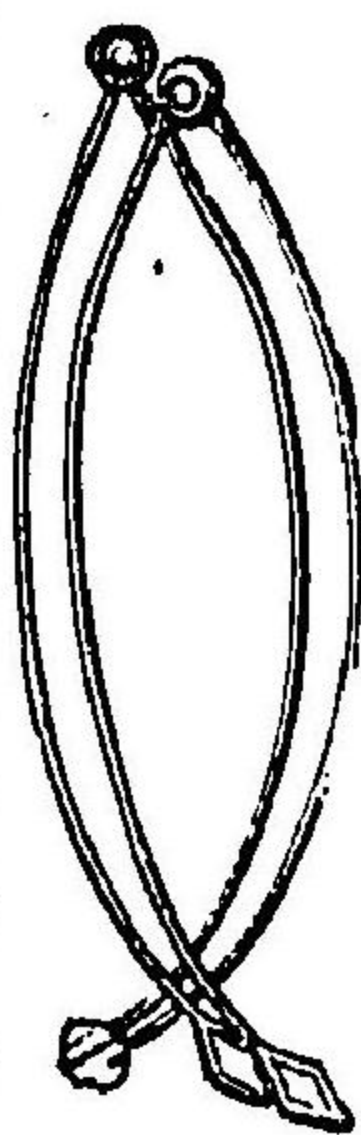
第一編 昆蟲ノ採集

第三圖 網框ノ附着法ヲ示ス

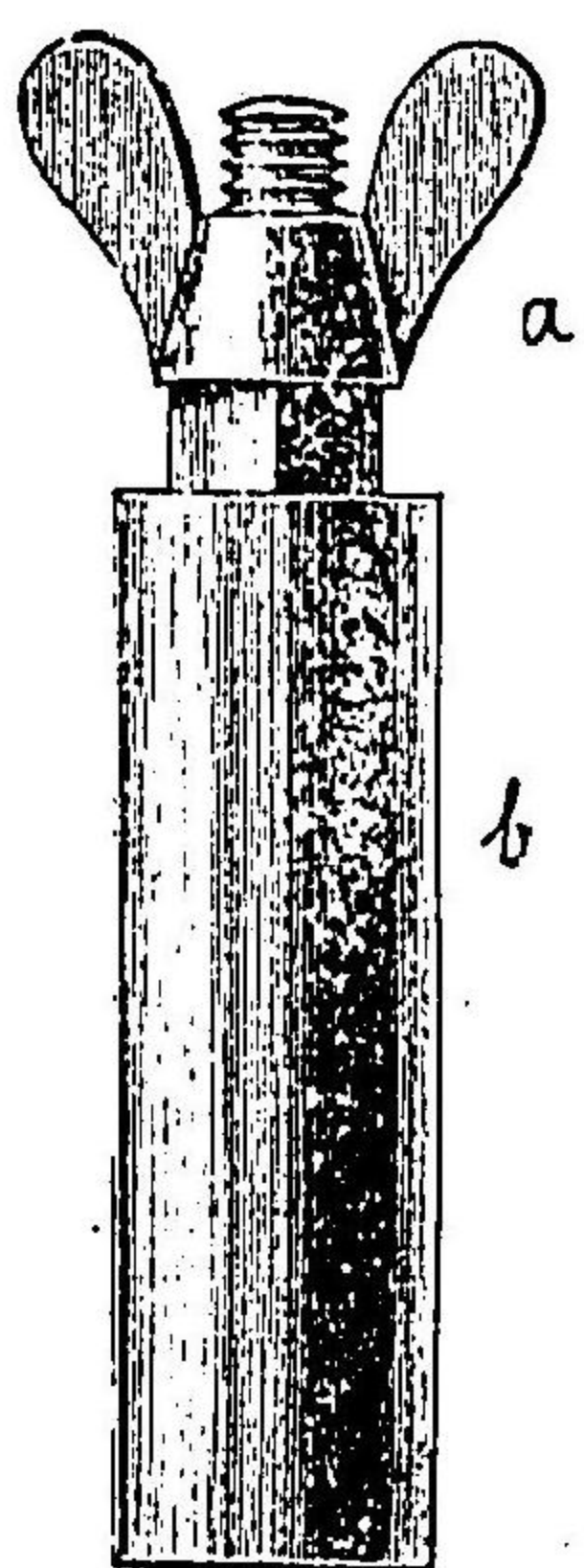


(a) 框ノ着根  
(b) 框砧  
(c) 螺旋

第四圖 四折網框



第五圖 網框ノ附着法ヲ示ス

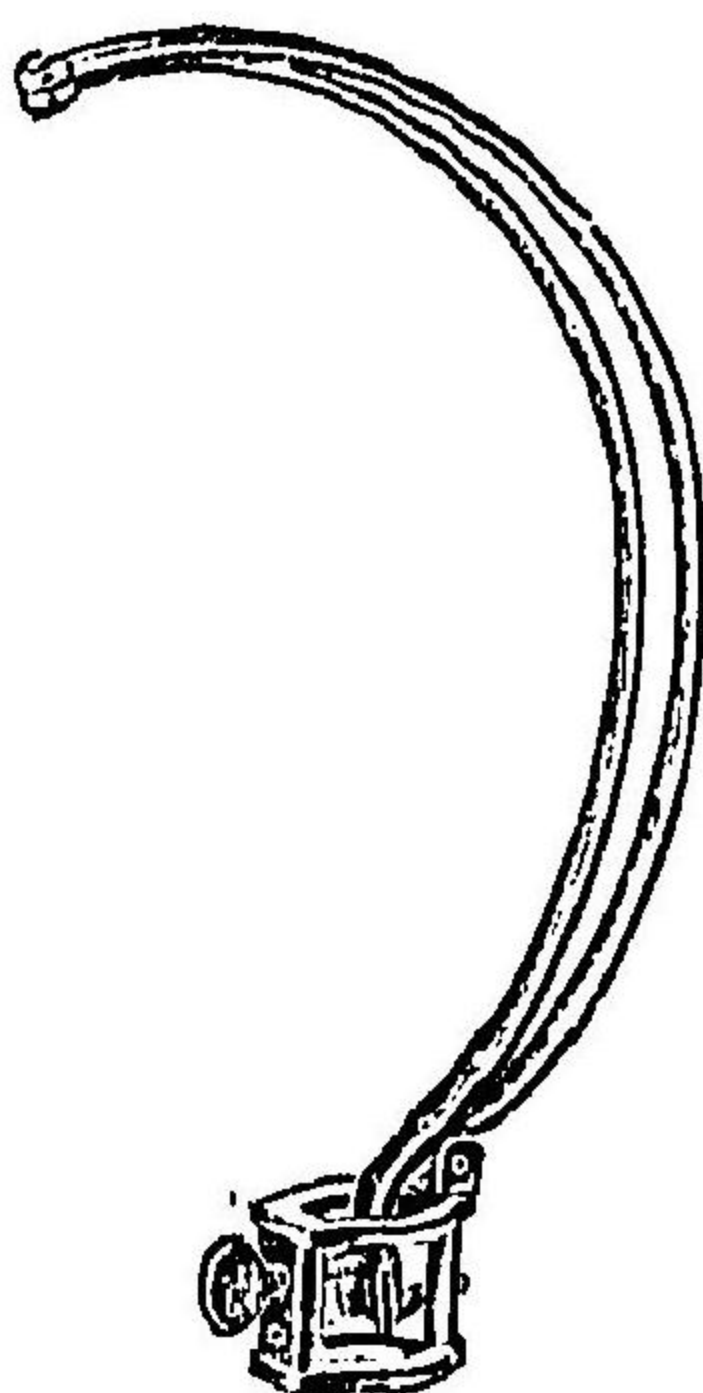


(a) 螺旋  
(b) 框砧

網框ヲ柄ニ附着セシムル法ニ種々アリト雖モ最モ強固ナルモノハ左ノ二種ナリ、一ハ第三圖ノ如ク框ノ下端(a)ヲく字形ニ曲ゲ之レヲ長サ二寸程アル鋼鐵製圓柱形ノ砧(b)ニ箝メ其上ヨリ(c)ノ如キ螺旋ヲ以テ壓ヘ置クニアリ、他ハ第四圖及ビ第五圖ノ如ク下端ニアル四角形ノ目ヲ(b)ノ砧ニ箝メ之レヲ(a)ノ螺旋ニテ壓スルニアリ、  
二、叩網—此ハ拘網ノ嚴乘ナルモノニテ宜キモ網口ニアル布ノ破損スル事甚シキヲ以テ普通第六

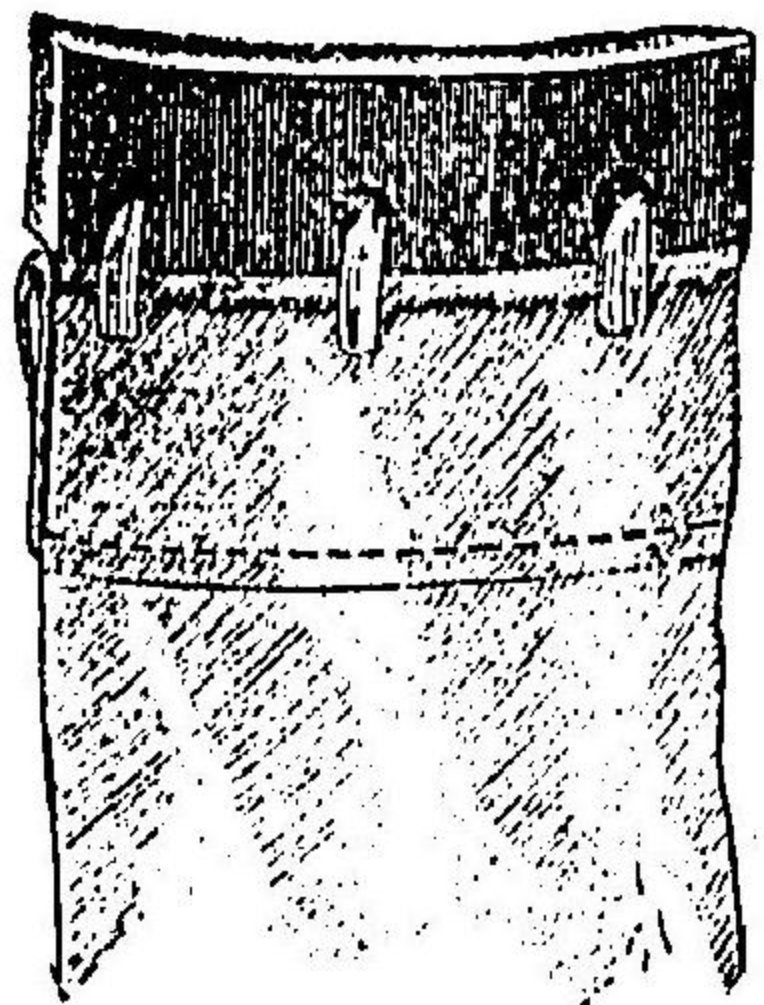
第一編 昆蟲ノ採集

第六圖 叩網ノ框



圖及ビ第七圖ノ如キ幅廣ノ框ヲ造リ、之レニ多數ノ孔ヲ穿テ網布ヲ附着スル様ナ

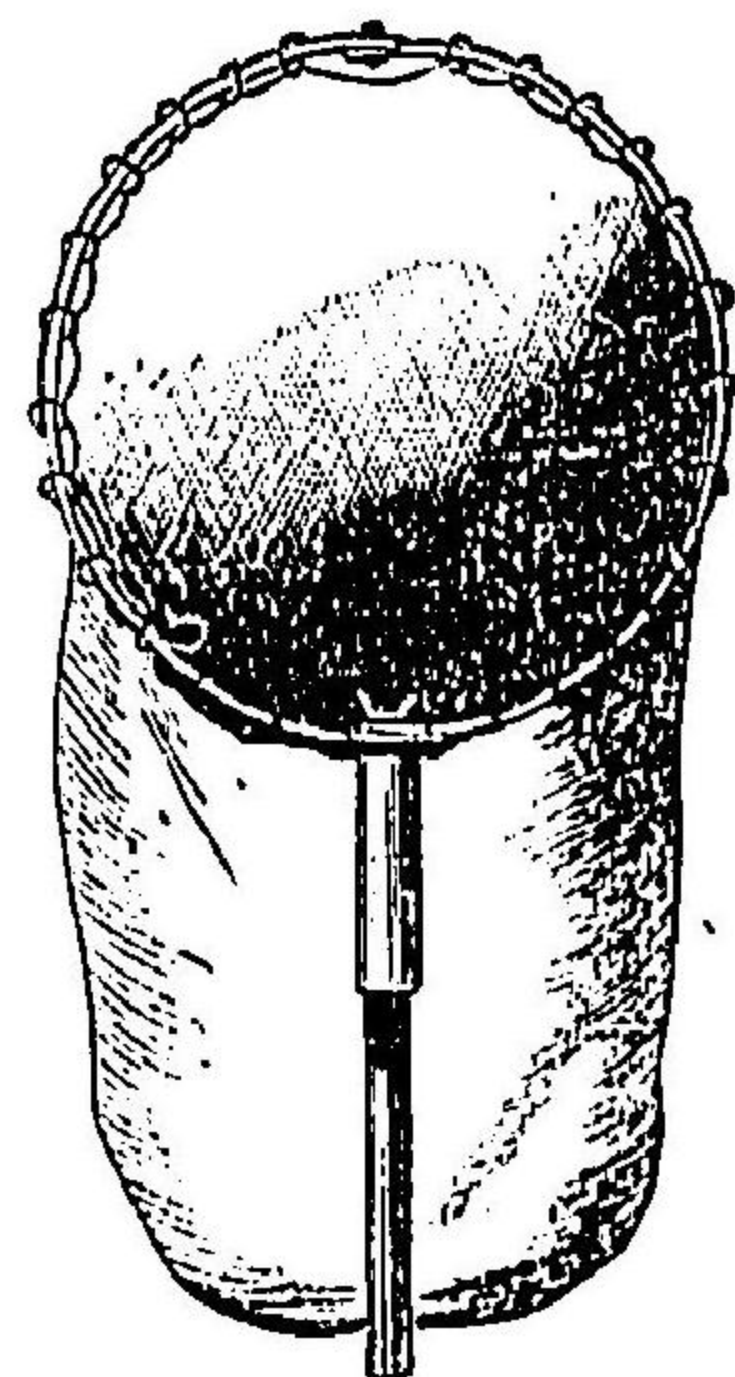
第七圖



同網ヲ附着シタス部一示

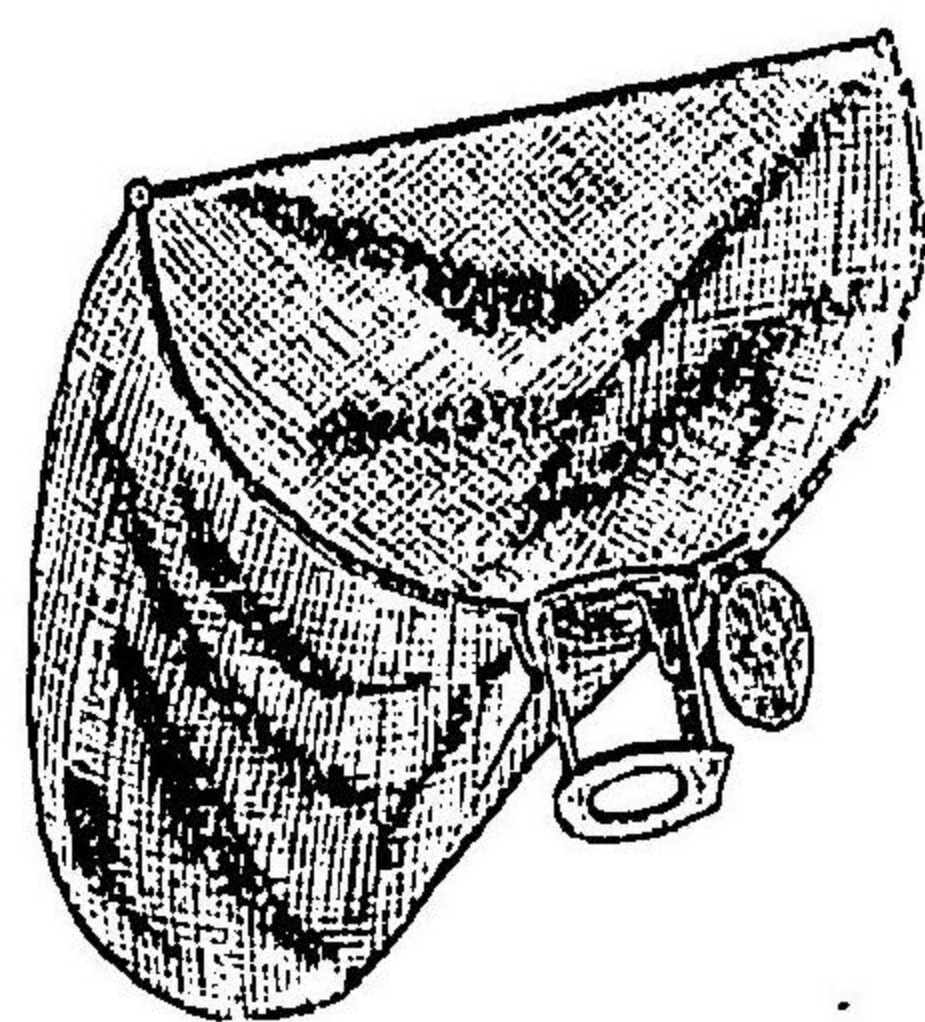
スベシ、然ラバ網布ハ破ルコトナシ、尤モ細キ電信線ヲ其網ノ周縁ニ縫ヒ付ケ後チ之レヲ框孔ニ絲ニテ結ビ付クルトキハ框孔多カラザルモ宜シ、又第八圖ノ如ク框ニ網布ヲ縫ヒ付ケタル後細キ電信線ニテ捲キ叩網トナスコトヲ得ベシ、何レニモヨ網布ノ直接植物、土石、倒木等ニ觸レザル様ニナスニアリ、之レニ用ユル網布ハ白色ノ天竺木綿ヲ最モ可トス、網布ノ土、植物ノ汁、其他穢汚物ニ染リ暗色ヲ呈スル場合ニハ取り換ユベシ、蓋シ白色ナル程小形ノ昆蟲ハ見易ケレバナリ、框ノ徑ハ一尺二三寸ヲ手頃トシ、深サハ二尺位トナスベシ、柄ハ三尺位ヲ最モ便トシ、手元ノ曲ラザル

第八圖

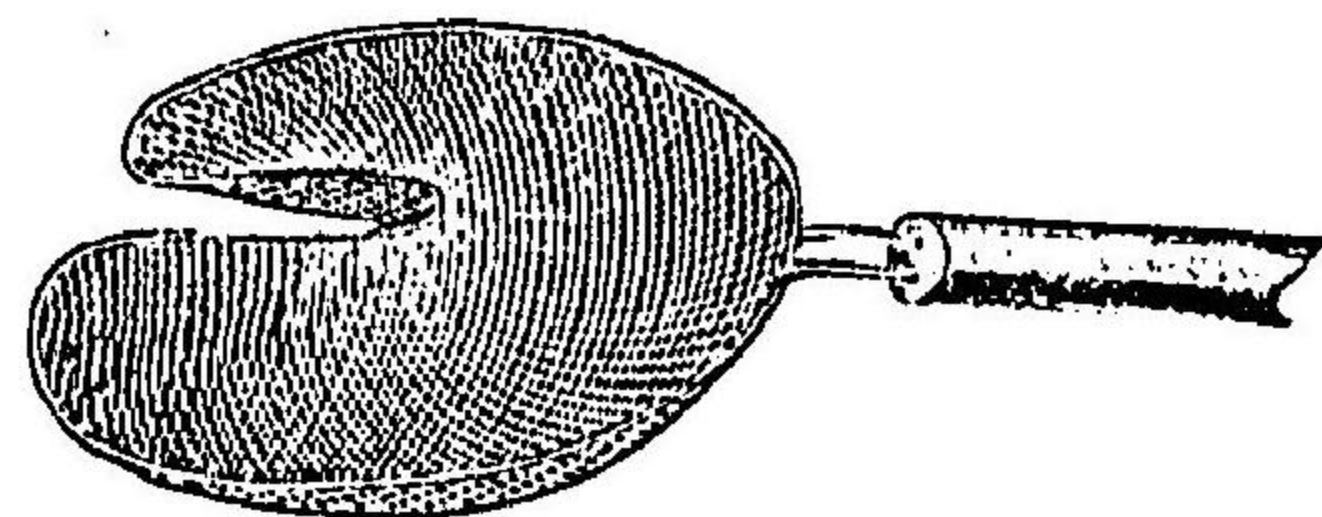


第一編 昆蟲ノ採集

第九圖 水網



第十圖 受網



叩網ノ一種ニ電  
線ヲ捲キタルモ  
ル

「すてつき」ニ符マル様ナスベシ、

三、水網—此ハ普通ノ掬網ノ框ヲ用  
ヒ之レニ淺キ網布ヲ嵌メ換ユレバ  
可ナリ、尤モ第九圖ノ如ク特別ノ水  
網アリ、此ハ徑一尺深サ七寸位ヲ手  
頃トシ、用布ハ蚊帳布ニ濼ヲ引キタ  
ルモノヲ便トス、  
四、受網—此ハ農作物ノ根際若クハ  
葉裏ニアル昆蟲ヲ捕獲スルニ用ユ  
ルモノニシテ普通ハ第十圖ノ如ク  
心臟形ノ框ニ綿布ヲ淺ク縫ヒ附ク  
ルニアリ、此ハ重ニ甲蟲及ビ椿象ヲ  
捕獲スルニ用ユレドモ又蝸蝓、烏蠅、  
蟻、蛤等ヲモ捕ヘ得ベシ、

第二節 殺蟲器

一、毒塚—第十一圖ノ如キ大口塚ヲ用テ、而シテ底ニハ青酸加里ヲ入レ其上ヨリ石  
膏ヲ以テ蔽ヒ置クベシ、青酸加里ハ水ヲ吸收スルヲ  
以テ吸取紙ヲ敷キテ時々換置スベシ、又昆蟲ハ口部  
或ハ肛門ヨリ液汁ヲ出シ互ニ固着スルコトアリ、之  
レヲ防グニハ半紙ヲ細ク切りテ其内ニ入レ置クベ  
シ、又栓ハ二重栓トナシ大ナル昆蟲ノ外ハ小栓ヲ取  
リテ入ル、様ニナスベシ、其効能ヲ強メ長時之レヲ  
用ヒント欲セバ之レニ少量ノ「すつりき」ニ「ヲ加フ  
ベシ、第十二圖ニ示セル袖珍用毒塚ハ常ニ袖珍ニ藏  
シ得ベキヲ以テ便利ナリ、此ハ側扁ナリ、

第十二圖 袖珍用毒塚



第十三圖 毒管



二、毒管—此ハ普通ノ硝子管ノ底ニ綿ニ包ミタル青  
酸加里ノ一片ヲ入レタルモノニシテ、第十三圖昆蟲  
學者ハ常時之レヲほっけニ入レ置クモノナリ、之

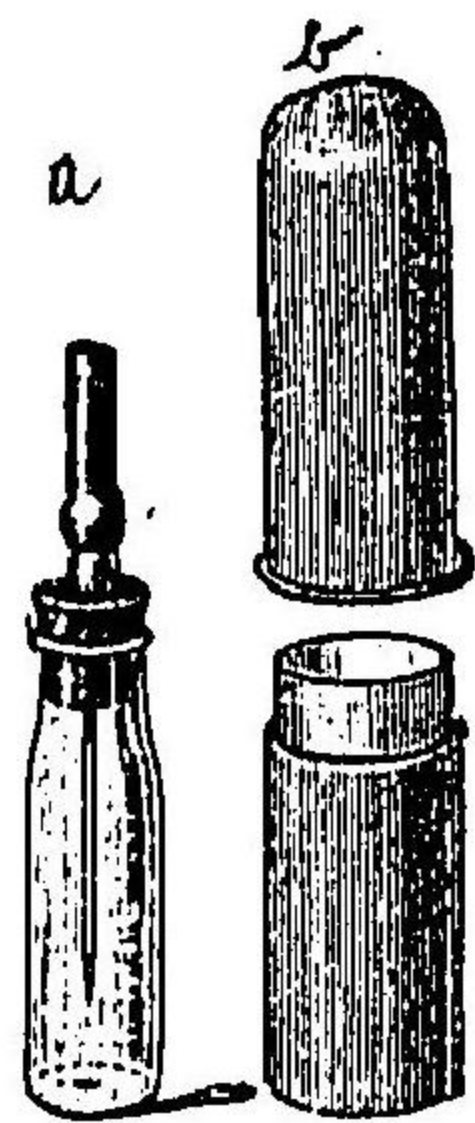
第一編 昆蟲ノ採集

第一編 昆蟲ノ採集

レニモ細キ管ヲ貫キ二重栓トナスヲ便トナス、又内ニハ紙片ヲ挿入スベシ、  
三、毒筆——此ハ直翅目、蜻蛉目、天蛾等ノ如キ大ナル昆蟲ヲ殺スニ適切ナルモノニシ

第十四圖

(a) 毒筆ノ藏シアル壺  
(b) 壺ノ鞘



テ之レニ用ユルモノハ「ころゝほーむ」「えーてる」及ビ  
「べんそーる」ノ三種ナリ、何レモ皆同様ノ効能ヲ有スル  
モノナレドモ前二種ハ甚ダシク揮撥スルヲ以テ「べん  
そーる」ヲ擇ブ人多シ、筆ハ第十四圖(a)ノ如ク栓ヲ貫キ  
テ常ニ溶液ニ浸漬ス、平時ハ(b)ニ容レ携帯ス、必要ニ臨  
ミ筆ヲ以テ此等ヲ腹部ノ氣門ニ塗沫スルナリ、尤モ此  
等ノ毒液ハ綿ニ浸漬シテ壺底ニ挿入シ其上ヨリ紙ヲ敷キテ直接昆蟲ニ觸レザラ  
シメ毒壺同様ニ使用スルコトアリ、

四、毒針——第十五圖此ハ天蛾ノ如キ大ナル體軀ヲ有スル昆蟲ニ適切ナルモノニシ

第十五圖 毒針



(a) 護膜  
(b) 硝子  
(c) 針

テ之レニ用ユル毒ハ青酸加里  
「尿酸及ビ」に「こちん」ノ溶液ナリ  
トス、針ハ象牙若クハ骨ヲ用ユ

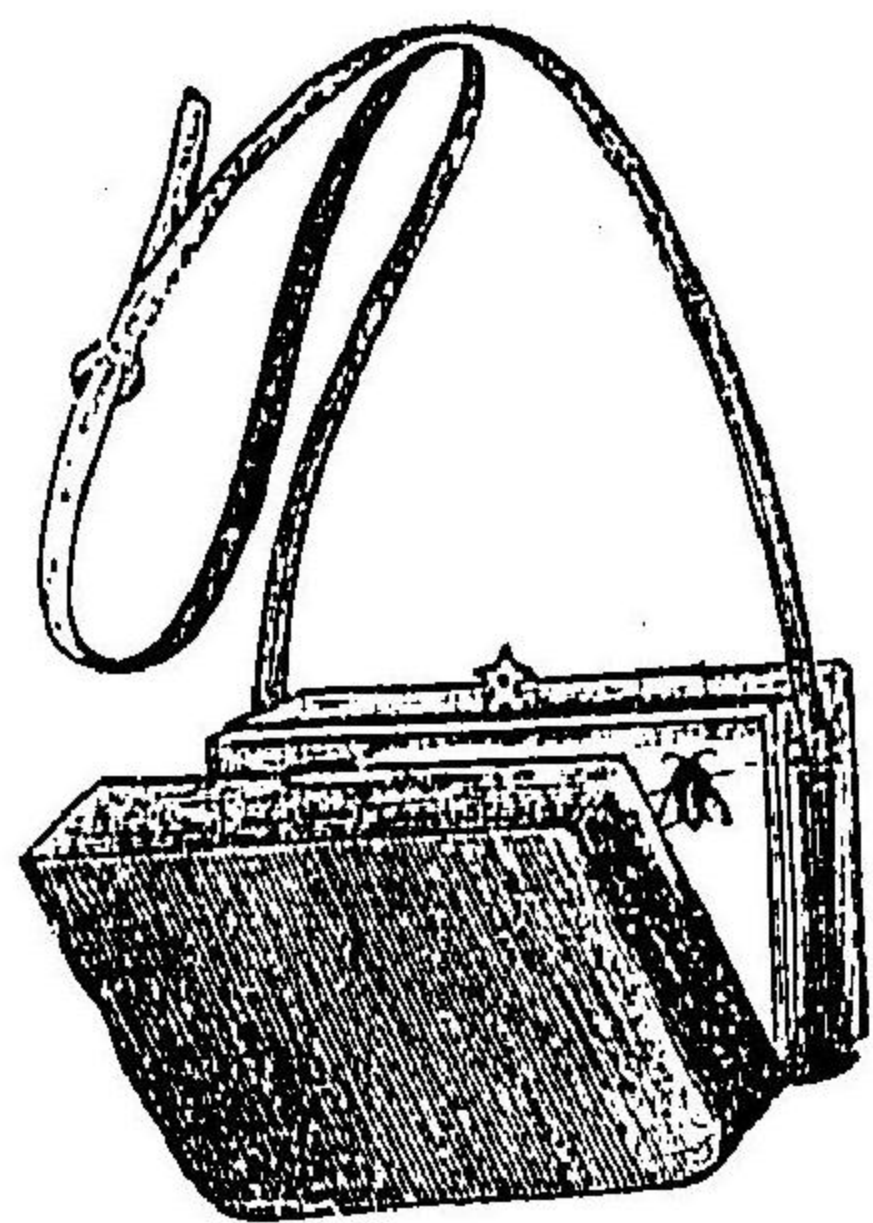
第一編 昆蟲ノ採集

ベシ、金屬性ノモノハ腐蝕スルノ患アリ、第十四圖ノ如ク毒壺ノ栓ニ針ヲ附シ之レ  
ヲ昆蟲ノ心臟ニ向テ注入スル様胸背ニ挿入スベシ、然ラバ容易ニ之レヲ殺シ得ベ  
シ、又近來ハ第十五圖ノ如キ毒針ヲ用ユ、(a)ハ護膜、(b)ハ硝子、(c)ハ針ナリ、即チすばい  
どノ構造ニシテ(a)ヲ壓スレバ毒液ヲ(b)ニ送り(c)ヨリ蟲體ニ注射ス、

第三節 採集箱

一、成蟲採集箱——此ニ二種アリ一ヲ携帶用採集箱ト云フ即チ第十六圖ノ如キ形状

第十六圖 成蟲採集箱



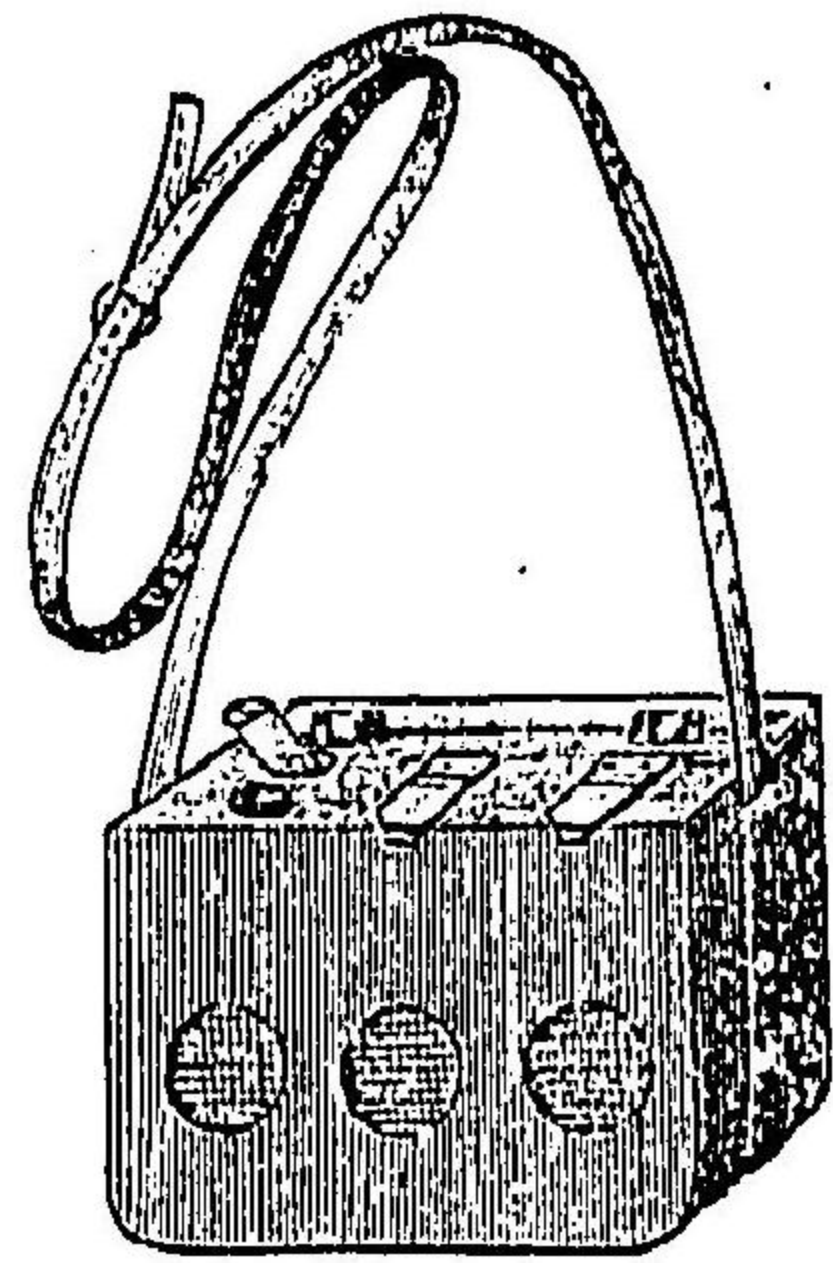
ヲ有シ底ニハこるく板ヲ張リ針ヲ挿入スルニ便  
ナラシム、此ハ殊ニ蝶蛾ヲ採集スルニ用ユルモノ  
ナレドモ亦直翅目、蜻蛉目其他大ナル體軀ヲ有ス  
ル蜂、蟬ヲ刺スニモ用ユ、胸側ニ針ヲ貫キ箱底ニ横  
置スベシ、普通長サ一尺、幅六寸、高サ二寸五分位ヲ  
最モ手頃トス、第二ヲ袖袷用採集箱ト云フ、叩網專  
門ニ採集ヲ試ムル際ニハ携帶用ノ大箱ハ不便ナ  
リ、此場合ニハ小形ノ箱ヲ袖袷ニ藏シ置キ貴重ナ



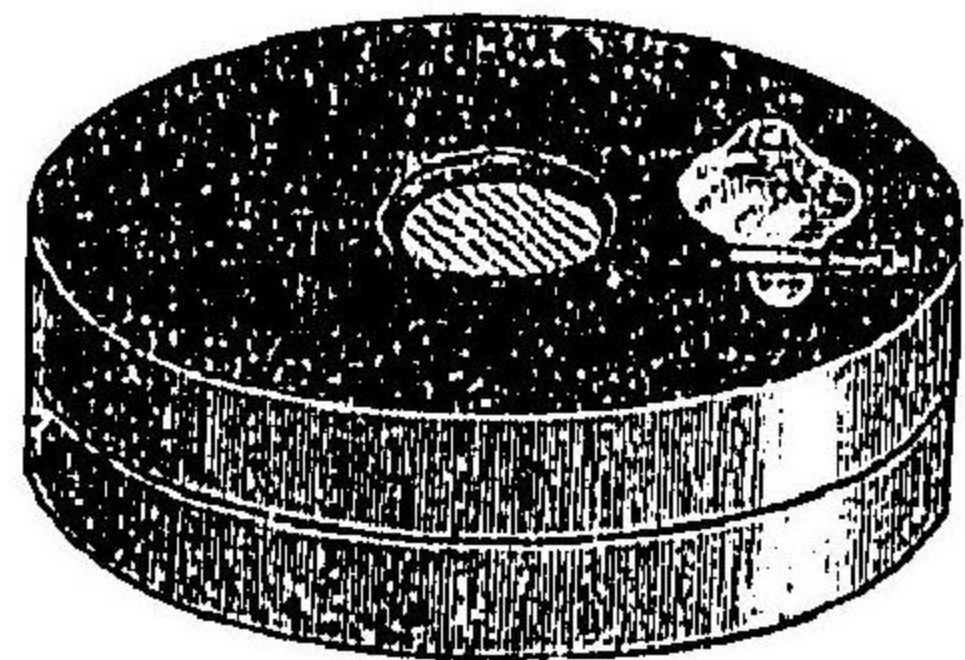
第一編 昆蟲ノ採集

ル蝶蛾ノ發見セラレタル都度之レニ挿入スル様ナスベシ、此ハ長サ四寸、幅二寸五分、高サ一寸五分位ヲ手頃トス、

二、幼蟲採集箱——之レニモ亦二種アリテ一ハ第十七圖ノ如キ携帶用採集箱ニシテ第十七圖 携帶用成蟲採集箱



圖八十第 箱集採蟲幼用衫袖



幼蟲專門ニ採集ヲ試ムル場合ニ用ユ、此ハ一側ニ三個ノ空氣抜ヲ有シ之レニ針金網ヲ張りタルモノナリ、又上方ニハ三個ノ穴ヲ穿テ之レヨリ幼蟲ヲ投入ス、其口ニハ鐵葉ニテ蝶番

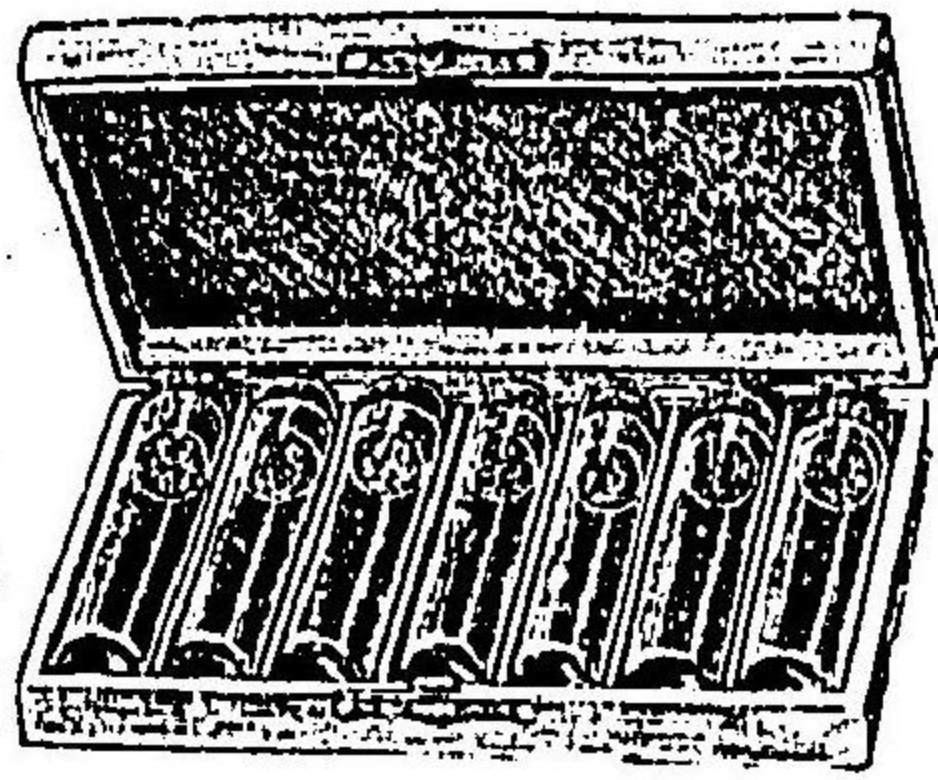
トナシタル蓋ヲ附シタリ、第十八圖ニ示セルモノハ袖衫用採集箱ニシテ常ニ袖衫ニ藏シテ一般採集家ノ使用スルモノナリ、

第四節 硝子管

一、酒精管——此ハ甲蟲其他椿象類ヲ捕獲スルニ必要ナリ、最モ長毛アルモノ若クハ

綠色ヲ呈セルモノハ退色ノ憂アルヲ以テ之レニ投入セザルヲ可トス、之レニハ大少數種アレドモ少クモ二種ヲ携帶スベシ、步行蟲、鍬形蟲若クハ金龜子ノ如キ大ナルモノヲ挿入スル大管ト、出尾蟲若クハ隱翅蟲ノ如キ小ナルモノヲ投入スル小管ハ必要ナリ、甲蟲用ノ酒精ハ無水ヲ可トスレドモ、軟弱ナル昆蟲ヲ挿入スル場合ニハ一倍ノ水ヲ加フベシ、

圖九十第 箱ルセ藏ヲ管子硝

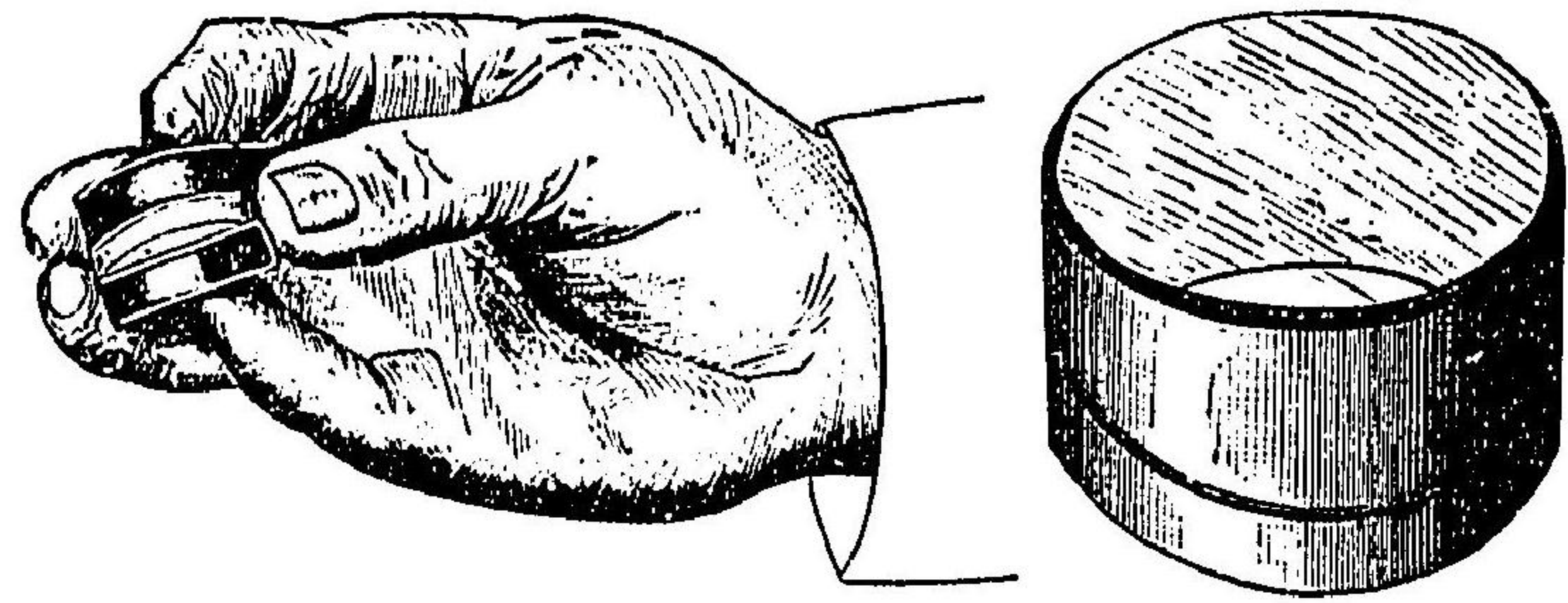


二、空管——此ハ小形ノ硝子管ニシテ第十九圖ノ如ク普通一箱ニ入レテ携帶ス、其用途ハ小形ナル貴重ノ昆蟲ヲ捕獲シタル場合ニ一、二個ヅ、入レ置クニアリ、殊ニ浮塵子ノ如キ或ハ蠅ノ如キ破損シ易キモノニ適切ナリ、此ハ又網ヲ頭ニ被リ小形ノ昆蟲ヲ捕獲スル場合ニ用ユ、即チ初メハ此ノ空管ノ内ニ蟲ヲ容レ置キ後毒餌ニ移スニアリ、殊ニ大ナル毒餌一個ヲ携帶スル場合ニハ此ノ空管ハ甚ダ有要ナリ、

第五節 採蛾箱

第一編 昆蟲ノ採集

第二十二圖 採集箱ノ開クトキ有様



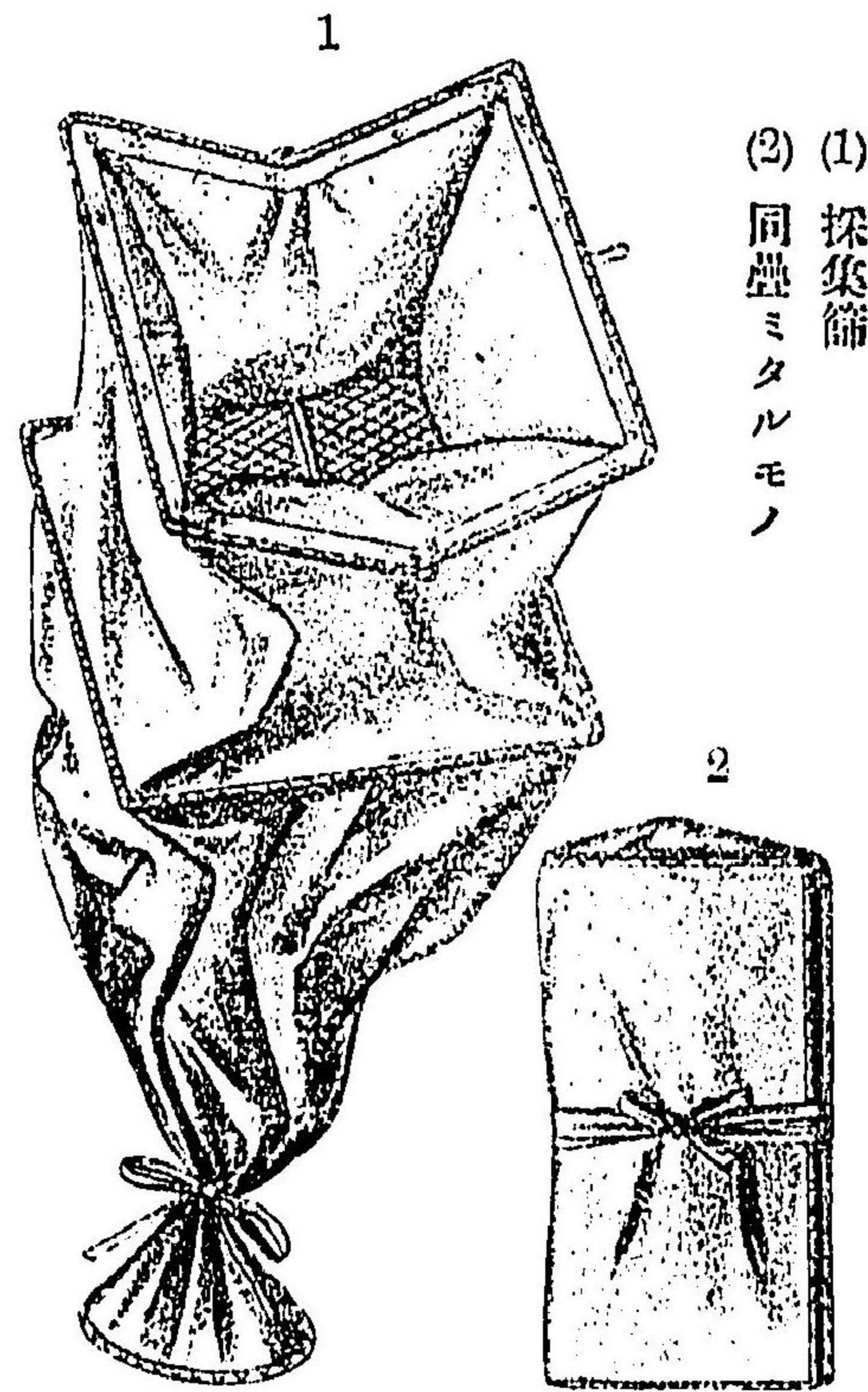
第一編 昆蟲ノ採集

此ハ第二十圖ノ如キ小形ノ曲物ニシテ底ニハ硝子ヲ用ユ之レハ小蛾ヲ捕獲スルニ適切ナルモノニシテ使用スルトキハ第二十一圖ノ如ク指ニテ開キ蛾ノ入リタル後ハ小指ヲ以テ塞ス様ナスベシ此ハ小蛾専門ノ採集家ガ使用スルモノニシテ携帶靴中ニ三四十個モ入レ置キ之レヲ以テ一匹ヅ、蛾ヲ捕獲ス、歸宅後青酸加里、ころゝほゝむ其他えゝてゐる等ヲ用ヒテ之レヲ殺シ其都度直チニ展翅スベシ蓋シ小蛾ハ死後直チニ展翅セザレバ忽チ乾燥スルノミナラズ他ノ昆蟲ト同處ニ入レ置クトキハ鱗片剝離シテ其形ヲ留メザルニ至ル故ニ注意スベシ、

第六節 採集篩

此ハ叩網ノ場合ニ必要ナルモノニシテ殊ニ僅數ノ時間ニ採集ヲ試ムル場合ニ適切ナルモノトス、叩網ノ際

第二十二圖



(1) 採集篩  
(2) 同疊ミタルモノ

圓形及ビ方形ノ二種アリテ何レニセヨ強靱ノ麻布ヲ用ヒ口縁ニハ針金ヲ附シ中程ニ粗キ金網ヲ縫ヒ付クルニアリ、長サ二尺口徑七八寸ヲ手頃トス、篩底ハ紐ヲ以テ開塞自在ニナシ置クベシ、(1)ハ開キタル處ヲ示シ、(2)ハ携帶ノ時疊ミタル有様ヲ示ス、

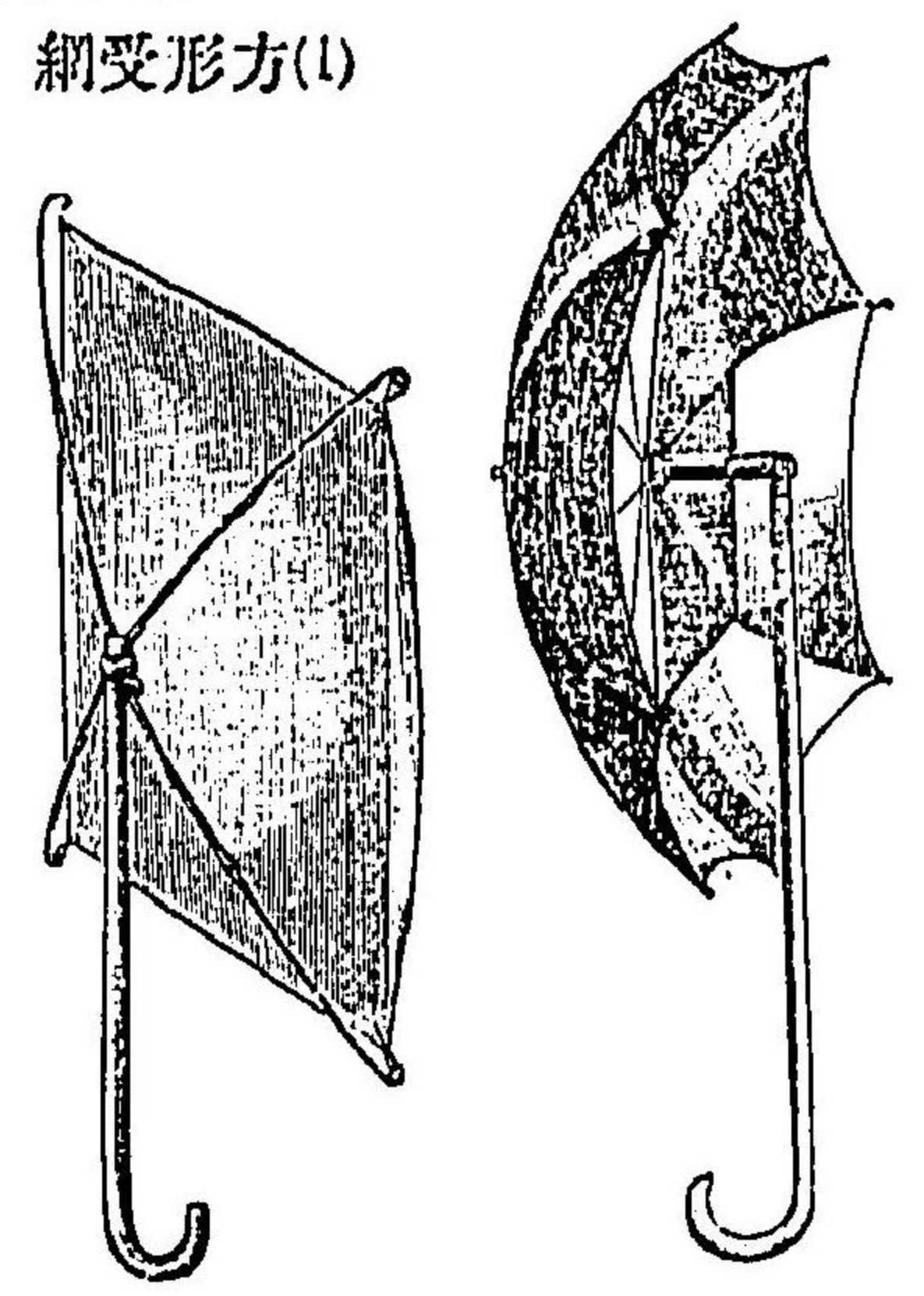
第一編 昆蟲ノ採集

入り來ル枝、葉、草其他雜物ノ如キモノハ第二十二圖ノ如キ篩ニ入レ小形ノ雜物及ビ昆蟲ノミ篩底ニ濾下シ置キ、歸後卓上ニ擴ゲ必要ノモノヲ撰擇スベシ、此方法ニヨリ案外珍奇ナル標本ヲ得ルコトアリ、此ニハ

第二十三圖 採集傘

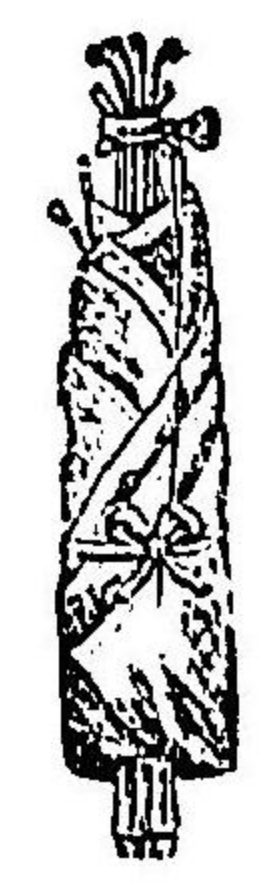
第七節 採集傘

第一編 昆蟲ノ採集



圖四十二第 網受形方(1)

(2) 同疊ミタルモノ



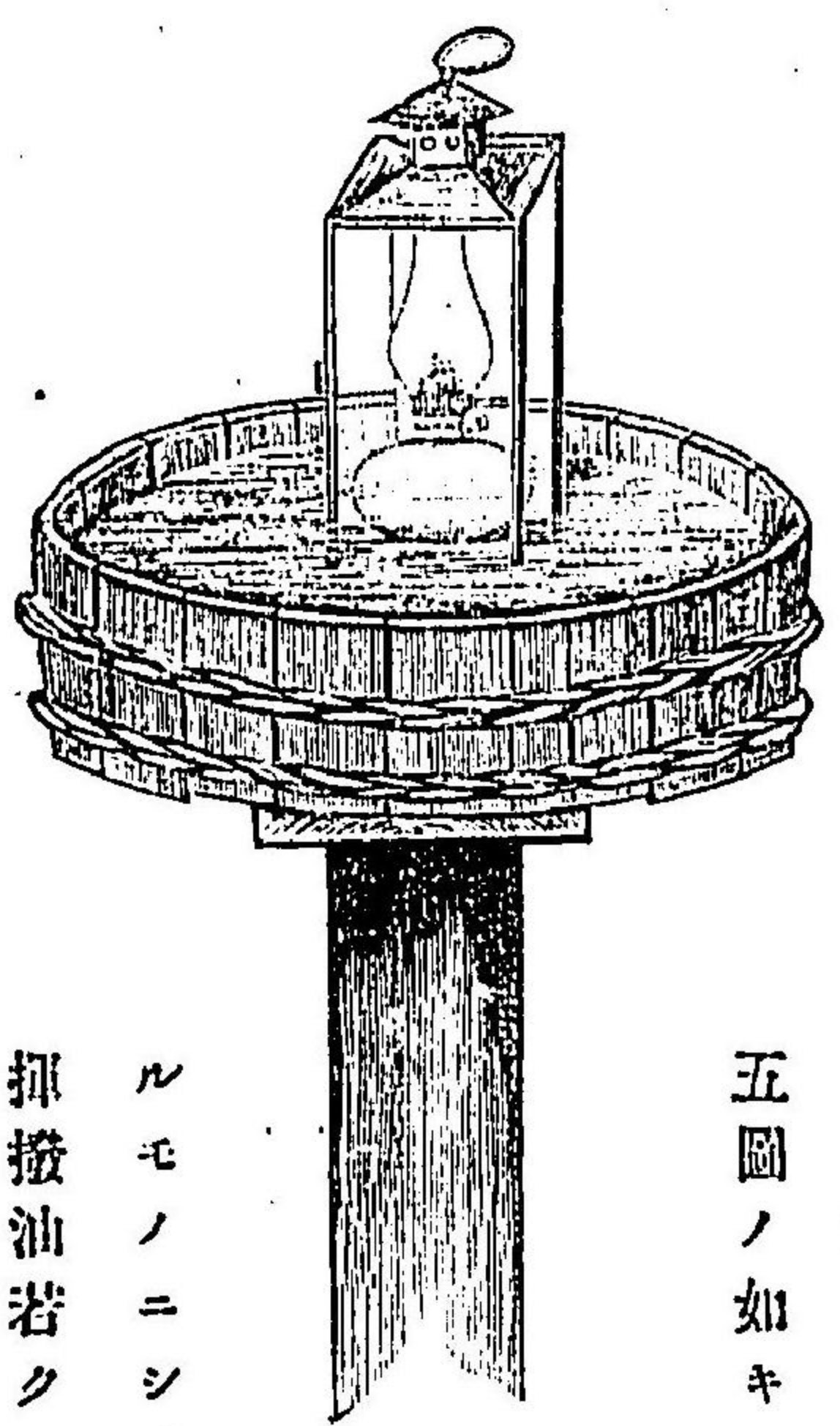
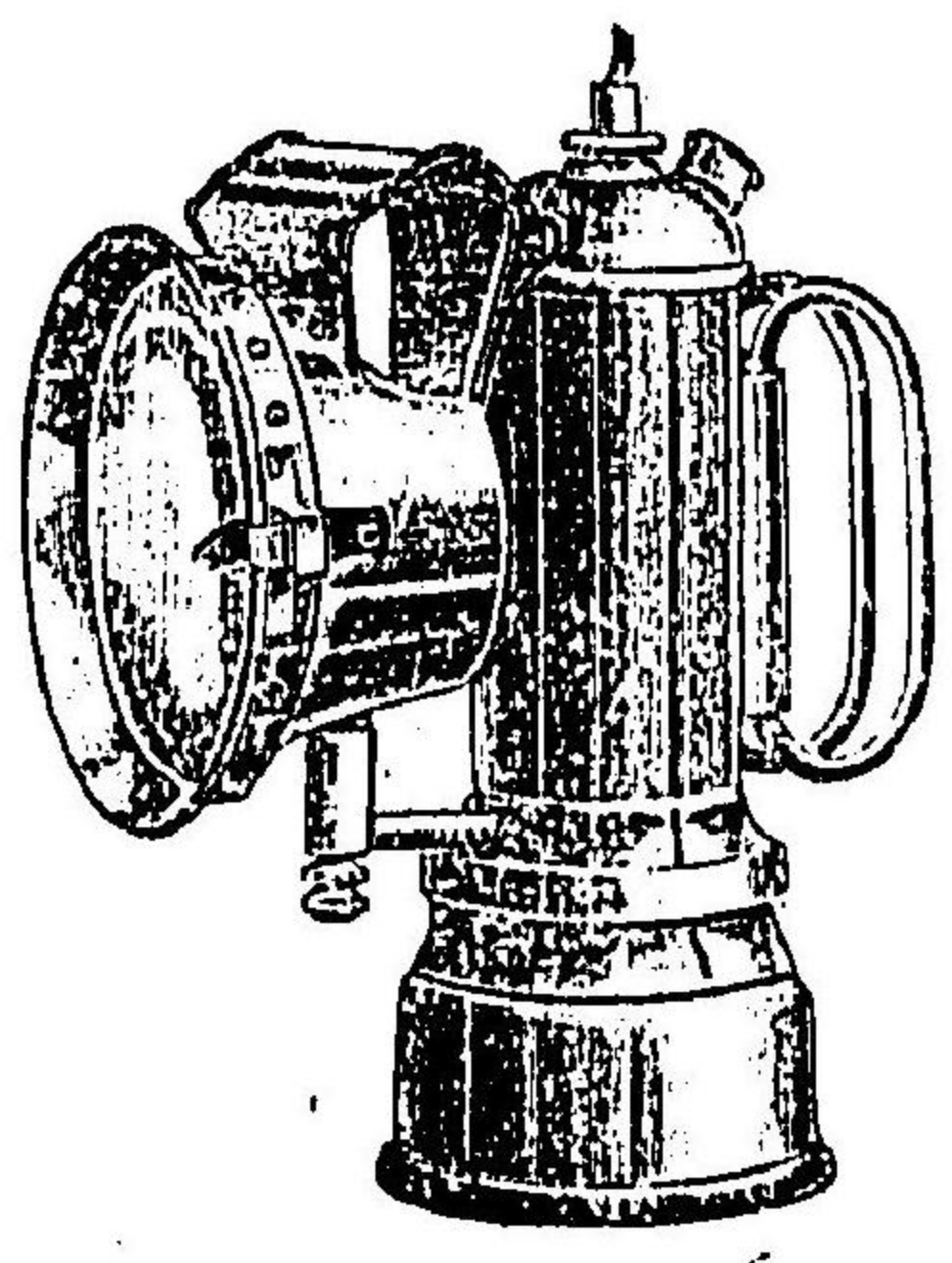
ノ竹ヲ對角ニ亘シ携帶ノ際ハ之レヲ疊ミ必要ニ應ジテ中央ニテ二本ノ竹ヲ連結

此ハ第二十三圖ノ如キ普通ノ蝙蝠傘ナレドモ裏ニ白布ヲ張リ柄ハ中程ニテ折ル、様ニナシアリ、主トシテ甲蟲、椿象等ノ昆蟲ヲ採集スルニ用ユ、携帶用ニ便ニセント欲セバ尋常網ノ柄ヲ利用シ得ル様ニナスベシ、尤モ兩者坊間ニ販賣シアルモノニシテ前者ハ甲蟲専門家ノ使用スルモノ、後者ハ雜昆蟲ヲ採集スルモノ、撰ブ所ナリ、

又此ト同様ノ目的ヲ有スルモノニシテ第二十四圖ノ如キモノアリ、其構造ハ至テ簡易ナリ、即チ三尺四方ノ白布ニ二本

圖五十二第 燈んりちせあ

圖六十二第 燈蛾誘



第一編 昆蟲ノ採集

スレバ方形ノ受網ヲ得ベシ、之レヲ樹下ニ受ケ其内ニ昆蟲ヲ叩キ落スニアリ、(1)ハ獨乙製ニシテ其開キタルヲ示シ(2)ハ携帶ノ際疊ミタル有様ヲ示ス、

第八節 採集燈

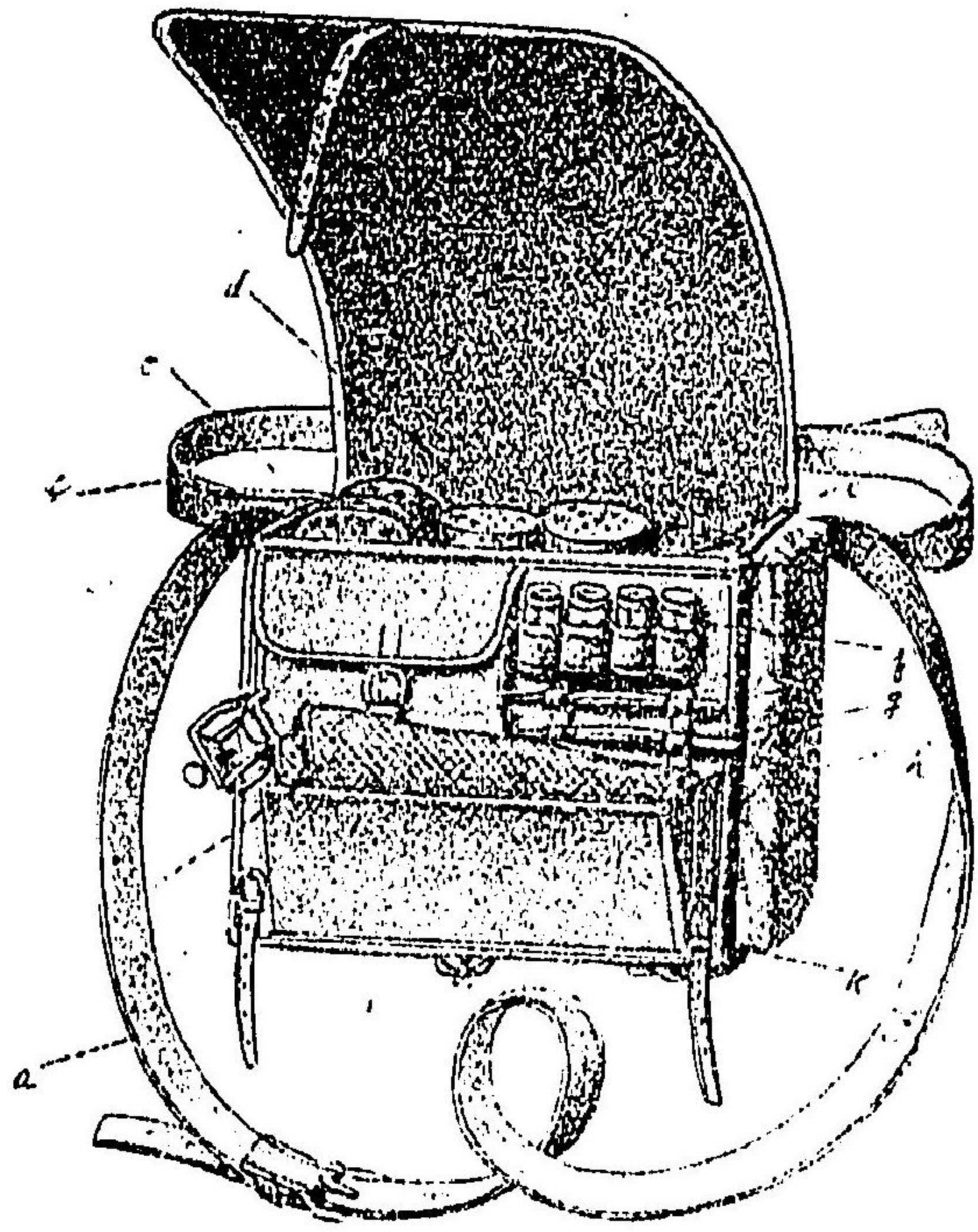
普通使用セララル、採集燈ハ馬車用ノあせちりん燈ニシテ二十色乃至五十色ナリ、第二十五圖ノ如キハ携帶ニ便ナリ、然レドモ此ハ單ニ蛾ヲ誘引スルモノナレバ採集家ハ之レニ集來スル蛾ヲ網ヲ以テ捕ヘザルベカラズ、第二十六圖ニ示ス燈ハ終夜放置スルモノニシテ盞中ニ水ヲ盛り其内ニ少量ノ揮撥油若クハべんぞーるヲ滴下シ置クニア

第一編 昆蟲ノ採集

リ、尤モ水ノミニテモ可ナリ、石油ヲ滴下スレバ蛾ノ翅ヲ損スルノ憂アリ、但シ驅除用ニハ石油ヲ滴下セザレバ死セザルノミナラズ飛去スルノ憂アリ、

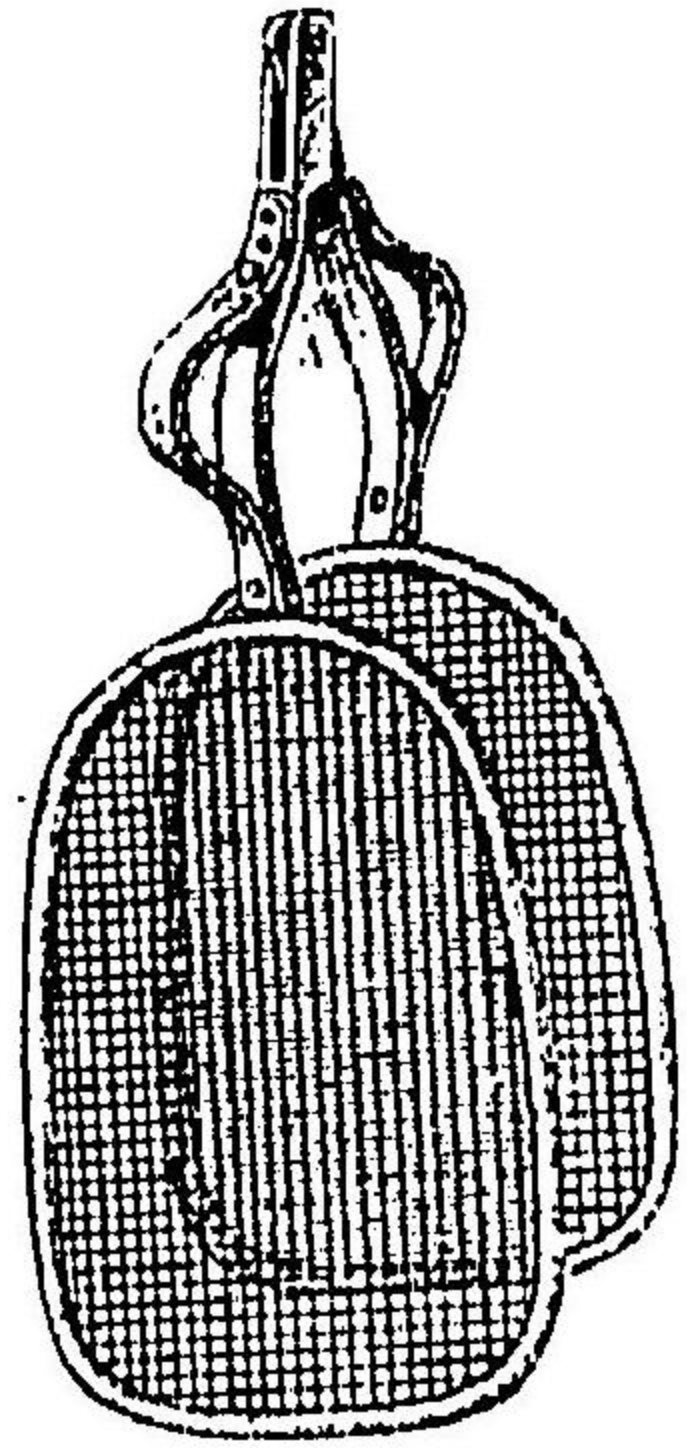
第九節 採集 袍

第二十七圖 採集 袍



- (a) 肩掛紐
- (b) 腰紐
- (c) 袖袷採集箱
- (d) 毒壘
- (e) 二重栓毒壘
- (f) 硝子管
- (g) 鋸子
- (h) 針刺
- (i) 捕蟲網
- (k) 採集傘ヲ着クル革紐

第二十八圖 捕蟲 鋸



第一編 昆蟲ノ採集

此ハ第二十七圖ノ如キ皮若クハゴック製ニシテ其内ニハ各種ノ網、毒壘、酒精硝子管、採集傘、鋸子、鋸子、其他種々ノ器具ヲ收容スルノ構造ヲ有ス、旅行中ハ殊ニ便利ナルモノニシテ常ニ之レヲ人夫ニ携帶セシム、自ラ之レヲ提帶スルトキハ蝶蛾、蜻蛉等ヲ捕獲スルコト困難ナリ、故ニ單獨ニ採集ヲ試ムル場合ニハ之レヲ携帶セザルモノトス、革紐ニヨリ之レヲ肩ヨリ懸クルト同時ニ又腰ニ之レヲ附着セシメ疾走ノ際動搖セザル様ニナスベシ、又後方ニハ厚キ羅紗片ヲ附シ針ヲ刺スニ適セシメ前方ニハ鋸子及ビ鋸子ヲ附着スル様ナスベシ、普通使用セララル、モノハ長サ一尺二寸、高サ一寸、幅三寸五分位ヲ手頃トス、

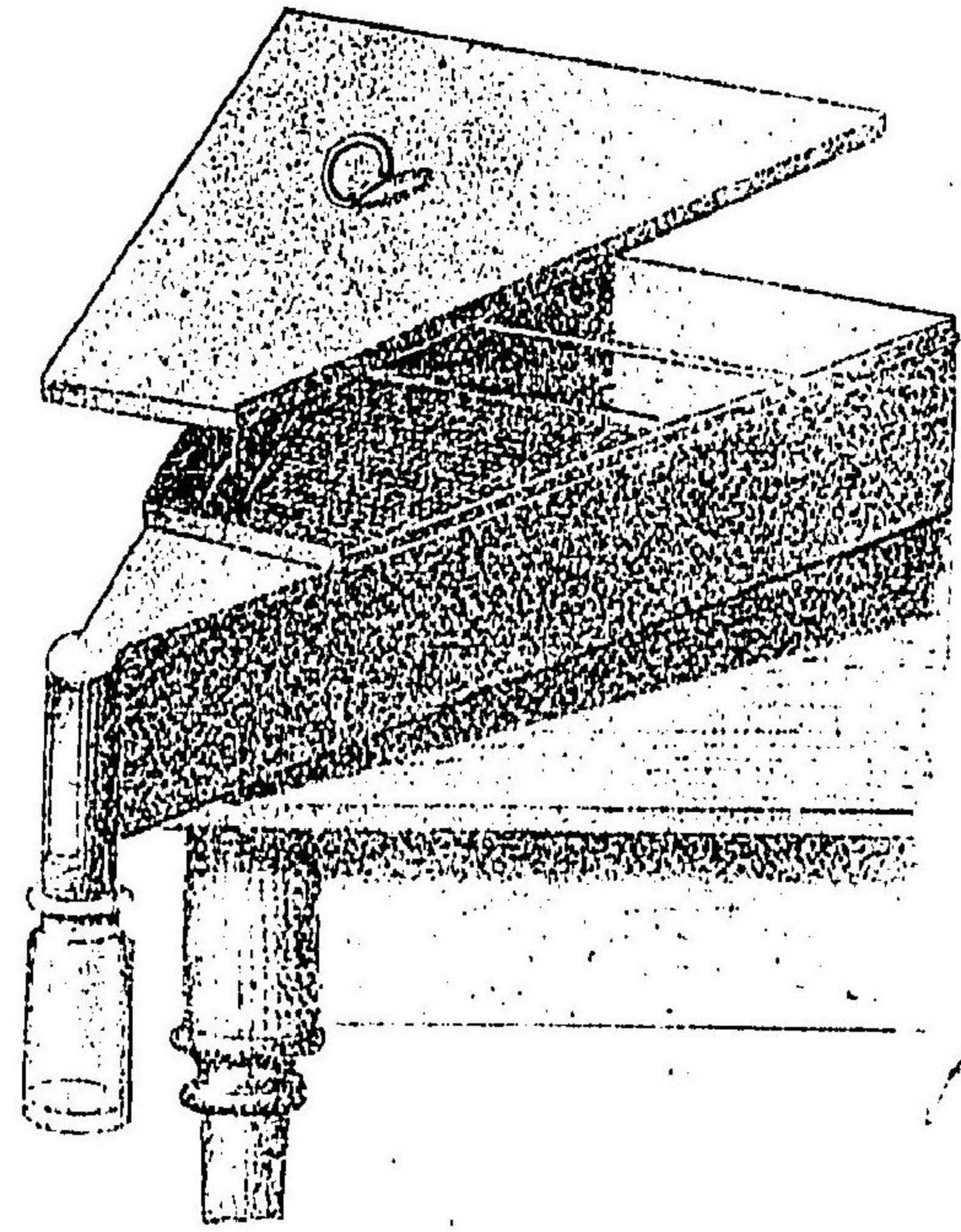
第十節 雜 具

一、捕蟲鋸——此ハ第二十八圖ノ如キ網ノ鋸ニシテ花上ノ蜂、蠅等ヲ捕獲スルニ用ユ、蜂ノ如キハ鋸ミナガラ針ニ刺シ之レヲ箱ニ移スベシ、框ハ鐵製ニシテ銹生ヲ防グ爲メ革ヲ以テ被ヒアリ、

第一編 昆蟲ノ採集

網ハ絹糸若クハ真鍮ニシテ、手ニハ革ヲ張り開閉ニ便ナラシム、圖ニ示セルモノハ坊間ニ販賣セルモノナリ、

第二十九圖 誘燈器

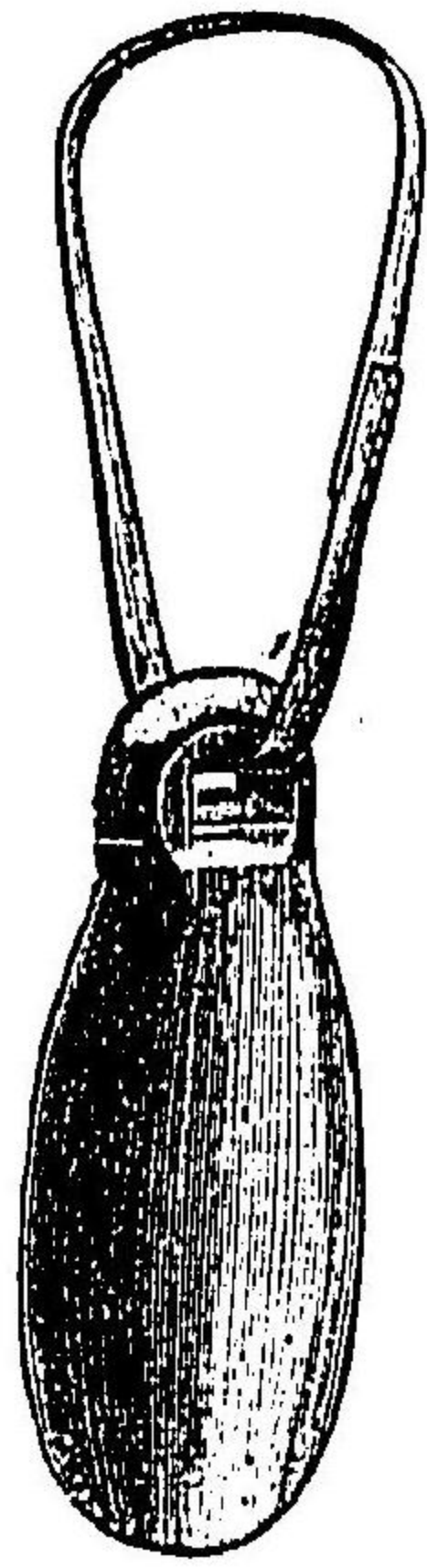


入スベシ、此ハ長サ一寸二分、幅九寸、高サ六寸位ヲ手頃トス、

二、誘燈器 (Photolektor) — 此ハ第二十九圖ノ如キ三角形ノ箱ニシテ其尖角ノ一端ニ洋燈ヲ點ズルノ構造ヲ有セリ、篩ニテ濾下シタル昆蟲ト塵芥トヲ此内ニ容ル、トキハ撰擇セザルモ自然ト燈火ニ集マルベシ、而シテ此集マル處ニハ豫メ孔ヲ穿テ置キ之レニ空嚔ヲ受ケ置クベシ、然ラバ總テノ昆蟲ハ此内ニ陥

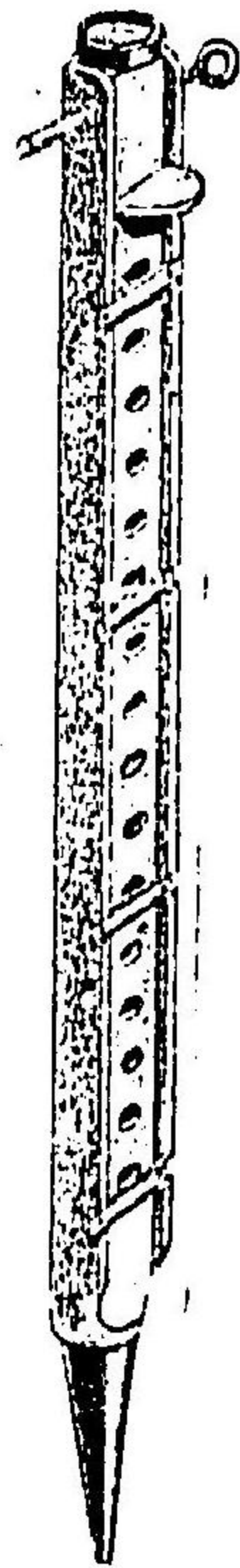
第一編 昆蟲ノ採集

第三十一圖 打棍



ツトキハ鞘翅目ニ屬スル昆蟲ハ多ク脚ヲ收縮シテ地上ニ落ツベシ、其時地上ニ白布ヲ敷キ之レニ落ツルモノヲ摘集スベシ、晝間ハ

第三十圖 蟻塚採集器



ヲ手頃トス、之レニハ十五六個ノ小室ヲ有シ上ニハ卵形ノ小孔

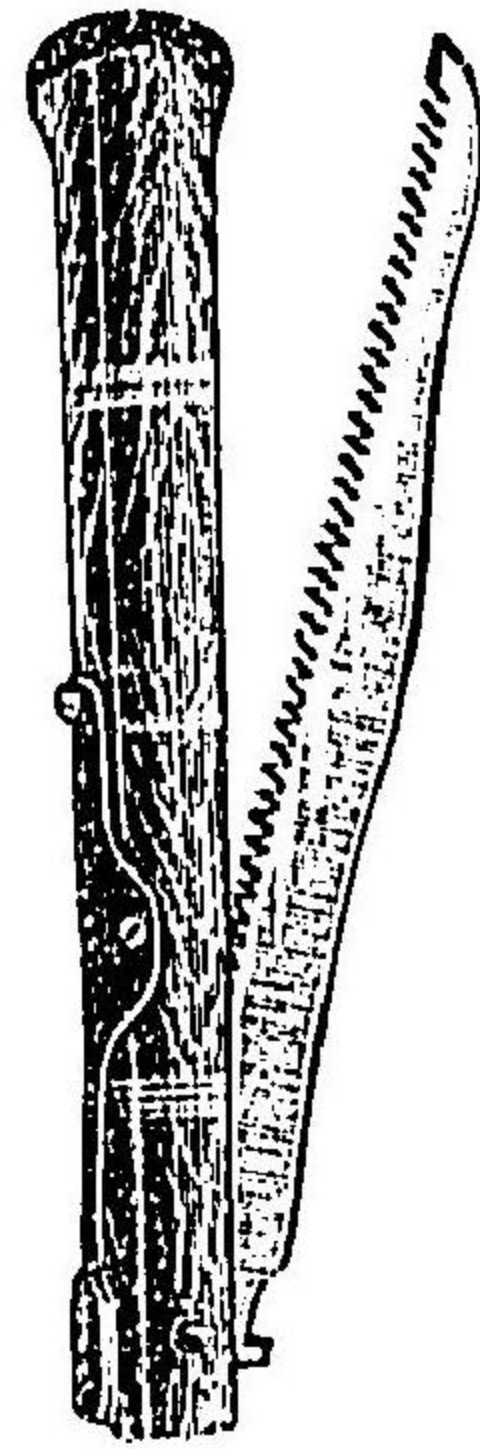
三、蟻塚採集器 — 此ハ殊ニ蟻塚ニ栖息スル昆蟲ヲ採集スルニ用ユルモノニシテ第三十圖ノ如キ構造ヲ有セリ、此ハ木製ニシテ長サ一尺八寸、幅一寸三分、高サ一寸位ヲ穿テ置キ、之レヨリ昆蟲ノ内部ニ入ルノ構造ヲ有ス、此孔ハ押引ニヨリテ開閉自在ナリ、之レヲ蟻塚ニ挿入シ置ケバ蟻ハ此小室ニ入りテ巢ヲ造リ同時ニ其棲者モ亦此内ニアルヲ以テ適宜ノ時之レヲ塞シ歸宅後搜索スベシ、此ハ蟻ノ巢ヲ攪拌セズシテ其共棲者ヲ捕獲スル簡便器ナリ、

四、打棍 — 此ハ第三十一圖ニ示セルガ如キ鐵製ノ球桿ニシテ之レヲ以テ樹幹ヲ打

第一編 昆蟲ノ採集

飛去スルモノアレバ早朝露ノ未ダ乾カザル前ニ行フヲ宜シトス、木ハ手ニテ動搖シ得ベシト雖ドモ急劇ノ振動ヲ與フルコト能ハザルヲ以テ落ツルモノ少ナシ、  
五、袖用鋸—(第三十二圖)普通ノ洋刀ニテ切ル能ハザル大木ニ蝨入セル硝子蛾若クハ木蠹蛾ノ幼蟲ヲ採集スルニ必要ナルモノニシテ又同時ニ加害ノ

第三十二圖 袖用鋸



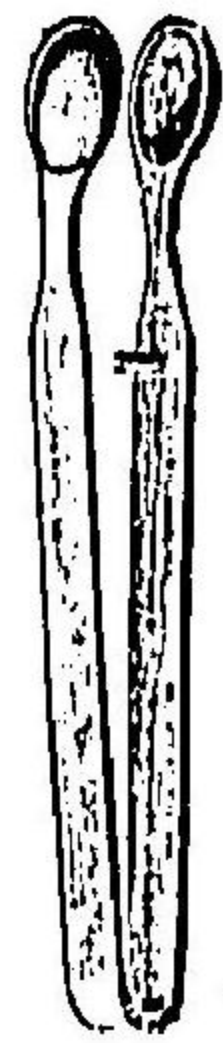
状況及ビ被害ノ標本木ヲ蒐集スルニ用ユ、大ナルモノハ携帶ニ不便ナルヲ以テ折リテ袖袖ニ藏スルノ構造タラシムベシ、

第三十三圖 鋸子



六、鋸子—此ニハ種類多シト雖ドモ採集用ニ用ユルモノハ第三十三圖ノ如キ普通ノモノト、第三十四圖ノ如キ匙形鋸子ノ二種ナリトス、後者ニアリテハ殊ニ馬糞

第三十四圖 匙形鋸子



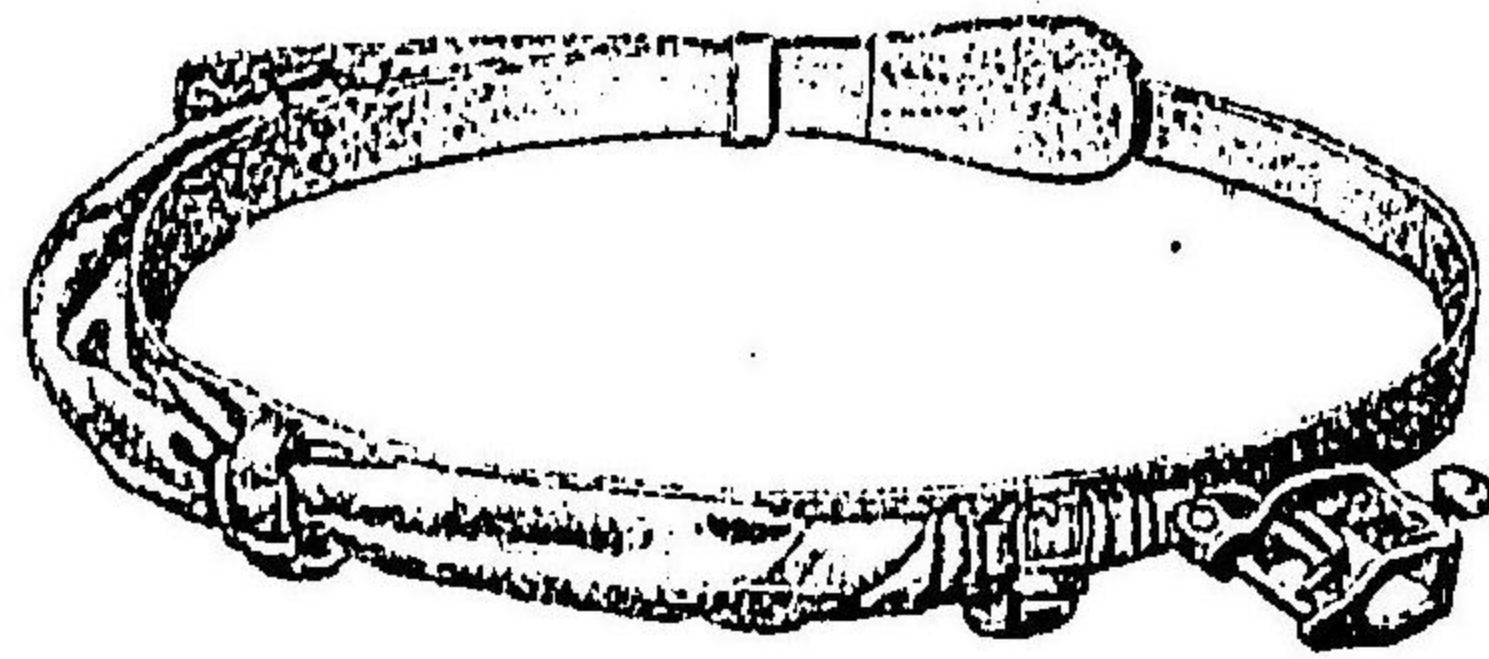
其他屍骨内ニアル昆蟲ヲ捕獲スルニ用ユ、

七、網付帶—此ハ第三十五圖ノ如キ革帶ニシテ之レニ折網ヲ纏ヒ置クニ用ユ、

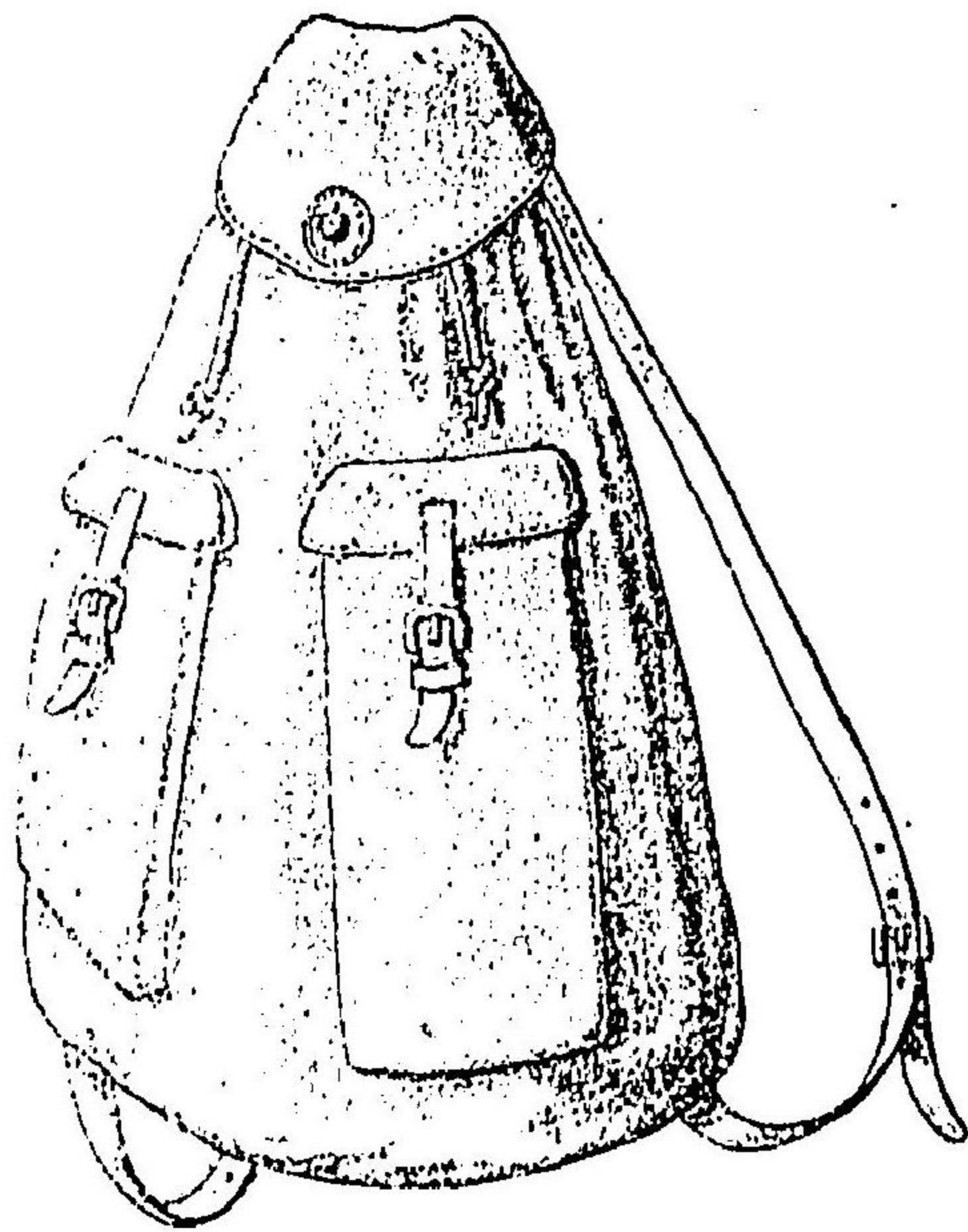
第一編 昆蟲ノ採集

八、採集袋—此ハ第三十六圖ノ如キモノニシテ採集袍ト同様ノ効能ヲ有スルモノナレドモ背上ニ負フヲ以テ一利一害アリ、普通ハづつ々製ナリ、  
九、鐵條刷毛—此ハ樹幹ノ皮ヲ剝ギテ幼蟲ヲ搜索スルニ用ユ、殊ニ硝子蛾ノ幼蟲ノ

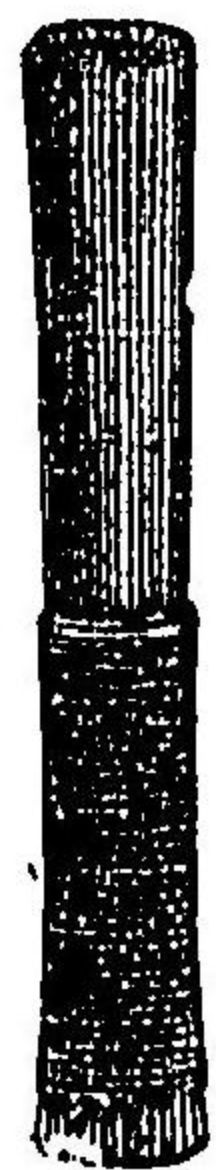
第三十三圖 網付帶



第三十六圖 採集袋



第三十七圖 鐵條刷毛



第一編 昆蟲ノ採集

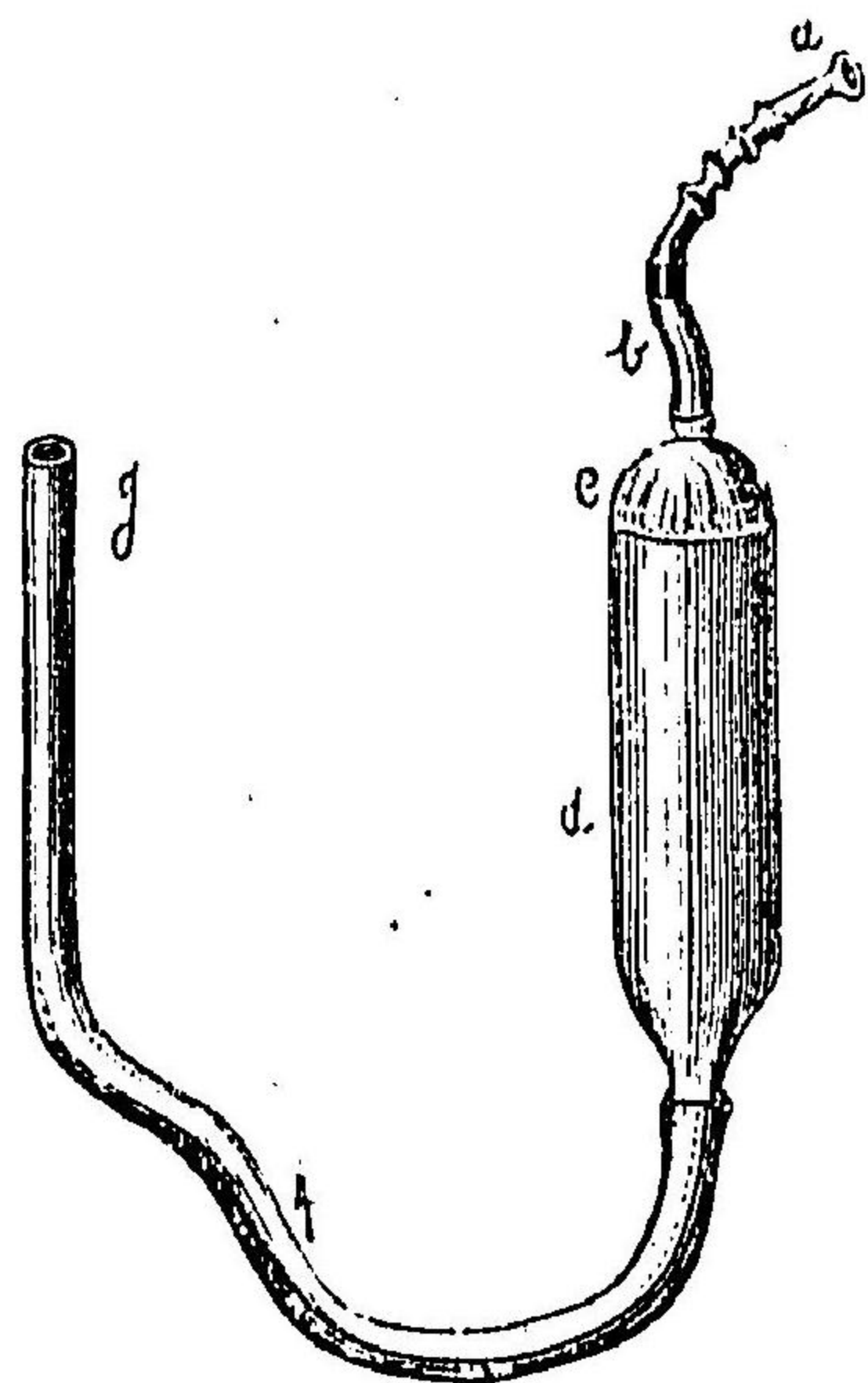
居處ヲ知ルニ最モ便ナリ、第三十七圖ニ示セルモノハ坊間ニ販賣スルモノニシテ鋼鐵ノ條ヲ一束トナシ針金ニテ絞リタルモノナリ、長サ五寸位ガ手頃ナリ、

第三十八圖 採集用鐵把



十、採集用鐵把——此ハ前種ノ如ク同ジク幼蟲ヲ搜索スルニ用ユ、早春若クハ晚秋其越年シ若クハ越年セントスル幼蟲ノ落葉又ハ枯草間ニアルモノヲ撥キテ採集スルニ用ユ、第三十八圖ニ示セルモノハ坊間ニ販賣セルモノニシテ長サ七寸五分アリ、  
十一、煙烟器——此ハ第三十九圖ニ示スガ如ク(d)ハふりき製ニシテ(c)ハ被蓋之レニ(a)及ビ(b)ノ護謨管ヲ附シ(d)ノ内ニハ煙草ヲ入レ必要ニ臨ミ之レニ點火シ(a)ヨリ吹クトキハ煙ハ(g)ヨリ出ヅル構造タラシム、此ハ小孔空隙其他捕獲シ能ハザル所ニ栖息スル昆蟲ヲ捕フルニ利用セラル、尤モ此ハ提帶ニ不

第三十九圖



- (a) 吹口
- (b) (f) 護謨管
- (d) 煙草ヲ入レル處
- (c) 被蓋
- (g) 烟ノ出口

便ナルヲ以テ此代ニ普通ノ煙管ヲ用ヒ、其雁頸ヲ吹キテ煙ヲ送ルモ猶効ヲ奏スルコトヲ得ベシ、

第二章 採集用食物

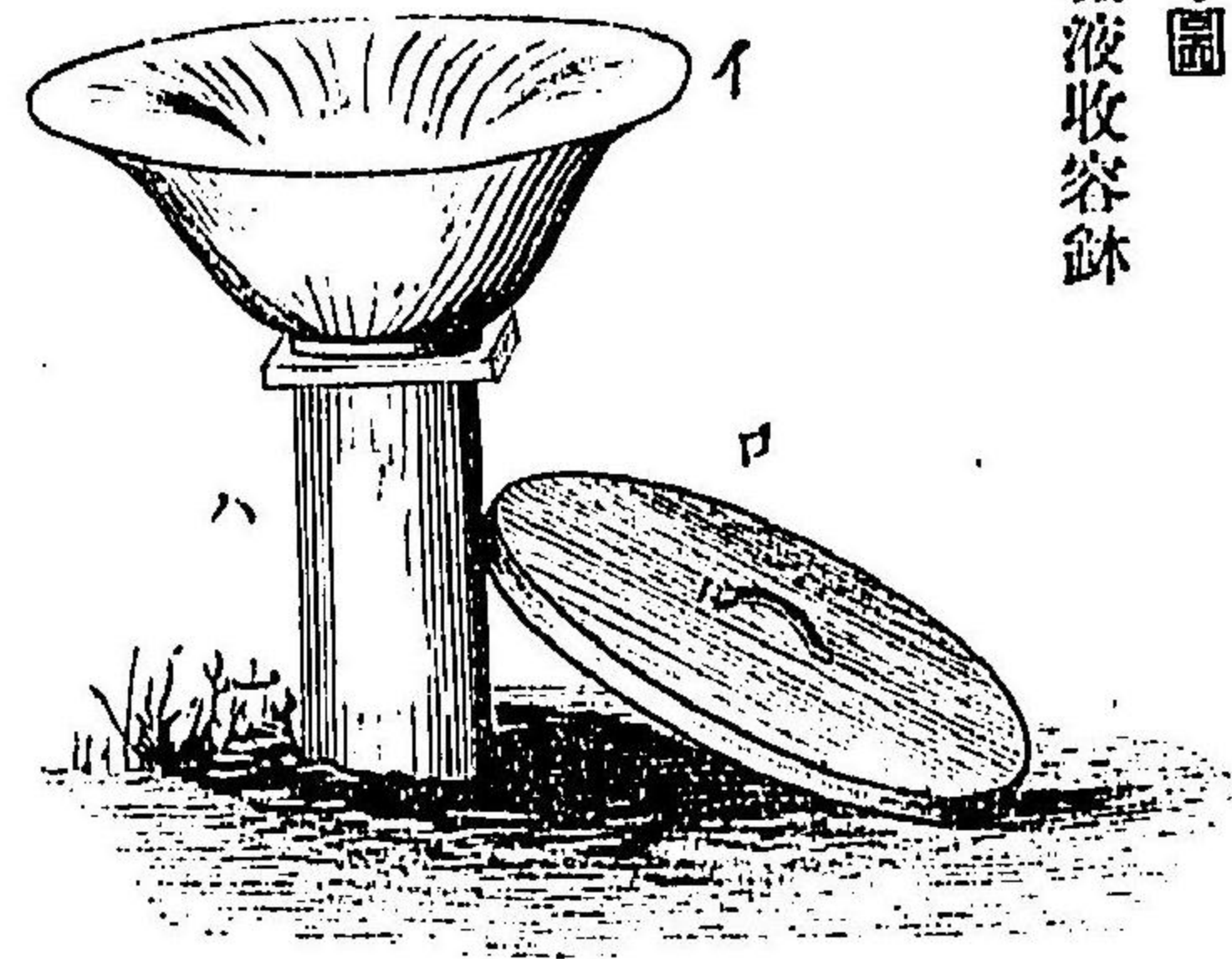
第一節 糖液

此ハ黑砂糖一斤ニ五勺ノ湯ヲ混シテ溶解シ、後二合ノ粗酒ト少量ノ酢ヲ混加シタルモノナリ、平時ハ瓶ニ貯ヘ置キ必要ニ臨ミ黄昏之レヲ木ニ塗ルナリ、又徑七八寸位ノ鉢ニ深サ一寸位容レ七寸位ノ臺ヲ造リテ其上ニ置キ晝間ハ蓋ヲ掩ヒ夜間ノ

第一編 昆蟲ノ採集

第一編 昆蟲ノ採集

第四十圖 糖液收容鉢



(ハ)(ロ)(イ) 鉢 蓋 鉢 粘

ミ蓋ヲ採リ置クベシ、之レヲ誘蛾燈ト兼行スルトキハ一層ノ効能アリ、又之レヲ平打紐ニ浸漬シ林間ノ樹ニ張り置クトキハ蛾ハ之レニ集マ<sup>ル</sup>ベシ、晝間ハ蚊、蛇目蝶其他甲蟲類ヲ誘引シ得ベシ、又水邊ノ砂地ニ該液ヲ滴下シ置ケバ種々ノ昆蟲ヲ招致シ得ベシ、

第二節 花

蝶蛾ヲ招致スルノ目的ヲ以テ特別花壇ヲ仕立ツルモノナルガ其種類ハ重ニ白粉花<sup>ナレロ</sup>、月見草、百合、桔梗、朝顔、菫花、ふろ<sup>くす</sup>、どらのを、けし、なでしこ、こすもす、るびぬす、かやいも、いけま、此外薔薇科、唇形科、玄參科、芸香科、繖形科、十字科植物等ナリトス、野外ニアリテハくさぎ、さるすべり、みづき、いばた、つげ、にはとこ等ハ大ニ昆蟲ノ集來スルモノナレバ注意スベシ、兎ニ角

第一編 昆蟲ノ採集

花ノ多キ地方ニ採集セバ獲物モ從テ多シ、殊ニ熱帶地方ニアリテハ蝶ノ集來夥シク一樹ノ下ニアリテ數百ノ標本ヲ得ルコト難シトセズ、臺灣ニテ最モ多クノ蝶ヲ宿ス花ハさるすべりナリ、

第三節 動物性食物

此ハ重ニ動物ノ屍骨、糞尿ヲ云フモノニシテ埋葬蟲科、腐屍蟲科、隱翅蟲科、出昆蟲科其他金龜子科ニ屬スル昆蟲ヲ誘引スルニ用ユ、最モ利用セラル、モノハ鼠ノ屍ナリ、之レヲ空俵ノ下ニ置キ草間其他林間ノ適宜ノ處ニ放置スルニアリ、然ラバ前種ノ昆蟲ハ其臭氣ヲ慕ヒ集來スベシ、其他魚、鳥、蛇及ビ昆蟲ノ屍骸ハ何レモ昆蟲ヲ誘引スルノ効アリ、又馬糞、牛糞、其他人糞ニモ種々ノ昆蟲集マリ來ルヲ以テ此等ヲ利用スベシ、何レモ類其他被蓋ノ下ニ置クベシ、然ラザレバ鳥、齋、鷹等ニ採リ攫ハル、コトアリ、

第四節 植物性食物

此ニ利用セラル、モノハ牧草、苜蓿<sup>ツツジ</sup>、油粕、胡蘿蔔、蕪菁、馬鈴薯等ニシテ此等ヲ截斷シ若クハ纏メテ草間又ハ田圃間ニ放置シ其上ヨリ莢、板等ヲ以テ掩ヒ置キ時々巡視



シテ之レニ集マル昆蟲ヲ採集スルニアリ、之レニ誘引セラル、昆蟲ハ重ニ叩頭蟲  
其他夜蛾科ノ幼蟲即チ根切蟲、夜盜蟲等ニシテ又步行蟲モ他蟲ヲ食ハントシテ之  
レニ集マルベシ、

森林ノ昆蟲殊ニ天牛、鍬形蟲、吉丁蟲、郭公蟲其他小蠹蟲ヲ採集セント欲セバ松、杉、樅  
其他松柏科ノ植物ヲ切り倒シ置クニアリ、然ラバ數日ノ後前述ノ昆蟲集來スベシ  
又生松ノ小枝ヲ束テ若クハ其皮ヲ剝キテ併べ或ハ長ク四五尺、周圍一二尺位ニ其  
幹ヲ切り少シク斜ニ一尺三四寸丈地中ニ埋メ眞ノ立木ノ隙クナシ置ク等此等ハ  
何レモ有効ナリ、之レヲ行フニハ四月ヨリ六月迄ヲ好時季トス、

### 第三章 採集各論

#### 第一節 彈尾目 *Physanura*

此目ニ屬スル昆蟲ハ乾燥後總テ縮小シ大ニ其形ヲ變ズルヲ以テ可成酒精ニ浸漬  
スベシ、

一、衣魚科 *Leptisyllax* | 此ハ室内殊ニ古書若クハ衣服ヲ收容セル物置等ニ普通ナルモノニシ

テ好テらんぶニ集來スルノ性アリ、夜間白紙ヲ燈下ニ敷キ置ケバ之レニ集マル  
ヲ以テ毒瓶ニテ掩ヒ其死スルヲ待チ針ニテ刺スベシ、又かなだばるさむニテ貼  
附スルモ可ナリ、何レニセヨ鱗片及ビ尾毛ノ取レ易キモノナレバ注意スベシ、乾  
燥標本トナスニ差支ナケレドモ小腮蝦及ビ下唇蝦ノ縮小スル憂アルヲ以テ研  
究用ニハ浸漬劑ニ投ズベシ、

二、石跳蟲科 *Archilidae* | 此ハ普通藓苔ヲ有セル岩石若クハ倒木上ニ栖息シ跳躍甚ダ敏捷ナ  
ルヲ以テ捕獲困難ナリ、之レヲ捕フルニハ毒管ヲ以テ之レヲ掩ヒ其死セルヲ待  
チ針ニ刺シ箱ニ移スベシ、浸漬劑ニ投ジ得可シト雖ドモ他ノ昆蟲ト同管ニ入ル  
ルベカラズ、注意セザレバ鱗片ノ剝離シテ其斑紋ヲ留メザルニ至ルベシ、

三、長跳蟲科 *Campodeidae* | 此ハ朽木若クハ石下ニ普通ナルモノニシテ初メハ白色ノ蜈蚣ト見  
紛フノミナラズ其形甚ダ小ナルヲ以テ注意セザレバ採集ナシ難シ、此ハ乾燥後  
収縮スルヲ以テ常ニ酒精漬トナスベシ、此尾毛ハ至テ取レ易キモノナレバ必ズ  
小管ニ別々ニ入レ置クベシ、又第四十八圖ノ如キ貼附硝子ニ容レかなだばるさ  
むニテ覆ヒ置クモ可ナリ、

第一編 昆蟲ノ採集

四、擬跳蟲科—此ハ石下、朽木下、塵芥其他朽葉下ニ普通ナルモノニシテ又土中ノ朽

木若クハ植木鉢ニモ稀ナラズ、其性至テ遲鈍ナレバ捕獲容易ナリ、但ダ其形ノ小

ニシテ軟弱ナル爲メ注意セザレバ完全ノ標本ヲ得ルコト難シ、之レヲ捕フルニ

ハ罎子ノ小ナルモノニテ缺ミ酒精管ニ移スベシ、

五、跳蟲科—此ハ溜水ノ上、朽葉下、落下セル松毬等ニ栖息セルモノニシテ其形微小

ナルヲ以テ注意セザレバ捕獲シ難シ、之レヲ捕フルニ當リ水上ノモノハ葉ニテ

掬ヒ葉トモ酒精管ニ收容スベク、朽葉下等ニ住スルモノハ指先ニテ押ヘ半死ニ

ナリタルモノヲ罎子ヲ以テ酒精管ニ移スベシ、

六、長角跳蟲科—此ハ石、朽木、塵芥、樹皮其他朽葉下ニ栖息ス、捕獲法ハ同前ナリ、

七、圓跳蟲科—此ハ葉上若クハ草間ニ栖息スルモノナレバ掬網ヲ以テ之レヲ捕ヘ

毒管ニ入レテ殺シ後酒精其他ノ浸漬劑ニ投ズベシ、

第二節 蜉蝣目 Ephemera

一、蜉蝣科—此ハ黄昏小川ノ上ヲ昇降スルヲ以テ掬網ヲ以テ捕獲スルコト容易ナ

リ、之レヲ殺スニハ指ヲ以テ翅下ヲ壓スベシ、過テ腹部ヲ壓スルトキハ氣胞ヲ破

リ腹部ノ原形ヲ留メザルニ至ル注意スベシ、又微小ナル蜉蝣ヲ殺スニハ毒管ニ投ズベシ、可成手ニ觸レザルヲ可トス、又小川附近ノ柵若クハ橋柱ニ棲止スルモノアルヲ以テ注意スベシ、

掬網若クハ叩網ヲ以テ繁茂セル樹葉ヲ輕ク掬ヒ貴重ナル標本ヲ得ルコトアリ、尤

モ此場合ニハ恰モ水中ニテ魚ヲ掬フ如ク葉ヲ動カシナガラ掬フベシ、

研究用ニ供セント欲セバ酒精漬トナシ、標本用ハ針ニテ胸背ヲ刺シ其儘貯藏ノ出

來ル様ナスベシ、此ハ乾燥シ易キヲ以テ横刺シ置ケバ歸宅後針ノ貫ケザルコトア

リ、注意スベシ、

第三節 蜻蛉目 Odonata

一、蜻蛉科—此ハ飛翔甚ダ迅速ナルヲ以テ可成風切ノ如キ掬網ヲ用ユベシ、尤モ之

レニ澁ヲ引クトキハ一層風切好クナルベシ、又黄昏高ク飛翔スルモノニハ釣竿

ニ鳥黏ヲ附シ之レヲ振りテ附着セシムベシ、鳥黏ハ酒精若クハ揮撥油ニテ洗淨

セバ容易ニ剝離スベシ、雌ヲ糸ニ附シ雄ヲ誘引スル場合ハ重ニぎんやんまニ行

ハルベシト雖ドモ又をにやんまニモ有効ナリ、此等ハ何レモ靜止スルコト稀ニ

第一編 昆蟲ノ採集

シテ常ニ一定ノ範圍ヲ徘徊ス、假令靜止スルコトアルモ網ヲ以テ近接セバ直チニ飛去スルヲ以テ捕獲困難ナリ、兎ニ角池沼ノ周圍ハ最モ採集ニ適セリ、捕獲後ハ指ニテ胸測ヲ壓シテ殺シ後箱ニ横列スベシ、

二、蜻蛉科 Libellulidae | 此はてふごんぼ若クハのしめごんぼノ如ク一定ノ場所ニ飛翔シ居レドモ多クハ竿上ニ靜止シ獲物之レニ近ケバ直チニ疾飛シテ之レヲ追ヒ又歸リテ同竿上ニ靜止ス、故ニ其捕獲ハ蜻蛉ノ如ク困難ナラズ、然レド若シ一度網ヲ以テ捕へ過マレバ飛去シテ容易ニ歸來セズ注意スベシ、水際ニ靜止セルモノヲ捕フルニハ鳥黏ヲ便トス、水田、池沼ニ普通ナリ、

三、豆娘科 Tramestidae | 此ハ小川ニ普通ナルモノニシテ山間ニ棲息スルモノト平原ニ住スルモノトハ大ニ其種類ヲ異ニセリ、又竿上、倒枝等ニ棲止シ容易ニ飛去セザルモノアリ注意スベシ、兎ニ角此ニ屬スル種類ハ飛翔遲緩ナルヲ以テ捕獲容易ナリ、

第四節 楮翅目 Plecoptera

一、楮翅蟲科 Plecoptera | 此ハ河畔、草間ニ普通ナリ故ニ叩網ヲ以テ之レヲ掬フトキハ其捕獲容易ナリ、山間ト平原ト河流ニ棲息スルモノハ大ニ其種類ヲ異ニセルヲ以テ注

意スベシ、蜻蛉目同様ニ研究用ニハ酒精漬トナシ、標本用ニハ胸背ヲ刺シ其儘標本トナル様ニ箱ニ刺シ歸ルベシ、網ニ入りタルモノヲ殺スニハ毒管ヲ用ユベシト雖ドモ亦指ニテ壓シ殺スモ差支ナシ、札幌地方ニハ此科ニ屬スルモノニシテ早春雪上ニ飛翔スルモノアリ、幼蟲ハ流川ニ棲息ス、

第五節 白蟻目 Isoptera

一、白蟻科 Formicidae | 幼蟲及ビ職蟻ハ何レノ時季ニモ認メ得ベシト雖ドモ、有翅ノモノハ本邦ニテハ年一回ノ發生ナルヲ以テ注意セザレバ捕獲困難ナリ、五月頃黃昏殊ニ空中ヲ飛翔シ又夜間洋燈ニ飛來スルヲ以テ注意スベシ、幼蟲及ビ職蟻ヲ捕フルニハ石、倒木等ヲ轉起スベシ、翅ハ剝離シ易キヲ以テ可成翅ニ觸レザル様ナスベシ、網ニ入りタルモノハ毒管ニ投ジ他ノ昆蟲ト混入スベカラズ、

第六節 嘴蟲目 Corrodentia

一、茶挂蟲科 Psocidae | 無翅ノモノハ多ク幼蟲ナルヲ以テ有翅ノモノヲ採集スベシ、普通何レノ樹木ニモ獨特ノ茶挂蟲ヲ寓スルヲ以テ注意スベシ、掬網ヲ以テ葉ヲ掬ヒ捕フルモノナレドモ、樹幹ノ蘚苔ヲ食スルモノハ硝子管ヲ以テ掩ヒ捕フルカ若ク

第一編 昆蟲ノ採集

ハ匙形鋸子ニテ缺ミ捕へ後毒管ニ移スベシ、乾燥セバ腹部收縮シテ大ニ其形ヲ損スルモノナレバ研究用ニハ一部酒精漬トナスベシ、

第七節 食毛目 Mallophaga

一、羽蟲科  
二、長羽蟲科

此ハ何レモ鳥及ビ哺乳動物ニ寄生セル種類ニシテ何レノ鳥及ビ哺乳動物ニモ固有ノ種類ヲ寓セルガ故ニ其採集困難ナリ、何レノ動物ニセヨ死後二三時間ノ後ニ至レバ食毛蟲ハ毛ノ上ニ這ヒ來ルヲ以テ注意スベシ、又博物館ニ依頼シテ其蒐集ヲ計ルベシ、生ケル家禽若クハ家畜ノ食毛蟲ヲ採集セント欲セバ第三十九圖ニ示スガ如キ薰烟器ヲ以テ毛間ニ烟ヲ送ルトキハ食毛蟲ハ毛上ニ這ヒ來ルベシ、此時鋸子ヲ以テ酒精管ニ投ズベシ、

第八節 蠅翅目 Euplexoptera

一、蠅翅科

此ハ晝間ハ多少塵芥、倒木、石下等ニ潜伏スルモノナレバ此等ヲ撥キ若クハ轉倒シテ採集スベシ、又冬季若クハ早春樹皮ヲ剝ギテ之レヲ搜索スベシ、夏時食物ヲ求メテ梢上ニアルモノニハ叩網ヲ用ユベシ、又早春温暖ノ候ニハ空中ヲ飛翔スルモノアレバ注意スベシ、家蠅ヲ飼育スル場合

ニ室内ニ入り來リテ蠅兒ヲ食ヒ大害ヲ興フルコトアリ、又昆蟲標本ノ充分ニ乾燥セザルモノハ用心セザレバ之レガ爲メ食盡セラル、コトアリ、又動物性ノ食物ヲ板若クハ莖ノ如キ蓋下ニ置キ之レニ招致スルコトヲ得ベシ、燈火ニ飛來スルノ性アリ、

第九節 直翅目 Orthoptera

一、蜚蠊科

此ハ動物性ノ食物ニ集マルヲ以テ屍骨ヲ以テ誘引シ得ベシ、家屋内ニアルモノハ蠅擲ヲ以テ打チ殺シ後酒精ニ投ズベシ、野外ニアリテ樹梢ニ棲息スルモノニハ叩網ヲ用ヒ、塵芥下ニアルモノハ之レヲ撥キ其飛ビ出ヅルモノヲ手ニテ捕へ酒精管ニ投ズベシ、又燈火ヲ慕フ性アレバ誘引スベシ、

二、蠅蠊科

此ハ草間若クハ樹梢ニ棲息スルヲ以テ拘網若クハ叩網ヲ用ユベシ、鏢狀ノ捕獲肢ヲ有スルヲ以テ之レヲ捕フル場合ニハ前肢ノ附着部ヲ握ムベシ、ひめかまきりハ甚ダ敏捷ニシテ直チニ飛翔スルガ故注意スベシ、黄昏蚊ヲ食ハントシテ蝙蝠ノ如ク飛翔スルノ性アリ、此場合ニハ拘網ヲ以テ捕獲スベシ、

三、竹節蟲科

之レヲ捕フルニハ採集傘ヲ樹下ニ置キ此等昆蟲ノ住スル樹木ヲ動

第一編 昆蟲ノ採集

第一編 昆蟲ノ採集

搖スベシ、又打棍ヲ用ユルモ可ナリ、然ラバ竹節蟲ハ脚ヲ伸張シテ落ツベシ、東京地方ニアリテハ檜、樺ニ普通ナルガ此場合ニハ叩網ヲ用ユベシ、森林間ヲ通行スルノ際不時ニ落下スルモノニ注意スベシ、時々小枝ト見紛フコトアリ、此ハ何ニセ保護色ノ適例ニナリ居ルモノナレバ眼ニテ發見スルコト難シ、

四、**蝗蟲科** *Auchenorhina* | 此ハ飛翔スルヲ以テ其存在ヲ認ムルコト容易ナリ、草間ニ棲息スルモノニハ叩網ヲ用ヒ、飛翔ノ敏捷ナルモノニハ拘網ヲ用ユ、綠色ナルモノハ退色スルヲ以テ酒精ニ投ズベカラズ、捕獲後ハ指ニテ胸側ヲ壓シ其半殺ニナリタルモノヲ箱ニ横刺スベシ、

五、**蠶斯科** *Lacustris* | 此ハ普通飛翔セザルヲ以テ叩網若クハ拘網ヲ以テ草間ヲ拘ヒ其内ニ入り來ルモノヲ捕フベシ、ざりざりすノ如キ音聲ヲ發スルモノヲ捕ヘント欲セバ先ヅ其居所ヲ見届ケ若シ捕獲困難ナル場合ニハ開地ニ追ヒ出シ後拘網ヲ掩セテ捕獲スベシ、

六、**蠅科** *Cyrtidae* | こほろぎノ如キハ晝間ハ孔中ニ棲息スルヲ以テ之レヲ撥キテ採集スベシ、若シ孔ノ深キ場合ニハ土瓶ニ水ヲ入レ之レニ數滴ノ石油ヲ混シ其孔ニ注

グベシ、然ラバこほろぎハ飛ビ出スベシ、此時網ヲ以テ捕フベシ、又石、倒木、鹿芥下等ニ住スルモノアレバ注意スベシ、尙ありつかこほろぎノ如ク蟻塚ニ棲息スルモノアリ、之レハ蟻塚採集器(第三十圖)ヲ用ユベシト雖ドモ亦直接之レヲ撥キテ捕フルコトヲ得ベシ、此場合ニハ空管ヲ以テ掩ヒ其飛ビ入りタルモノヲ酒精管ニ移スベシ、尤モ充分ニ成長シタルモノハ收縮スルコトナク爲メニ乾燥標本トナシ得ベシト雖ドモ、酒精漬トナス方安然ナリ、けらハ掃溜ヲ撥キテ捕獲スベシ、燈火ニ飛來スルノ性アルヲ以テ之レニ誘引スベシ、

第十節 總翅目(胞脚目) *Physanoptera*

一、**管蓊馬科** *Physothrips*

此ハ何レモ微小ナルヲ以テ採集容易ナラズ、叩網ヲ以テ草間ヲ拘

二、**蓊馬科** *Physothrips*

ヒ之レニ入りタルモノヲ毒管ニ投ズベシ、蓊其他種々ノ花中ニ棲

三、**綺蓊馬科** *Aeolothrips*

息スルモノアリ、此場合ニハ花ヲ採リ之レヲ打チ振りテ掌上ニ落

シ、後毒管若クハ酒精管ニ投ズベシ又樹皮下ニ住スルモノアレバ齧子ニテ捕フベシ、捲葉中ニアルモノハ葉共酒精管ニ投ジテ持チ歸ルベシ、

第十一節 有吻目 *Rhynchofa*

第一編 昆蟲ノ採集

第一編 昆蟲ノ採集

一、*Psocoptera* 科

此ハ哺乳動物ニ寄生スルモノナレバ其捕獲容易ナリ、尤モ人間ニ寄生スル衣蝨、頭蝨及ビ毛蝨ノ如キ其採集ハ割合ニ困難ナリ、故ニ小學教師ニ依頼シテ兒童ニ蒐集セシムベシ、又牛馬、羊豚其他哺乳動物ニ寄生セルモノハ其死シタル都度ニ採集スベシ、

二、*Phthirineae* 科

此ハ植物ニ寄生スルモノナレバ植物採集管ヲ携ヘ行キ之レニ枝ニ移リ居ルモノアレバ注意スベシ、

三、*Coccinellidae* 科

共入レ歸ルベシ、春時ハ枝ニ附着スルモ夏秋ニ至レバ葉及ビ果實ニ移リ居ルモノアレバ注意スベシ、

四、*Aleyrodidae* 科

此ハ若枝若クハ稚葉ヲ侵害スルモノニシテ春夏ハ普通無翅ナルガ、秋季ニ至レバ翅ヲ生ズルヲ以テ兩者ヲ採集シ置クベシ、多數ノ小管ヲ携ヘ行キ一

五、*Acanthosomatidae* 科

種ヅ、別々ノ管ニ投ズベシ、蟲癭ハ箱ニ刺シ置クベシ、又石、倒木下其他蟻塚ニ棲息スルモノアレバ注意スベシ、

六、*Psyllidae* 科

此ハ草間若クハ樹木ニ棲息スルヲ以テ叩網ヲ以テ掬ヒ捕フベシ、幼蟲ハ樹若クハ葉ニ平タク附着スルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ、尤モ蟻ノ存在ニヨリテ其有無ヲ知り得ベシ、又前種同様ニ植物根ニ棲息スルモノアレバ石若クハ倒木ヲ起シテ搜索スベシ、

七、*Psocoptera* 科

此ハ殆ンド總テノ植物ニ棲息スルモノナルガ草間ニ住スルモノト樹間ニ寓スルモノトハ大ニ其趣キヲ異ニセリ、故ニ可成異ナルタル植物ニ注意シテ採集スベシ、之レヲ捕フルニハ叩網ヲ用ユ、

八、*Psocoptera* 科

此ハ雄ニ限リ發音器ヲ有スルヲ以テ其存在ヲ認ムル容易ナリ、然レド其居所ハ普通高キヲ以テ繼竿ニ鳥黏ヲ附シ捕獲スベシ、黏ハ酒精ニ洗淨セバ容易ニ剝離スベシ、夜間提燈ヲ携エテ蟬ノ靜止スル樹下ニ至リ打棍(第三十一圖)ヲ以テ樹ヲ振動セバ、地上ニ落下スベシ、又蟬ノ笛ヲ遣リ其聲ニ合シテ吹クトキハ蟬ハ樹下ニ降り來ルベシ、雄ノ鳴唧スル處ニハ常ニ雌ノ集マリ居ルモノナレバ注意スベシ、

九、*Cicadellidae* 科

此ハ俗ニ風船蟲ト稱シ常ニ腹部ヲ上方トナシ水上ニ浮游ス、池沼、溝潭ニ普通ナリ、此内微小ナルモノアルヲ以テ注意スベシ、之レヲ捕フルニハ目ノ微小ナル網(西洋蚊帳布ニ澁若クハ卵ノ白味ヲ敷キタルモノヲ可トス)ヲ用ユベ

十、*Cicadellidae* 科

此ハ雄ニ限リ發音器ヲ有スルヲ以テ其存在ヲ認ムル容易ナリ、然レド其居所ハ普通高キヲ以テ繼竿ニ鳥黏ヲ附シ捕獲スベシ、黏ハ酒精ニ洗淨セバ容易ニ剝離スベシ、夜間提燈ヲ携エテ蟬ノ靜止スル樹下ニ至リ打棍(第三十一圖)ヲ以テ樹ヲ振動セバ、地上ニ落下スベシ、又蟬ノ笛ヲ遣リ其聲ニ合シテ吹クトキハ蟬ハ樹下ニ降り來ルベシ、雄ノ鳴唧スル處ニハ常ニ雌ノ集マリ居ルモノナレバ注意スベシ、

十一、*Cicadellidae* 科

此ハ俗ニ風船蟲ト稱シ常ニ腹部ヲ上方トナシ水上ニ浮游ス、池沼、溝潭ニ普通ナリ、此内微小ナルモノアルヲ以テ注意スベシ、之レヲ捕フルニハ目ノ微小ナル網(西洋蚊帳布ニ澁若クハ卵ノ白味ヲ敷キタルモノヲ可トス)ヲ用ユベ

十二、*Cicadellidae* 科

此ハ俗ニ風船蟲ト稱シ常ニ腹部ヲ上方トナシ水上ニ浮游ス、池沼、溝潭ニ普通ナリ、此内微小ナルモノアルヲ以テ注意スベシ、之レヲ捕フルニハ目ノ微小ナル網(西洋蚊帳布ニ澁若クハ卵ノ白味ヲ敷キタルモノヲ可トス)ヲ用ユベ

第一編 昆蟲ノ採集

シ、燈火ヲ慕ヒ來ルノ性アルヲ以テ夜間水邊ニ至リ白布ヲ燈下ニ置キ之レニ誘引スベシ、

十三、**水蟲科** — 此ハ微小ナルノミナラズ、其運動不活潑ナルヲ以テ注意セザレバ

*Planorbis*

發見シ難シ、播州地方ノ小溝ニ普通ナレドモ北海道ニテハ未ダ發見セラレズ、之レヲ捕獲スルニハ細目ノ網ヲ用ユベシ、未ダ燈火ニ來リタルヲ見ズ、本邦産スルモノ三種アリ、

十四、**松藻蟲科** — 此ハ水蟲科ノ如ク腹部ヲ上方トナシ水上ニ浮游ス、其游泳ノ狀恰

*Nauphothoe*

モ船ヲ拵グニ似タルヲ以テばッてらむしトモ云フ、本邦産スルモノ六種アリ、其内三種ハ臺灣ニ産ス、燈火ニ飛來スルコトアレドモ稀ナリ、

十五、**紅娘華科** — 此ハ運動遲緩ナルヲ以テ捕獲容易ナリ、然レド其泥色ヲ呈セル

*Reduncus*

十六、**田髓科** — 爲メ注意セザレバ他物ト見紛フコトアリ、殊ニみづかまきりノ如キハ枯枝ニ似タリ、好デ燈火ニ飛來ス、

*Hydrophilus*

十七、**金判蟲科** — 此ハ播州地方ヨリ九州ニ亘リ棲息スレドモ餘リ多カラズ、池沼ノ松藻間ニ住ス、其性遲鈍ナルヲ以テ捕獲容易ナリ、燈火ニ飛來ス、

*Chironomus*

十八、**鍋蓋蟲科** — 此ハ普通清水ニ住シ河床ノ小石間ニ棲息スレドモ稀ナリ、此ニハ

*Ampelisca*

短翅ト長翅トノ二形アリ、本邦産スルモノ三種アリ、

十九、**眼水蟲科** — 此ハ河畔若クハ湖沼ノ水邊ニ飛行スルモノナルガ甚ダ活潑ニシ

*Polyphemus*

テ捕獲シ難シ、其性班蝥科ニ類シ人之レニ近クバ飛ビ去リテ又靜止ス、幼蟲ハ松藻間ニ游泳シ時ニ又水邊ノ土上ヲ匍匐ス、水アル河畔ニテハ蠅擲様ノモノヲ以テ輕ク打チ殺スベシ、尤モ水ノナキ小石間ニアリテハ小形ノ網ヲ以テ掬ヒ捕フベシ、

二十、**盲椿象科** — 普通樹草間ニ棲息スルヲ以テ叩網ヲ以テ掬ヒ捕フベシ、其性軟弱

*Cixidia*

ナルヲ以テ注意セザレバ觸角ヲ損シ同時ニ壓迫セラレテ其形ヲ變ズルコトアリ、注意スベシ、

二十一、**床蝨科** — 本邦ニ産スルモノ二種アリ、一ハ室内ニアリテ人血ヲ吸収シ、他ハ

*Cimex*

燕ノ巢ニアリテ其血液ヲ食トナス、前者ハ開港場若クハ船室ニ普通ナリ、之レヲ捕獲スルニハ潜所ヲ造リテ誘引スベシ、室内ニテハ額其他懸圖ノ如キモノヲ壁ニ懸ケ晝間其下ニ潜伏スルモノヲ搜索スベシ、若シ夜間製蝨セラレタル場合ニ

第一編 昆蟲ノ採集

ハ直チニ點火シテ搜索スベシ、步行餘リ敏捷ナラザルヲ以テ遠ク其近邊ヲ去ラズ、

二十二、水椿象科ミヅツグメムシ科 Saldidae | 此ハ眼水蟲ニ酷似セル種類ニシテ其性モ亦之レニ酷似シ、潭水若クハ溝ノ周圍ニ飛行ス、

二十三、食蟲椿象科 | 此ハ普通樹草間ニ棲息スルヲ以テ叩網ヲ以テ掬ヒ捕フベシ又すなはしがめノ如ク石若クハ倒木ノ下ニ住スルモノアリ、

二十四、水黽科アメンボ科 Gerridae | 此ハ普通水上ヲ疾行スルモノナルガ、又水邊ノ藻草間ヲ遍行スルモノアリ、前者ハ水網ヲ以テ掬ヒ後者ハ手ニテ捕獲スベシ、尤モ水網ヲ以テ叩網ヲ用ユルガ如ク水邊ノ草間ヲ叩キ掬フトキハ一層ノ効アリ、

二十五、扁椿象科ヒラカメムシ科 Acanthidae | 此ハ夏日薪木ニ集マリ來ルモノ多キヲ以テ注意スベシ、晚秋若クハ早春朽木ノ皮下ニ潜伏スルヲ以テ搜索スベシ、

二十六、軍配蟲科シシバイムシ科 Helicidae | 此ハ種々ノ樹草間ニ棲息スルモノナレバ叩網ヲ以テ掬ヒ捕フベシ、此内梨ニ大害ヲ加フルモノアリ、

二十七、長椿象科ナカカメムシ科 Lygaeidae | 此ハ普通花ニ多キ種類ニシテ時ニ又倒木若クハ石下ニ棲息スルモノアリ、

二十八、絲椿象科イトカメムシ科 Derividae | 此ハ細長ノ種類ニシテ殊ニ其觸角及ビ脚ハ糸ノ如ク細キヲ以テ此ノ名アリ、樹草間ニ棲息スルヲ以テ叩網ヲ以テ搜索スベシ、

二十九、綠椿象科ヘリカメムシ科 Coreidae | 此ハ普通花ニ多キ種類ナルガ又稚芽ノ液汁ヲ吸收シテ農作物ニ大害ヲ加フルモノアリ、叩網若クハ受網ヲ以テ捕獲スベシ、

三十、椿象科カメムシ科 Pentatomidae | 物ニ大害ヲ加フルモノアリ、叩網若クハ受網ヲ以テ捕獲スベシ、

三十一、蛇蜻蛉科ヘビトンボ科 Libellulidae | 此ハ河畔ノ樹草間ニ靜止スルノ種類ニシテ、幼蟲ハ流水ニ住ス、其形大ナルヲ以テ發見スルコト容易ナリ、叩網ニテ採集スルヲ便トス、

三十二、蜻蛉科トンボ科 Zygoptera | 此ハ本邦僅ニ一種ヲ産シ東京地方ニアリテハ襟ニ棲息スレドモ稀ナリ、叩網ヲ以テ搜索スベシ、

三十三、擬蜻蛉科カマキリモドキ科 Libellulidae | 此モ亦稀ナル種類ニシテ雜草間ニ棲息スレバ叩網ニテ搜索スベシ、東京地方ニテハ襟林ノ雜草間ニ發見シ得ベシ、甚ダ活潑ナルヲ以テ網ニ入ルモ亦飛ビ去ルノ憂アリ、

第一編 昆蟲ノ採集

第十二節 脈翅目 Neuroptera

一、蛇蜻蛉科 | 此ハ河畔ノ樹草間ニ靜止スルノ種類ニシテ、幼蟲ハ流水ニ住ス、其形大ナルヲ以テ發見スルコト容易ナリ、叩網ニテ採集スルヲ便トス、

二、蜻蛉科 | 此ハ本邦僅ニ一種ヲ産シ東京地方ニアリテハ襟ニ棲息スレドモ稀ナリ、叩網ヲ以テ搜索スベシ、

三、擬蜻蛉科 | 此モ亦稀ナル種類ニシテ雜草間ニ棲息スレバ叩網ニテ搜索スベシ、東京地方ニテハ襟林ノ雜草間ニ發見シ得ベシ、甚ダ活潑ナルヲ以テ網ニ入ルモ亦飛ビ去ルノ憂アリ、



第一編 昆蟲ノ採集

- 四、草蜻蛉科 *Cyberidae*
- 五、姬蜻蛉科 *Hemiphysidae*
- 六、廣翅蜻蛉科 *Osmiidae*

此ハ樹草間ヲ叩キ搜索スベシ、其性遲鈍ナルヲ以テ捕獲容易ナリ、幼蟲ハ普通塵芥ヲ被リ居ルヲ以テ發見シ難シ、燈火ニ飛來スルノ性アリ、

- 七、粉蜻蛉科 *Camptoceridae*
- 八、長角蜻蛉科 *Ascalaphidae*

此ハ微小ナルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ、樹草間ヲ叩網ニテ搜索スベシ、常ニ白粉ヲ被ルヲ以テ識別シ易シ、  
此ハ黄昏蜻蛉同様ニ空中ヲ飛翔シ蚊ヲ捕食スルノ性アリ、此時掬網ヲ以テ捕獲スベシ、又樹草ヲ注意シ葉上ニ靜止セルモノヲ捕ヘ、又網柄ニテ叩キ其飛出スモノヲ捕フベシ、幼蟲ハ砂中ニ漏斗狀ノ穴ヲ穿テ其底ニアリテ他蟲ノ陷落ヲ待チ伏セ捕食ス、

- 九、蚊蜻蛉科 *Zemlecanidae*

此ハ翅大ナルノミナラズ其運行遲緩ナルヲ以テ發見シ易シ、幼蟲ハ前種同様砂中ニアリ、

第十三節 蠍蟲目 Mecoptera

- 一、翠尾蠍蟲科 *Panorpidae*

此ハ樹草間ニアルヲ以テ叩網ニテ搜索スベシ、又網柄ニテ葉上ニ靜止セルモノヲ叩キ其飛出シタルモノヲ掬網ニテ捕フベシ、幼蟲ハ地中若クハ石

第一編 昆蟲ノ採集

- 一、石蠍科 *Phryganeidae*
- 二、刺石蠍科 *Limoniphidae*
- 三、毛石蠍科 *Sericomyiidae*
- 四、長角石蠍科 *Leptoceridae*
- 五、筒石蠍科 *Hydropsychidae*
- 六、流石蠍科 *Hygroplitidae*
- 七、姬石蠍科 *Hydropsychidae*

下ニ栖息ス、

第十四節 毛翅目 Trichoptera

此ハ池沼湖潭若クハ河畔ノ樹草間ニ靜止スルヲ以テ叩網ヲ以テ搜索スベシ、又網柄ヲ以テ叩キ其飛去スルモノヲ掬網ニテ追捕スベシ、山間ノ流水ニ住スルモノト池沼ニ棲息スルモノトハ大ニ其趣キヲ異ニセルヲ以テ注意スベシ、夜間燈火ヲ慕ヒ飛來ス、時ニ微小ナルモノアリテ小蛾ト紛フコトアリ、幼蟲ハ草片、麥稈、泥土其他小石ヲ以テ筒様ノ巢ヲ造リ其内ニ住ス、

第十五節 鱗翅目 Lepidoptera

- 一、小翅蛾科 *Micropterisidae*
- 二、穀蛾科 *Plutellidae*
- 三、長毛蛾科 *Xanthopanidae*
- 四、潛蛾科 *Lycomorphae*

此ハ微小ノ種類ナルヲ以テ其採集困難ナリ、加フルニ鱗片剝離シ易キヲ以テ網ニ入りタルモノヲ捕フルニハ採蛾箱ヲ用ユベシ、此箱ニ入りタル儘歸リ後其内ニ一箇ノころ、ほるむ若クハ

- 五、細蛾科 *Grechistidae*
- 六、筒蛾科 *Trochilidae*
- 七、麥蛾科 *Cochylinidae*
- 八、榮蛾科 *Plutellidae*
- 九、巢蛾科 *Yponomeutidae*
- 十、葉捲蛾科 *Tortricidae*
- 十一、多翼蛾科 *Orthocentridae*
- 十二、鳥羽蛾科 *Tetropodidae*
- 十三、蝶蛾科 *Yponomeutidae*
- 十四、蝙蝠蛾科 *Prodoxidae*

えーてるヲ筆ニテ注ギ其死セルヲ待テ直チニ展翅スベシ、網ハ絹布ノ軟キモノヲ用ヒ餘リ大ナラザルモノヲ用ユベシ、尤モ小蛾ハ總テ遠ク飛バザルヲ以テ採蛾箱ノミニテモ採集シ得ベシ、小蛾専門ノ場合ニハ少クモ數十個ノ採蛾箱ヲ輓ニ入レ携帶スベシ、又壁、板、樹幹等ニ滯止セルモノヲ捕フルニハ硝子管ヲ用フベシ、小蛾ハ死後長時管中ニ放置セバ乾燥シテ展翅シ能ハザルヲ以テ生シ置クベシ、歸後筆ニテえーてるヲ栓ノ内方ニ塗沫セバ直チニ死スベシ、

十四、蝙蝠蛾科 | 此ハ黄昏恰モ蝙蝠ノ如ク旋轉飛翔スルヲ以テ拂網ヲ以テ捕獲スベシ、生ケル儘網中ニ長時放置セバ胸背ノ鱗毛剝離スルヲ以テ手際ヨク速ニ翅下ノ胸側ヲ指ニテ壓迫シ殺スベシ、此ハ林間ノ道路、殊ニにはごころアル地方ニ多シ、

十五、木蠹蛾科 | 此ハ夜間飛翔シ燈火ヲ慕ヒ家屋ニ入り來ルノ性アリ、燈火誘殺法

ヲ行フベシ、幼蟲ハ重ニ樹幹ニ穴ヲ穿テ材質部ヲ食ス、常ニ蟲糞ヲ排出スルヲ以テ其居所ヲ確メ置クベシ而シテ其蛹化スルヲ待テ之レヲ養蟲箱ニ入レ其羽化スルヲ待ツベシ、

十六、硝子蛾科 | 此ハ晝間花上ニアリテ蜜ヲ吸収スル種類ナルガ多クハ小形ナルヲ以テ採蛾箱ヲ用ユベシ、硝子蛾ノ幼蟲ハ前種ノ如ク樹幹ニ

十七、眼蛾科 | 猛入スルノ性アルヲ以テ平時其居所ヲ探リ置キ、蛹化後鋭刀ニテ切り出シ、蛹化箱ニ移スベシ、

十八、避債蛾科 | 蛾ハ黄昏若クハ晝間旋轉シテ飛翔スルガ爲メ捕獲困難ナリ、故ニ寧ロ樹間ニ懸下セル簞ヲ携ヘ歸リ之レヨリ羽化スルモノヲ捕フベシ、但シ雌ハ蛆狀ニシテ成蟲トナルモ常ニ簞中ニアリテ出デザレバ注意スベシ、標本トシテハ簞ヲモ共ニ刺シ置クベシ、

十九、刺蛾科 | 此ハ晝間若クハ黄昏飛翔ス、甚ダ活潑ナルヲ以テ捕獲シ難シ、故ニ樹幹ニ蛹化セル卵形ノ繭ヲ集メ之レヨリ羽化セル成蟲ヲ採集スベシ、幼蟲ハ獨特ノ形態ヲ有スルヲ以テ識別シ易シ、之レヲ飼育シテ成蟲ノ捕獲ヲ計ルベシ、

第一編 昆蟲ノ採集

二十、斑蛾科

此ハ晝間飛翔スルヲ以テ捕獲容易ナリ、蛹ハ普通倒木若クハ

二十一、鹿子蛾科

石下ニアルヲ以テ搜索シ羽化セシムベシ、

二十二、燈蛾科

此ハ黄昏若クハ夜間燈火ヲ慕ヒ家屋ニ入り來ルノ性アリ、故ニ燈

火誘殺法ヲ行フベシ、幼蟲ハ長毛ヲ有スルヲ以テ顯著ナリ、故ニ其採集困難ナラズ、之レヲ養ヒ成蟲ヲ捕フルコトヲ務ムベシ、

二十三、實蛾科

此ハ小形ナレドモ多クハ綠色ナルヲ以テ發見シ易シ、之レヲ捕フ

ルニハ探蛾箱ヲ用ユベシ、幼蟲ハ種實中ニアルヲ以テ之レヲ撥キテ採集スベシ、  
二十四、楸蛾科 | 此モ小形ナル種類ニシテ幼蟲ハ普通樹幹ニアリテ鮮苔ヲ食ヒ又

時ニ葉ヲ食害ス、成蟲ハ樹幹ニアリテ鮮苔若クハ葉上ニ靜止スルヲ以テ搜索スベシ、前翅ニ瘤狀ノ毛塊ヲ有スルヲ以テ容易ニ識別シ得ベシ、夜間燈火ニ飛來ス、之レヲ捕フルニハ探蛾箱ヲ用ユベシ、

二十五、双尾蛾科

此ハ森林若クハ函谷ニ多キ種類ナルガ翅大ニシテ軟弱ナル

二十六、燕蛾科

爲メ破損シ易シ、故ニ網ヲ可成靜ニ振フベシ、又網底ノ淺キト

二十七、尾蛾科

キハ翅ヲ破ルノ憂アレバ可成深クナスベシ、幼蟲ハ普通十脚

第一編 昆蟲ノ採集

二十八、尺蠖蛾科

ヲ有シ所謂尺蠖狀ニ運行ス、燈火ニ飛來ス、

二十九、尖蛾科

此ハ餘リ多カラザル種類ニシテ普通晝間飛翔ス、幼蟲ハ天社蛾ノ

如ク頭尾ノ兩端ヲ擧グ、幼蟲ヲ捕ヘ飼育シテ成蟲ヲ集ムルコトヲ務ムベシ、晝間葉上ニ靜止スルモノアレバ搜索スベシ、燈火ニ飛來スルコトアリ、

三十、虎蛾科

此モ亦晝間若クハ黄昏飛翔スル種類ニシテ普通花間ヲ徘徊ス、又ハ

めどらガノ如ク夜間燈火ヲ慕ヒ家屋ニ入り來ルモノアリ、掬網ヲ以テ捕獲スルコト容易ナリ、幼蟲ハ美麗ノ紋條ヲ裝ヒ重ニ葡萄科ノ植物ヲ食フヲ以テ之レヲ搜索シ飼養シテ成蟲ヲ捕フベシ、

三十一、夜蛾科

此ハ重ニ夜間飛翔スルノ種類ニシテ燈火ヲ慕ヒ又糖液ニ集來ス、

其性甚ダ活潑ニシテ網中ニ入レバ甚ダシク飛ビ廻ルヲ以テ胸背ノ鱗毛直チニ剝離ス、故ニ可成柔軟ナル絹布ヲ用ユベシ、尤モ糖液ヲ樹幹ニ塗沫セル場合ハ多量ノ青酸加里ヲ挿入セル毒餌ニテ捕フベシ、幼蟲ニハ種類多ク有毛ト無毛トアリ、兎ニ角幼蟲ヨリ得タル成蟲標本ハ最モ完全ナリ、

三十二、密蛾科

此ハ普通晝間飛翔スルノ種類ニシテ甚ダ活潑ナリ、まごがノ幼蟲

第一編 昆蟲ノ採集

ハ竹葉ヲ食スルヲ以テ其上ニ靜止スルヲ普通トス、之レヲ捕フルニハ採蛾箱ヲ用ユ、

三十三、**錫紋蛾科** | 此ハ晝間飛翔シ宛然小灰蝶ノ觀ヲナス、幼蟲ハ未ダ判然セズ、本邦三種アリテ其内二種ハ臺灣ニ産ス、

三十四、**鈎蛾科** | 此ハ天蠶蛾ニ酷似シタル種類ナレドモ遙ニ小形ナリ、幼蟲ハ無毛ニシテ尺蠖ニ類ス、臺灣ニテハ茶葉ヲ食ヒ大害ヲ加フルモノアリ、晝間ハ葉上ニ靜止シ黄昏若クハ夜間飛翔ス、

三十五、**蠶蛾科** | 家蠶ハ飛翔セザル、モ野蠶ハ甚ダ活潑ニシテ黄昏若クハ夜間ニ飛翔ス、尤モ晝間飛翔スルモノアリ、其捕獲困難ナリ、故ニ幼蟲ヲ發見シ飼育スベシ、

三十六、**水蠟蛾科** | 大形ノ種類ナレドモ其捕獲割合ニ困難ナリ、故ニ幼蟲ヲ飼育スベシ、

三十七、**天蠶蛾科** | シテ成蟲ヲ集ムルコトヲ務ムベシ、

三十八、**枯葉蛾科** | 此内ニハ晝間ニ飛翔スルモノト夜間ニ出ヅルモノトアリ、燈火ヲ慕ヒ來ルモノ少ナカラズ、葉上ニ靜止スルモノヲ搜索スベシ、

三十九、**毒蛾科** | 火ヲ慕ヒ來ルモノ少ナカラズ、葉上ニ靜止スルモノヲ搜索スベシ、

四十、**天蛾科** | 此ハ燈火ヲ慕フノ性アルヲ以テ誘引スベシ、晝間ハ葉上ニ靜止スルヲ以テ搜索スベシ、幼蟲ハ頭尾ノ兩端ヲ舉グルヲ以テ顯著ナリ、

四十一、**天蛾科** | 此ハ晝間、黄昏、及ビ夜間ニ飛翔スルモノアリテ性甚ダ活潑ナリ、好デ花ニ集マルノ性アリ、故ニ花壇ヲ仕立テ誘引スベシ、網ハ絹布ヲ用ヒ、捕獲セバ直チニ胸側ヲ壓シテ殺スベシ、尤モ充分ニ死セザレバ毒針(毒酸加里)若クハすりきに液ヲ漬シタル針ヲ注射スベシ、幼蟲ハ尾角ヲ有スルヲ以テ顯著ナリ、飼育スベシ、

四十二、**弄蝶科** | 此ハ花間ニ徘徊シ又濕地若クハ牛馬糞上ニ靜止スルヲ以テ其時ヲ失セズ捕獲スベシ、其飛翔甚ダ活潑ナルヲ以テ捕獲容易ナラズ、胸背ノ鱗毛剝離シ易キヲ以テ手際好ク胸側ヲ壓シテ殺スベシ、幼蟲ハ重ニ禾本科植物ニ棲息シ頭大、體紡錘狀ヲナセルヲ以テ識別シ得ベシ、飼育シテ成蟲ヲ得ベシ、

四十三、**小灰蝶科** | 此ニハ種類多ク、平野ノ花間ニ徘徊スルモノト、樹梢ノ葉上ニ墮

ヲ負フモノトアリ、梢上ニ棲息スルモノハ強風ノ際、樹下ニ吹き飛バサル、ヲ待チ捕獲スベシ、又長柄ヲ付シ其靜止セルモノヲ捕フベシ、又木ニ登リテ捕フレバ

第一編 昆蟲ノ採集

安然ナリ、

四十四、天狗蝶科 *Lygus* 此ハ水邊ニ靜止スルノ性アルヲ以テ注意スベシ、幼蟲ハ椶ヲ食スルヲ以テ飼育スベシ、飛翔餘リ迅速ナラザルヲ以テ捕獲困難ナラズ、

四十五、蛭蝶科 *Empoasca* 此ハ普通花間ニ徘徊スルヲ以テ花壇ヲ作ルベシ、幼蟲ハ多ク分支セル刺毛ヲ有セルヲ以テ飼育スベシ、むらさきてふ其他貴重ナル標本ヲ得ント欲セバ雌ヲ以テ誘引スベシ、

四十六、粉蝶科 *Pieris* 此モ亦花間ニ徘徊スルノ種類ナルヲ以テ花壇ニ誘引スベシ、幼蟲ハ一見裸蟲ノ如シト雖ドモ微細ノ短毛ヲ密生セルヲ以テ識別シ得ベシ、多クハ綠色ナリ、雌雄ニヨリ彩色若クハ形狀ヲ異ニセルモノアルヲ以テ注意スベシ、

四十七、鳳蝶科 *Papilio* 此モ亦花ニ集來ス、幼蟲ハ黄色ノ臭角ヲ有スルヲ以テ識別シ易シ、飼育スベシ、重ニ柑橘科ノ植物ヲ食ス、

第十六節 双翅目 Diptera

一、蜂蠅科 *Hemiphysalis* 此ハ蜜蜂殊ニ女王及ビ雄蜂ノ胸部ニ寄生スルヲ以テ捕獲ノ都度搜索スベシ、

二、蛛蠅科 *Phlebotomus* 此ハ蝙蝠ニ寄生スル種類ニシテ重ニ其腋下ニ棲息ス、尤モ蝙蝠ノ多キ軒下ニ發見セラル、事稀ナラズ、

三、蠅科 *Musca* 此ハ哺乳動物並ニ鳥類ニ寄生セルノ種類ナレドモ稀ナリ、時々叩網ニ入り來ルコトアリ、

四、家蠅科 *Musca domestica* 此ニハ種類多ク幼蟲ニハ動物ノ腐敗物ニ栖息スルモノト、他蟲ノ體内ニ入りテ寄生スルモノトアリ、又時ニ農作物ノ根際ニ侵入シテ大害ヲ加フルモノアリ、

五、牛蠅科 *Oestrus* 此幼蟲ハ哺乳動物殊ニ牛馬羊鹿ニ寄生スルモノナルガ此内或モノハ胃腸ニ寄生シ又或モノハ皮下ニ棲息ス、成蟲ハ壁、岩、若クハ秃山ノ頂上ニ靜止スルモノアレドモ稀ナリ、

六、眼蠅科 *Cyclops* 幼蟲ハ蜜蜂若クハ他蜂ノ腹部ニ寄生ス、成蟲ハ蜂ノ如ク花上ニアリテ其形宛然蜂ニ似タルヲ以テ注意スベシ、

七、扁脚蠅科 *Platypoda* 此ハ花上ニアリテ甚ダ活潑ナリ、幼蟲ハ菌莖ヲ食ス、

八、蚤蠅科 *Zhorina* 此ハ花上ニアリテ甚ダ活潑ナリ、網中ニ入レバ蚤ノ如ク飛ブヲ以テ此

名アリ、幼蟲ハ他蟲ニ寄生シ又腐敗セル植物中ニ住ス、

九、食蚜蠅科 *Syrphidae* | 此ハ花間ヲ徘徊シ又路上高ク一定ノ場所ニ飛翔ス、幼蟲ハ蚜蟲葉捲

蟲其他ノ小蟲ヲ捕食ス、又動植物ノ腐敗物ヲ食スルモノアリ、

十、鎗翅蠅科 *Leucophaea* | 此ハ林間ノ小川ニ普通ナル種類ニシテ好テ濕地ノ石上ヲ徘徊シ小

蟲ヲ捕食ス、幼蟲ハ不明、

十一、長脚蠅科 *Dolichopodidae* | 此ハ多ク金綠色ノ種類ニシテ林間ノ水邊ニ多シ、又花上ニ來ルモ

ノアリ、小蟲ヲ捕食ス、幼蟲ハ地中若クハ樹皮下ニアリ、

十二、頭蠅科 *Hydromyza* | 此幼蟲ハ浮塵子ニ寄生ス、成蟲ハ花間ヲ徘徊ス、何レモ微小ノ種類ナ

ルヲ以テ注意スベシ、頭大ニシテ稍球形ヲ呈セルヲ以テ識別スルコト容易ナリ、

十三、舞蠅科 *Empididae* | 此ハ重ニ小蟲ヲ捕食ス、林間ノ小川其他倒木等ヲ徘徊ス、幼蟲ハ地中

ニ住ス、

十四、密蠅科 *Gesophrinae* | 此ハ夏日窓ニ來ル小形ノ種類ニシテ、幼蟲ハ塵埃ニ栖息ス、皆小形ノ

種類ナリ、

十五、劍蠅科 *Therididae* | 此ハ夏日道上、生垣、草間ニ稀ナラザル種類ニシテ小蟲ヲ捕食ス、幼蟲

ハ糸狀ニシテ甚ダ長ク、地中ニ住ス、

十六、長吻蠅科 *Hemiphysidae* | 此ハ花間ニ徘徊シ又道上ニ飛翔ス、大形ノ種類ナルヲ以テ捕獲シ

易シ、幼蟲ハ蜂、蝶、蛾ノ幼蟲並ニ蛹ニ寄生ス、又直翅目ノ卵鞘ニ寄食スルモノアリ、

十七、食蟲蠅科 *Asilidae* | 此ハ道路ノ石上、朽木、倒木其他竿上ニ靜止シ他蟲ノ來ルヲ待テ伏

セ捕食ス、何レモ大形ノ種類ナルヲ以テ捕獲容易ナリ、幼蟲ハ地中若クハ朽木ニ

住シ、植物性ノ食物ヲ以テ餌トナス、

十八、小頭蠅科 *Acooeridae* | 此ハ稍ヤ球形ノ種類ニシテ性遲緩ナリ、叩網ニ入り來ルコトアレ

ドモ稀ナリ、幼蟲ハ多ク蜘蛛ニ寄生ス、

十九、鷓蠅科 *Lepididae* | 此ハ食蟲蠅同様ニ石上、朽木、倒木其他枯枝上ニ靜止ス、幼蟲ハ同ジク

食肉性ニシテ地中ニ住ス、

二十、蠅科 *Phoridae* | 此ハ哺乳動物ノ血液ヲ索メテ飛來ス、其性甚ダ遲鈍ナリ、幼蟲ハ朽木ヲ

以テ食トナス、燈火ニ飛來スルモノアリ、

二十一、水蠅科 *Trichomyzidae* | 此ハ水邊ノ花間ニ普通ナル種類ニシテ、幼蟲ハ水中ニ住シ、植物性

ノ腐敗物ヲ以テ食トス、

第一編 昆蟲ノ採集

- 二十二、木此科 | 此ハ多ク樹木ノ液汁ヲ吸收ス、殊ニ楡、樺、檜ニ多シ、幼蟲ハ朽木ニ住シ小蟲ヲ捕食ス、  
*Myrmicae*
- 二十三、臭蛇科 | 此ハ林間ノ樹幹ニ靜止スルコトアレドモ稀ナリ、一種固有ノ臭氣ヲ發ス、幼蟲ハ朽木ヲ食ス、  
*Coomyidae*
- 二十四、蝸科 | 此ハ哺乳動物並ニ家禽ノ血液ヲ索メテ飛來ス、其性遲鈍ナリ、幼蟲ハ流水ニ住シ植物性ノ食物ヲ以テ餌トナス、  
*Scutidae*
- 二十五、毛蠅科 | 此ハ草間ニ靜止スルモノ多ク其性遲鈍ナリ、時ニ又花上ニアリ、幼蟲ハ牛馬糞其他植物性ノ腐敗物ヲ食ス、  
*Muscidae*
- 二十六、蚊蠅科 | 此ハ夏日窓ニ飛來スルノ種類ニシテ、幼蟲ハ植物性ノ腐敗物ヲ以テ食トス、  
*Tabanidae*
- 二十七、蠅蠅科 | 春時草間ヲ翔ヒ捕フベシ其形小ナルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ、幼蟲ハ葉、枝及ビ果實ニアリテ蟲癭ヲ生ズ、  
*Glossinidae*
- 二十八、蠅蠅科 | 此ハ林間ノ草上殊ニ藪ノ多キ所ニ普通ナリ、幼蟲ハ菌莖ヲ以テ食トス、  
*Mycetophilidae*

- 二十九、搖蚊科 | 黄昏河上ニ群飛ス、此内ぬかがノ如ク稀ニ人畜ノ血液ヲ吸收スルモノアリ、幼蟲ハ水中、地中若クハ馬糞中ニアリ、  
*Chironomidae*
- 三十、蚊科 | 唯ハ血ヲ索メテ人家ニ飛來スレドモ、雄ハ常ニ花蜜ヲ吸收ス、幼蟲ハ水中ニ住ス、  
*Culexidae*
- 三十一、細蚊科 | 此ハ前科ニ酷似スレドモ翅脈ニ鱗毛ナキヲ以テ區別容易ナリ、水邊ノ草間ニ多シ、幼蟲ハ水中ニ住ス、成蟲ハ血ヲ吸收セズ、  
*Dixidae*
- 三十二、網蚊科 | 此ハ翅ニ網目様ノ擬脈アリ、林間ノ花上、葉上ニアレドモ本邦ニハ稀ナリ、幼蟲ハ急流ニ住ス、  
*Tendipedidae*
- 三十三、大蚊科 | 此ハ水邊ノ草間ニ普通ナリ、幼蟲ハ水中ニ住ス、植物性ノ食物ヲ餌トス、  
*Tipulidae*
- 三十四、蝶蠅科 | 此ハ便所ノ窓ニ飛來スル普通種ナリ、幼蟲ハ糞中ニ住シ又汚水中ニ栖息スルモノアリ、  
*Psychodidae*

第十七節 微翅目 Aphaniptera

一、蚤科 | 此ハ哺乳動物ハ兔ニ角何レノ鳥類ニモ亦栖息スルヲ以テ注意スベシ、死

第一編 昆蟲ノ採集

後ハ毛上ニ這ヒ來ルヲ以テ此時捕獲スベシ、

第十八節 鞘翅目 Coleoptera

一、瓢蟲科  
*Coccinellidae*

此ハ叩網ニテ樹草間ヲ掬フベシ、又時ニ樹幹ニ住スレバ注意スベシ、

二、金花蟲科  
*Chrysomelidae*

此ハ叩網ニテ樹草間ヲ掬フベシ、又時ニ樹幹ニ住スレバ注意スベシ、

三、天牛科  
*Cerambycidae*

此内花上ニ住スルモノト切木ニ集マルモノトアリ、伐木地ニ至レバ切

株、倒木若クハ薪木ヲ注意スベシ、夜間白布ニ集來スルノ性アリ、

四、小蠹蟲科  
*Scolytidae*

此モ前種同様ニ伐木地ニ集來スレバ注意スベシ、薪木ノ堆積セルモノニ集來スレバ搜索スベシ、初夏空中ヲ飛翔スルモノ多キヲ以テ網ヲ以テ掬ヒ

捕フベシ、

五、三錐象蟲科  
*Brentidae*

此ハ新ラシキ倒木若クハ伐木ニ集マルノ性アリ、又叩網ニ入り來ル

ルコトアレドモ本邦稀ナル種類ナリ、

六、豆象科  
*Bruchidae*

大小豆其他豌豆ノ如キ貯藏セルモノニ集來スルヲ以テ穀倉其他ノ貯

藏所ヲ搜索スベシ、又夏日豆科ノ植物間ヲ叩網ヲ以テ搜索スベシ、

七、長角象蟲科  
*Anthribidae*

此ハ朽木、倒木、其他菌叢ニ集來ス、時ニ桑ノ老木ニ大害ヲ加フルモ

第一編 昆蟲ノ採集

ノアリ、

八、象鼻蟲科  
*Cuculiidae*

此ニハ朽木、倒木、果實、稚葉、其他樹液等ニ集マルモノアリテ一ナラズ、

打棍ニテ樹幹ヲ動搖シ其落ツルモノヲ採集スベシ、又叩網ヲ以テ樹草間ヲ搜索

スベシ、

九、樹皮蟲科  
*Dermestidae*

微小ノ種類ニシテ成蟲、幼蟲共ニ樹皮下ニ住ス、

十、擬天牛科  
*Coleoptera*

夜間燈火ヲ慕ヒ集來ス、又花ニ集マルノ性アリ、

十一、一角蟲科  
*Anthrenidae*

此ニハ花ニ集マルモノト、小川ノ濕地ニ棲息スルモノトアリ、又叩

網ヲ以テ牧草間ヲ掬ヒ搜索スベシ、

十二、赤翅蟲科  
*Pyrrochroa*

此ハ花ニ集來ス、幼蟲ハ樹皮下ニ住ス、

十三、地膽科  
*Meloidae*

此ハ草間ノ地上ヲ徘徊シ、時々道上ニ出デ來ルコトアリ、此内葉上ニ

アリテ植物ヲ食スルモノアリ、幼蟲ハ蜂巢ニ寄生ス、

十四、燃翅蟲科  
*Stylopidae*

蜜蜂其他蜂ノ腹部ニ寄生ス、成蟲ハ時々燈火ヲ慕ヒ家屋ニ入り來

ルコトアリ、

十五、大花蚤科  
*Hemiptera*

花上ニ捕獲シ得ベシ、幼蟲ハ蜂ノ巢ニ寄生ス、



第一編 昆蟲ノ採集

- 十六、花蚤科 ハナノミ *Notulidae* | 前種ノ如ク花上ニ採集シ得ベシ、幼蟲ニハ植物ノ髓部ヲ食スルモノ多シ、
- 十七、長朽木蟲科 ナガクシキ *Lyctidae* | 朽木及ビ菌叢ニ集來ス、其性遲鈍ナレバ捕獲容易ナリ、
- 十八、偽葉蟲科 マシキ *Licthidae* | 此ハ花上ニ集來ス、又葉ヲ食スルモノアリ、幼蟲ハ地中ニアリテ植物性ノ食物ヲ餌トナス、
- 十九、朽木蟲科 クシキ *Attenellidae* | 此ハ朽木、菌叢等ニ普通ナルガ又穀物其他屍骨ヲ食フモノアリ、
- 二十、偽步行蟲科 マシキ *Enicospilidae* | リ、石、倒木、朽木等ヲ轉起シテ搜索スベシ、
- 二十一、圓草蟲科 マシキ *Cicadidae* | 何レモ菌叢ヲ以テ食トス、微小ノ種類ニシテ多クハ草ノ内部ニ入リテ食トス、
- 二十二、長草蟲科 ナガクシキ *Dactyloctenidae* | ニ益入シ居レバ之レヲ裂キ破リテ搜索スベシ、
- 二十三、竹蠹蟲科 タケノコ *Lyctidae* | 此ハ古キ竹若クハ材木ノ内ニ入りテ食害スレバ古家ニハ稀ナラズ、
- 二十四、姬蠹蟲科 ヒメキノコ *Platygasteridae* | 菌叢ヲ食スル微小ノ種類ナリ、
- 二十五、番死蟲科 マシキ *Stenobothridae* | 此ハ多ク動植物ノ乾燥セルモノヲ以テ食トス、故ニ博物館其
- 二十六、標本蟲科 マシキ *Hydrophilidae* | 他動植物ノ標本室ニハ稀ナラズ、

第一編 昆蟲ノ採集

- 二十七、郭公蟲科 クワコ *Ceryle* | 此ハ小蠹蟲ヲ以テ食トスレバ其集來スル伐木地ニハ稀ナラズ、其性活潑ナレドモ飛去スルコト稀ナリ、
- 二十八、蝨科 シ *Cunipidae* | 草間若クハ花上ニ住スレバ叩網ヲ以テ捕フベシ、真正ノ蝨ハ夜間放光スルヲ以テ容易ニ認メ得ベシ、幼蟲ハ地上ニアリテ小蠹若クハ蝸牛ヲ捕食ス、
- 二十九、圓花蚤科 マシキ *Dacnidae* | 此ハ花ニ集來ス、叩網ニ入り來ルコトアレバ樹草間ヲ掬ヒ搜索スベシ、此内菌叢ヲ食スルモノト植物葉ヲ食害スルモノトアリ、
- 三十、叩頭蟲科 コウツキ *Isotridae* | 石、倒木ヲ轉起シ又朽木ヲ撥キ若クハ剝皮シテ搜索スベシ、時ニ薪木ニ來ルモノアリ、又稀ニ燈火ニ飛來ス、
- 三十一、擬叩頭蟲科 コウツキ *Isotridae* | 此ハ伐木地若クハ堆積セル新シキ薪木ニ集來ス、
- 三十二、擬吉丁蟲科 マシキ *Monomidae* | 此ハ石其他倒木下ニ發見セラレドモ極メテ稀ナリ、
- 三十三、吉丁蟲科 マシキ *Dumetidae* | 此ハ伐木地ニ集來ス、又堆積セル薪木ヲモ搜索スベシ、
- 三十四、金龜子科 カネクサ *Scarabaeidae* | 此ニハ植物性ト動物性ノ食物ヲ以テ餌トナスモノアリ、燈火ニ飛來ス、鍬形科同様ニ檜、樺、榎、柳等ノ樹液ヲ吸收スルモノアリ、
- 三十五、鍬形蟲科 クマダ *Lathrididae* | 此ハ朽木ニ住スレドモ又檜、樺、榎、柳等ノ樹液ヲ吸收ス、石、倒木

等ヲ轉起シ其下ニ潜伏スルモノヲ搜索スベシ、

三十六、**腐屍蟲科** | 此ハ動物ノ屍骨ニ集來ス、故ニ鼠ノ屍ヲ空俵下ニ置キ其集來ヲ待チ捕獲スベシ、  
*Hydrophilidae*

三十七、**圓刺蟲科** | 此ハ楡其他樹ノ如キ樹液ニ集來ス、  
*Coccinellidae*

三十八、**鱗節蟲科** | 此ハ動物植物性ノ食物ヲ以テ餌トナス、毛皮ニ集來スルモノ多シ又花ニ集マルモノアリ、  
*Dermestidae*

三十九、**偽木吸蟲科** | 此ハ植物ノ葉ヲ以テ食トス、叩網ニテ搜索スベシ、然レド稀ナリ、  
*Tylosididae*

四十、**扁蟲科** | 此ハ伐木地ニ集來ス、幼蟲ハ樹下皮ニアリテ他蟲ヲ食シ同時ニ樹液ヲ吸收スルモノ、如シ、又薪木ノ堆積地ニ集マルヲ以テ注意スベシ、  
*Cucujidae*

四十一、**長扁蟲科** | 此ハ花ニ集來ス、幼蟲ハ不明、  
*Curculionidae*

四十二、**有筋蟲科** | 此ハ朽木、薪木等ニ集來ス、然レド其形微小ナルヲ以テ注意セ  
*Phanerochaetidae*

四十三、**細堅蟲科** | ザレバ發見シ難シ、  
*Chrysomelidae*

四十四、**穀盜科** | 此ニハ穀粉ノ如キ植物性ノ食物ヲ以テ栖息スルモノト、他蟲ヲ以  
*Tenebrionidae*

テ食物トナスモノトアリ、伐木地ニ集來シ小蠹蟲ヲ食スルモノアリ、

四十五、**出尾蟲科** | 此ハ種類ニヨリ大ニ其居所ヲ異ニス、或モノハ楡、楡、楡、柳等ノ樹液ヲ吸收シ、或モノハ花上ニ住シ、又或モノハ屍骨ニ栖息ス、多クハ微小ナルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ、  
*Nitidulidae*

四十六、**大木吸蟲科** | 此ハ本邦僅ニ二種ヲ産スルガ、前種同様ニ樹液ヲ吸收ス、楡、楡、楡等ニ普通ナリ、  
*Helictidae*

四十七、**姬新蟲科** | 此ハ微小ノ種類ニシテ家屋ニ飛來スルモノ多シ、普通薪ラシキ薪木ノ堆積ニ集來ス、然レド注意セザレバ發見シ難シ、  
*Lathrididae*

四十八、**小蠹蟲科** | 此ハ何レモ微小ノ種類ニシテ菌叢及ビ樹液ニ集來ス、又花蜜  
*Xyleboridae*

四十九、**木吸蟲科** | ヲ吸收スルモノアリ、  
*Cryptophagidae*

五十、**擬瓢蟲科** | 此ハ石、倒木、若クハ樹皮下ニ栖息スルモノニシテ多クハ菌叢  
*Endomyzidae*

五十一、**大草蟲科** | ヲ食スレドモ亦花上ニアルモノモアリ、  
*Exochidae*

五十二、**擬叩頭蟲科** | 此ハ叩頭蟲ニ酷似セルノ種類ニシテ多クハ菌叢ヲ食スレドモ亦花上ニアルモノ稀ナラズ、  
*Lancuridae*

第一編 昆蟲ノ採集

五十三 姬花蟲科 | 此ハ卵形ノ小形種ナルガ花蜜ヲ吸收シ又菌叢ヲ食ス、  
*Phaleride*

五十四 出尾菌叢科 | 此ハ本邦稀ナル種類ニシテ尾端ハ圓錐形ヲナス、菌叢ヲ食ス、  
*Exophragmidae*

五十五 危草蟲科 | 此ハ樹皮下、菌叢若クハ蟻塚等ニ栖息スルノ微小種ニシテ後翅  
*Trichopterygidae*

ハ危狀ヲ呈スルヲ以テ識別スルコトヲ得ベシ、

五十六 微塵蟲科 | 此ハ落葉下ノ地上若クハ地下ニ栖息スル微小ノ種類ニシテ植  
*Corripidae*

物性ノ腐敗物ヲ以テ食トナス、

附言 | 千蟲圖解第一卷ニ瑣微蟲科トアレドモ其字穩當ナラザルヲ以テ爰ニ

改記ス、

五十七 球菌叢科 | 此ハ多ク菌叢ニ住スレドモ亦樹皮下ニ棲息スルモノアリ、白紙  
*Anisotomidae*

ヲ菌叢ノ下ニ置キ之レニ叩キ落スベシ、

五十八 埋葬蟲科 | 此ハ屍骨ニ集來スルノ種類ニシテ殊ニ鼠ノ屍骸ニ來ルモノ多  
*Sitona*

シ、故ニ動物性ノ屍骨ヲ空俵下ニ置キ其集來ヲ待チ捕獲スベシ、

五十九 蘇苔蟲科 | 此ハ長形ノ微小種ニシテ重ニ蘇苔間ニアリテ之レヲ食フ、野外  
*Sydemanidae*

ニアリテ之レヲ搜索スル困難ナレバ早春若クハ晩秋蘇苔ヲ携へ歸リ白紙ノ上

ニ擴ゲテ搜索スベシ、

六十 蟻塚蟲科 | 此ハ蘇苔及ビ蟻塚ニ棲息スルノ種類ニシテ何レモ微小ナリ、蟻塚  
*Myrmecophagidae*

採集器ヲ用ユベシ、又石、倒木、朽木等ヲ轉起シテ蟻ト共棲セルモノヲ捕フベシ、

六十一 擬隱翅蟲科 | 此ハ微小ノ種類ニシテ牛馬糞ノ穢物ヲ食ス、本邦産スルモノ  
*Microxyphidae*

僅ニ三種アリ、

六十二 隱翅蟲科 | 此ニハ種類頗ル多ク從テ其性狀ヲ異ニス、或モノハ屍骨糞尿ヲ  
*Staphylinidae*

食ヒ、或モノハ小蟲ヲ捕食シ、又或モノハ菌叢ニ集來ス、

六十三 長泥蟲科 | 此ハ本邦稀ナル種類ニシテ稀ニ朽木若クハ倒木上ニ發見セラ  
*Heteroceridae*

ルレドモ多クハ泥土ヲ附着セルヲ以テ注意セザレバ發見シ難シ此ハ前肢開掘

肢ニ變ゼルヲ以テ恰モ小形ナル鍬形蟲ニ似タリ、

六十四 泥蟲科 | 此ハ水中ニ住スレドモ多ク池沼ノ岸ニアリテ水床ヲ匍匐ス、  
*Amblyopidae*

六十五 圓泥蟲科 | 本邦ニ産スルモノ多カラズ燈火ニ飛來ス、  
*Geosiphidae*

六十六 牙蟲科 | 此ハ大部水中ニ住スレドモ稀ニまぐそがむしノ如ク地上ニアリ  
*Hydrophilidae*

テ馬糞ヲ食スルモノモアリ、燈火ニ集來ス、

第一編 昆蟲ノ採集

六十七 豆蟲科 | 此ハ水上ヲ旋轉スルノ種類ニシテ本邦産スルモノ八種アレバ  
 搜索スベシ又或モノハ樹葉下ニ限リテ游泳シ見ヘザルモノナレバ注意スベシ、  
 六十八 小頭水蟲科 | 此ハ水中ニ住スルノ種類ニシテ流水ニ稀ナレドモ池沼ニ  
 六十九 龍蠅科 | ハ普通ナリ、微小ノ種類アレバ注意スベシ、燈火ニ飛來ス、  
 七十 步行蟲科 | 此ニハ種類甚ダ多ク平原ニ産スルモノト、高山ニ限リ棲息スルモ  
 ノトアリ、又樹梢ニ昇リ他蟲ヲ食スルモノモアリ、燈火ニ飛來スルモノアリ、  
 七十一 班蝥科 | 此ハ砂地ニ普通ナルガ又普通ノ道路ニモ稀ナラズ、平原ト高山ニ  
 産スルモノトハ其趣キヲ異ニセルヲ以テ注意スベシ、幼蟲ハ草原ニ圓柱形ノ穴  
 ヲ穿テ他蟲ノ陷落ヲ待テ伏セ捕食ス、

第十九節 膜翅目 Hymenoptera

一 樹蜂科 | 此ハ重ニ針葉樹ニ多キ種類ナルガ伐木地ノ切株若クハ枯レカ、リタ  
 ル樹ヲ搜索スベシ、此内くびながばちニハ他蟲ヲ以テ食トナスモノアリ、又薪木  
 ヲモ注意スベシ、  
 二 鋸蜂科 | 此ハ一名葉蜂トモ云ヒ、幼蟲ハ植物葉ヲ食ス、又或モノハ蟲癭ヲ生ズル

コトアリ、叩網ヲ以テ樹草間ヲ搜索スベシ、  
 三 沒食子蜂科 | 此幼蟲ハ植物ニ蟲癭ヲ生ズルノ種類ナルガ、成蟲ハ叩網ニテ搜索  
 スベシ、尤モ其蟲癭ヲ知ラント欲セバ之レヲ飼育スベシ、  
 四 小菌蜂科 | 此ハ蝨蠹其他鱗翅類ノ幼蟲ニ寄生スルモノナルガ、其宿主ヲ知ラン  
 ト欲セバ種々ノ幼蟲ヲ養ヒ之レヨリ出ヅルモノヲ採集スベシ、單ニ成蟲ヲ捕獲  
 セント欲セバ叩網ヲ以テ樹草間ヲ掬フベシ、  
 五 細蜂科 | 此ハ多ク蠶蠅ニ寄生スル種類ナルガ、本邦ニハ種類少ナシ、時々家屋ニ  
 入り來ルコトアリ、叩網ヲ以テ草間ヲ搜索シテ得ルコトアリ、  
 六 姬蜂科 | 此ハ小菌蜂ト同シク鱗翅類ノ幼蟲ニ寄生ス、伐木地、薪木ノ堆積場ニ集  
 來スルヲ以テ注意スベシ、幼蟲ヲ養ヒ宿主ヲ知ルベシ、  
 七 小蜂科 | 此ハ前種同様ニ蝨蠹若クハ蠶蠅ニ寄生スルモノナルガ、又卵子ニモ  
 八 卵蜂科 | 寄生ス、凡テ蝨蠹蠶蠅其他鳥蠹ノ如キハ一種乃至數種ノ寄生蜂ヲ有  
 スルヲ以テ宿主ヲ養ヒ之レヨリ出ヅルモノヲ採集スベシ、  
 九 蟻科 | 此ハ叩網ヲ以テ樹草間ヲ搜索シテ採集スルモノナルガ又地上ニ徘徊ス

第一編 昆蟲ノ採集

ルモノ、若クハ石、倒木、朽木等ヲ轉起シテ搜索スベシ、

十、青蜂科 Chrysididae | 此幼蟲ハ重ニ花蜂ニ寄生スル種類ナルガ、成蟲ハ朽木、倒木、板壁、薪木、其

他諸箇ニ集マルノ性アレバ注意スベシ、殊ニ夏日炎天ニ多シ、

十一、蟻蜂科 Mutillidae | 此ハ多ク河畔ノ砂礫地ニ住スレドモ又倒木、石下等ニ棲息スルモノ

アリ然レド本邦餘リ多カラズ、雄ハ有翅ニシテ花ニ集來ス、雌ハ蟻ノ如ク無翅ナ

リ、

十二、土蜂科 Scolytidae | 此ハ砂地若クハ道路ニ栖息スル種類ナルガ、又朽木ニ巢ヲ營ムモノ

アリ、蝨蠹、烏蠹ヲ捕ヘ來リ土中ニ埋メ幼蟲ヲ養フ、

十三、鼈甲蜂科 Carabidae | 此ハ花ヨリ花ニ彷徨スルノ種類ニシテ前種ノ如ク蝨蠹、蟻蜂、烏

十四、細腰蜂科 Sphecidae | 蠹若クハ蜘蛛等ヲ捕ヘ來リ、砂土、朽木其他樹幹ノ空隙ニ之レヲ

藏メ己ノガ幼蟲ヲ養フ、

十五、胡蜂科 Vespididae | 此ハ樹液ヲ吸收シ又果實ノ生熟スルニ至レバ之レニ集來ス、又時ニ

砂糖ヲ求メテ家屋ニ入り來ルコトアリ、

十六、蜜蜂科 Apis | 此ハ花間ヲ徘徊ス、故ニ花壇ヲ作り之レニ集マルモノヲ採集スベシ、

早春ヨリ晩秋ニ至ル迄絶ヘズ採集セバ時季ニヨリ種々異ナリタルモノヲ集得ベシ、

第一編 昆蟲ノ採集

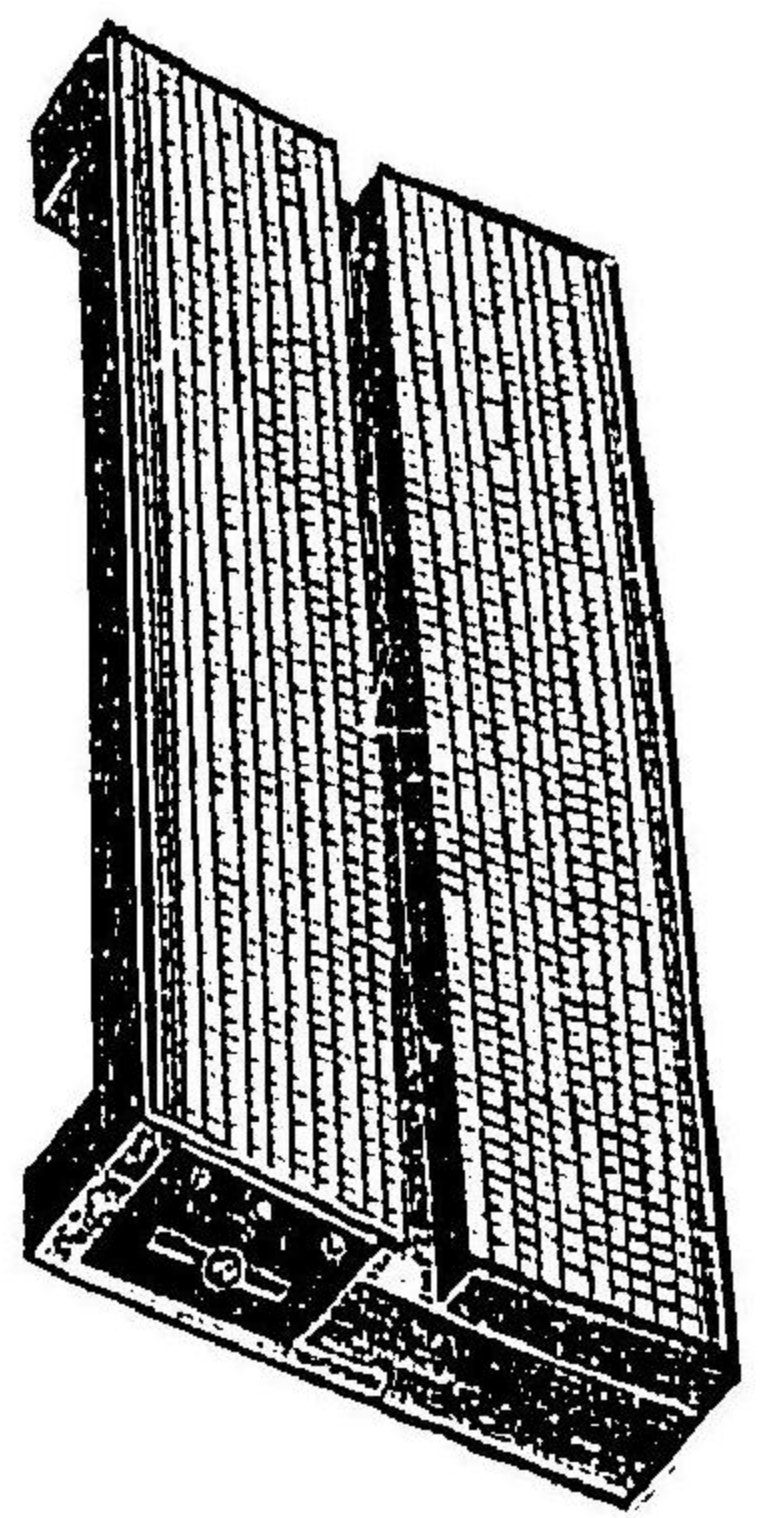
第二編 昆蟲製作法

第二章 昆蟲製作法

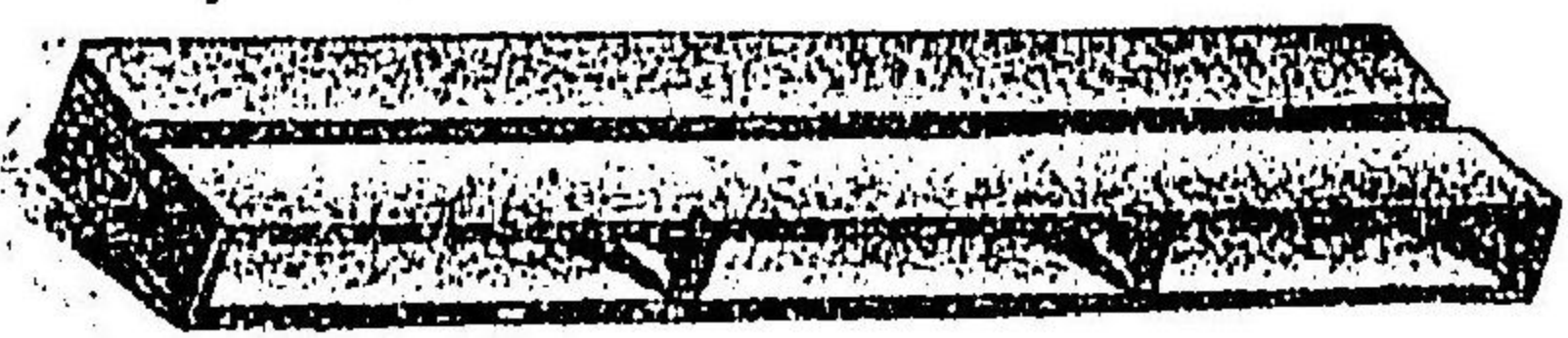
第一章 製作器具

第一節 展翅板

第四十一圖 展翅板(伸縮自在)



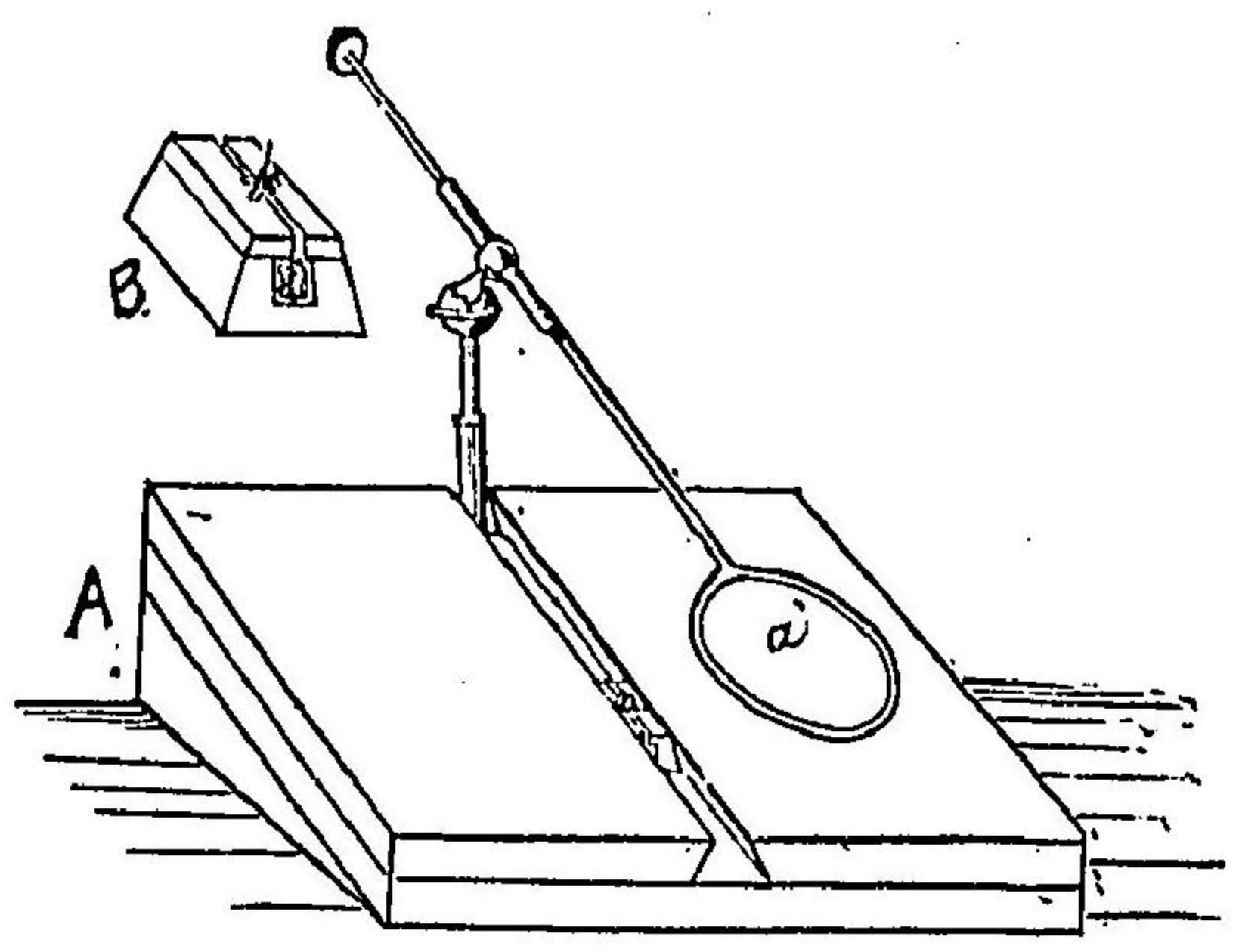
第四十四圖 普通形之展翅板



此ハ第四十一圖ノ如ク二枚ノ板ヨリ成リ、中央ニハ蟲體ヲ容ルベキ溝ヲ有ス、溝底ニハ「こるく」板ヲ張り針ヲシテ容易ニ刺シ得易クナスベシ、兩側ノ板ハ可成水平トナシ且ツ伸縮自在ナル様造リ置クヲ便トス、尤モ多數ノ蝶蛾其他ノ昆蟲ヲ展翅スル場合

第二編 昆蟲製作法

第三十圖



ヲ小三角形ニ切りタルモノニ針ヲ刺シテ壓シ置クベシ、又普通形ノ微小展翅板ヲ造リ小蛾ヲ展翅

第四十四圖 展翅針

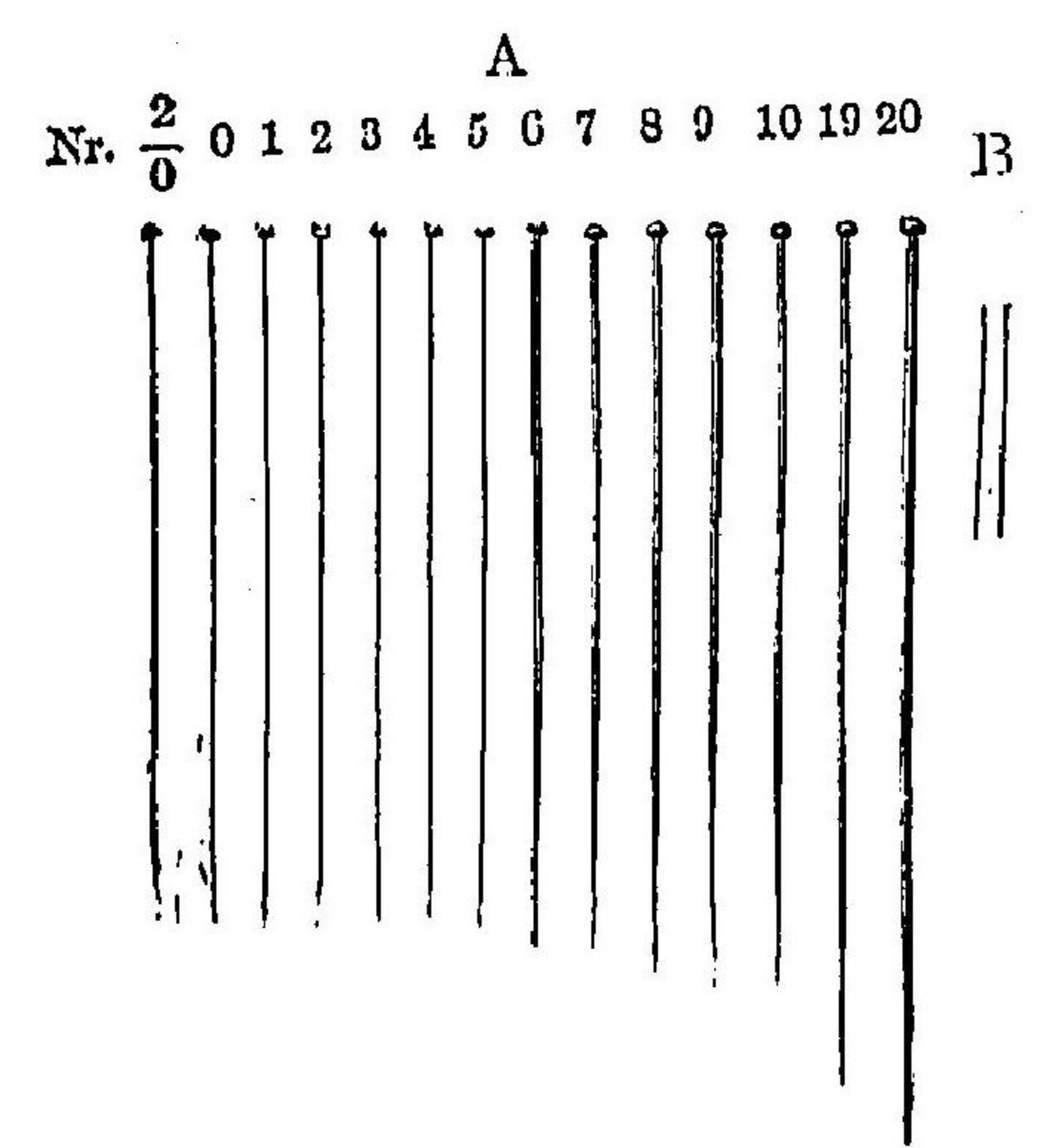


ニハ種々ノ溝ヲ有スル固定ノ展翅板(第四十二圖)ヲ造リ置クヲ利益トス、板面ヲ基盤目ニ切り置ク時ハ左右兩翅ノ上下ヲ見ル便アリ、溝底ニ臺灣産ノ通草ヲ用ユル時ハ一層便ナリ、兩側ノ板ニハ桐ノ如キ柔カキモノヲ用ヒ、翅ヲ押ヘルニハ書學用ノ寫生布ツレシシクハグリスヲ細ク切り用ユルカ若クハ絹真田ノ細キモノヲ用ユ、小蛾ヲ展翅スル場合ニハ第四十三圖ノ如キ特別裝置ヲ要ス、即チ微小ノ展翅板(B)ヲ造リ展翅スルニハ微針ヲ用ユ、此小展翅板ヲ(A)ノ大展翅板ニ符メ後(H)ノ如キ廓大鏡ヲ以テ翅ヲ展スノ構造ナリ、翅ヲ押ヘルニハ日本紙ヲ極ク細ク切り之レヲ固着スルニハ厚紙

第二編 昆蟲製作法

シ得ベシ、又翅ヲ展スニハ第四十四圖ノ如キ展翅針ヲ用ユベシ、  
第二節 昆蟲針

此ニハ種類多シト雖モ普通使用スルモノハ真鍮ニ白銅ヲ被セタル獨逸製ノモノ  
第四十五圖 (B)A) 昆蟲針  
(B) 微針



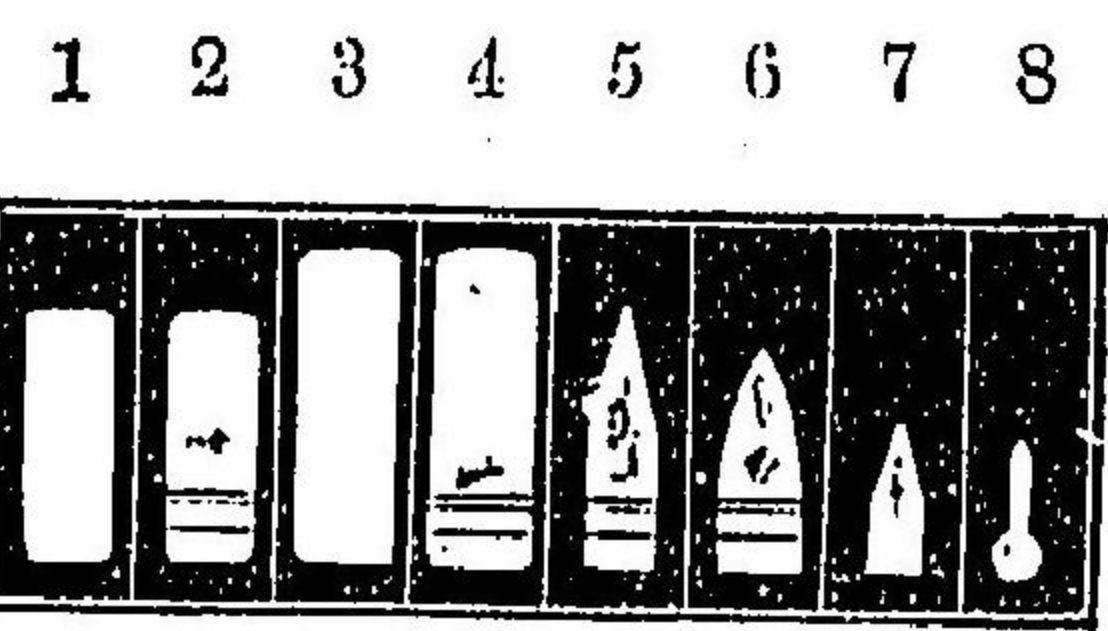
ニシテ其長サ十號迄ハ一寸二分餘アリ、又十九號ハ一寸五分、二十號ハ一寸六分アリ、本邦ノ如ク空氣ニ多量ノ水分ヲ含有スル國ニテハ鋼鐵針ハ銹ヲ生ズルノ憂アルヲ以テ寧ロ不適當トス、第四十五圖(A)ノ如クヨリ20號迄ノ種類アレドモ普通用ユルモノハ3. 4. 5. 6. 7. ノ五種ナリ、微小ノ昆蟲ヲ刺ス場合ニハ白銅若クハ銀製ノ微針(第四十五圖(B))ヲ用ユ、第四十七圖ノ如キ髓粘ニ並べ刺スベシ、總テ針ヲ刺スニハ三分ノ二ヲ貫キテ三分ノ一ヲ殘シ置クベシ、甲蟲若クハ椿象ヲ刺ス場合ニハ右ノ翅鞘ヲ貫クヲ定期

第二編 昆蟲製作法

トス、

第三節 貼附紙

第四十六圖 貼附紙

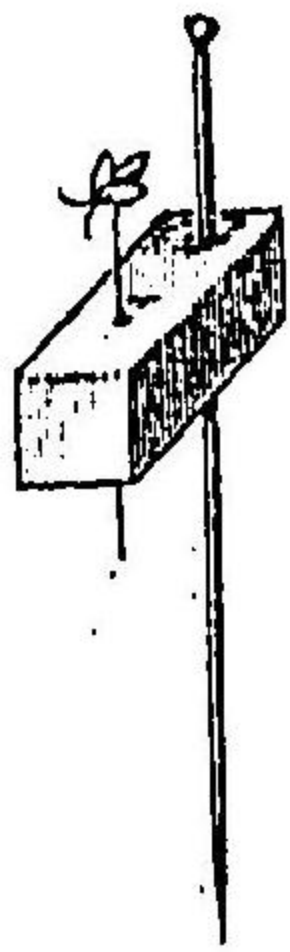


普通使用スルモノハ第四十六圖ノ内5ト6ノ二種ニシテ小ナルモノハ長サ三分五厘、幅一分三厘、大ナルモノハ長サ四分五厘、幅一分五厘、後縁ニ三横線ヲ畫キ、最後ノ線ニ針ヲ刺スベシ、此ノ如ク前縁ヲ三角形ニナストキハ裏面ノ一部ヲ見ルニ適スレドモ亦脱落ノ患ナキニアラザルヲ以テ寧ロ2及ビ4ノ長方形ヲ安然トス、但シ此場合ニハ表裏ヲ現ハス様、一ハ裏ヲ貼附スベシ、從來「げらん」貼ヲ用ヒタレドモ變色シ易キノミナラズ、火ニ近接セシムルトキハ反リ返ル患アルヲ以テ目下之レヲ使用スルコト稀ナリ、貼附紙ヲ要スル昆蟲ハ椿象、蠅、及ビ小形ノ甲蟲ナリトス、

第四節 髓 貼

菊芋、向日葵、山吹若クハ通草ノ髓ヲ長方形ニ切り、第四十七圖ノ如ク微針若クハ細銀線(細鐵線)ニテモ宜シケレドモ銹ヲ生ズル患アリヲ貫キタル小昆蟲ヲ之レニ刺

第四十七圖 髓貼



シ更ニ其一端ヲ普通ノ昆蟲針ニテ貫キ以テ貯藏箱ニ納ムルナリ、就中菊芋及ビ通草ノ髓ハ堅クシテ最モ之レニ好適セリ、但シ能ク乾燥セザレバ針ニ青銹ヲ生ズルコトアリ、注意スベシ、浮塵子、蚜蟲、木蠹、茶柱蟲、蠅、蜂ノ如キ長脚ヲ有スル小昆蟲ヲ刺スニ用ユ、

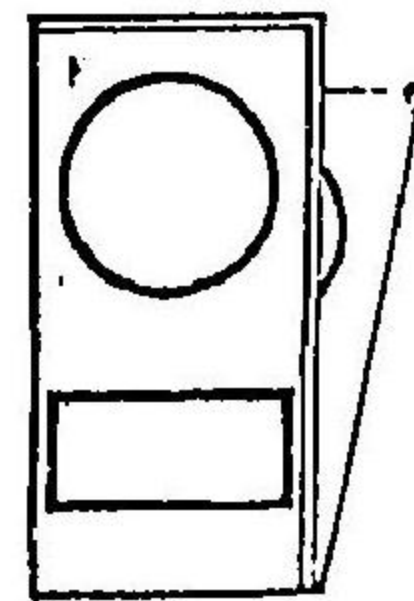
第五節 貼附硝子

此ハ第四十八圖ノ如キ小硝子板ニシテ紙製框ニ箝メ彈尾目、蠹、羽蠹、蚜蟲、菊馬、其他微小ノ昆蟲ヲ貼附スルニ用ユルモノニシテ殊ニ乾燥後収縮スルモノニ適切ナリ、尤モ之レハかなだ、ばるさむニテ貼附スルモノナルガ又全部之レニテ蓋ヒ普通ノふればららトト同様ニナシ、之レヲ針ニ刺シ昆蟲箱ニ並べ置クモ可ナリ、

第六節 貼附膠

從來昆蟲ヲ貼附スルニハ普通とらかんと護謄トあらびあ護謄ノ等分ヲ用ヒ來リタレドモ近來ハ「かなだばるさむ」ヲ「きしろ」ニ溶解シ用ユ、之レヲ解クニハ先ツ

第四十四圖 硝子貼附

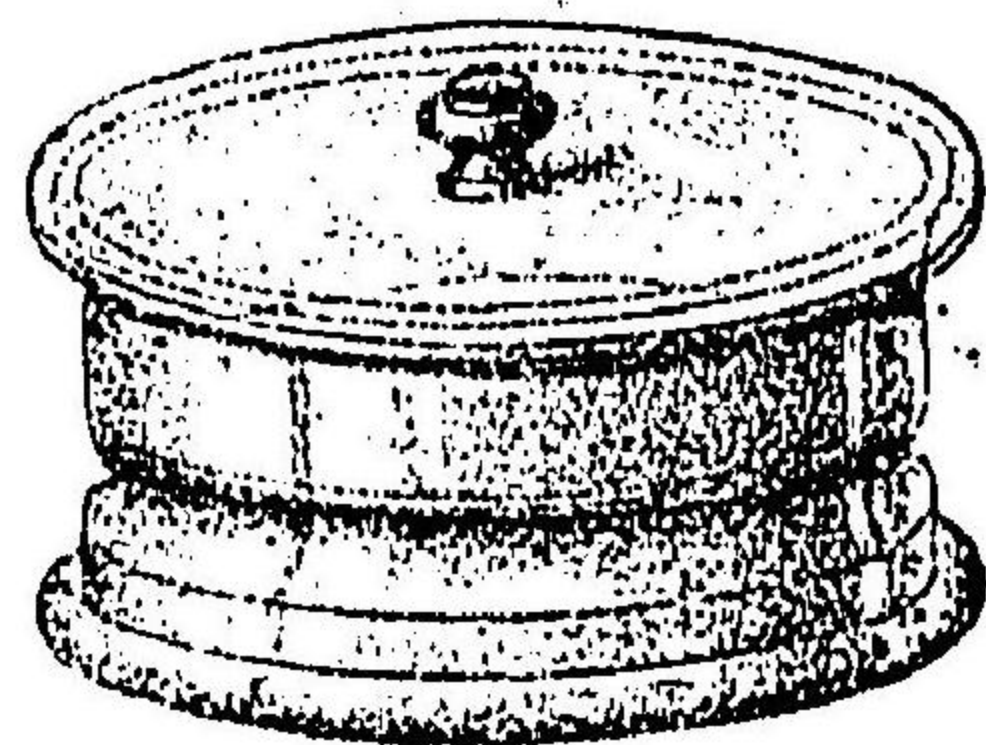


「かなだばるさむ」ニ四割位ノ「きしろ」ヲ加ヘ之レヲ文火ニテ一晝夜間煮解スベシ、然ラバ水分ヲ蒸發セシメテ透明液ヲ得ベシ、揮撥シテ堅クナル事アレバ其都度「きしろ」ヲ加ヘテ溶解スベシ、此ハ蝶蛾ノ破レヲ繕フニ最モ必要ナリ、又小蛾ヲ貼附スルニ用ユルコトアリ、此ハ酒精「きしろ」ニ「わ」ニテ若クハ「ころ」ニ「ほるむ」ニ溶解スルヲ以テ必要ニ臨ミ剝ギテ研究用ニ供シ得ベシ、酒精標本トシテ硝子板ニ貼附セント欲セバとらかんと護謄ヲ用ユベシ、

第七節 沾濕器

此ハ普通亞鉛箱ニシテ密封シ得ルノ蓋ヲ有ス、箱底ニハ濕砂ヲ挿入シ其上ニ乾燥セル昆蟲ヲ容レテ沾濕セシム、第四十九圖ニ示セルモノハ玻璃製ニシテ坊間ニ販賣ス、夏日ハ一晝夜ニテ給濕シ得ベシト雖ドモ、冬季ハ一週間ノ日數ヲ經ザレバ沾濕セズ、此場合ニハ箱ヲ暖爐ノ上ニ置クベシ、然ラバ二三時間ニシテ給濕シ得ベシ、夏日長時間箱中ニ昆蟲ヲ挿入シ置ケバ微ヲ生ズルヲ以テ石炭酸ノ少量ヲ滴下スベ

第四十九圖 沾濕器





シ、又速ニ給濕セント欲セバ金盞ニ濕砂ヲ入レ其上ヨリ兼テ濕シ置キタル「たうる」ヲ蓋ヒ下ヨリ熱スベシ、然ラバ一時間内外ニテ軟化スベシ、

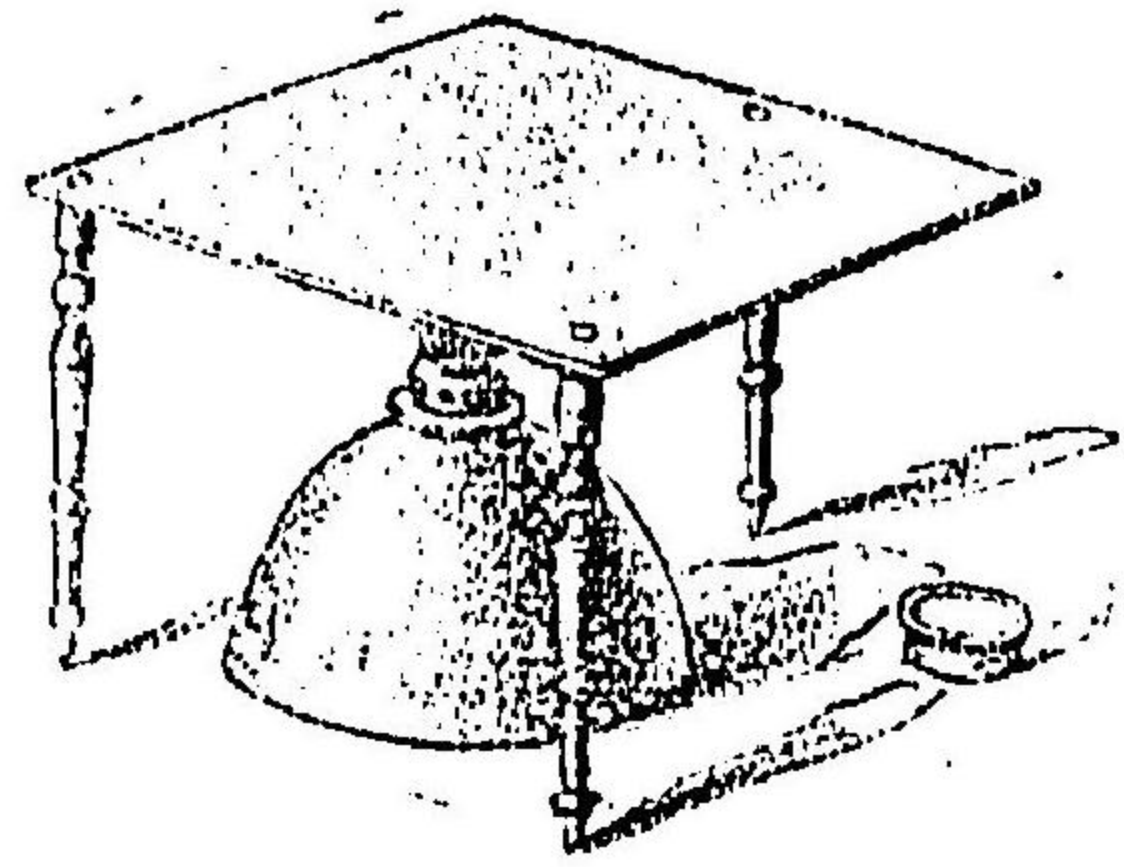
第八節 刺針 砧

此ハ大形ノ昆蟲ヲ刺スニハ用ナシト雖ドモ微小ノ昆蟲ヲ微針ニ刺ス場合ニ甚ダ必要ナリ、最モ之レニ適スルモノハ臺灣其他南洋ニ産スル通達木ニシテ通草之レニ次グ、前者ハ大木ナルヲ以テ通草ノ如ク數個相連續セザルモ可ナリ、目今同目的ヲ以テ厚キ絨氈ヲ用ユレドモ其刺シ難キ到底前者ノ比ニアラズ、尤モ大形ノ昆蟲ヲ刺ス場合ニハ別ニ差支ナシ、同目的ヲ以テ獨逸製ノ泥炭板モ大ニ願用セラル、針ヲ刺スニ當リ其深サヲ一定セシムル爲メ中央ニ小孔ヲ貫キタル木砧ヲ造リ其高サヲ八分位トナスベシ、即チ此ハ針長一寸二分ノ三分ノ一ニ當ルナリ、

第九節 乾燥 砧

此ハ第五十圖ノ如ク眞鍮若クハ白銅鍍ニテ三本脚ノ小机ナリ、其下ヨリ酒精燈ニテ加熱スルノ構造ヲ有ス、此ハ殊ニ貼附ニ利用セラル、モノナレドモ亦展翅セル昆蟲其他蚜蟲ノ如キ速ニ乾燥ヲ要スル場合ニ必要ナリ、横四寸、縦四寸六分位ヲ手

第五十五圖 乾燥 砧

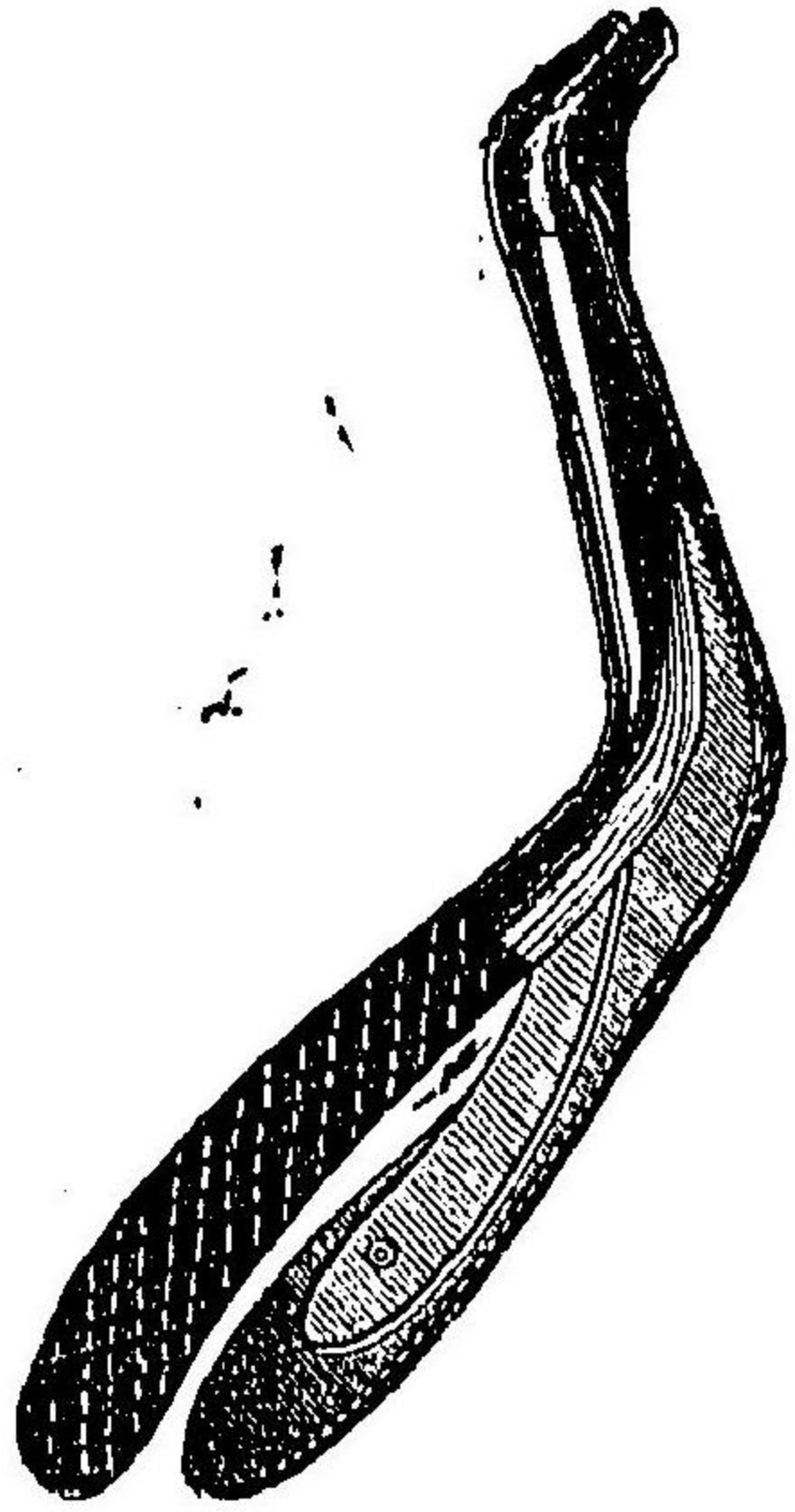


頃トス、蟬蛉其他綠色ナル直翅類ノ昆蟲ハ可成速ニ乾燥セザレバ變色ノ憂アリ、炎天ノ日ニハ内腑ヲ取り去リ直チニ日光ニ當テ乾燥シ得ベシト雖ドモ、雨天若クハ曇天ニハ乾燥貼ヲ用ユベシ、

第十節 鋸 子

此ニハ種類多シト雖ドモ先ヅ少ナクモ二種ノ必要アリ、一ハ第五十一圖ニ示セルガ如キ大ナルモノニシテ標本ヲ移置スルニ用ヒ、他ハ第二十一圖ニ示セルガ如ク小ナ

第五十一圖 標本移植ニ用ル鋸子



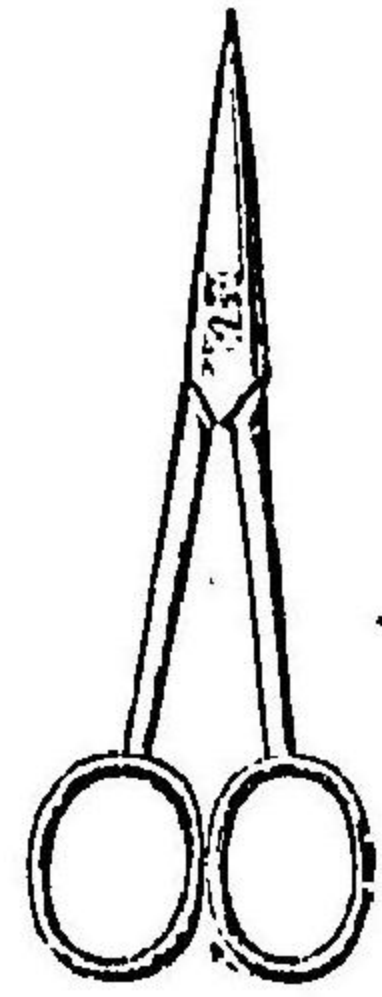
ルモノニシテ微針ヲ刺スニ用ユ、微針ヲ挟ム場合ニハ尖端ノ能ク食合ヒタルモノニアラザレバ滑リテ針ヲ飛ばスコトアリ、殊ニ微針ハ一度飛去セバ再ビ發見シ難キヲ以テ此場合ニハ可成精巧ノモノヲ用ユベ

第二編 昆蟲製作法

シ、採集用ニハ可成尖端ノ廣キ方ヲ便利トス、

第十一節 銹子

尖端ノ細キ銹子



此モ亦二種ヲ要ス、一ハ大ナルモノニシテ全般ノ用途ニ供シ、一ハ第五十二圖ノ如ク尖端ノ細キモノニシテ腹部ヲ破ルニ用ユ、殊ニ直翅目、蜻蛉目、及ビ肥大セル鱗翅目ニ必要ナルモノナリ、腹部ノ内臓ヲ破リテ取り去ラザレバ油脂ヲ生ズルノミナラズ蜻蛉及直翅目ノ如キハ變色ノ憂アリ、

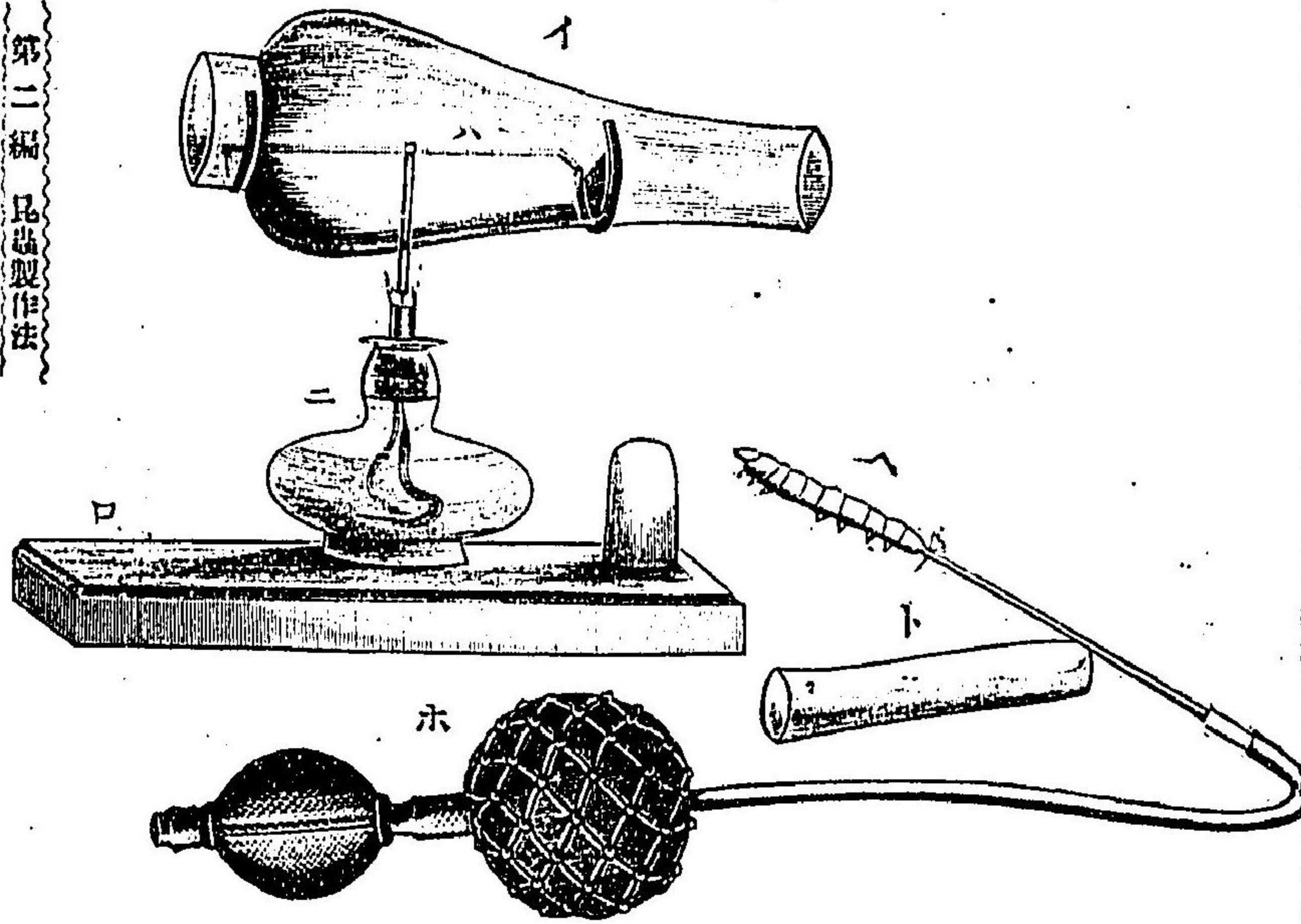
圖二十五第

第十二節 吹脹器

此ハ第五十三圖ニ示セルガ如キ各種ノ器具ヲ要ス、幼蟲ヲ吹脹スルニ用ユ、先ヅ普通洋燈ノほやヲ取りテ圖ノ如ク裝置シ酒精燈ヲ以テ之レヲ熱シ、其内ニテ豫メ内臓ヲ取り去リタル幼蟲ヲ吹脹シナガラ乾燥ス、内臓ヲ除却スルニハ先ヅ鋸子ニテ肛門ヲ破リ、吸取紙ヲ以テ蔽ヒ、後徐々ニ内臓ヲ引出スベシ、充分内臓ヲ取り去リタルトキハ適宜ノ麥稈ヲ挿入シテ頭部ニ至ラシメ、尾端ヲ微針ニテ留メ、之レヲ吹脹器ニ附屬セル護膜管ニ通シテ吹脹スルナリ、

第三十五圖 吹脹器

第二編 昆蟲製作法

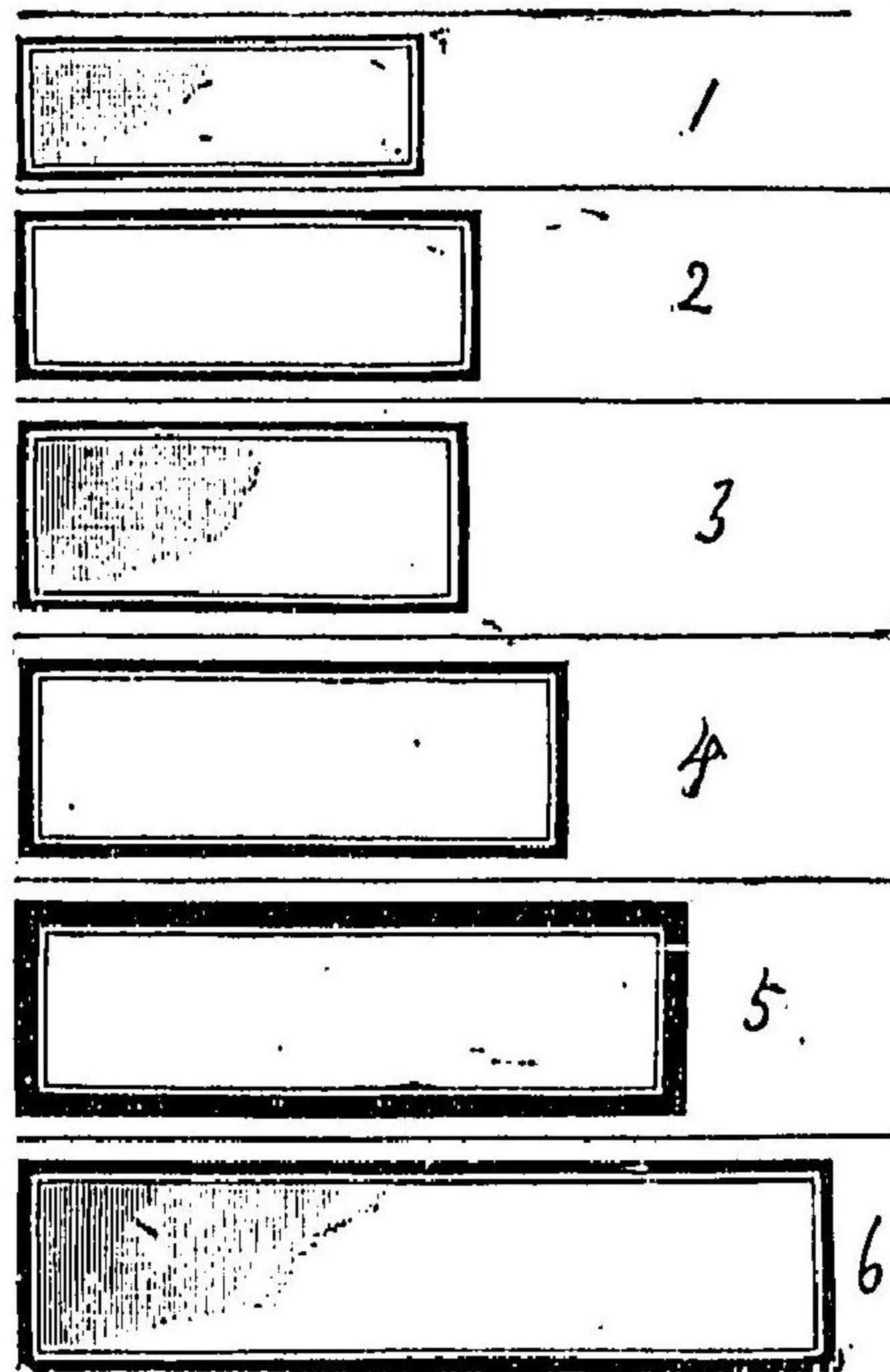


乾燥後ハ麥稈ヲ五分位ノ處ヨリ切り、其稈内ニ更ニ別ノ小稈ヲ挿メ、後針ヲ貫クベシ、初メハ完全ナル標本ヲ得ル事難シト雖ドモ、次第ニ熟練シテ殆ンド自然同様ノ幼蟲ヲ得ベシ、蟲體ハ可成手ニ觸レザル様ニナスベシ、殊ニ毒蛾科及ビ燈蛾科ノ幼蟲毛ハ折レ易シ、又一度ほやノ内ニ入レタルモノハ可成迅速ニ乾燥セシムベシ、然ラバ自然色ヲ得ベシ、

第十三節 ぶればらーと製法

現今完全ナル廓大鏡ノ發見セラレシ以來ぶればらーとニ製セザ

第五十五圖 學名札ノ種類



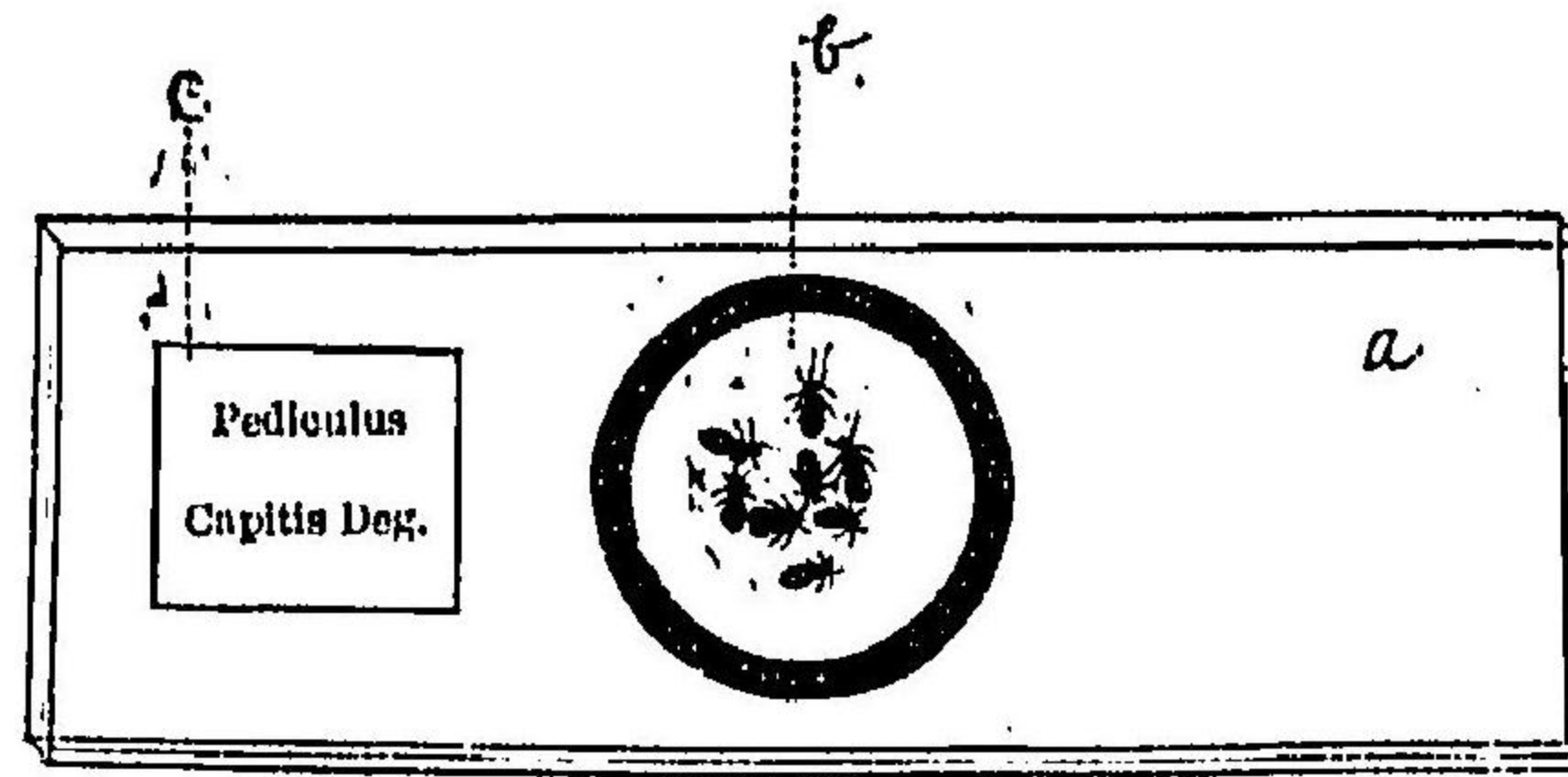
第二編 昆蟲製作法

るさむヨリ脱セントシテ自然ニ脚及ビ翅ヲ伸スベシ、又介殼蟲ノ如キハ哥性曹達ニテ介殼ヲ溶解シ後ふればらーとトナベシ、又介殼蟲科ノ介殼及ビ蠟ハ白金匙ニ載セ酒精燈ニ高ク懸スベシ、然ラバ易ク溶解スベシ、又ぐりすりんニ浸漬シタル標本ヲふりばらーとトナストキハ微ヲ生ズルノ憂アルヲ以テ覆硝子ノ周圍ニらっく(青瀝若クハあんばーらっく)ヲ塗沫スベシ、

第十四節 學名及ビ地名札

標本ニハ必ず採集地名及ビ月日ヲ附記スベシ、其附記ナキモノハ標本ノ價値ナシ、尤モ日本産ナレバ國名ナキモ其日本タルヲ知り得ベキモ之レニ朝鮮、支那、印度、歐洲等ノ標本入り來ル場合ニハ是非國名ナカルベカラズ、月日

第五十四圖 夫らば一ノ製法ヲ示ス



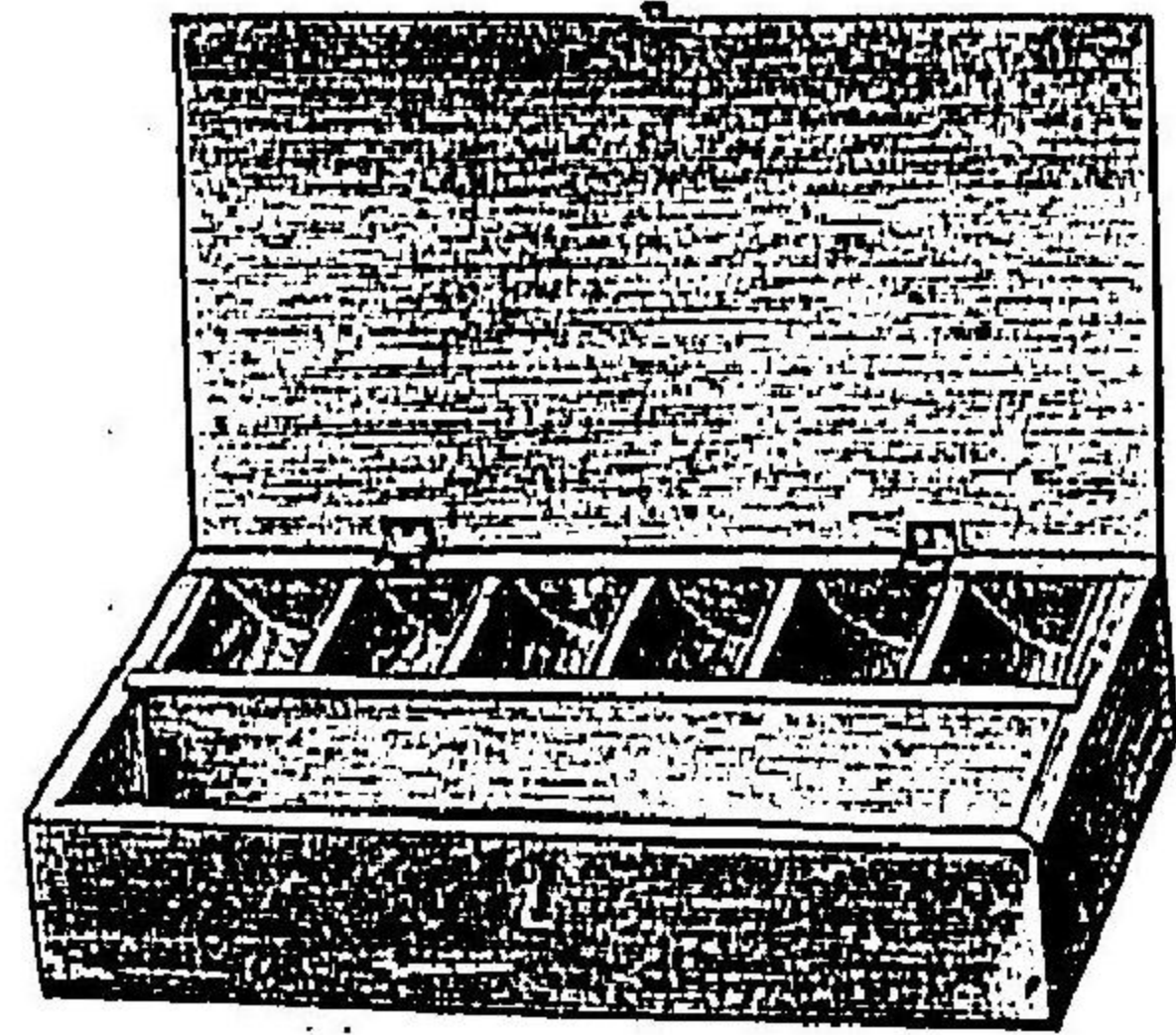
- (a) 臺硝子
- (b) 覆硝子
- (c) 學名紙

ハ消滅スベシ、蚜蟲ノ如キハ生キタル儘ふればらーとトナスベシ、然ラバ蚜蟲ハば

ルモ猶能ク研究用ニ供シ得ベシト雖ドモ、ふればらーとニ製スルトキハ一層充分ニ視察シ得ベキヲ以テ又此製法モ知ラザルベカラズ、普通ハ標本中ノ水分ヲ除却スル爲メニ順次低度ヨリ高度ノ酒精ニ移シ、更ニ之レヲてれびん油ニ浸漬シテ透明トナシ、後之レヲ臺硝子上ノ中央ニ置キ、其上ヨリさしろーるばるさむ(百二十七頁ヲ見ヨ)ヲ滴下シテ其上ニ覆硝子ヲ置クニアリ、此ハ蒸練ヲ要スルモノナレバ度々之レヲ試ミテ獨特ノ製法ヲナスベシ、初メハ氣胞ヲ生シテ大ニ外觀ヲ損スルコトアレドモ次第ニ堪能トナルベシ、氣胞ヲ取ルニハ覆硝子ノ上ニ活字ノ如キ小鉛片ヲ載セ置クベシ、一晝夜モ放置セバ氣胞

第二編 昆蟲製作法

第十五圖 針入箱



第二編 昆蟲製作法

此場合ニモ此ノ小札ヲ用ユ、此たいぶす、しめんニ比較シテ識別セラレタル標本ヲこよう、たいぶト云ヒ交換用ニ使用セラル、モノナリ、たいぶすべしめんノ多クアル程其標本室ノ名譽ナリ、即チ確實ニ學名ヲ知ラント欲セバ命名者ニ識別ヲ乞フカ然ラズンバ自ラ其貯藏セラル、處ニ至リテ比較セザルベカラズ、今日大英國博物ノ重キヲナセルハ之レガ爲メナリ、

第十五節 針入箱

此ハ第五十八圖ノ如キ木製ノ箱ニシテ右側ノ小室ニ種々ノ昆蟲針ヲ入レ左側ノ長キ凹所ニハ鋸子、鋏子、鑷、其他昆蟲標本製作ニ必要ナルモノヲ藏スルニ用ユ、此ハ案外便利ナルモノニシテ余ハ常ニ之レヲ旅行ニ携帶ス、此場合ニハ針ノ箱隙ヨリ漏出スル憂アルヲ以テ厚紙ヲ適宜ノ大サニ切リテ各小室ヲ壓ヒ置クベシ、又鋸子其他道具ノ動搖ヲ防グ爲メニハ新聞紙ノ古キモノヲ以テ壓へ置クベシ、

第五十七圖 學名別者小付札名

Papilio xuthus L.	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura
Oxya velox F.	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura
	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura
	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura
	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura	det. Matsumura

Sapporo
Dr. Matsumura
20 VIII 1905
Ogasawara
Matsumura
Japan.
Matsumura
Budapest
Matsumura
Palermo
Matsumura
Malaga
Matsumura
Stella
Matsumura
Sapporo
Matsumura
Hungaria
Matsumura

第五十六圖 地名札ノ種類

第二編 昆蟲製作法

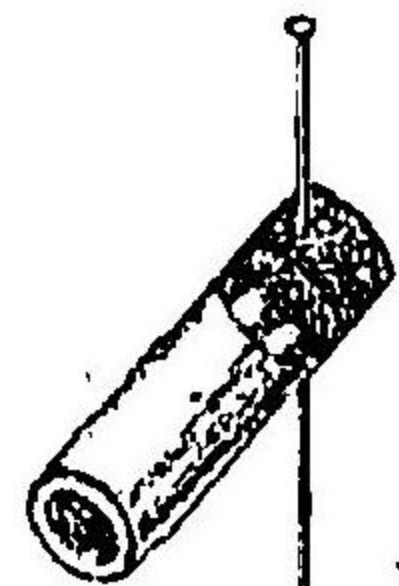
ハ年發生ノ回数ヲ知り得ルノミナラズ又再度ノ採集ヲナスニ便利ナリ、其寸法ハ任意ニナスベシト雖ドモ一定トナシ置クベシ、學名ハ殊別ニ印刷シタルモノアレバ之レヲ切リテ貼ル方美觀ナリ、若シ印刷シタルモノナキ場合ハ第五十五圖ノ如キモノ何レカヲ用ヒ、之レニ記入スベシ、地名及ビ採集者ノ名ハ第五十六圖ノ如ク名刺紙ニ活版刷トナシ置キ、其都度年月日ヲ記入スベシ、最モ遠ク臺灣、沖繩、其他支那、朝鮮等ニ採集ヲ試ミタル場合ハ其地名ニ年月ヲモ記入シ置クヲ使トス、之レヲ標本下ノ最上ニ貫キ、第五十七圖ノ如キ學名識別者ヲ活版刷トナシタル小札ニ學名ヲ記入シテ其下ニ刺シ置クベシ、昆蟲學者ノ新種トシテ記載シタルモノハ必ズたいぶすべしめんとシテ區別シ置カザルベカラズ、

## 第二章 製作各論

### 第一節 彈尾目

此ハ何レモ乾燥後収縮スルヲ以テ浸漬劑ヲ用ユルニアラザレバ自然ノ形態ヲ保存スルコト能ハズ、野外ニ採集シタルモノハ酒精ニ投ジテ持チ歸リ後分類シテかなだばるさむ若クハ浸漬劑ニ移スベシ、前者ヲ用ユル

#### 第五十九圖 小硝子管



場合ニハ第四十八圖ノ貼附硝子ヲ用ヒ、浸漬劑ヲ用ユル場合ハ第五十九圖ノ如キ小硝子管ヲ用ユ、何レモ針ニ刺シ得ベキヲ以テ標本箱ニ陳列シ置クベシ、衣魚若クハ石跳蟲ノ如キ大形ナルモノハ直接針ニ刺シ標本トナスベシ、但シ此場合ニハ充分成長シタルモノヲ撰ブベシ、總シテ彈尾目ニ屬スル昆蟲ハ鱗毛剝離シ易キヲ以テ注意スベシ、

### 第二節 蜉蝣目

此ハ捕獲後可成生キタルモノヲ持チ歸ルベシ、死後ハ直チニ乾燥スルノ憂アリ、針

刺標本ト共ニ浸漬標本ヲモ製シ置クベシ、研究用ニハ後者ヲ要ス、蓋シ此ハ尾端ノ附屬物ニヨリテ分類スルコトアレバナリ、乾燥標本トシテ左側ノミ展翅シタルニ三匹ヲ陳列シ他ハ疊ミテ横刺ニナシ置クベシ、然ラバ場所ヲ要セザルノミナラズ破損シ難シ、尤モ横刺ニナシタル標本ノ翅脈ヲ見ント欲セバ白紙ノ小片ヲ翅間ニ挟ミ見ルベシ、脚ハ折レ易キヲ以テ前肢ハ後方ニ、中後ノ兩肢ハ前方ニ曲グ措クベシ、之レヲ曲グルニハ厚紙ノ小片ヲ針ニ刺シテ體下ニ接觸セシメ乾燥後ハ取り去ルベシ、

### 第三節 蜻蛉目

此ハ死後直チニ體ノ内臓ヲ取り去ラザレバ變色スルノ憂アリ、先ヅ細尖ノ缺子ヲ以テ體下ノ中央ヲ縦ニ切り内臓ヲ取り出シ後齧子ニテ胸部ノ筋肉ヲ除却スベシ、後相應ノ紙捻ヲ造リ腹端ヨリ胸部ニ挿入スベシ、然ラバ乾燥ヲ助クルノミナラズ腹部ノ折斷セラル、コトナシ、如斯製作セル標本ヲ速ニ乾燥セバ稍ヤ自然色ヲ保ツベシ、若シ曇天ナレバ乾燥砧ヲ用ヒ、炎天ニハ直接太陽ニ晒スベシ、此ハ展翅セバ場所ヲ取ルヲ以テ一二匹ノ外ハ盡ク疊ミテ横刺ニナスベシ、翅脈ヲ見ル場合ハ前

第二編 昆蟲製作法

目ノ如ク白紙ヲ挾ムベシ、此場合ニハ針ハ可成翅ノ附着部ニ刺スベシ、豆娘科ノ如キハ横刺トナシ、其下ニ同長ノ厚紙ヲ細ク切りテ刺シ置クベシ、左スレバ腹部ノ折レルコトナシ、

第四節 背翅目

此ハ展翅セバ研究ニ便ナルヲ以テ場所ノ許ス限リハ左側ノミ展翅スベシ時ニ尾端ノ附屬物ノ重要ナルモノアレバ一二ノ浸漬標本ヲモ造リ置クベシ、尤モ多數同種ノ標本ヲ有スル場合ハ盡ク展翅スルヲ要セズ、針ハ中胸背ノ右側ニ翅ノ上ヨリ刺スベシ、

第五節 白蟻目

此ハ翅ノ落ち易キモノナレバ注意スベシ、小形ナルモノハ微針ニ刺スベシ、幼蟲若クハ職蟻ハ可成浸漬標本トナスベシ、前種同種ニ二三匹ノ外ハ疊翅ノ儘刺針スベシ、女王ノ如キ腹部ノ膨大セルモノハ其内容ヲ取り去リ其内ニ綿ヲ容レ置クベシ、

第六節 嚙蟲目

此ハ小形ナルヲ以テ微針ニ刺サザルベカラズ、展翅ノ必要アレドモ甚ダ煩累ナル

ヲ以テ翅ノミ取りテ貼附硝子ニ入レ乾燥標本ト同所ニ刺シ置クベシ、又腹部ハ乾燥後收縮スルヲ以テ二三ノ浸漬標本ヲモ造リ置クベシ、此場合ニハ第五十九圖ノ小硝子管ヲ用ユベシ、又翅ハぶればらゝとトナセバ研究ニ便ナリ、

第七節 食毛目

此ハ貼附硝子ニ入レ置クカ若クハ小硝子管ニ入レテ浸漬標本トナスカノ何レカニアリ、乾燥標本ハ收縮スルノ憂アルヲ以テ乾燥貼ヲ用ユレバ稍ヤ收縮セザルノ標本ヲ製作シ得ベシト雖ドモ完全トハ稱スベカラズ、

第八節 疊翅目

此ハ針ニテ中胸背ノ右側ヲ貫キ置クモノナルガ、多數同種ノ標本ヲ有スル場合ニハ粘紙ニ貼附シテ數個一針ニ刺シ置クヲ便トス、展翅スルコトナシ、觸角ハ可成後方ニ曲ゲ置カザレバ折レ易キヲ以テ注意スベシ、蓋シ疊翅目ノ研究ニ於テ最モ重要ナルモノハ觸角ナレバナリ、

第九節 直翅目

此モ亦展翅スルノ要ナシ、蜚蠊ノ如キハ腹部ノ内容ヲ除去スルノ要ナケレドモ蟻

第二編 昆蟲製作法

娘科、竹節蟲科、蝗蟲科、螽斯科、蟋蟀科ノ直翅目ハ内容ヲ除去セザレバ變色スルノミナラズ、腐敗ノ憂アリ、何レモ銳尖ノ缺子ニテ腹面ヲ縦ニ切り、鋸子ニテ其内容ヲ取り出し、其内ニ綿ヲ詰メ置クベシ、針ハ中胸背ノ右側ヲ翅ノ上ヨリ刺ス、脚ハ第二節ノ蟬蟬目ニ説明セシ如ク中央ニ疊ムベシ、

第十節 總翅目(胸脚目)

此ハ微小ナルヲ以テ貼附若クハ浸漬標本トナス、尤モ直接粘紙ニ貼附スルコトアレドモ此場合ニハ標本ノ塵埃ヲ被リテ研究用ニ供スル能ハザルコトアリ、貼附筒子ニぶればらゝトトナスヲ第一トス、微針ニ刺シ之レヲ髓粘ニ併ベ置クモ良法ナリ、

第十一節 有吻目

(イ) 無翅亞目 | 貼附若クハ浸漬標本トナスベキモノナリ、乾燥標本ハ収縮スルヲ以テ製作セズ、尤モ乾燥粘ヲ用ユルトキハ稍ヤ完全ナルモノヲ得ベシ、  
(ロ) 同翅亞目 | 此ハ大ナルモノニ限リ直接刺針スルモノナルガ、浮塵子ノ如キ微小ナルモノハ微針ヲ用ヒザルベカラズ、展翅ノ要ナシト雖ドモ研究用ニハ翅ノ必要ナリ、

アレバ臨時剝離シテ鏡下ニ檢スベシ、翅ヲ貼附筒子ニ容レぶればらゝトトナシ置ケバ一層便ナリ、介殼蟲ノ如キハ樹枝ニ附着セル儘標本トシテ箱中ニ刺シ置クベシ、雄ニハ微針ヲ用ユ、

(ハ) 異翅亞目 | 此ハ中胸背ノ右側ヲ翅ノ上ヨリ刺スベシ、稜狀部ノ中央ヲ貫クトキハ往々胸片ノ突起ヲ折ルノ憂アリ、小ナルモノハ粘紙ニ貼ルベシ、微小ナル球形ノ水蟲ノ如キニハ微針ヲ用ユベシ、何レモ展翅セズ、

第十二節 脈翅目

此ハ兩翅ヲ展開スルトキハ場所ヲ取ルヲ以テ左翅ノミヲ開クベシ、又重複標本トシテハ展翅スルヲ要セズ、幼蟲ハ浸漬標本トナスベシ、屋根形ニ高ク疊メル標本ハ横刺ニナスヲ便トス、大形ノ腹部ヲ有スルモノハ内容ヲ除却シテ綿ヲ詰メ換ヘ置クベシ、

第十三節 蠍蟲目

此ハ前目ト同様ニ盡ク乾燥標本トシテ差支ナシ、長脚ヲ有スルモノハ第二節蟬蟬目ニ説明セル如ク脚ヲ疊ムベシ、幼蟲ハ浸漬スベシ、

第十四節 毛翅目

大形ナルモノハ腹部ノ内容ヲ取り去リ綿ヲ詰メ換ユベシ、翅ハ左側ノミ開クベシ、脚ハ分類ニ重要ナルバ折レザル様注意スベシ、幼蟲ハ浸漬標本ヨリモ寧ロ吹脹シテ乾燥標本トナスベシ、

第十五節 鱗翅目

此ハ展翅スベシ、尤モ蝶ニ限り裏面ヲ現ハス爲メ蝨ミタル儘横刺ニナスコトアリ、天蛾其他腹部ノ膨大セルモノハ其内容ヲ除却シテ綿ヲ詰メ換ユベシ、小蛾類ニハ微針ヲ用ヒ、展翅スルニハ小蛾用展翅板ヲ用ユ、幼蟲ハ吹脹シテ可成乾燥標本トナスベシ、腹部ニ油脂ヲ生シタルトキハ翅ノ全部ヲ變色セシムルヲ以テ惜ゲナク腹部ヲ取り捨ツベシ、此ハ青酸加里ノ塚ニ長時入レアリタルモノカ若クハ腹部ノ内容ヲ取り去ラザルガ爲メ生ズルモノニシテ驅除ノ法ナシ、

第十六節 双翅目

展翅スレバ美麗ナレドモ時ヲ要スル多キヲ以テ双翅學者ハ多ク展翅セズ、小形種ニハ微針ヲ用ユ、觸角ハ重要ナルヲ以テ折レザル様注意スベシ、大蚊ノ如キ長脚ヲ

有スルモノハ第二節蟬蟬目ニ説明セル如ク脚ヲ折り蝨ムベシ、幼蟲ハ浸漬スベシ、又數多アル標本ハ一本ノ針ニ數匹ヲ刺シ置クベシ、

第十七節 微翅目

此ハ微針ヲ刺シテ乾燥標本トナスベク、又貼附標本トモナシ得ベシ、研究用ニハ浸漬標本ヲ最モ可トス、ふればらーとトセバ内容ヲモ透視シ得ベシ、幼蟲ハ浸漬スベシ、

第十八節 鞘翅目

大ナル甲蟲類ハ右側ニ刺針シテ展翅スルコトナシ、微小種ハ粘紙ニ貼附シ又稀ニ微針ヲ用ユルコトアリ、但シ貼附スル場合ハ裏面ヲ現ハシタル一二ノ標本ヲモ作リ置クベシ、一種ヨリナキ貴重品ハ觸角及ビ脚ヲ展シテ貼附スベシ、幼蟲ハ浸漬スベシ、

第十九節 膜翅目

大ナルモノハ右翅ヲ展シ刺針シテ標本トナスベシ、小ナルモノハ微針ヲ用ヒ展翅ヲ要セズ、此ハ不得已外ハ貼附スルコトナシ、幼蟲ハ浸漬標本トナシ、葉蜂ノ如キハ吹脹シテ乾燥標本トナスベシ、



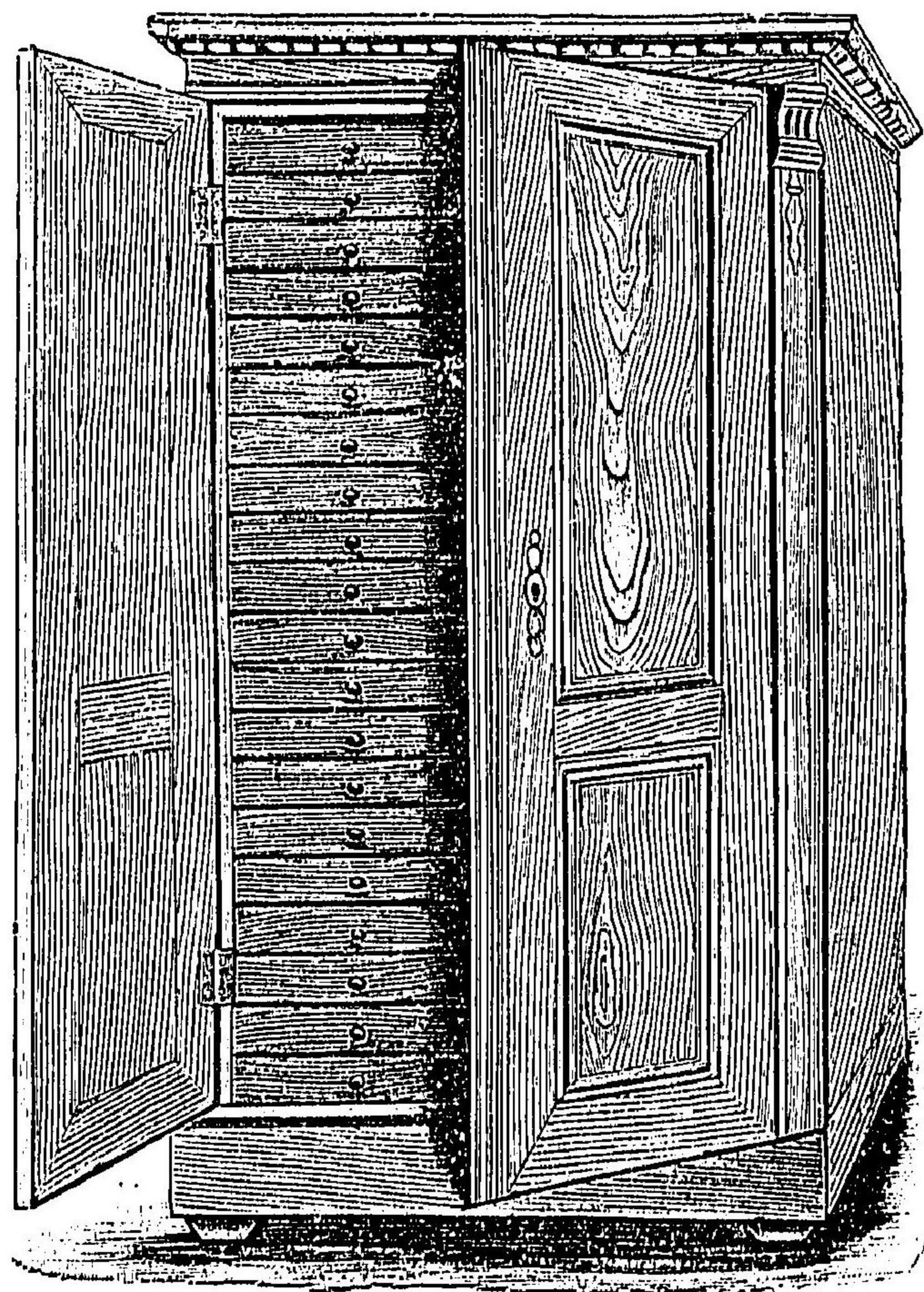
### 第三編 標本保存法

#### 第一章 標本貯藏具

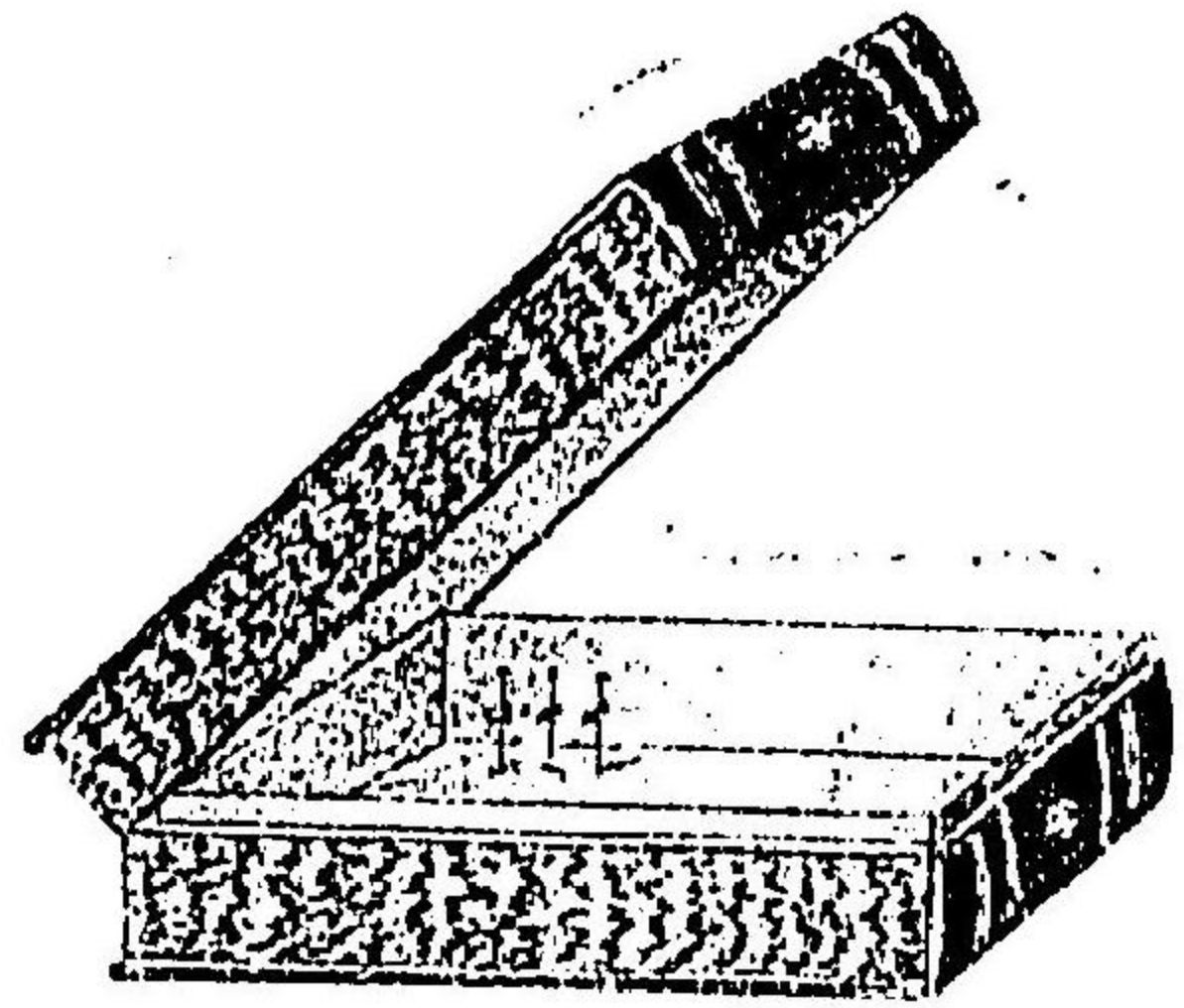
##### 第一節 標本箱

此ニハ種類多シト雖ドモ第六十圖ニ示セルモノハ最モ普通ニ用ヒラル、モノナ  
 リ、塵埃ノ入來ヲ防グ爲メ更ニ外部ニ扉ヲ附スベシ、箱ノ大小ハ任意ニナスベシト  
 雖ドモ内部ノ構造ニ至リテハ大ニ注意ヲ要ス、殊ニ木邦ノ如キ濕分ノ多キ地方ニ  
 アリテハ可成其影響ヲ被ラザル様ナスベシ、底ニハ普通疊表ヲ用ユレドモ針ノ銹  
 ビル患アルヲ以テ用ヒザルヲ可トス、獨逸製ノ「ごるふ」ハ少シク重キニ失スレドモ  
 疊ニ優ルコト數等ナリ、更ニ一層良好ナルモノハ障子ナリ、余ハ常ニ兩面西の内ヲ  
 貼リタル二枚ノ障子ヲ用ヒ此中間ニ更ニ一枚ノ厚紙植物ヲ乾燥スルニ用ユルモ  
 ノヲ挿入ス、此ハ水氣ヲ合マザルノミナラズ針ノ銹ビルコトナシ、但シ臺灣其他深  
 洲地方ニ産スル通達木ヲ用ユレバ一層良好ナレドモ高價ニシテ得難キ患アリ、近

第十六圖 標本箱



第三十六圖 書物形標本箱

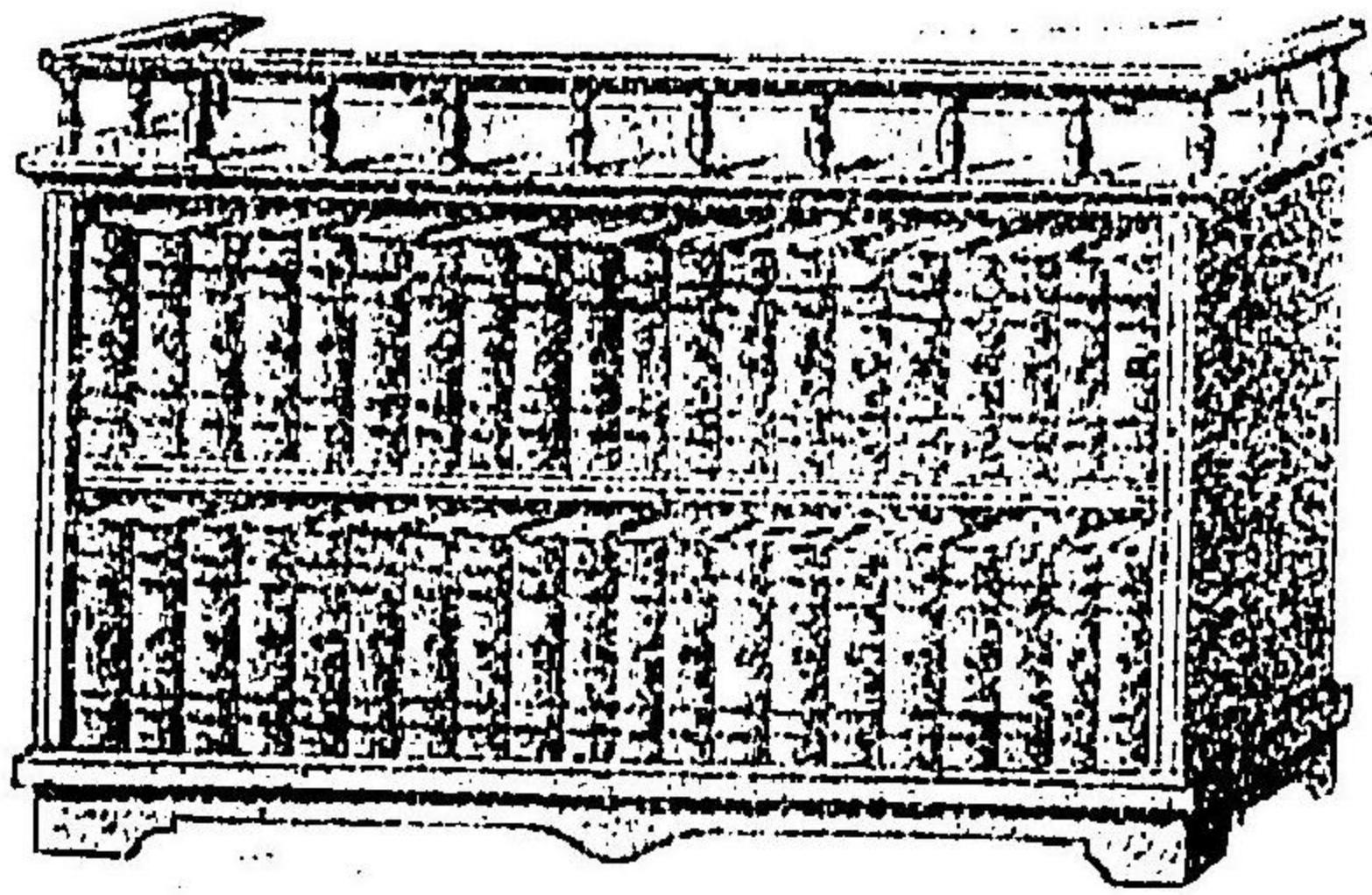


スル者ニ向テハ殊ニ便利ナリ、脊ニハ活版刷ニテ  
 科若クハ屬ノ學名ヲ記入シタル小札ヲ貼リ置ケ  
 バ更ニ一層美ナリ、研究室ニアリテハ如斯箱ヲ要  
 スル事少ナシト雖ドモ己ノガ居間ノ机上ニ置ク  
 ニハ好適セリ、又旅行中携帯スルニモ便ナリ、  
 又第六十五圖ノ如ク長サ一尺五寸、幅一尺二寸位

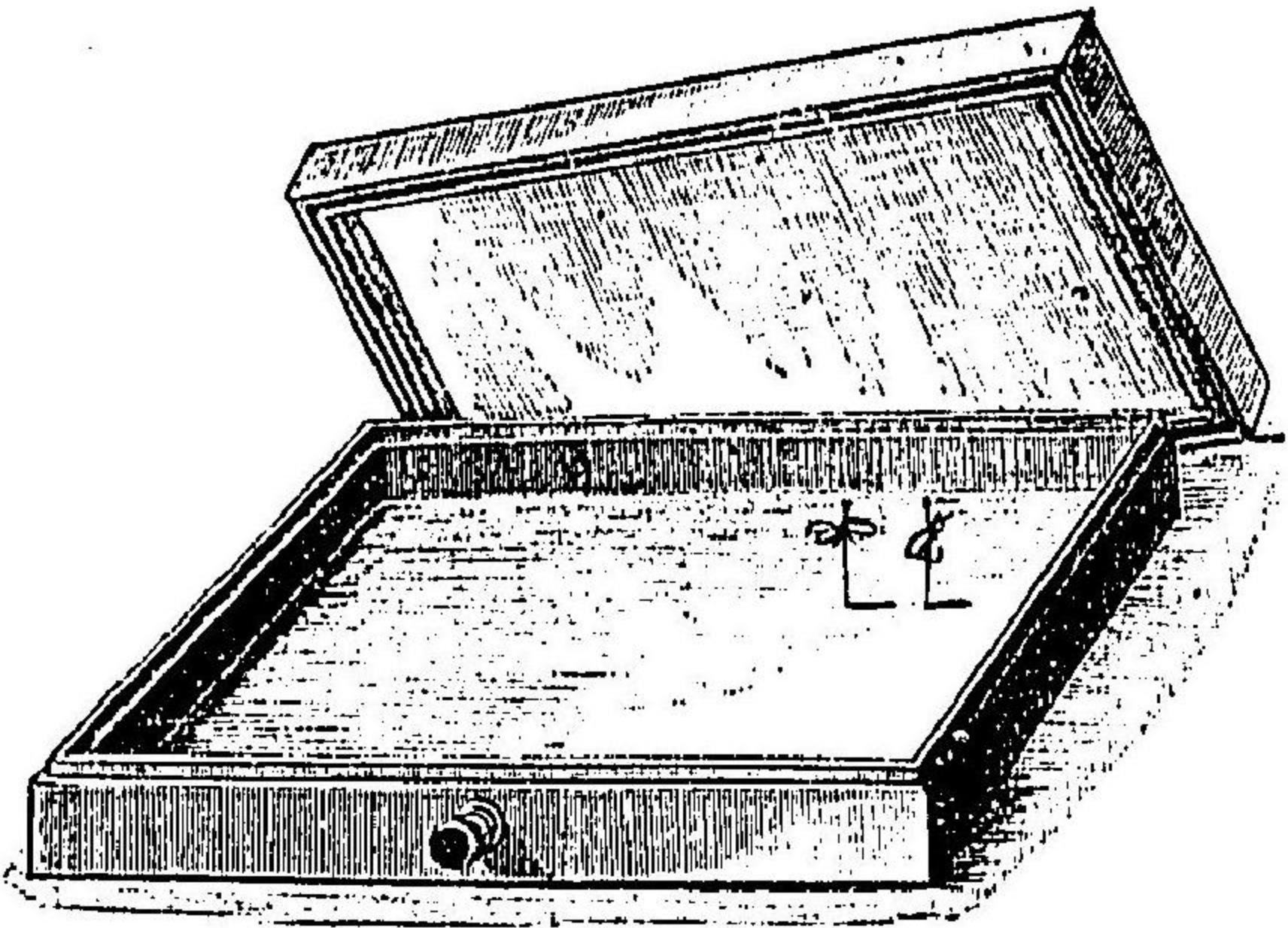
第三編 標本保存法

第四十六圖

書物形標本箱ヲ棚ニ併列シタルモル

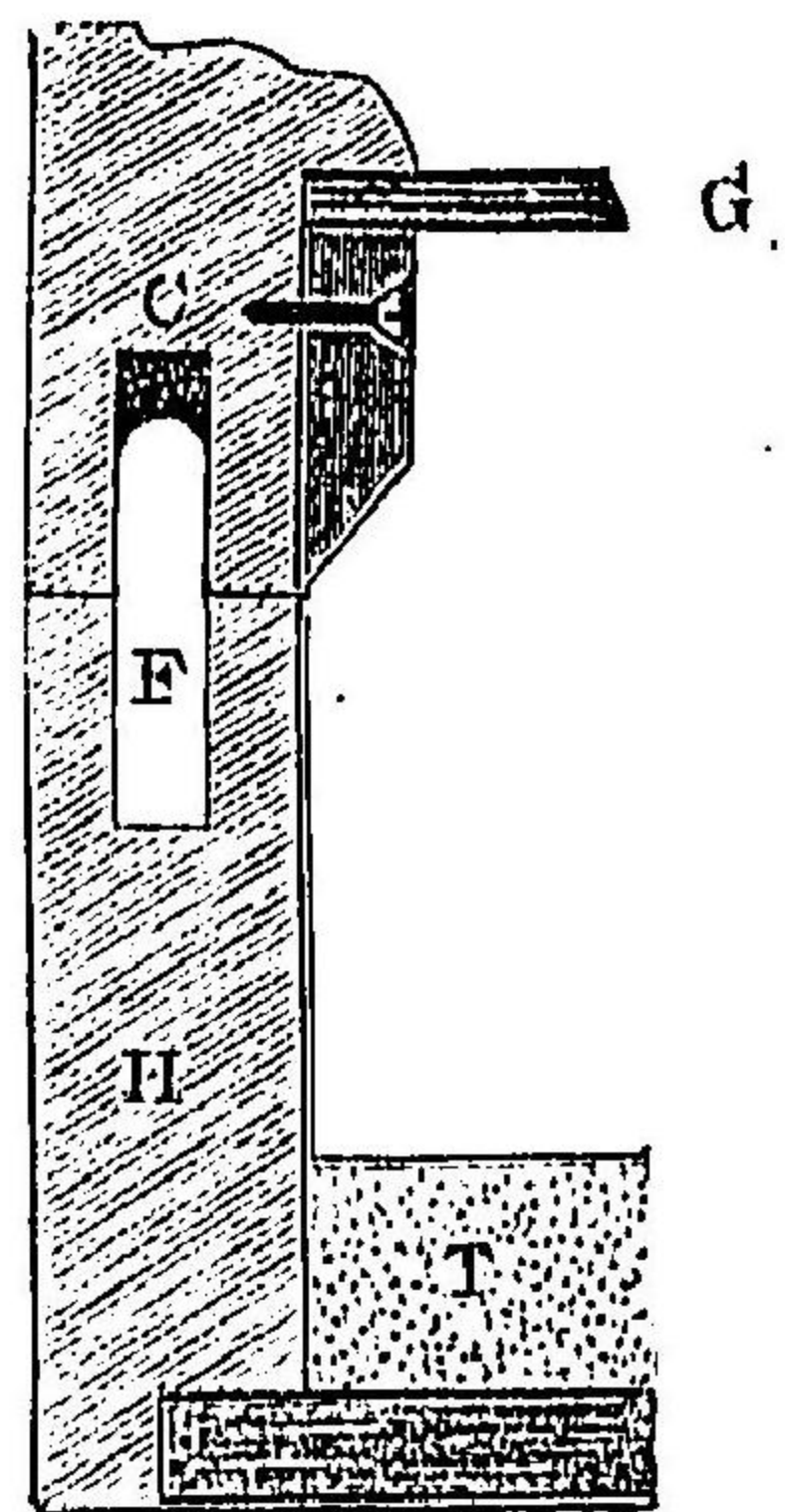


第十六圖 各箱内ノ部ヲ示セルモル



第三編 標本保存法

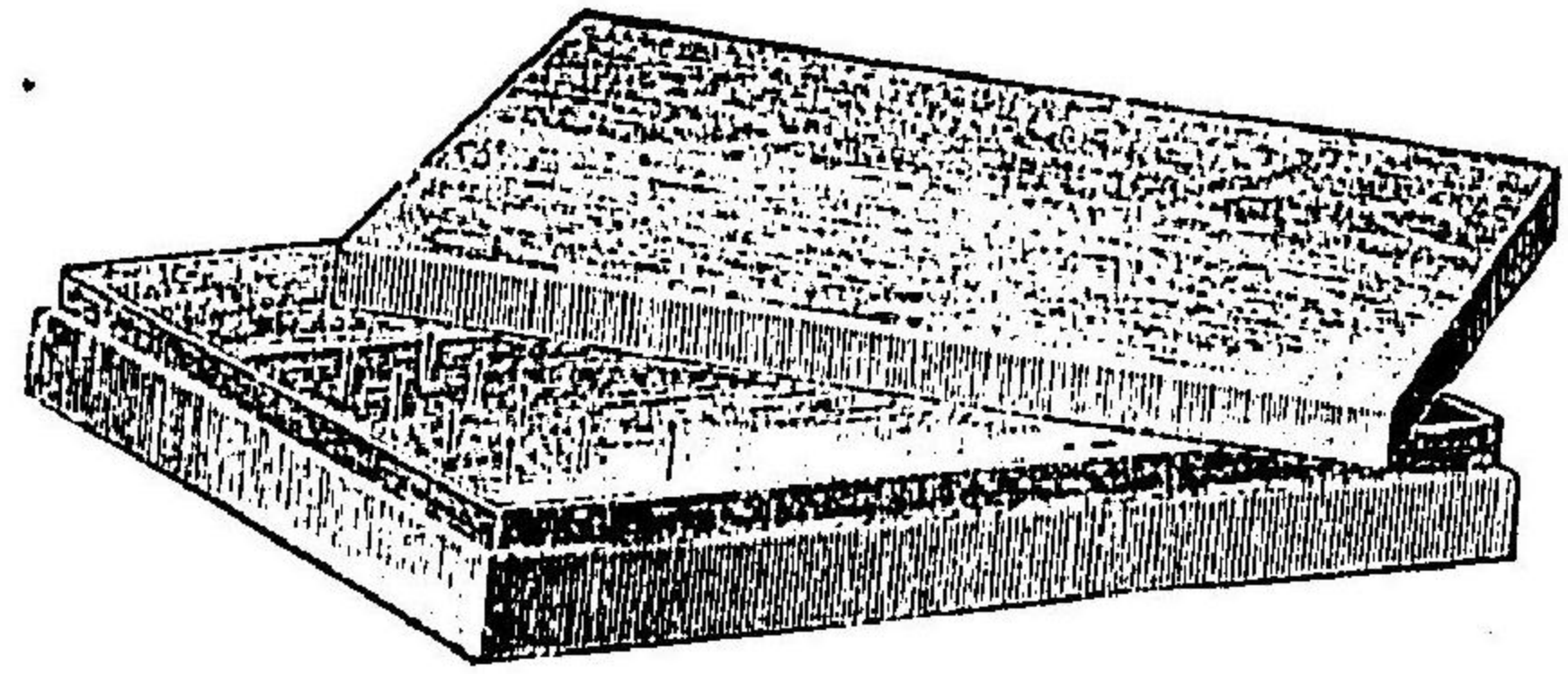
第十六圖 同被蓋ノ食合ヒセ  
セテ示セルモル



- (H) 箱ノ木ノ部
- (I) 被蓋ニ入ル突起
- (T) 被蓋ノ木ノ部
- (C) 硝子板
- (G) 硝子板

板一枚ノ蓋トナシ押引ニヨリテ開閉スルコトアレドモ此ハ破損シ易シ、第六十一  
 圖ニ示セルモノハ更ニ一層安然ナル箱ニシテ其構造ハ第六十二圖ノ如ク食合ヒ  
 來獨逸地方ニテ「ごるふ」ノ代ニ厚キ絨氈ヲ用  
 ヲレドモ重キニ失スル傾アリ、蓋ニハ硝子板  
 ヲ張ルベシ、又入籠ニナストキハ箱縁ニ羅紗  
 ヲ貼リテ可成空氣ノ流通ヲ防止スベシ、硝子  
 板ニシテ一見書物  
 ノ如シ、小形昆蟲  
 ノ一部ヲ専門ト  
 アレバ標本蟲ノ潛入スル憂ナシ、爰ニ第六十三圖  
 ノ如キ書物形ノ分類箱アリ、此ハ二箱ヨリ成リ接  
 合スル處ハ恰モ書物ノ脊ノ如シ、本棚ニ併列スル  
 トキハ美觀ナリ、第六十四圖ニ示セルモノハ其棚  
 ニ併列セルモノ  
 ニシテ一見書物  
 ノ如シ、小形昆蟲  
 ノ一部ヲ専門ト

第六十五圖 紙板造ルタリ標本箱

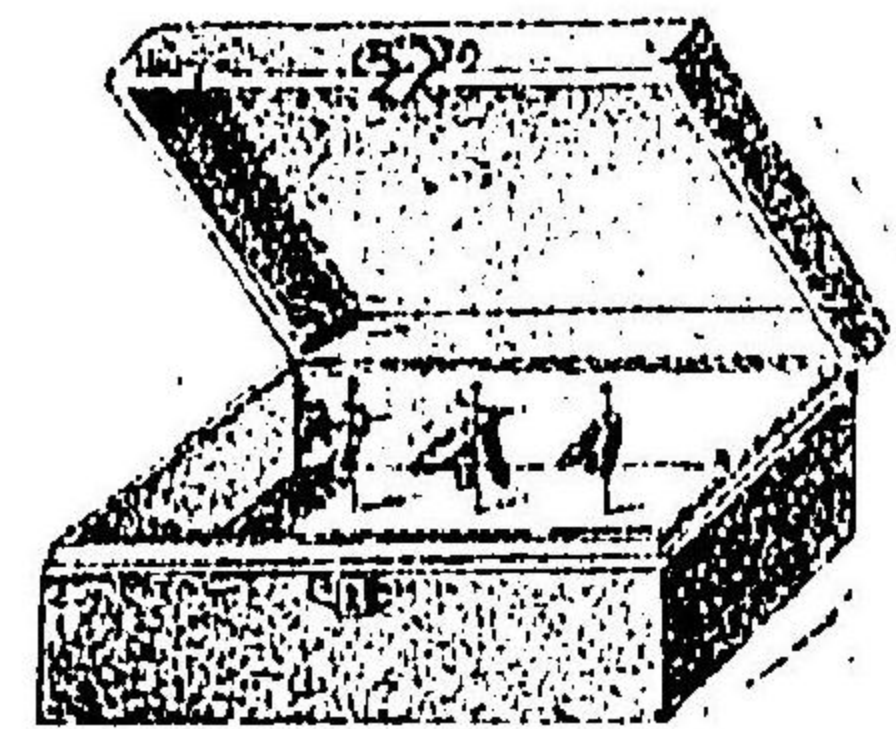


ノ箱ヲ板紙ニテ造リ同シク棚ニ併列シテ分類用ニ供スルコトアリ、兩者何レモ坊間ニ販賣ス、此ハ研究用ニ便ニシテ書物形ノ分類箱ハ旅行用ニ便ナリ、又旅行用ニハ第六十六圖ノ如キ箱ヲ用ユルトキハ錠前ノアル爲メ誤テ蓋ノ開クコトナキヲ以テ安然ナリ、之レモ亦分類用ニ供シ得ベシ、

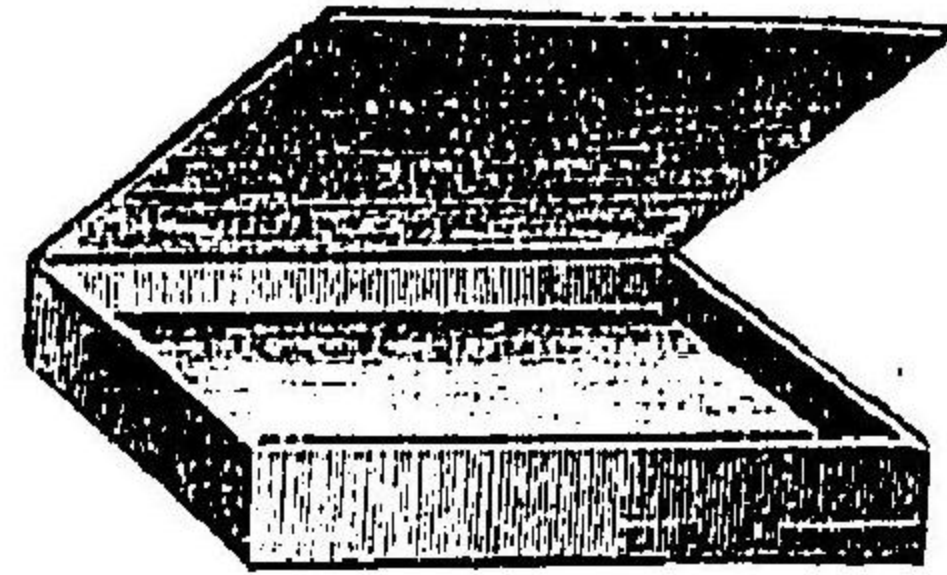
第二節 假標本箱

標本ヲ製作スルニ當リ「こるく」板、ざるふ板其他通達木ハ一時昆蟲ヲ刺シテ乾燥サスニ用ユレドモ長時其儘ニ放置スルトキハ塵埃ヲ被ルノ患アリ、故ニ一時第六十七圖ノ如キ假標本箱ニ移シテ保存スベシ、余ノ用ユル假標本箱ハ長サ一尺、幅七寸、厚サ一寸六分ニシテ全部ハ板紙ヨリ成リ其底ニとるふ若

第六十六圖 旅行用標本箱



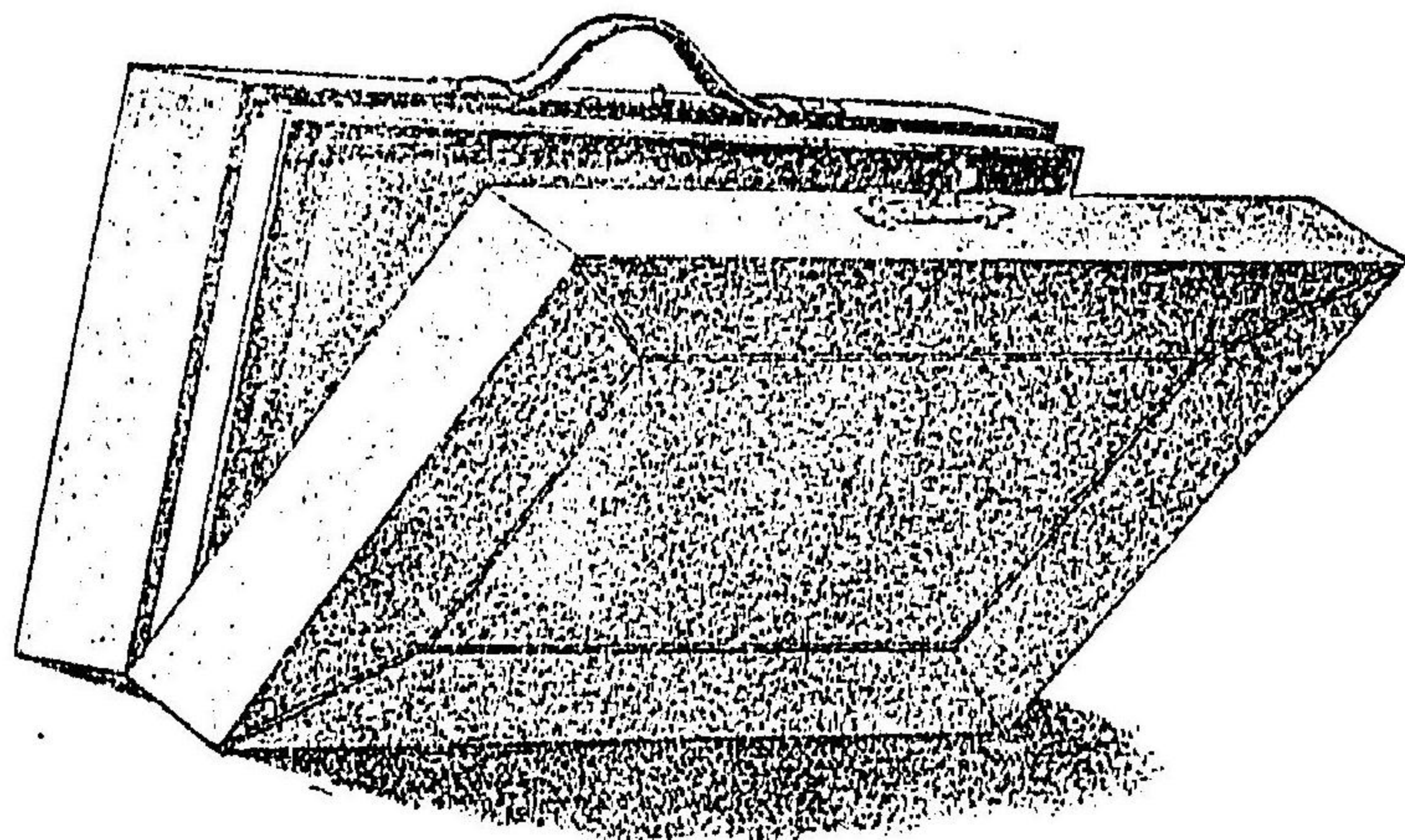
第六十七圖 假標本箱



クハ蠱表ヲ貼リタルモノナリ、蠱表ハ熱湯ニ浸漬シテ其内ニアル泥及ビ泥炭酸ヲ除却スベシ、然ラザレバ針ニ銹ヲ生ズベシ、蠱

表ハ普通ニ枚ヲ用ヒ一枚ハ縦、一枚ハ横ニ合セ糸ニテ綴リ合セ之レヲ底ニ縫ヒ付クベシ、後薄キ白紙ヲ貼リ置ケバ美觀ナリ、此寸法ヲ一定シ置ケバ分類標本箱ニ利用シ棚ニ併ベ得ベシ、但シ此場合ニハ濕氣ヲ被リ易ク且ツ標本蟲ノ侵入シ易キヲ以テ注意スベシ、又葉捲煙草ノ空箱ヲ利用スルコトアリ、此ハ割合ニ便利ニシテ交換用トシテ其儘郵送シ得ベ

第六十八圖 携帶箱



シ、普通ハ之レニ「ごるふ」ヲ貼附ス、

第三節 携帶用標本箱

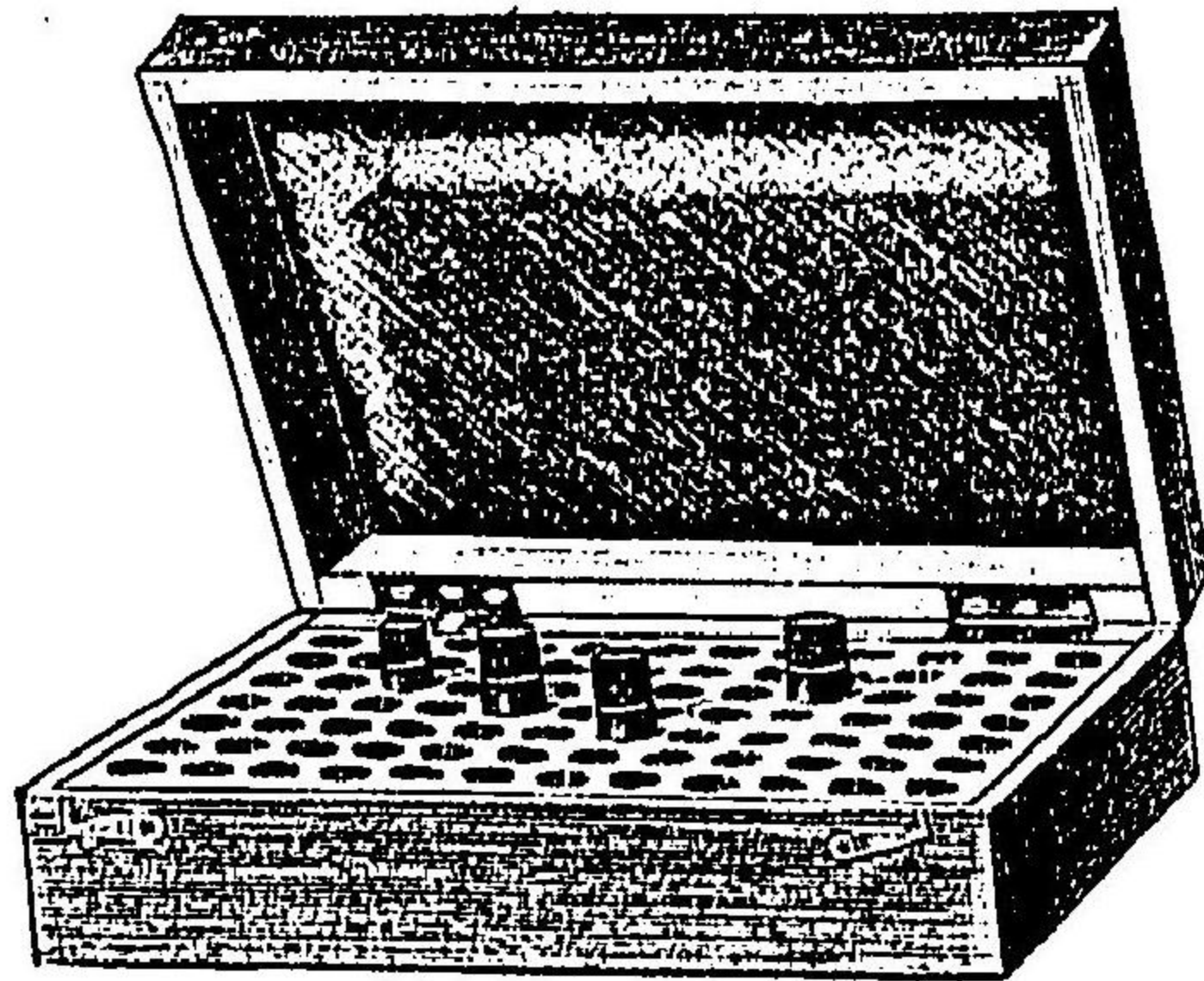
此ハ第六十八圖ノ如キモノニシテ重ニ鱗翅學者ノ携帶スルモノナリ、蝶蛾ノ如キ長時三角紙ニ包ミ置クトキハ生時ノ如ク完全ニ展翅スルコト能ハズ、故ニ貴重ナルモノハ旅行中ト雖ドモ展翅スルコトアリ、又地方巡廻中交換セルモノ若クハ賈ヒ受ケタル標本ハ此内ニ納メ携帶ス、此ハ普通ノ標本箱ト異ナル

ナク底ニハ「ごるふ」ニ「ごるふ」若クハ厚キ絨氈ヲ貼リタルモノナリ、

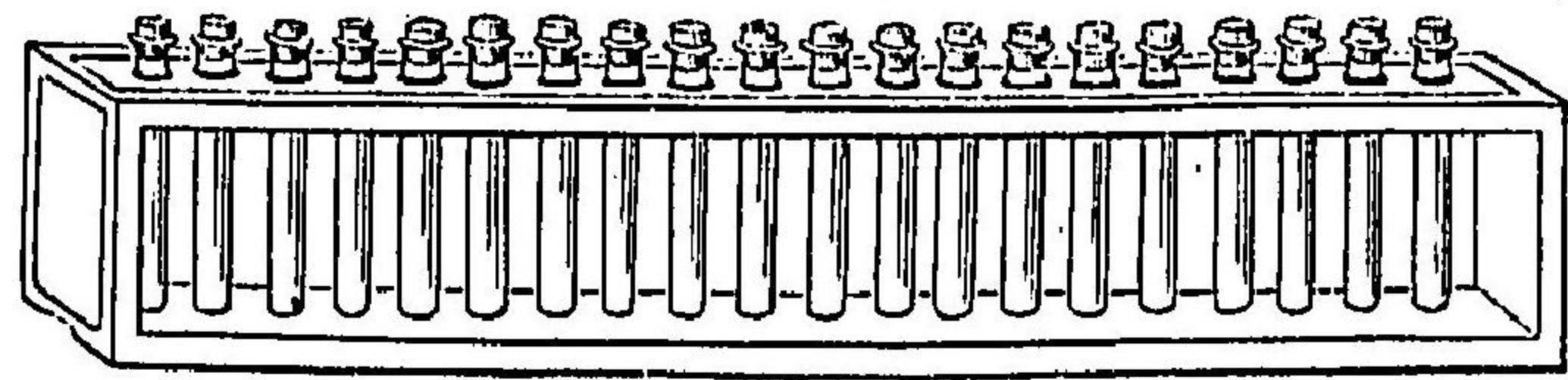
第四節 浸漬標本箱

其ハ第六十九圖ニ示スガ如キ木製ノ箱ニシテ百十四個ノ硝子管ヲ藏スルコトヲ得ベシ、之レハ殊ニ浸漬標本ヲ貯藏スルガ爲メ構成セラレタルモノニシテ便利ナリ、旅行中之レヲ携帶スルモ轉倒

第六十九圖 浸漬標本箱



第七十圖 浸漬標本立



シテ液汁ノ漏出シ若シクハ破損スルノ憂ナシ、栓ニラベるヲ貼シ一々取擧ゲズトモ其如何ナル標本ナリヤヲ知リ得ベキ様記入シ置クベシ、

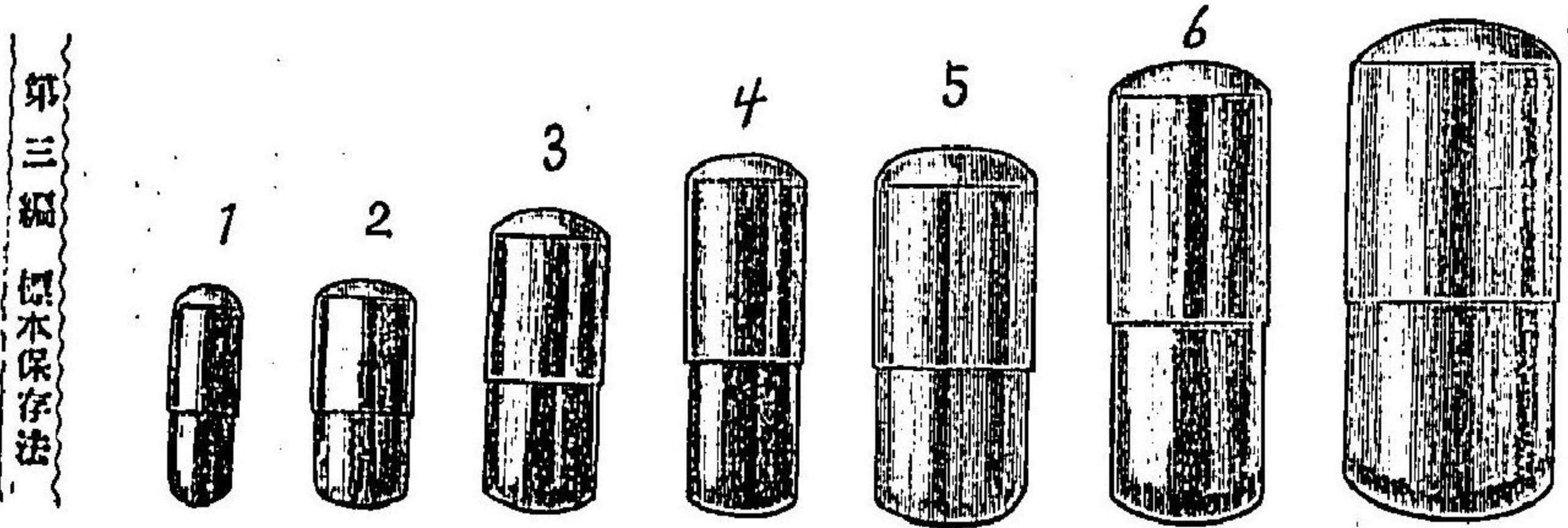
第五節 浸漬標本立

此ハ第七十圖ノ如キ木製ノ框ニシテ一列二十本ヲ立テ得ルノ構造ナリ、二列ニナスモ差支ナシ、唯ダ此場合ニハ交互ニ穴ヲ穿テ前列ノ蔭ニナラザル様ナスベシ、

第六節 三角包紙

旅行中昆蟲ヲ採集シタル場合ハ盡ク三角紙ニ包ミ置クベシ、第七十一圖ノ如キモノニシテ紙ハ半透明ノばらびん紙ヲ最良トス、蓋シ此ハ一々開カズトモ其内部ノ標本ノ如何ナルモノナリヤヲ知リ得ベシ、殊ニ蝶蛾其他蝗蟲ノ如キ度々三角紙ヲ開閉スルトキハ其觸角ヲ折ルノ患アリ、又同時ニ小形ノ昆蟲ヲ包ミ得ベシ、但シ雨天其他濕分ノ多キトキハ一包ニ多數ノ小昆蟲ヲ

(用藏貯本標) るせぶか.んちらげ 圖二十七第



第三編 標本保存法

入シテ運搬スルニ用ユ、又重複標本ヲモ此内ニ入レテ保存シ得ベシ、此ハ針ニ刺シ得ベキヲ以テ陳列標本ノ一側ニ併列シ得ベシ、初メハ稍ヤ透明ナレドモ時ノ經過ト共ニ半透明トナリ且ツ同時ニ少シク褐色ヲ帯ブルヲ以テ美ナラズ、

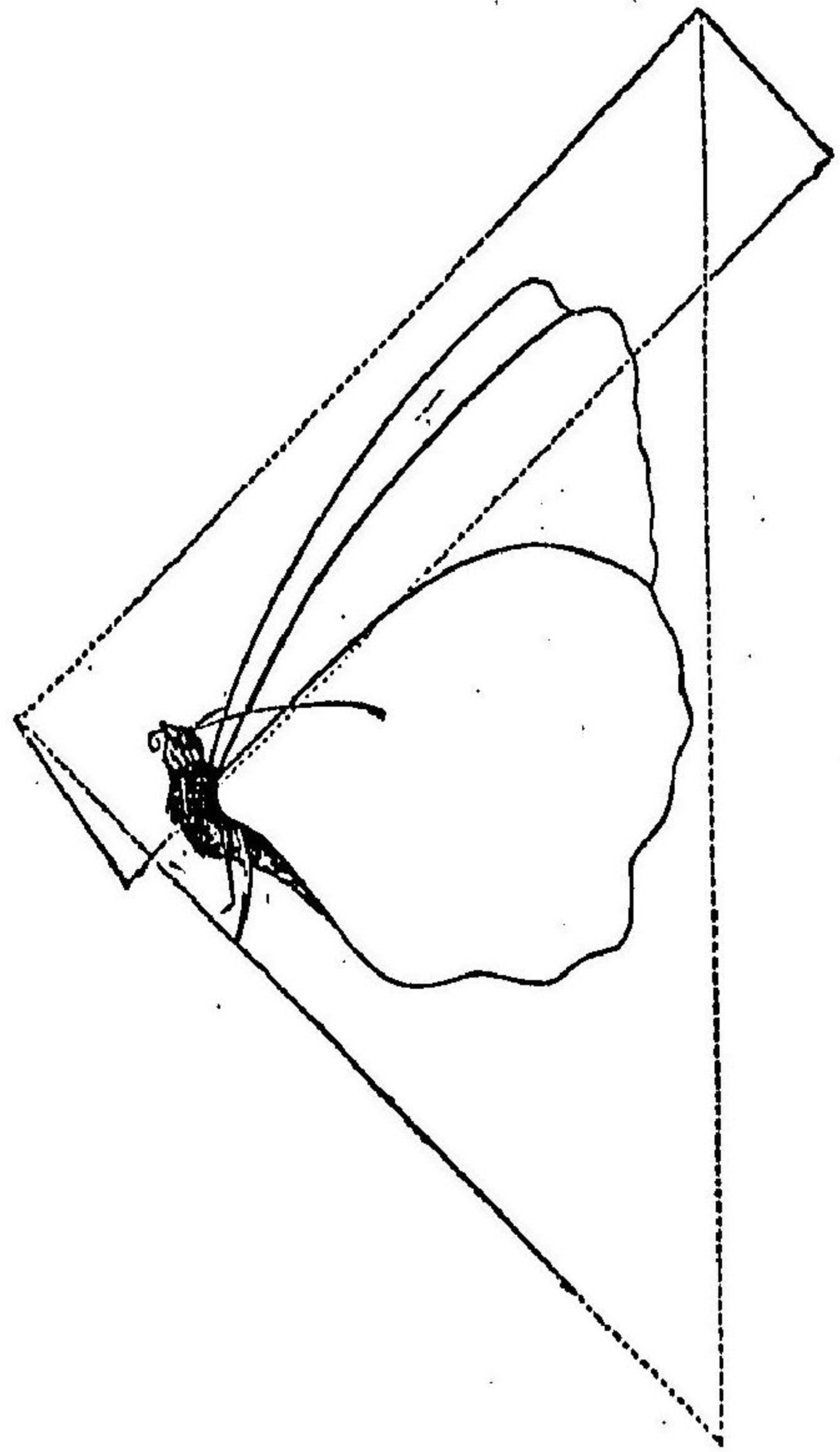
### 第二章 浸漬劑

#### 第一節 酒精

日常昆蟲學者ノ最モ多ク用ユルモノハ酒精ナリ、三十度乃至九十五度ノ強度ヲ有スルモノナルガ強キモノハ蜚蟲ノ如キ柔軟ナル蟲體ヲ収縮セシムルヲ以テ可成弱キモノヲ用ヒ、甲蟲其他堅牢ナル昆蟲ニハ強度ノモノヲ用ユベシ、此ハ浸漬劑ナルノミナラズ、又殺蟲劑トシテ重要ノ溶液ナリ、色素ヲ有スル幼蟲ヲ酒精ニ浸漬セバ退色ス

第三編 標本保存法

### 第七十一圖 三角包紙



容ルベカラズ、微ヲ生ズルノ患アリ、蟬、胡蝶其他大甲蟲ノ如キモノハ薄キ半紙ヲ八切若クハ十六切トナシ之レニ包ミテ其兩端ヲ捻ジ置クベシ、採集ノ地名及ビ月日ハ必ズ其上ニ記シ置クベシ、重複標本トシテハ三角紙ニ包ミ置キ必要ノ際展翅スベシ、又運搬

交換等ニハ殊ニ三角包ヲ最モ安然トス、  
第七節 げらちん、かぶせる

此ハ第七十二圖ノ如キげらちん製ノ入籠ニシテ大サニ七種アリ、獨逸ニテハ大小ニ從ヒ百個四十五錢乃至一圓ニテ販賣ス、内ニハ浮塵子、蜂、蠅、甲蟲、其他小昆蟲ヲ封

第三編 標本保存法

ルヲ以テ寧ロ「ほるまりん」若クハ他ノ浸漬劑ヲ用ユベシ、酒精ニ浸漬スベキ幼蟲ハ重ニ彈尾目、蟬蛸目、蜻蛉目、襖翅目、白蟻目、嚙蟲目、食毛目、胞脚目、總翅目、有吻目、脈翅目、蠟蟲目、毛翅目、双翅目、鞘翅目及ビ膜翅目等ナリトス、之ヲ浸漬スルトキハ三十四度ノ酒精ヲ用ヒ、次第ニ強度ノモノニ移スベシ、

第二節 亞砒酸酒精

此ハ酒精ニ飽和シ得ル丈ノ亞砒酸曹達ヲ溶解セシメタルモノニシテ一度之レニ浸漬シタルモノハ標本蟲ノ害ヲ受ケザルノミナラズ又微ノ蕃殖ヲモ防ギ得ベシ、二十四時間内ニアリテハ綠色藍色、黃色若クハ赤色ノ諸色ヲ退色セシムルコトナシ、殊ニ鞘翅目、有吻目及ビ有翅目ニ頗用セラル、三四週間以上此内ニ浸漬シ置ケバ甚ダ堅牢トナリ且ツ破損シ易キヲ以テ解剖用ニ供スルコト能ハズ、長時浸漬シ後乾燥標本トナストキハ白粉ヲ殘留スルヲ以テ筆ニテ落シ拂フベシ、

第三節 昇汞酒精

此モ亦前種同様ニ使用セラル、モノナルガ工業用ノ酒精百ニ一分ノ昇汞ヲ溶解シテ調製ス、其目的ハ前種ニ類シ標本蟲及ビ微ノ侵害ヲ受ル時ニ用ユルモノナリ、

第四節 ぐりすりん

此ハ幼蟲殊ニ綠色、赤色、青色等ノ諸色ヲ有スル昆蟲ヲ浸漬スルニ用ユルモノニシテ其自然色ヲ保ツノ點ニ至リテハ酒精ニ優ルコト多シ、然レド幼蟲ノ如キ其皮膚及ビ内臓ノ軟化シテ研究用ニ供スル能ハザルハ此ノ缺點トスル處ナリ、此ヲ水ニ溶解シ少量ノ醋酸若クハ蟻酸ヲ混加シテ用ユ、爰ニ硼酸ぐりすりんと稱スルモノアリ、此ハ熱シタルぐりすりん中ニ硼酸ヲ溶解シタルモノナリ、此ハかなだばるさむト同様ニ標本ヲぶればらーどニナスニ使用セラル、

第五節 ほるまりん

此ハ重ニ魚類ヲ浸漬スルニ用ユルモノナルガ又昆蟲ノ幼蟲ニモ利用シ得ベシ、然レド之レニ接スレバ皮膚ヲ害シ同時ニ眼及ビ鼻等ノ内臓ヲ侵害スルヲ以テ目下ハ單ニ標本用トシテ使用スレドモ研究用若クハ解剖用ニ用ユル事少ナシ、此液ニ浸漬シタル標本ヲ取扱フニハ皮ノ手袋ヲ緋ムベシ、普通使用セラル、溶液ハ十六倍乃至二十五倍ノ清水ヲ混シタルモノナリ、

第六節 浸漬用合劑

第三編 標本保存法

第三編 標本保存法

浸漬用ノ合劑ニハ種類多シト雖ドモ最モ普通ニ使用セラル、モノハ左ノ三法ナリ、

第一 べりる式  
Verill's Fluid  
食鹽 二斤半  
硝石 四十匁  
水 二升五合

第二 つらいつ式  
Frois Fluid  
食鹽 六匁  
明礬 六十匁  
昇汞 五匁  
熱湯 二升八合

第三 らるえ式  
Erard's Fluid  
昇汞 六合  
鹽化曹達 六合  
鹽化水素 小量  
水 二石六斗

此ハ米人べりる氏ノ合劑ニシテ自然色ヲ退色セシメズ、以上ノ溶液ニ昆蟲ヲ浸漬スル前豫メ同液ノ六合ニ亞硫酸曹達ノ二十匁ヲ混加シタルモノニ浸漬シ置キテ後之レニ移スベシ、  
以上冷却シタル後石炭酸一匁弱ヲ加ヘ五六日間ヲ經タル後濾下スベシ、之レつらいつ液ナリ、前同様ニ幼蟲ヲ浸漬スルニ用ユ、餘リ退色セズ、

以上三種ノ合劑ハ何レニセヨ空氣ニ接觸セバ黑色ニ變ズルノ憂アルヲ以テ可成浮キ上ラザル様注意スベシ、余ハ常ニ綿若クハ紙片ヲ浮メ置キ幼蟲ノ浮上ヲ防止セリ、

第三章 保存劑

第一節 那不多林

此ニハ薄片ト塊狀トアリ、標本用ニハ前者ヲ用ユベシ、之レヲ吸收スル久シキニ失スルトキハ頭痛ヲ生ズルヲ以テ注意スベシ、揮撥性ニシテ華氏百八十度ニテ溶解ス、之レヲ燃焼スルトキハ多量ノ白色煙霧ヲ生ズ、近來坊間ニ「ほわいと、ぼーる」ト稱シ球形ノ那不多林ヲ販賣ス、此ハ長時揮撥セザルヲ以テ薄片若クハ塊狀片ニ優ルコト數等ナリ、又「なふたりん、こーん」ト稱シ稍ヤ圓錐形ノ那不多林ニ針ヲ付シタルモノアリ、(第七十三圖)此ハ殊別標本用ニ製造シタルモノナリ、

第三十七圖



此モ亦那不多林同様ノ薄片結晶ニシテ光澤アリ、一種固有ノ臭氣ヲ有ス、那不多林ト同様ニ使用スレドモ揮撥スル遅キヲ以テ從テ其効モ那不多林ニ劣ルモノ、如

第二節 安息香酸

此モ亦那不多林同様ノ薄片結晶ニシテ光澤アリ、一種固有ノ臭氣ヲ有ス、那不多林ト同様ニ使用スレドモ揮撥スル遅キヲ以テ從テ其効モ那不多林ニ劣ルモノ、如

第三編 標本保存法

第三編 標本保存法

シ、然レド那不多林ヨリ遙小結晶ナレバ標本箱ニアリテハ取扱ニ便ナリ、

第三節 樟 腦

此ハ前者ト同目的ニ使用セラル、モノナルガ、水氣ヲ招致スルヲ以テ標本用ニハ不適ナリ、但シ蟲避ニハ有効ナレバ標本ヨリハ鞆口衣服ノ弊害ヲ避クル爲メニ使用セラル、

第四節 固形ほるまりん

此ハ圓形ノ白色塊ニシテ液狀ほるまりんと同様ノ臭氣ヲ放ツ、驅蟲劑ヨリモ鞆口殺菌劑ナリ、故ニ梅雨ノ節ハ其一二粒ヲ綿ニ包ミ箱ノ一隅ニ挿入セバ微ヲ防ギ得ベシ、但シ此ハ眼及ビ鼻ノ内膜ヲ侵害スルヲ以テ注意スベシ、約一ヶ月間ハ揮散シ去ラザルヲ以テ雨期ノミ注意シテ入レ換ユベシ、

第五節 水 銀

豆大ノ水銀ヲ一二粒ツ、箱ノ一隅ニ放置セバこなむし其他標本蟲ノ侵入ヲ防ギ得ベシ、此ハ又箱ヲ動ス爲メ轉々移動スルヲ以テ箱内ノ塵埃ヲモ掃除スルヲ以テ一舉兩得ト云フベシ、

第六節 青酸加里

此ハ標本蟲ノ既ニ箱中ニ入リテ加害シツ、アル場合ニ最モ適切ナル殺蟲劑ナリ、即チ其一片ヲ綿ニ包ミ箱ノ一隅ニ針ニ留メ置ケバ一時間内外ニシテ全蟲ヲ殺シ得ベシ、尤モ此ハ水氣ヲ吸収スルヲ以テ遅クモ數時間ノ後ニハ取出スベシ、旅行中蟻ノ標本ヲ害スル場合ニハ殊ニ缺クベカラザル殺蟲劑ナリトス、

第七節 二硫化炭素

此モ亦前同様ノ目的ニ使用セラル、モノニシテ既ニ加害シツ、アル害蟲ハ其發生スル揮散死スニ觸レテ死去スベシ、然レド液體ナルガ爲メ前種ノ如ク取扱便利ナラズ、獨逸伯林博物館ニテハ毎土曜日之レヲ皿ニ盛り各箱毎ニ蒸蒸ス、臺灣其他九州ノ如キ温暖ナル地方ニアリテハ不適ナリ、蓋シ此ハ攝氏七十度程ノ溫度ニモ暴發スルコトアリ、故ニ此等ノ地方ニテハ夏日使用セザルヲ可トス、

第八節 べんぞーる

此ハ殺蟲劑兼驅蟲劑ニシテ一種固有ノ臭氣ヲ有ス、常ニ針附硝子壺(第七十四圖ニ入レ箱ノ一隅ニ刺シ置クベシ、尤モ此ハ甚ダシク揮散スルヲ以テ等分量ノ「ばすり

第三編 標本保存法



第三編 標本保存法

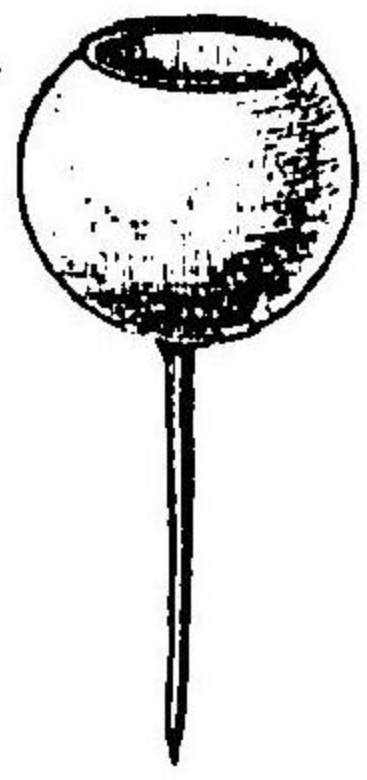
針附硝子壘

んヲ加フベシ、又壘中ニ綿ヲ入レ置キ轉倒スルモ猶液體ノ漏出セザル様注意スベシ、

第九節 みるばん油

此ハ數年前ヨリ歐米昆蟲學者ノ使用スルモノニシテ有名ノ驅蟲劑ナリ、第七十四圖ノ如キ針附硝子壘ニ入レ箱ノ一隅ニ置クニアリ、一種固有ノ臭氣ヲ有スレドモ至モ不快ノ臭氣ニアラズ、外觀ヨリ見ルトキハ恰モおりーぶ油ノ如シ、一ヶ月以上ヲ經過セバ揮撥シ去ルヲ以テ常ニ注意シテ入レ換ユベシ、尤モべんぞーる同様ニ硝子壘ニハ一片ノ綿ヲ挿入スベシ、坊間ニ販賣スル價格ハ一磅二圓九十錢位ナリ、

圖四十七第



第十節 依的兒(わいてる)

此ニハ硫酸(わいてる)ト醋酸(わいてる)ノ二種アリテ何レモ微若クハ塵埃ヲ洗淨スルニ用ユ、微ハほるまりんニテ殺シ得ベシト雖ドモ其菌絲ヲ除却スルニハわいてるヲ以テ第一トス、尤モころろほるむヲ用ユルモ可ナリ、又標本蟲ノ標本ニ蠶入シテ加害シツ、アルモノニ筆ヲ以テ注ギ殺スコトアリ、又展翅シタル標本ノ滋生シ

タルモノヲ殺スニモ亦之レヲ腹部ニ塗ルベシ、兎ニ角用途多キ藥劑ナリ、

第四章 標本ノ害蟲

本邦昆蟲ノ標本ヲ害スルモノ敢テ少ナシトセズ、保存劑及ビ殺蟲劑ヲ以テ充分ノ驅除豫防ヲナスハ敢テ難キニアラザルモ其如何ナル害蟲ガ如何ニ加害シツ、アルカヲ知ルニアラズンバ能ク其効ヲ奏スルコト能ハズ、今重要ナルモノヲ記セバ左ノ如シ、

第一節 鞘翅目

一、へうほんむし (Plyusus fur L.)

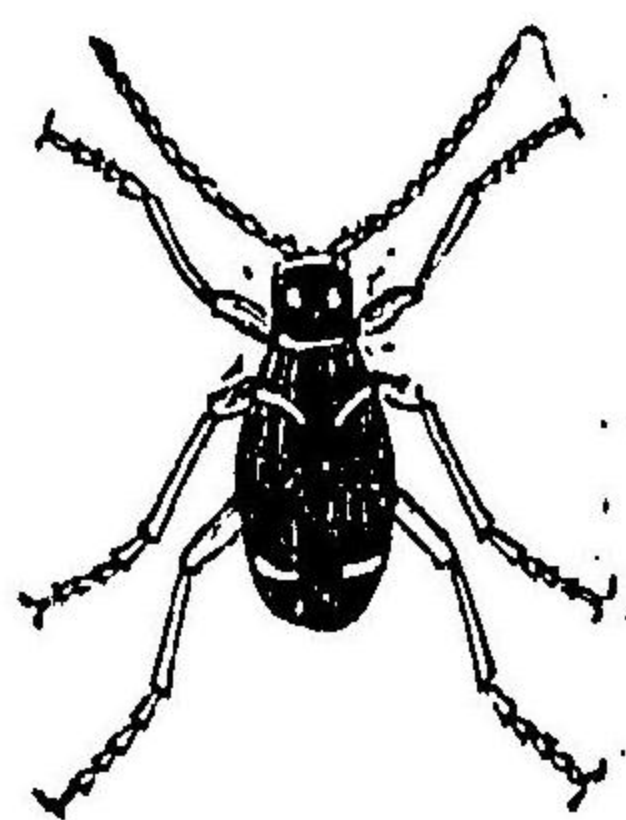
昆蟲學上ノ地位 標本蟲科

成蟲—第七十五圖體長一分乃至一分五厘、赤褐、若クハ黒褐、褐色毛ヲ裝ヒ、前胸ハ翅鞘ヨリ遙ニ細ク、之レニ四個ノ隆起アリテ、其内二個ハ黃褐ノ毛塊ヲ有ス、翅鞘ハ雄ニテハ稍ヤ卵形、雌ニテハ長楕圓、二個乃至四個ノ白毛ノ斑紋ヲ裝フ、脚及ビ觸角ハ割合ニ長ク、腿節ハ棍棒狀ニ膨大ス、頭ハ常ニ下方ヲ向キ、灰色毛ヲ裝ヒ、中央ニ黒條

第三編 標本保存法

第三編 標本保存法

第七十五圖  
へうほうんむし



ヲ有ス、  
幼蟲—充分成長スルトキハ一分五厘ニ達ス、一見金  
龜子ノ幼蟲ニ酷似ス、全體乳白色、口部暗褐色、圓柱形  
ニシテ普通弓狀ニ彎曲シ、三双ノ胸脚ヲ裝ヒ、短毛ヲ  
粗生ス、

經過習性—年二回若クハ三回ノ發生ヲナシ、幼蟲ノ有様ニテ越年ス、稀ニ成蟲ノ有  
様ニテ越年スルモノアリ、一代ハ凡三ヶ月半ニシテ蛹期ハ十三日間ナリ、老熟スレ  
バ標本箱ニ蠶入シテ卵形ノ穴ヲ造リ、其内ニ薄キ繭様ノ被蓋ヲ造リテ蛹化ス、晝間  
食害スルコトアレドモ先ヅ夜行性ナリ、此ハ管ニ昆虫ノ標本ノミナラズ干鯛、毛皮、  
穀粉、衣類、毛物、其他植物ノ標本ヲモ食害ス、其性强弱ニシテ物ニ驚クトキハ、死ヲ眞  
死スルヲ以テ標本箱ヲ見ルトキハ注意スベシ、

驅除豫防法

一、其侵入ヲ防グニハ第六十圖ノ如キ嚴乘ナル分類箱ヲ造リ其蓋ニ隙間ノナキ様  
ナスベシ、長時假標本箱ニ藏スルガ如キハ危險ナリ、

第三編 標本保存法

二、標本箱ノ一隅ニ針附硝子燻ニみるばん油第七十四圖、べんぞーる等ヲ綿ニ浸シ  
テ入レ置クベシ、此ハ氣候ニヨリ揮撥ニ遲速アレバ注意シテ入レ換ユベシ、  
三、前同様ニ那不多林ヲ挿入スベシ、尤モ薄片狀ノ那不多林ハ揮撥スル速ナレバ球  
形若クハ圓錐形針附ヲ可トス、ノ那不多林ヲ箱ノ一隅ニ刺シ置クベシ、此代ニ薄  
片安息香酸ヲ入レ置クモ可ナリ、  
四、水銀ノ小粒ヲ其儘箱底ニ轉シ置クベシ、害蟲ノ浸入ヲ防グノミナラズ同時ニ入  
來スル塵埃ヲモ吸収シテ一舉兩得アリ、  
五、既ニ標本蟲ノ箱ニ入リテ加害シツ、アル場合ハ二硫化炭素ヲ皿ニ盛り箱中ニ  
入レ置クベシ、三十分内外ニテ害蟲ヲ殺シ得ベシ、  
六、前同様ノ場合ニ青酸加里ノ一片ヲ綿ニ包ミ箱ノ一隅ニ刺シ置クベシ、詳細ハ百  
五頁ヲ見ヨ、  
七、外ヨリ箱ニ蠶入スルモノヲ防グニハ豫メ箱ニ昇汞ノ五百倍液ヲ塗沫シ置クベ  
シ、  
附言—以下ノ害蟲驅除豫防ハ此ト同一ナレバ再記セズ、

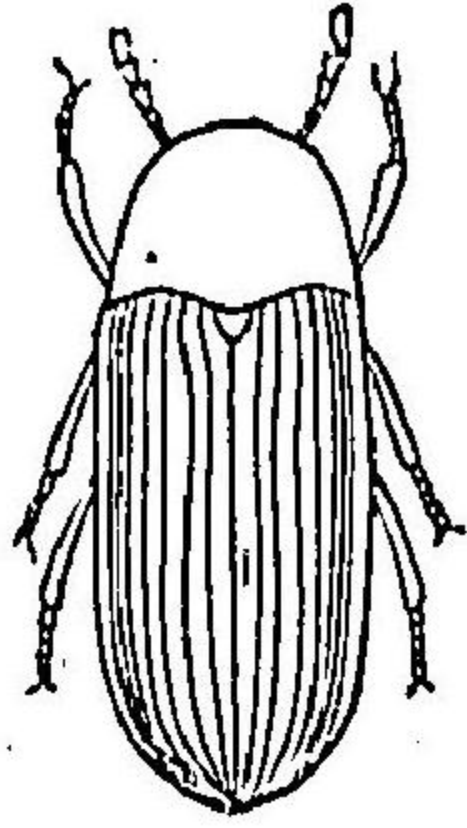
第三編 標本保存法

しむんさんじ (Stodrepa panicea L.)

昆蟲學上ノ地位 番死蟲科 (Byrrhidae)

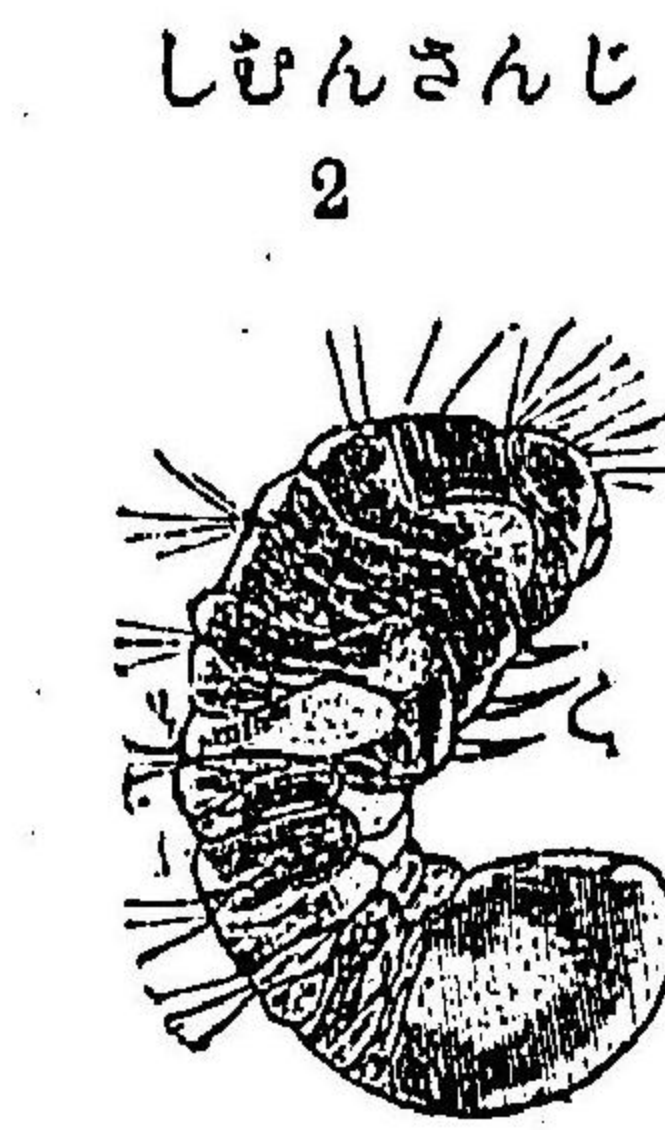
成蟲—第七十六圖體長一分幅三厘長楕圓形ニシテ全體赤褐ヲ呈シ短小ナル黃白毛ヲ密生ス胸背ハ廣ク前種ノ如ク突起及ビ毛塊ナシ翅鞘ニハ點刻ヨリ成レル縱

第七十六圖



(1) 成蟲

(2) 幼蟲



しむんさんじ 2

溝列アリ觸角ハ割合ニ長シト雖ドモ常ニ頭ノ下方ニ彎曲シ其末端ノ三節及ビ基節ハ大ナリ頭ハ小サク前胸下ニ退縮スルコト自在ナリ、  
幼蟲—充分成長スルトキハ一分三厘ニ達スレドモ常ニ弓狀ニ彎曲セルヲ以テ猶之レヨリ短カキガ如シ前種ニ酷似シ形ハ金龜子ノ幼蟲ト同様ナリ、

經過習性—年四回ノ發生ヲナスモノナレドモ温暖ナル地方ニアリテハ五六回ノ發生ヲナス、少シク温暖ナレバ冬季ト雖ドモ猶食害ス、大概ハ幼蟲ノ有様ニテ越年

ス、卵子ハ長楕圓ニシテ乳白色ヲ呈シ數日ノ後孵化シ大凡二ヶ月間ニシテ一代ヲ終ハル、老熟スレバ食物ノ咀嚼ヲ集メ球形ノ繭ヲ營ミ其内ニ蛹化ス、昆蟲標本ノ之レガ爲メニ害ヲ被ルコトアレドモ前種ノ如ク大ナラズ、藥舖ニアリテハ甚ダシク加害セラレ、殊ニ人參ノ如キハ縱横ニ穿孔セラレ不用ニセラル、コト稀ナラズ、又附子、烏頭トリカブトじきたりす、べらごーベラゴノ如キ毒草ヲモ食害ス、此他靴皮、古書、衣類、穀粉、毛皮及ビ干鰯ノ如キ殆オシ下其害ヲ被ラザルモノナシ、

三、とびかつをぶしむし (Dermestes constrictus Har.)

(こかつをぶしむし)

昆蟲學上ノ地位 鏗節蟲科

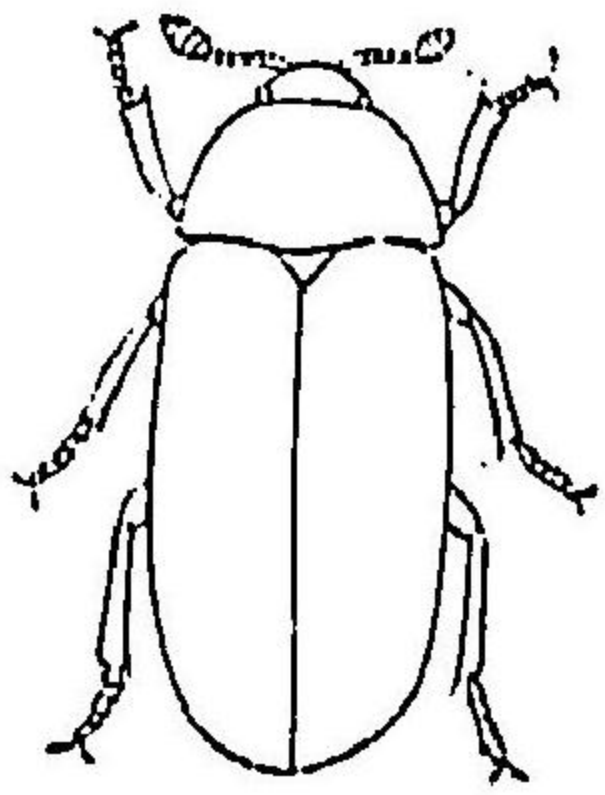
成蟲—體長二分七八厘長楕圓ニシテ黒色ヲ呈シ、背面ニ褐色ノ短毛ヲ裝ヒ、腹面ニハ灰白ノ短毛ヲ密生ス、頭ハ小ニシテ伸縮ニ適シ、褐毛多ク、常ニ前胸下ニ隠ル、觸角ハ濃褐ニシテ十一節ヨリ成リ、末端ノ三節ハ暗褐ニシテ球桿狀ヲ呈ス、前胸ニハ褐色毛多ク、其前縁ハ圓ク、後縁ノ中央少シク突出シ、兩側ハ銳角ヲナス、稜狀部ハ心臟形ニ近ク、之レニ褐毛ヲ裝ヒ、翅鞘ニハ無數ノ點刻ヲ散在シ、褐色及ビ灰色ノ短毛ヲ

第三編 標本保存法

第三編 標本保存法

粗生ス、又黒色ノ剛毛多シ、脚ハ黒褐、短カクシテ伸縮ニ適シ、灰色ノ短毛多ク、五跗節ヲ具ヘ、腹部ニハ五環節アリ、  
 幼蟲—充分成長スルトキハ四分七厘ニ達ス、形細長ク、黒褐、背線及ビ腹面ハ淡褐、各節赤褐ノ長短アル剛毛ヲ横列ス、頭ハ割合ニ大ニシテ四節アル小形ノ觸角ヲ具ヘ、兩側ニハ各六個ノ單眼ヲ有ス、脚ハ三双ニシテ淡褐ヲ呈シ、尾節ノ背上ニハ上方ニ向キタル二個ノ棘狀突起アリ、  
 經過習性—年三四回ノ發生ヲナシ成蟲ノ有様ニテ越年ス、翌春長楕圓ノ白色卵子ヲ産下ス、卵ハ一週間内外ニテ孵化ス、發生ヨリ大凡五十日内外ニテ成蟲トナル、蛹ハ裸蛹ニシテ白色ナリ、  
 此ハ繭ノ標本ヲ害スルコト大ナリ、其形ノ大ナル爲メ標本箱ニ入りテ加害スルコトナシト雖ドモ、被蓋ナキ箱其他袋ニ入レ置キタル繭、蛹其他三角包紙ノ標本ノ加害セラル、ハ稀ナラズ、然レド此ハ重ニ鱈節、毛皮、干鱈、其他高等動物ノ標本ヲ害スルモノナリ、此他本邦ニ産スル鱈節蟲ハ左ノ如シ、  
 一、ばらじろかつをぶしむし (*D. vulpinus* F.)—第七十七圖、此ハ形狀、着色共ニ前種

第七十七圖



ばらじろかつをぶしむし

ニ酷似スレドモ前胸背ノ兩側ニアル毛塊ハ白色ヲ呈シ、翅鞘ニ灰色毛ヲ裝フ、體長三分—三分五厘、

二、かつをぶしむし (*D. cadaverinus* F.)—體ハ黒褐、黄色ノ短

毛ヲ裝ヒ、黒毛ナシ、腹面ハ赤褐乃至黒褐ニシテ黄色ノ短毛多ク、觸角ハ黒褐、末端ノ膨大セル三節ハ黄褐、脚ハ

赤褐、黄色ノ短毛多シ、體長三分内外、

三、げあかかつをぶしむし (*D. tessellatocollis* Motsch.)—體ハ黒色、頭及ビ前胸背ニ黄褐ノ

縮毛ヲ裝フヲ以テ他ト容易ニ區別シ得ベシ、體長二分五厘、

四、ひめかつをぶしむし (*Attagenus japonicus* Reik.)—第七十八圖—體黒褐、翅鞘ノ後縁赤褐、觸角、上唇及ビ脚ハ淡黄褐、頭頂ハ細微ノ點刻ヲ密布ス、體長一分四厘、

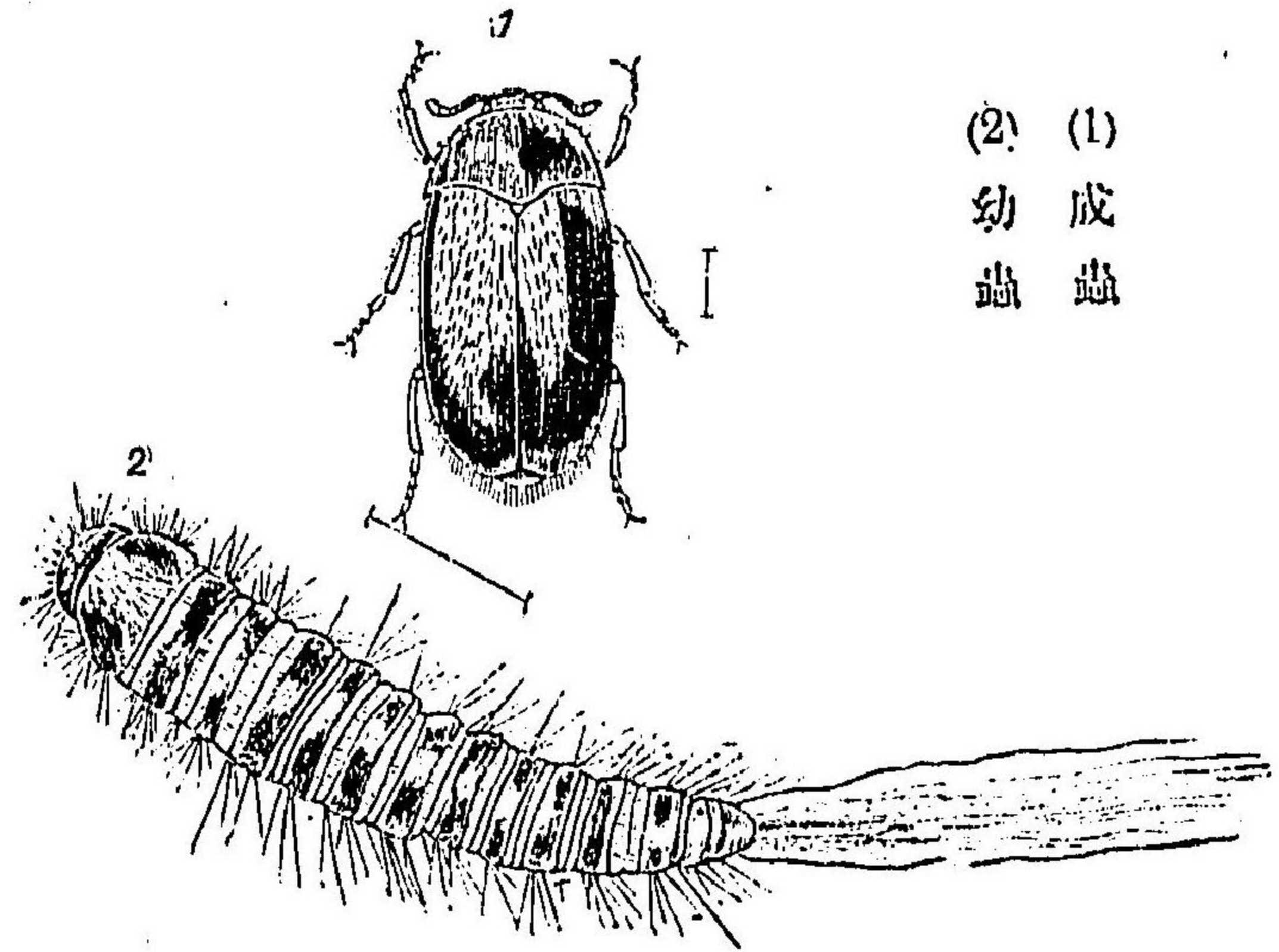
四、ひめまるかつをぶしむし (*Antheenus Verbasci* L.)

昆蟲學上ノ地位 鞘翅目 鱈節蟲科

成蟲—第七十九圖—體長七厘乃至一分、體卵形、背部ハ黒色、微細ナル黄色ノ鱗狀毛ヲ裝ヒ、腹面ハ黄白、翅鞘ニ三個ノ判然セザル黄色ノ毛條ヲ有ス、觸角ハ十一節ニシテ

第三編 標本保存法

第七十八圖 幼蟲及び成蟲のしむしぶをつかめひ

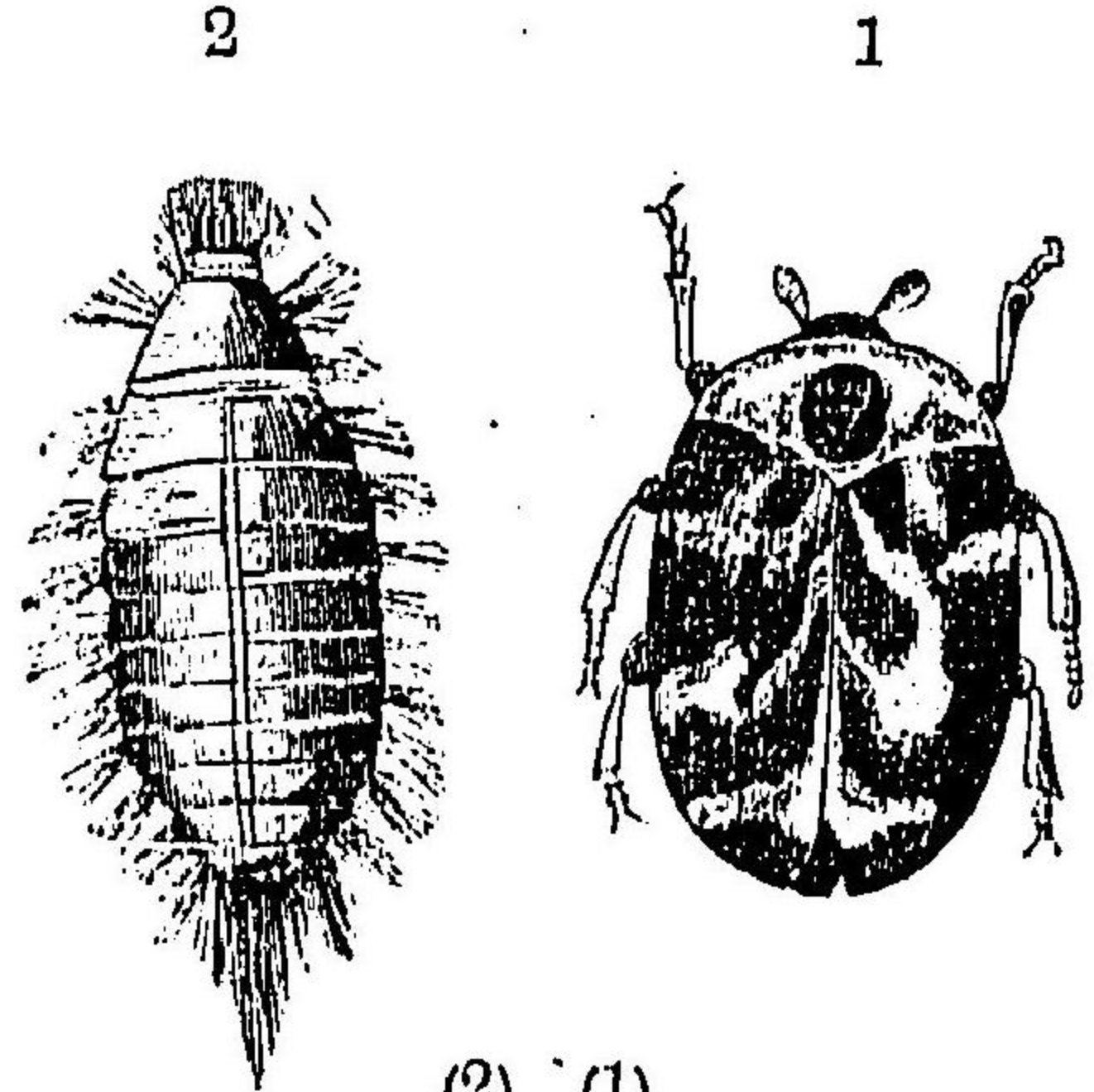


(1) 成蟲  
(2) 幼蟲

第三編 標本保存法

末端ノ三節ハ球桿狀ヲ呈シ、腿節ハ黒色、  
脛節及び跗節ハ赤褐、前胸背ノ後縁ノ中  
央ハ著シク稜狀部ノ方ニ突出シ、之レニ  
白毛紋ヲ裝フ、  
幼蟲—充分成長スルトキハ一分五厘ニ  
達ス、體細長ニシテ頭部ノ一端ハ細ク、七、  
八節ノ兩節最モ廣シ、各節ノ背上ニ長短  
アル褐色ノ剛毛ヲ横列シ、尾端ノ三節ハ  
黒褐ニシテ之レニ毛塊アリ、地色ハ褐色、  
腹面ハ灰黄、頭ハ黒褐ニシテ伸縮ニ適ス、  
第一節ノ硬皮板ハ多少濃色、脚ハ三双ニ  
シテ割合ニ長ク、歩行自在ナリ、  
經過習性—年二三回ノ發生ヲナス、冬日  
ト雖ドモ猶食害スルノ性アリ、食物及び

第七十九圖 幼蟲及び成蟲のしむしぶをつかめひ



(1) 成蟲  
(2) 幼蟲

時注意シテ殺スベシ、

驅除豫防法—同前、

此屬ニ係ルモノニシテ本邦ニ産スルモノ左ノ二種アリ、  
五、はなまるかつをぶしむし (A. Scrophulariae L.)—觸角十一節ニシテ三節ノ球桿ヲ有

第三編 標本保存法

氣候ノ如何ニヨリ大ニ其發育ニ遲緩ア  
リ、普通ハ幼蟲ノ有様ニテ越年スルモノ  
ニシテ其性甚ダ強靱ナリ、食物ヲ與ヘザ  
ルモ長時生息シ己ノガ脱皮ヲ以テ食ト  
ス、脱皮數ハ六回ナリ、老熟スレバ最後ノ  
幼蟲脱皮内ニ蛹化ス、蛹ハ褐色、外部ヨリ  
見ヘズ、成蟲ハ産卵後野ニ出テ殊ニ撒形  
科植物ノ花液ヲ吸収ス、其性物ニ驚クト  
キハ脚ヲ退縮シテ死ヲ真似ス、此ハ外氣  
ニ出デントシテ玻窓ニ集マルヲ以テ此

第三編 標本保存法

ス、前種ニ酷似スレドモ黒褐ニシテ翅鞘ニ三個ノ白横紋ヲ裝ヒ、後縁ハ赤色、前胸背ノ後縁ニ白毛紋ナシ、腿節黒色、脛節及ビ跗節ハ赤褐、體長九厘——一分三厘、前種同様ニ幼蟲ハ標本箱ニ入りテ大害ヲ加フ、

六、ちびまるかつをぶしむし(A. museum L.)—前種ニ酷似スレドモ觸角ハ八節ニシテ二節ノ球桿ヲ有スルヲ以テ容易ニ區別シ得ベシ、背面ハ黒色、前胸背ノ中央及ビ兩側ニ白毛塊ヲ裝ヒ、前者ハ小ナリ、鞘翅ニ三個ノ波狀ヲナセル灰黄ノ横紋ヲ裝フ、觸角ノ基節、脛節及ビ跗節ハ暗赤色、腹面ハ灰色ナリ、體長六厘五毛——一分、

第二節 鱗翅目

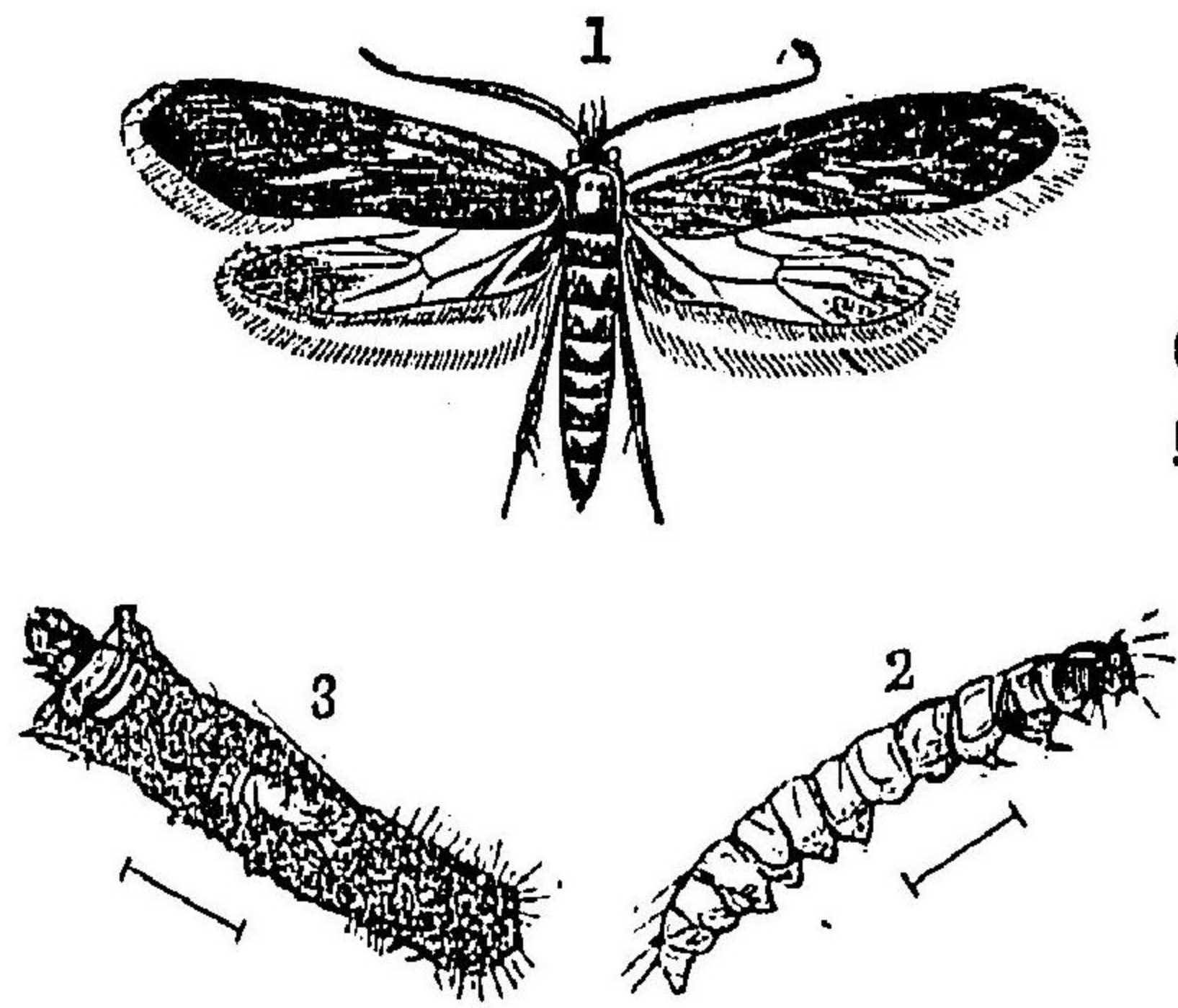
一、いが (Tinea pellionella L.)

昆蟲學上ノ地位 穀蛾科

成蟲——第八十圖體長二分、翅ノ開張四分——五分、前翅灰黄、光澤ヲ有シ、外方ノ三分ノ二ニハ暗褐紋ヲ散在シ、翅底ノ三分ノ一ニ同色ノ二紋若クハ縦紋アリ、縁毛ハ灰白ニシテ光澤ヲ有シ、後縁角ノ縁毛最長ナリ、後翅ハ縁毛ト共ニ淡灰色、頭ニ黄褐毛ヲ密生シ、胸背ハ光澤アル灰色、腹背ハ褐色、其環節部ハ淡色、觸角及ビ脚ハ黒褐ナリ、

第八十圖

(1) 衣蛾  
(2) 幼蟲  
(3) 蛹



幼蟲——充分成長スルトキハ三分餘ニ達ス、體白色、頭及ビ第一節ノ背上ハ淡褐、腹面及ビ脚ハ白色、背上ニハ皮膚ヲ透シテ暗赤褐ノ内容ヲ視得ベシ、體毛ナシ、脚ハ六双ニシテ尾脚アリ、其卵子ヨリ孵化スルヤ直チニ毛ヲ以テ筒様ノ巢ヲ造リ、其内ニ住ス、筒ノ表面ハ粗毛ヨリ成レドモ、内部ハ白色ニシテ自ら吐出セル絹糸ヲ以テ之レヲ被フ、

經過習性——年一回若クハ二回ノ發生ヲナス、幼蟲ノ有様ニテ越年シ、翌春老熟スレバ其筒ヲ適當ナルモノニ固着シ、絹糸ヲ以テ其口ヲ閉ヂ、其内ニ蛹化ス、蛹期ハ大凡三週間、其性甚ダ活潑ニシテ、光線ヲ忌ミ、物ニ驚ク時ハ頭ヲ退縮ス、卵ハ甚ダ小形ニシテ肉眼ニテ見ルコト困難ナリ、直接食物上ニ産卵スレドモ亦食物ヲ有セル箱ノ空隙ニ産スルコトアリ、

第三編 標本保存法

第三編 標本保存法

卵期ハ八日乃至二週間、其孵化シタル幼蟲ハ直チニ其周圍ニアル適當ノ毛片ヲ得テ之レト己レノ吐出セル絹糸トヲ以テ筒様ノ巢ヲ造リ其内ニ住ス、幼蟲ノ成長ニ伴ヒ又巢ヲ増大ス、之レヲ増大スルニハ先ヅ其一側ヲ破リテ其近邊ニアル毛片ヲ附着シ、後復ビ他側ヲ破リテ同様ニ修造シ、更ニ前後兩端ニ移リテ増大スルノ性アリ、此ハ餘リ昆蟲ノ標本ヲ害スルコトナキモ、衣服(毛織、毛皮)殊ニ羊毛ノ如キハ大害ヲ被ルコトアリ、之レニ侵サレタルトキハ一種固有ノ臭氣ヲ發ス、

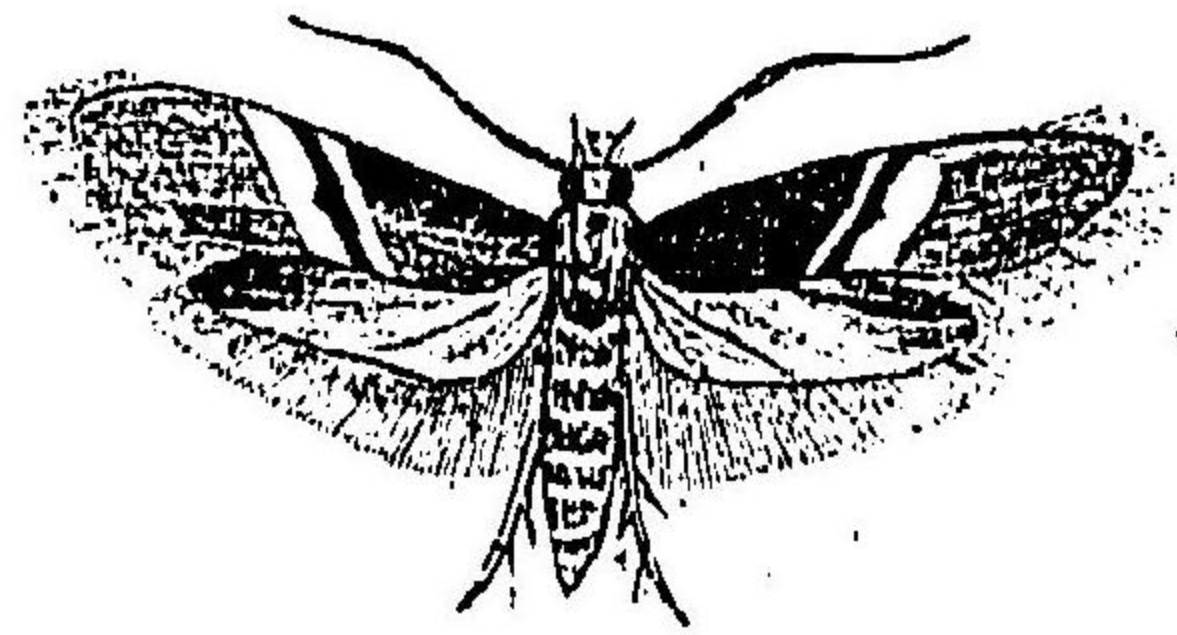
驅除豫防法—同前、

此種ニ似タルモノニシテ同ジク標本ヲ害スルモノ左ノ二種アリ、

二、こいが (*Tineola biseliella* Zell.) —翅ハ光澤アル黃褐、斑紋ナシ、但ダ翅底ニ少シク褐色ノ部分アリ、體モ亦黃褐ニシテ頭ニハ赤褐毛ヲ裝フ、縁毛ハ長クシテ絹様ノ光澤ヲ放ツ、體長二分、開張四分—四分五厘、此幼蟲ハ前種ノ如ク巢ヲ造ラズ、到處蛛ノ巢様ノモノヲ以テ自體ヲ被ヒ其内ニアリテ加害ス、

三、もうせんが (*Trichophaga tapezella* L.) —(第八十一圖) 前翅底ノ三分ノ一ハ褐色、暗色ノ小斑ヲ散在ス、外縁ノ三分ノ二ハ白色ニシテ少シク淡青色ヲ帶ビ、其中央ニ木

第 一十八圖 がんせうも



小アル灰色紋及ビ翅端ニ一黒紋アリ、頭ハ白色、胸背ニ黒白ノ兩毛アリ、體長三分、開張五分—六分、此ハ昆蟲標本ヲ害スルコト稀ナリ、幼蟲ハ衣蛾同様ニ巢ヲ造リ其内ニアリテ食害ス、

第三節 標本害蟲目錄

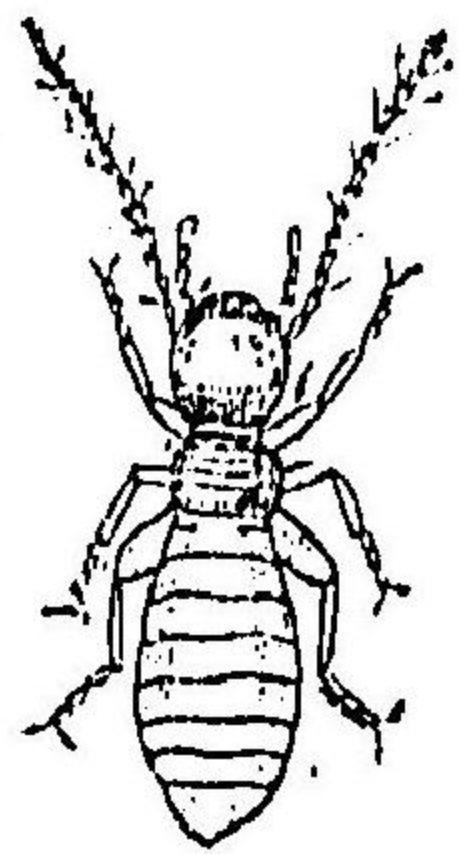
此他昆蟲標本ヲ害スル昆蟲

少ナカラズト雖ドモ詳細ハ

新著大日本害蟲篇ニ詳論ス

ルヲ以テ今單ニ其名稱ノミヲ列記スベシ、

第 二十八圖 しむなこ



- (1) しむ (Lepisma villosa F.)
  - (2) しろしむ (L. saccharina L.)
- 此ハ九州地方ニテハ大害ヲ加フルコトアリ、

- (3) こなちやたてむし (Proctos divinatorius Müll.) (第八十二圖)

- (4) しろこなちやたてむし (Atrypa pulsatoria L.)

- (5) くぎぬきはさむむし (Forficula tonnis Kol.)

第三編 標本保存法

此二種ハ微小ナレバ大害ヲ加フル者ナレバ注意スベシ、時ニ全部粉状ニ食ヒ荒サルハ、1アリ、櫻蛾科ニ屬スル昆蟲ハ自然ニ於

第三編 標本保存法

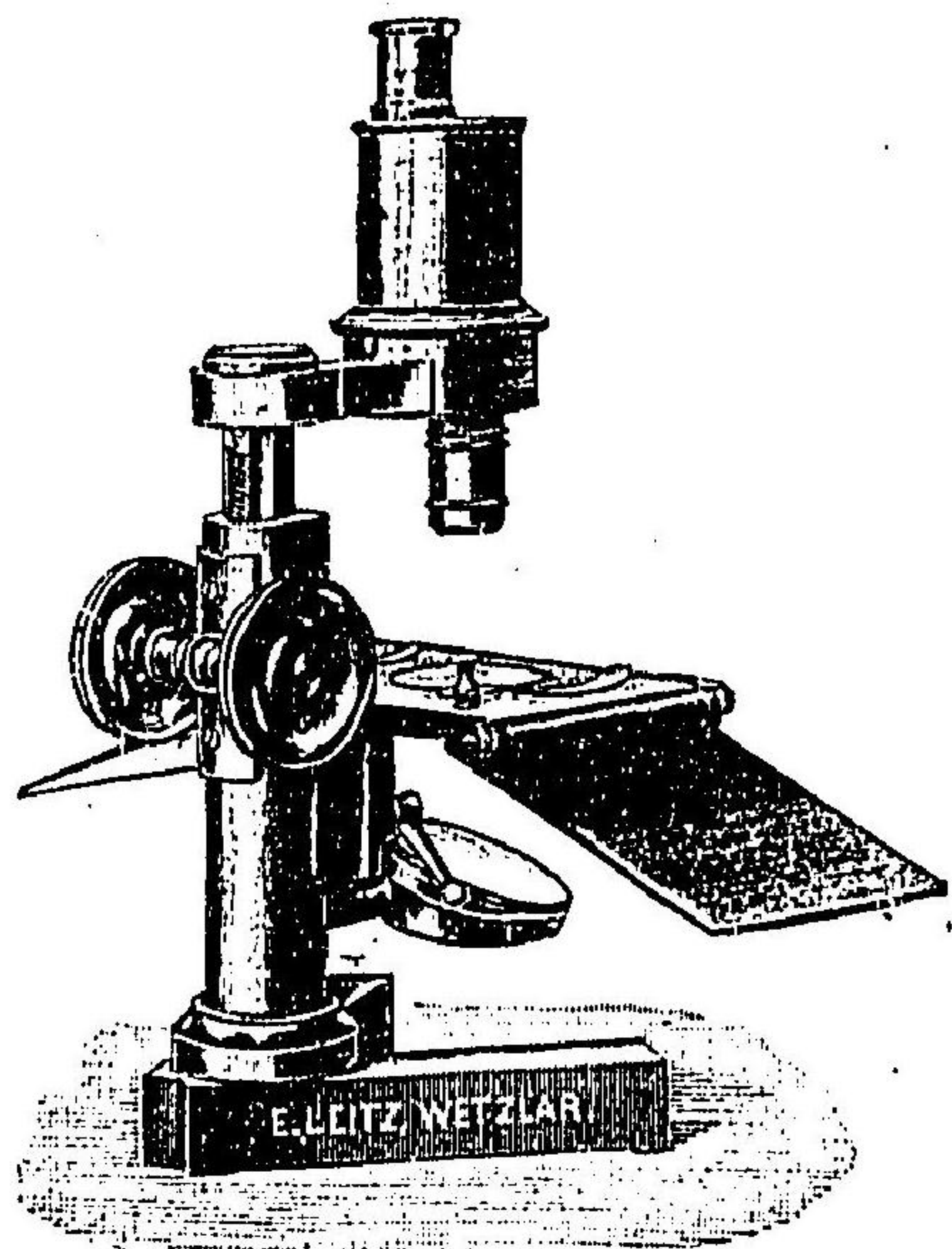
- (6) はさみむし (*Anisolabis marina* Guér.)
- (7) おははさみむし (*Labidura riparia* Pall.)
- (8) こぶはさみむし (*Apterygida japonica* Bonn.)
- (9) ひめはさみむし (*Labia diminuta* Mats. et Shiraki)
- (10) くろごきぶり (*Periplaneta picea* Shiraki.)
- (11) わもんごきぶり (*Periplaneta americana* L.)
- (12) こももんごきぶり (*Periplaneta australasiae* L.)
- (13) はねながごきぶり (*Stylopyga concinna* Hagb.)
- (14) こばねごきぶり (*Stylopyga orientalis* L.)
- (15) ちやばねごきぶり (*Phyllodromia germanica* Steph.)
- (16) こくねすごきぶり (*Tribolium ferrugineum* F.)
- (17) なんきんかつをぶしむし (*Dermestes chinensis* Motsch.)
- (18) くびながはち (*Xiphodria eborata* Konow.)
- (19) くろすすめばち (*Vespa cingulata* Moez)

テハ益蟲ナレドモ、昆蟲採集家若クハ養蠶家ニハ大敵ナリ、展翅板ニ開キアル標本ヲ食盡セラル、コトアリ、

蜚蠊科ニ屬スル昆蟲ハ臺灣ノ如キ半熱帶地方ニアリテハ大害ヲ加フ、夜間標本ヲ放置セバ之レガ爲メ全部食盡セラル、コトアリ、

此ハ本邦ニテハ加害ヲ見ザルモ、歐洲ニテハ大害ヲ加フルコトアリ、  
 此ハ野外ニアリテハ益蟲ナレドモ、蠶室若クハ養蠶室ニ入りテ来リテ加害スルコトアリ、  
 此ハ展翅板ニアル新鮮ノ標本ヲ食害ス、

第八十三圖 ばいふあ式顯微鏡



第四編 研究法

第四編 研究法

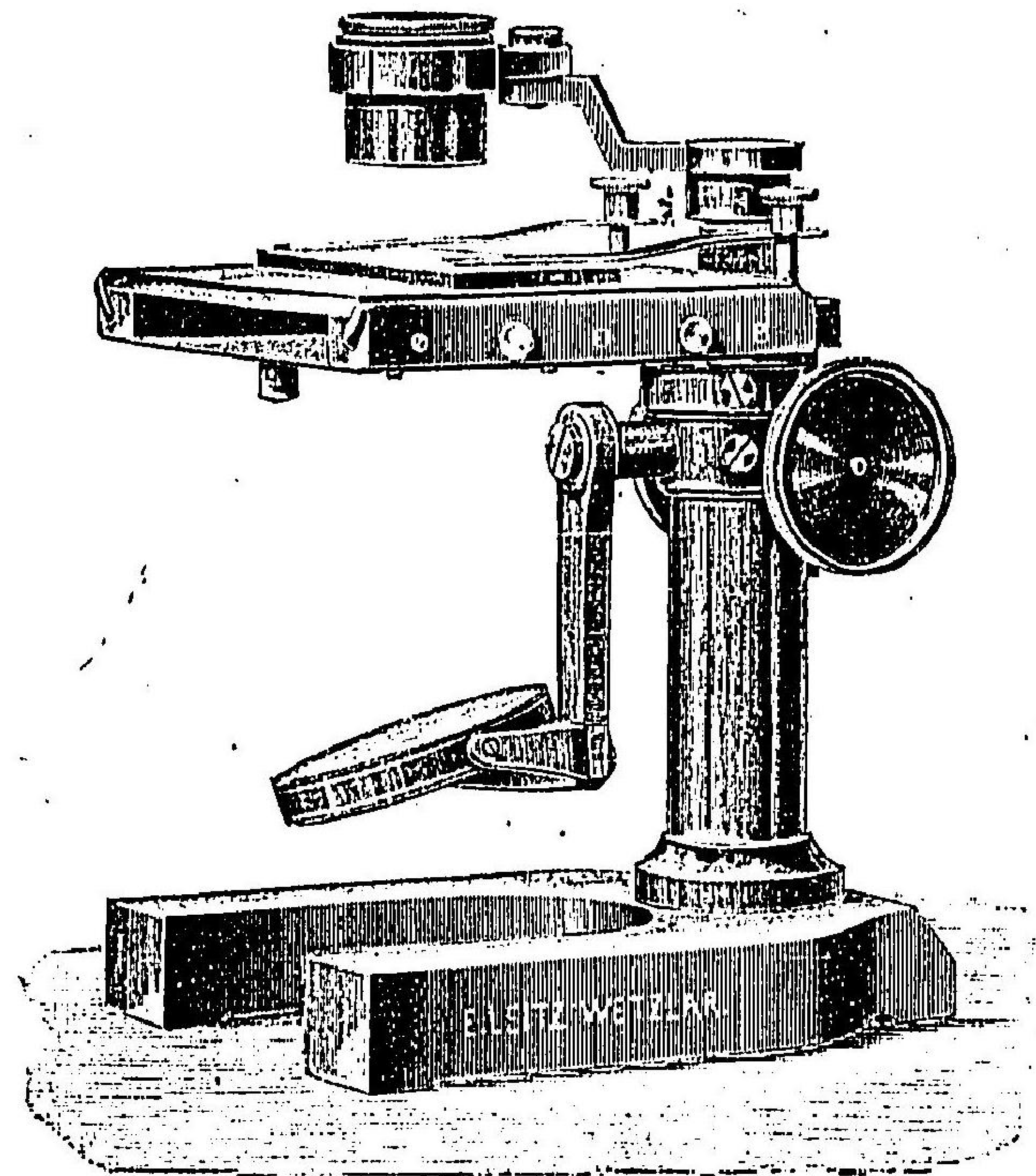
第一章 研究用器具

第一節 顯微鏡

昆蟲ヲ研究スルニハ特別ノ顯微鏡アルヲ便トス、余ノ使用セルモノハばいふあ式ニシテ第八十三圖ニ示セルモノナリ、此ハ標本製作若クハ解剖用顯微鏡ナレドモ亦昆蟲研究用ニ最モ適セリ、蓋シ此顯微鏡ハ影寫ノ轉倒シテ寫ラザルノミナラズ供試實物ノ凸凹ヲ現出シ、普通ノ顯微鏡ニテ見ルガ如ク平坦ナラズ、中



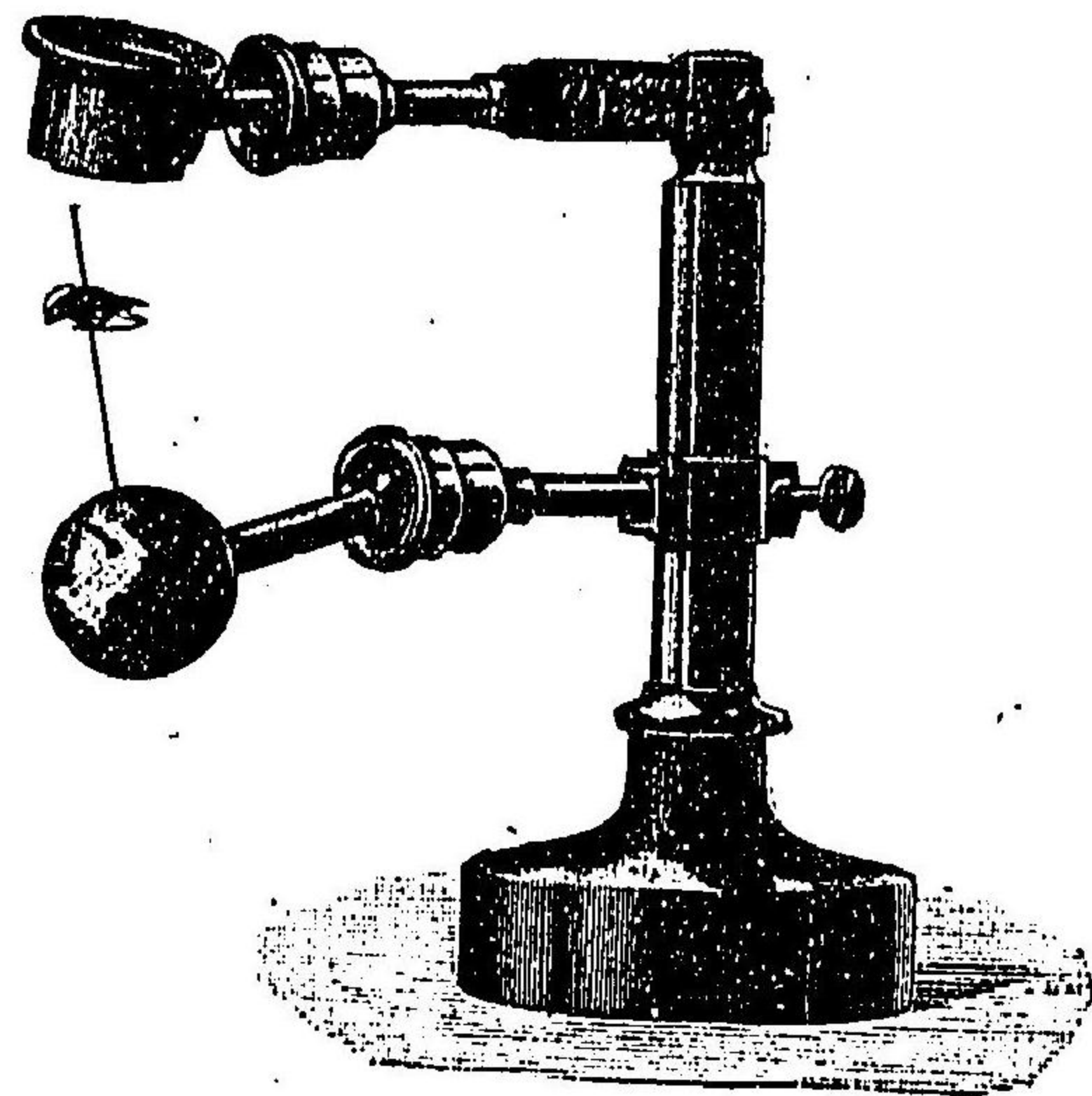
第八十四圖 解剖用顯微鏡



第四編 研究法

央ニアル太キ圓筒内ニ  
ハ二個ノぶりすむヲ用  
ヒアル爲メ視野甚ダ廣  
ク、度數ハ十八倍、四十倍  
及ビ八十倍ノ三種ナレ  
ドモ又百倍及ビ百五十  
倍ヲモ注文シ得ベシ、販  
賣所ハ獨逸伯林のい  
せん街らいつ商會ニシ  
テ定價ハ一式約七十圓  
ナリ、  
又第八十四圖ニ示セル  
モノハ普通解剖用ノ顯  
微鏡ナレドモ亦昆蟲研

第八十五圖 昆蟲用顯微鏡



第四編 研究法

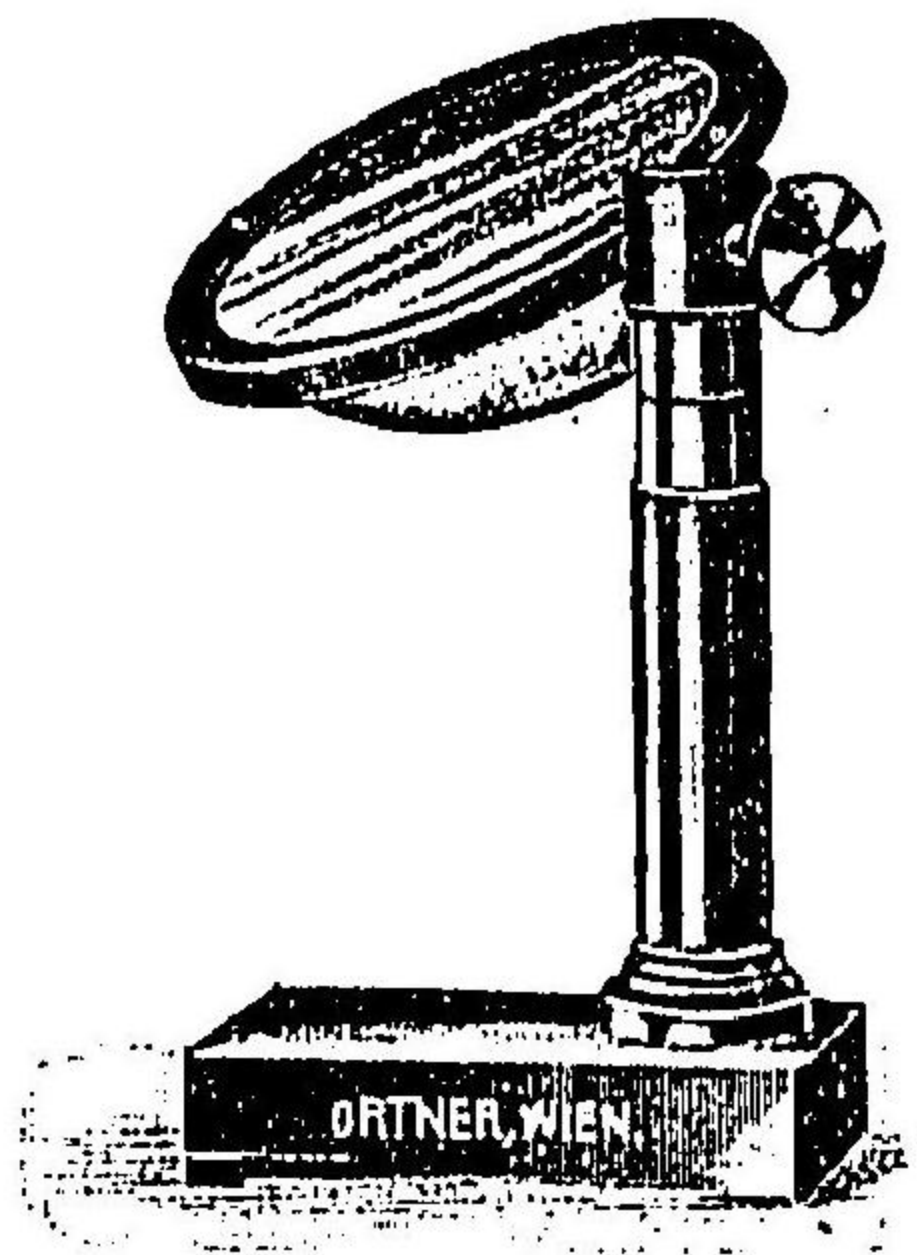
モ猶能ク小昆蟲ヲ研究シ得ベシ、最モ強度ノ廓大鏡ハ四十倍ナリ、尤モ此ハ眼ト實  
物トノ距離近キ爲メ不便ナルモ三十倍ノモノハ距離約一分五厘アリテ研究用ニ  
ハ充分ナリ、此ハ同ジクおるとな一商會ニ販賣ス、第八十六圖ニ示スガ如キモノハ

究用ニ大ニ頌用セラレアリ、此度數ハ  
八倍、十六倍及ビ二十倍ノ三種ナリ、あ  
つべ式かめらるしだヲ附シテ定價約  
五十圓ナリ、同ジク伯林らいつニ販賣  
ス、又第八十五圖ニ示セル昆蟲用ノ顯  
微鏡ハ埃國維納府おるとな一商會ニ  
販賣セルモノニシテ、全部共代價二十  
八圓位ナリ、

第二節 廓大鏡

近來強力ナル廓大鏡ノ發見セラレタ  
ル爲メ昆蟲學者ハ顯微鏡ヲ要セザル

第八十八圖 集光器



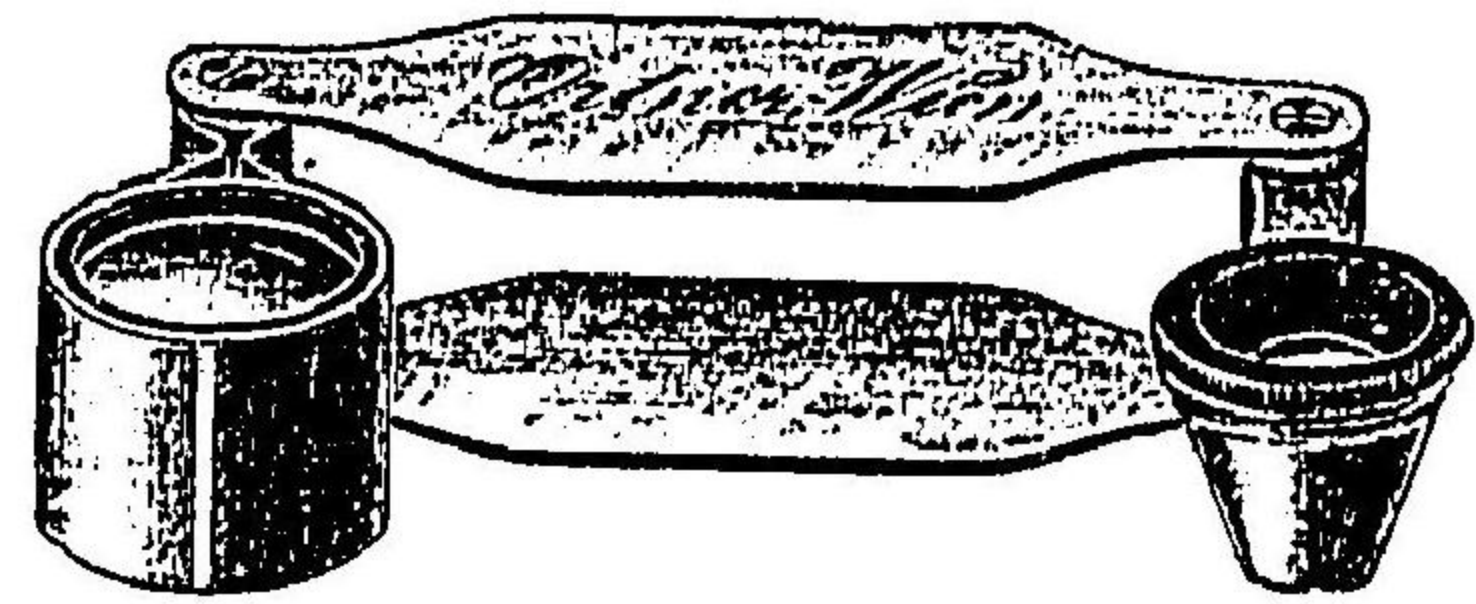
塵子ノ如キ生殖器ニヨリテ分類スルモノハ此助力ヲ得ルコト大ナリ、第八十六圖ニ示セル廓大鏡ハ又集光器ニモ利用シ得ベシ、

第三節 集光器

此ハ夜間昆蟲ヲ鏡下ニ視察スルニ用ユ、殊ニ凹陥セル局部ヲ見ルニ必要ナリ、晝間判然セザル部分モ此集光器ヲ用ユルトキハ夜ノ方却テ判然スルコトアリ、此ハ第八十八圖ノ如キモノニシテ最モ光線ノ強キハ百七八十度ノ凸鏡ナリ、螺旋ニヨリテ集點ヲ上下自在ナラシムルノ構造ヲ有ス、

晝間タリト雖ドモ之レヲ用ユルトキハ一層判然ス、尤モ直接光線ヲ當ツルトキハ燃燒スルノ患アルヲ以テ注意スベシ、又水入ノ玻璃球モ亦光線ヲ集メ局部ヲ判明ナラシムルニ使用ス、又光線ノ弱キ場合ニ二個ノ集光器ヲ用ヒ更ニ一層強度ノ光線ヲ得ルコトアリ、浮

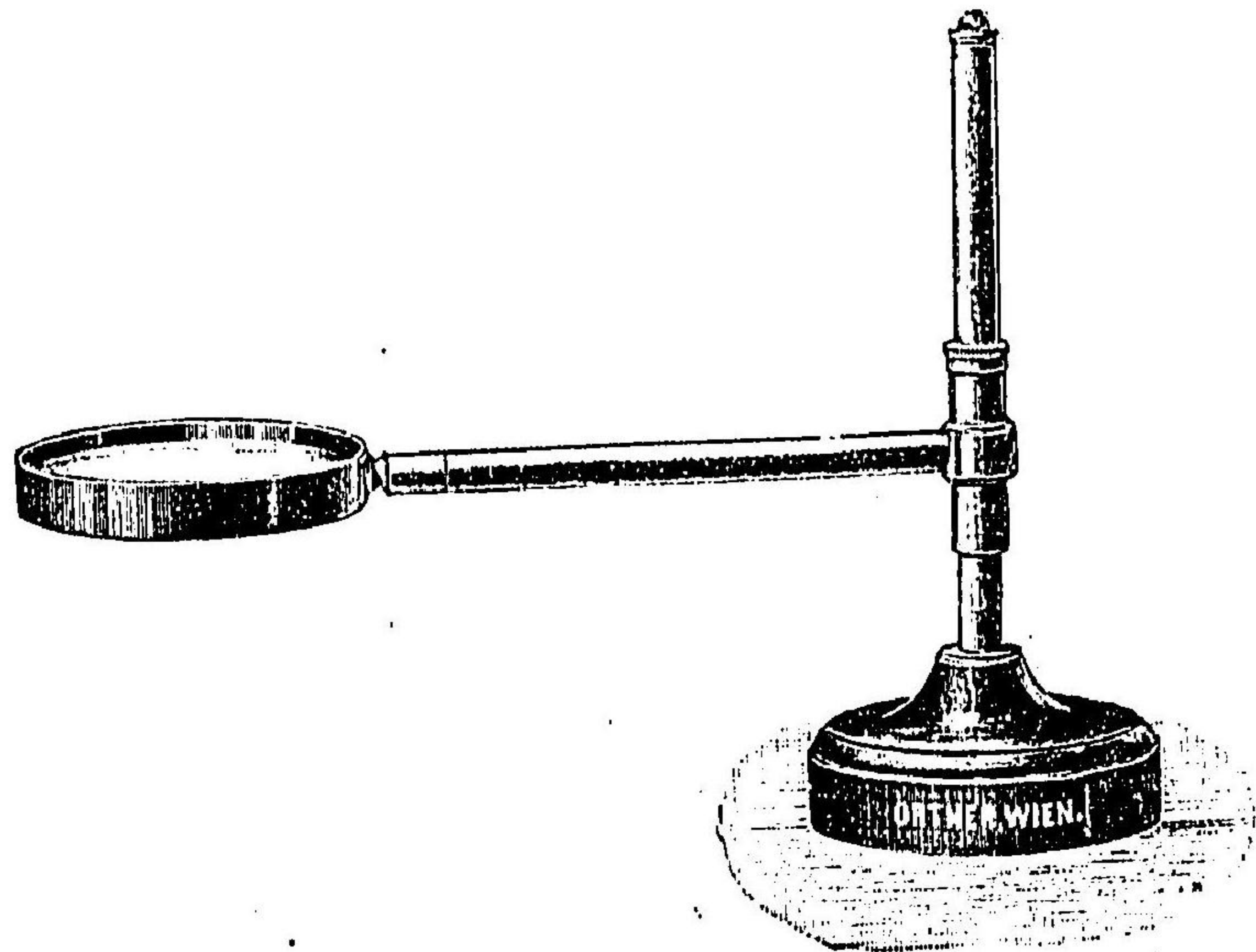
第六十八圖 強度廓大鏡



鏡ハ標本箱ノ上ヨリ用ユルニ適ス、又小蛾ヲ展翅シ同時ニ浮塵子ノ如キ小昆蟲ヲ微針ニ刺ストキニ用ユ、

定價約十五圓ニシテ小形ノ圓錐形ヲナセルモノハ三十倍大ナルモノハ十倍ナリ、余ハ顯微鏡ヨリモ多ク之レヲ使用ス、又第八十七圖ノ如キ弱度ノ廓大

第七十八圖 弱度廓大鏡



## 第二章 研究用藥劑

### 第一節 依的兒 (Ether)

此ハ小昆蟲ヲ鏡下ニ視察スルニ當リ種々ノ塵埃ノ爲メ充分ニ其局部ヲ見ル能ハザル事アリ、此場合ニハ依的兒ヲ筆ニ浸シ洗淨スベシ、此ハ甚ダ揮撥性ナルヲ以テ忽チ視察用ニ供シ得ベシ、微ノ菌糸ヲ以テ蔽ハレタル標本ハ長時依的兒ニ浸漬シ後筆ニテ之レヲ除却スベシ、花蜂ノ如キ長毛ヲ有スルモノヲ酒精ニ浸漬スルトキハ體毛ノ臥シテ其固有形ヲ失スルコトアリ、此場合ニハ依的兒ニ浸漬シ後其乾燥セルモノヲ筆ニテ解スベシ、かなだばるさむニテ貼附シタル標本ヲ貼紙ヨリ取り去ラント欲セバ依的兒ノ一滴ヲ此上ニ落スベシ、何レニセヨ此ハ昆蟲學研究用ニハ重要ノ藥劑ナリ、

### 第二節 さしろーる (Xylol)

此ハ蝶蛾ノ翅脈ヲ見ルニ最も適切ナルモノニシテ一種固有ノ香氣ヲ有ス、筆ヲ以テ探知セント欲スル局部ニ塗沫スルトキハ忽チ沾濕シテ翅脈判然スルニ至ル、其

揮撥シ去ラザル間ニ視察ス、充分視察シ能ハザル場合ニハ更ニ今一度塗ルベシ、此ハ揮撥シ去ルヲ以テ毫モ標本ヲ害スル事ナシ、尤モ屢々同處ニ塗沫スルトキハ其局部ヲ汚ス事アリ注意スベシ、此ハ又かなだばるさむヲ溶解スルニ用ユ、又依的兒同様ニ微ヲ除却スルニ供セラル、

### 第三節 かなだばるさむ

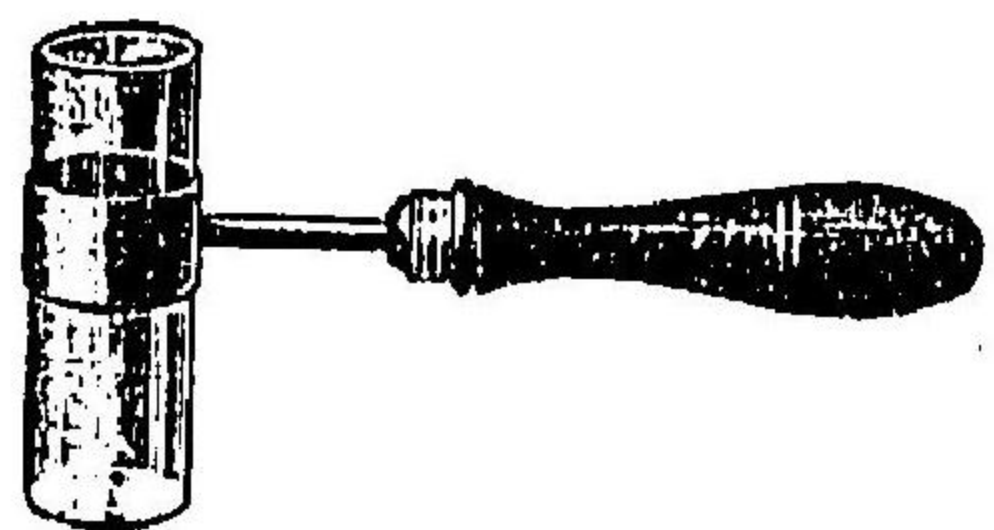
此ハふればらーとヲ造ルニ最も重要ナリ、普通坊間ニ販賣スルかなだばるさむハ水分ヲ含有スル多キヲ以テ文火ヲ以テ數日間熱シテ水氣ヲ去ルベシ、後之レニベんぞーる、くろくほるむ若クハきしろーるヲ混加スベシ、余ハ普通きしろーる、ばるさむヲ使用ス、尤モ透明ヲ要スル場合ニハてれびん油若クハ石炭酸(強度ノ酒精溶液)ニ浸漬シ後ばるさむニ移スベシ、

### 第四節 脱殼劑

此ハ介殼蟲ノ介殼ヲ除却スルニ用ユ、重ナルモノハ鹽化加里若クハ鹽化曹達ナリ、之レニ十倍ノ水ヲ加ヘ溶解スルヲ待テ濾下シ後其小量ニ介殼ヲ浸漬シ其溶解スル迄第八十九圖ノ硝子管ニ入レテ沸盪セシム、又くろむ、おすみ、く酸モ亦同様ノ

第四編 研究法

第八十九圖 沸盪用管子



効アリ、其分量ハ左ノ如シ

おすみ	一%	四	勺
くろしむ酸	一%	一	合
水		二升五合	

介殼溶解シ去レバ稀塩酸ニテ洗淨シ、後きしろゝる、ばるさむ若クハぐりすりんニテふればらゝゝを造るべし、

第五節 染脈劑

鱗翅類ノ翅脈ヲ染色スルハ研究上便利ナルヲ以テ從來行ハレ來リタリ、然レド染色セズモきしろゝるヲ以テ充分ニ視察シ得ベシ、尤モふればらゝゝトシテ製作スルニハ染色シタル方美觀ナリ、翅脈ヲ染色スルモノ種々アリト雖ドモ、普通使用セラルモノハふくしんナリ、其分量ハ左ノ如シ、

ふくしん	一	勺
酒精	三	合
水	三	合

二十四時此液ニ翅ヲ浸漬シ置ケバ脈ノミ紅色ヲ帶ブルニ至ル、

第六節 晒翅劑

鱗翅類ノ翅脈ヲ晒スニ種々ノ方法アリ、最モ簡便ナル方法ハ筆ヲ以テ鱗片ヲ剝離スルニアリ、然レド之レニテハ完全ナラズ、故ニ普通ハ哥性加里若クハ曹達ヲ用ユ、先ヅ供試セントスル翅ヲ臺硝子上ニ載セ之レニ該液ノ數滴翅ノ大サニヨリ異ナリ、其上半ニ滴下シ後覆硝子ヲ以テ蔽ヒ之レヲ酒精燈上ニ翳シテ沸湯セシム、然ラバ直チニ晒翅セラレルヲ見ルベシ、之レヲ清水ニ洗淨シ後ふればらゝゝニナスベシ、鹽化加里モ亦晒翅ニ用ラル、事普通ナリ、之レヲ十倍ノ水ニ溶解シテ濾下シ、後一二時間浸漬セバ完全ニ晒翅シ得ベシ、但シ此場合ニハ豫メ翅ヲ酒精ニ浸漬シテ脂肪分ヲ除却スベシ、又充分晒翅セラレザル場合ニハ豫メ稀塩酸ニ浸漬シ置クベシ、完全ニ晒翅セラレタル後ハ稀塩酸ニテ洗淨スベシ、是レ炭酸加里ノ沈澱ヲ洗フニ必要ナリ、之レヲふればらゝゝニナスニハ先ヅ酒精燈ニ翳シテ水分ヲ去リ後ぐりすりんヲ加フベシ、再ビ之レヲ酒精燈ニ翳ストキハ空氣ヲ追ヒ遣リテぐりすりんハ其地位ヲ占ムベシ、後瀝青若クハラックノ如キ封鎖劑ヲ以テ封スベシ、

〔附言〕此他研究用ニ供スル藥劑ハ數多アリト雖ドモ昆蟲學ニ用ユルモノハ先

第四編 研究法

第四編 研究法

ツ以上ノ數種ナリ、此他ノ藥劑ハ理學士、農學士藤田經信氏編著顯微鏡藥劑便覽ヲ見ルベシ、

第三章 研究法各論

第一節 彈尾目

此ニハ衣魚亞目ト彈尾亞目ト二種アリ、何レモ體ニ鱗片ヲ裝ヒ剝離シ易ク從テ其原形ヲ失スルコト多シ、注意スベシ、又此ハ乾燥セバ収縮スルヲ以テ常ニ酒精其他ノ浸漬劑ニ浸漬スベシ、研究スルニ當リ最モ重要ノ部分ハ觸角、觸鬚、眼、又狀器及ビ尾毛ニシテ之レニ次グモノハ體形色澤、脚、擬肢、細鱗及ビ細毛等ナリトス、

第二節 蟬蟬目

此モ亦乾燥セバ尾端ノ附屬物収縮シテ原形ヲ留メザレバ宜シク酒精ニ浸漬シ置クベシ、最モ重要ナル部分ハ尾毛ノ長短及ビ其數、翅脈ノ多小、翅ノ透明若クハ不透明、斑紋ノ有無、尾附屬物、脚等ニシテ之レニ次グモノハ色澤、觸角、及ビ體長等ナリトス、

第三節 蝸蛉目

此ノ重要ナル部分ハ翅形、翅脈(殊ニ前翅三角室ノ有無及ビ其形狀、複眼ノ頭頂ニ接セルヤ否ヤ)ニシテ、之レニ次グモノハ尾端ノ附屬物、色澤、斑紋、脚、腹部、肩板及ビ體長等ナリトス、翅脈ヲ見ルトキハ白紙ヲ翅間ニ挿入スベシ(橫刺標本ノ場合)、

第四節 積翅目

此モ亦尾附屬物ノ收縮スル患アルヲ以テ酒精ニ浸漬シ置クベシ、重要ナル部分ハ尾毛ノ有無、翅脈ノ多少、跗節ノ長短、後翅ノ廣狹、觸鬚ノ長短等ニシテ、之レニ次グモノハ尾附屬物、色澤、觸角、體長等ナリトス、

第五節 白蟻目

重要ノ部分ハ單眼ノ有無、翅(殊ニ前緣室ニ橫脈ヲ有スルヤ否ヤ)、爪間ニ吸盤ノ有無等ニシテ、色澤、觸角、口部、胸部、脚及ビ體長等ハ之レニ次グ、翅ハ至テ取レ易キヲ以テ取扱ニ注意スベシ、

第六節 嚙蟲目

重點ハ翅及ビ單眼ノ有無、跗節ノ數(二節ナリヤ又三節ナリヤ)、觸角、翅脈、線紋、脈毛ノ

第四編 研究法

第四編 研究法

有無等ニシテ、色澤、斑紋、翅ノ透明、不透明、胸部、脚、腹部及ビ體長等之レニ次グ、

第七節 食毛目

重點ハ觸鬚ノ有無、觸角ノ形狀、糸狀若クハ棍棒狀、其節數及ビ爪ノ有無等ニシテ、之レニ次グモノハ體ノ形狀、色澤、斑紋及ビ體長等ナリトス、

第八節 蠱翅目

重要ノ部分ハ觸角ノ節數、第二跗節ノ形狀(圓柱形若クハ心臟形)、翅鞘及ビ尾端ノ缺子(♀♂)等ニシテ、之レニ次グモノハ色澤、翅ノ有無、頭、胸、腹ノ形狀、尾節ノ突起及ビ體長等ナリトス、

第九節 直翅目

重要ノ部分ハ觸角ノ形狀、鞭狀若クハ糸形、體形(扁平、圓柱形)、跗節ノ數、產卵管ノ有無、脚ノ形狀、跳躍、歩行、捕獲ニ適セルヤ否ヤ等ニシテ、色澤、斑紋(此ハ變化シ易シ)、翅脈、尾、附屬物、體長等之レニ次グ、

第十節 總翅目 (胞脚目)

重點ハ尾節ノ形狀、產卵管ノ有無、翅脈ノ翅端ニ達セルヤ否ヤ、橫脈ノ有無、觸角節ノ

數、腹部ノ有毛若クハ無毛、翅ノ前後緣ニ於ケル總毛ノ形狀等ニシテ、體ノ形狀、單眼ノ有無、色澤等之レニ次グ、

第十一節 有吻目

第一重要ナル部分ハ翅ノ有無、前後翅ノ同、不同、口吻ノ附着如何、觸角ノ附着點、其節數、ハ腹部ニ發音器ヲ有スルヤ否ヤ、跗節ノ數、脚ノ跳躍ニ適スルヤ否ヤ、介殼及ビ白蠟ノ有無等ニシテ、體形、色澤、斑紋、翅ノ透明、不透明、生殖器、頭、胸、腹、脚、水棲ナルヤ陸棲ナルヤ及ビ體長等之レニ次グ、

第十二節 脈翅目

第一重要ナル部分ハ前後翅ノ同、不同、頭部ノ附着如何、下方ヲ向クヤ、前方ニ突出セルヤ、單眼ノ有無、觸角ノ形狀、翅脈、翅ノ透明、不透明、綠紋、前肢ノ形狀等ニシテ、之レニ次グモノハ色澤、斑紋、體毛、脚及ビ體長等ナリトス、

第十三節 蠍蟲目

重要部分ハ翅及ビ單眼ノ有無、翅脈、腹部ノ形狀、ハ尾端ニ缺子ヲ有スルヤ否ヤ、爪ハ有齒ナリヤ否ヤ等ニシテ、之レニ次グモノハ色澤、斑紋、翅脈、缺子ノ形狀及ビ體長

第四編 研究法

等ナリ、

第十四節 毛翅目

第一重要ナルモノハ小腮鬚節ノ數、脚刺ノ數、單眼ノ有無、小腮鬚ノ形狀、翅ノ形狀、翅毛ノ有無、翅脈、觸角ノ形狀等ニシテ、之レニ次グモノハ體形、色澤、斑紋及ビ體長等ナリトス、

第十五節 鱗翅目

重要ナル部分ハ觸角、觸鬚、翅脈、胞刺及ビ翅垂ノ有無、靜止ノトキノ翅ノ疊ミ方及ビ並間飛ブヤ否ヤニシテ、之レニ次グモノハ色澤、翅形、體長及ビ翅ノ開張等ナリトス

第十六節 双翅目

重要ナル部分ハ觸角ノ形狀及ビ其節數、端刺若クハ角片ノ有無、膜狀鱗ノ大小、翅ノ有無、形狀、翅脈、體毛ノ有無、口吻ノ形狀及ビ習性等ニシテ、之レニ次グモノハ色澤、斑紋、體形、頭及ビ脚等ナリトス、

第十七節 微翅目

重要ナルモノハ觸角、下唇鬚ノ長短、胸背ニ楯齒毛ヲ有スルヤ否ヤ等ニシテ、色澤、形

狀、脚、尾端及ビ習性等之レニ次グ、

第十八節 鞘翅目

重要ナル部分ハ脚(殊ニ跗節數)、觸角、觸鬚、口部、翅鞘等ニシテ、之レニ次グモノハ色澤、斑紋、點刻、形狀、體長等ナリトス、

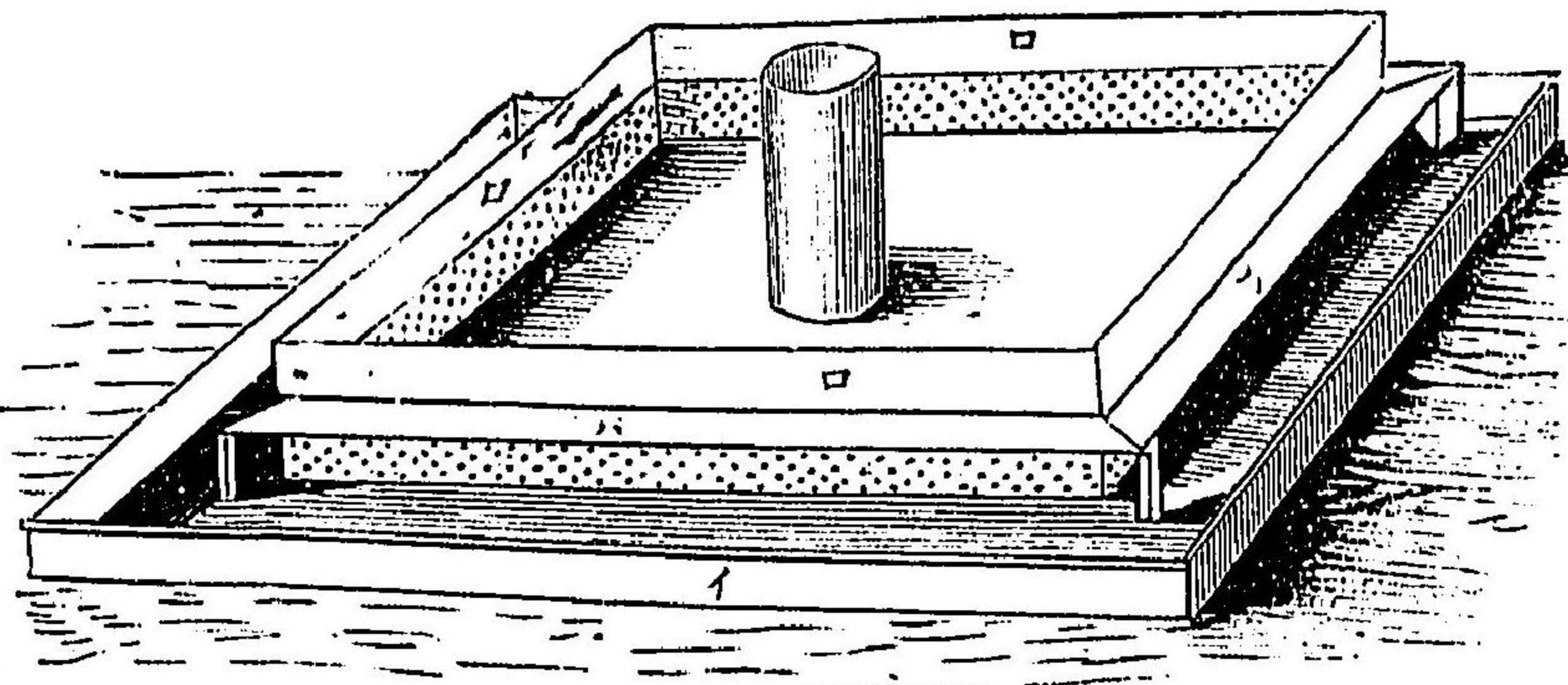
第十九節 膜翅目

重點ハ毒刺ノ有無、轉節ノ數、翅脈、翅ノ有無、脚、腹部ノ形狀及ビ其附着等ナリトス、之レニ次グモノハ色澤、斑紋、形狀、體毛、性狀、體長ナリトス、

圖一十九第

ス示ヲノモルアリナニ底重二ノ箱蟲養

第五編 昆蟲飼育法



板ニテ張り、内部ヲ透視シ得ルニ適ス、又此箱内ノ砂土ヲシテ乾燥セシメザル様常ニ水ヲ與ヘザルベカラズ、此ハ蛹ノ有様ニテ越年スル昆蟲ニ向テ殊ニ必要ナリ、然ルニ若シ上ヨリ水ヲ注グトキハ次第ニ砂土ノ凝固スルノ患アルヲ以テ近來ハ第九十一圖ニ示セルガ如キ二重ノ底ヲ用ヒ其硬化ヲ防止セリ、此ハ亞鉛板ニシテ(イ)ハ外箱、(ロ)ハ内箱、之レニ土ヲ盛ルナリ、其内箱側ニハ多數ノ小孔ヲ裝フ、(ハ)ハ養蟲箱ヲ支ヘルノ砧ナリ、外箱内ニ水ヲ注グトキハ水ハ内箱側ニアル小孔ヨリ徐々ニ入り來リテ内部ノ砂土ヲ濕シ得ルノ構造タラシム、此ハ管ニ養蟲箱ヲ開扉シテ後ニ注水スルノ不便ナキノミナラズ、土ノ硬化セザ

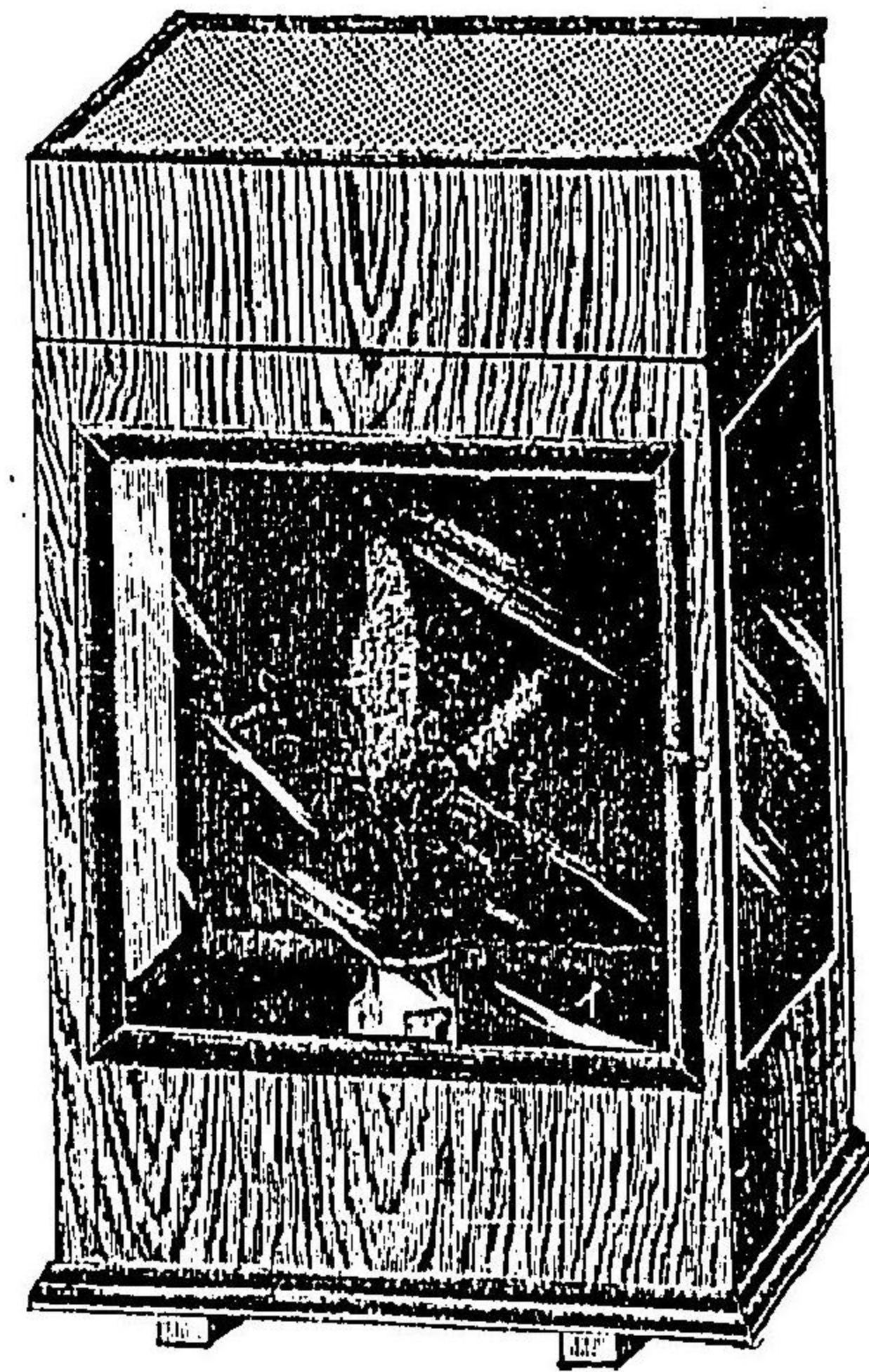
箱蟲養 圖十九第

第五編 昆蟲飼育法

第五編 昆蟲飼育法

第一章 室内飼育法

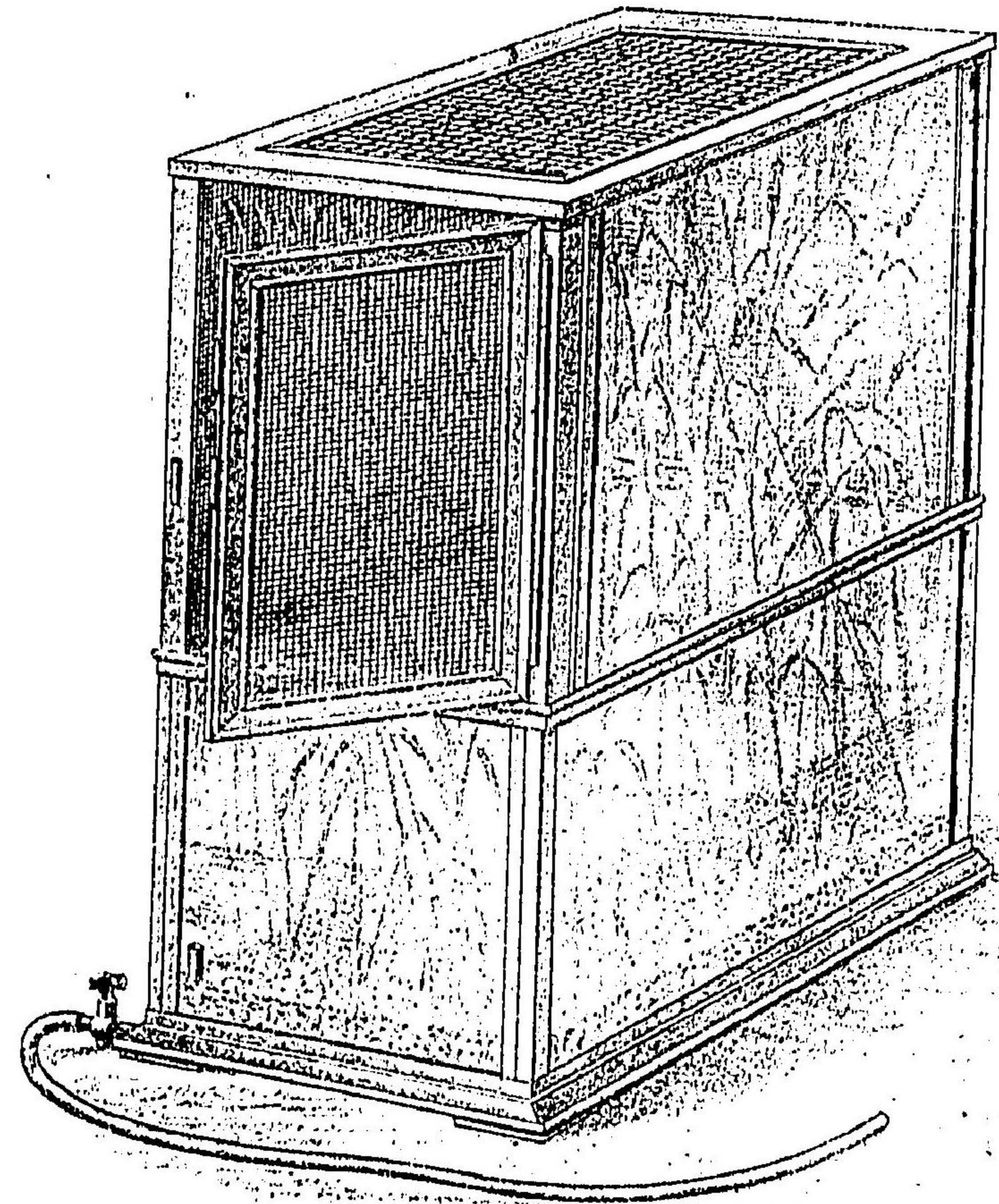
第一節 養蟲箱 (Vivarium)



養蟲箱ニ種類多シト雖ドモ第九十圖ノ如キハ最モ普通ナルモノナリ、此ハ全體木製ニシテ長サ一尺五寸、幅廣共ニ一尺、底ニハ(イ)ノ如ク深サ四五寸程アル亞鉛箱ヲ置キ其内ニ土ヲ入レ其中央ニ食草塚ヲ置クノ裝置ナリ、上部ハ金網ヲ用ヒテ空氣ノ流通ヲ便ニシ、三面ハ硝子



第九十二圖 水管附養蟲箱



ル爲ニ大効アリ、又第九十二圖ニ示セルモノハ水管ノ便アル養蟲室ニ用ユレバ一層便ナリ、此箱内ニテ五齡間ヲ飼育シ終リ其蛹化セントスルモノ若クハ蛹化シ終リタルモノハ第九十六圖ノ蛹化

第五編 昆蟲飼育法

第九十三圖 養蟲塚



第二節 養蟲塚

此ハ廣口(第九十三圖)ノ塚ナレバ如何ナルモノニテモ可ナリ、供試植物ヲ此塚中ニ挿シテ飼育スルニ用ユ、尤モ桑ノ如キ水ヲ昇ゲザル植物ノ如キハ直接植木鉢ニ移植スルヲ可トス、幼蟲ハ供試植物ヲ降りテ塚中ニ落ツル患アルヲ以テ塚口ニハ綿海綿若クハ紙ヲ蔽ヒ置

クベシ、四齡迄ハ此儘机上ニ置キテ食葉セシメ、五齡トナリタルトキ第九十圖ノ養蟲箱ニ移スヲ宜シトス、尤モ此場合ニハ徑五寸程アル畫學用紙ノ中央ヲ圓形ニ切り去リテ塚口ノ上ニ置キ之レニ植物ヲ挿スベシ、然ラバ昆蟲ノ陷落ヲ防グノミナ

第五編 昆蟲飼育法

第五編 昆蟲飼育法

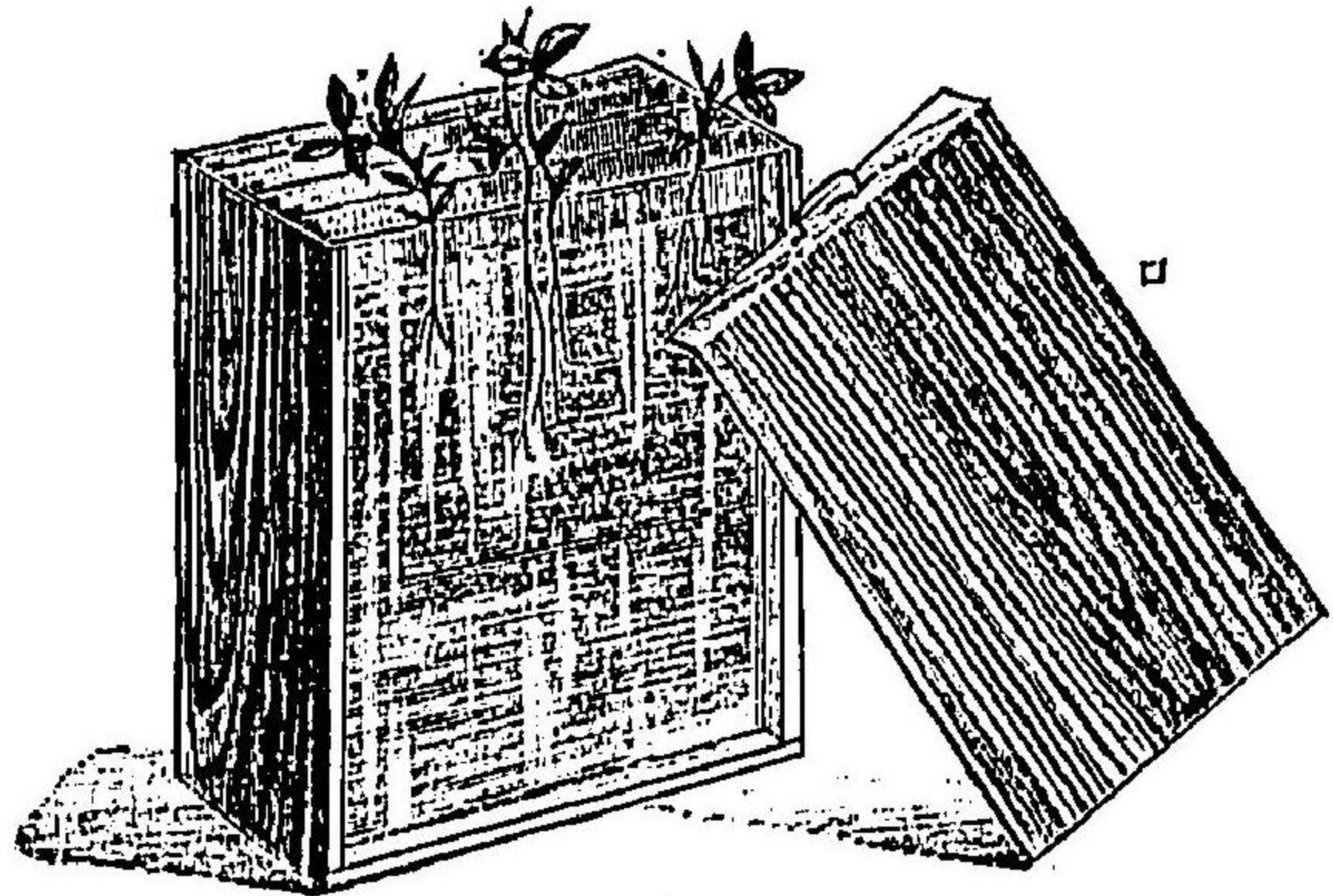
ラズ同時ニ其逃路ヲ索メテ下降スルモノハ紙片ニ逢フテ復タ上昇スベシ、  
第三節 養蟲用ほや

此ニハ特別製アレドモ普通ハ洋燈ノほやヲ用ユ、兩端ニハ寒冷紗ヲ張り之レヲ護  
護若クハ絲ニテ留メ置クベシ、此ハ既ニ蛹化セルモノニ最モ便ナリ、又蛹化セント  
スルモノナレバ食草ヲ其中ニ入レ置クベシ、乾燥ヲ防グ爲メ時々兩端ノ紗ヲ濕ス  
ベシ、又植木鉢ニアル小昆蟲ヲ飼育スルトキハほやヲ以テ之レヲ覆ヒ上口ニハ紗  
布ヲ縊リ置クベシ、然ラバ急速ノ蒸發ヲ防グノミナラズ、幼蟲ノ逃路ヲ塞ギ得ベシ、  
寄生蜂若クハ寄生蠅ノ習性若クハ宿主ヲ知ラント欲セバ色々ノ幼蟲ヲほやノ内  
ニ容レ同時ニ生ケル寄生蟲ヲ放ツベシ、此場合ニハ其内ニすべりひゆノ如キ雜草  
ノ二三片ヲ入レ置クベシ、然ラバ乾燥ヲ防ギ得ベシ、又小蟲ナレバ化學用ノ試験管  
ヲ利用シ得ベシ、

第四節 食根蟲ノ養蟲箱

此ハ第九十四圖ノ如キ木製若クハ亞鉛製ノ箱ニシテ前後ノ兩面ヲ硝子板トナシ  
其上ニ更ニ(ロ)ノ如キ亞鉛板ヲ箝ム、硝子板ノ間ハ狭クシテ此間ニ土ヲ入レ其内ニ

第九十四圖 食根蟲ノ養蟲箱



播種スルカ若クハ稚苗ヲ移植シテ試験用ニ供  
ス、此土ノアル處ハ狭キガ爲メニ根部ノ分支セ  
ルト幼蟲ノ來リテ加害スルノ狀況ヲ認メ得ベ  
シ、平時ハ亞鉛板(ロ)ヲ箝メ置キテ暗黒トナス、  
こむすどつく氏ハ此裝置ヲ野外ニ埋メ置キテ  
時々必要ノ場合ニ之レヲ舉ゲテ見ル方安全ナ  
リトセリ、

第五節 水棲昆蟲ノ養池 (Aquaria)

水棲ノ昆蟲ヲ飼育セント欲セバ特別ノ裝置ヲ  
要ス、此ハ大ナル硝子製ノ金魚鉢ニテ充分ナリ、  
尤モ第九十五圖ノ如ク此目的ヲ以テ製造セラ  
レタルモノアリ、底ニハ細砂ヲ布キ上ニハ水草  
ヲ入レ置クベシ、蜻蛉ノ如キ食肉性ノ幼蟲ヲ養ハント欲セバ絶ヘズ子子其他あか  
こノ如キ動物性ノ食物ヲ與ヘザルベカラズ、又松藻蟲其他水蟲ノ如キ成蟲ハ夜間

第五編 昆蟲飼育法

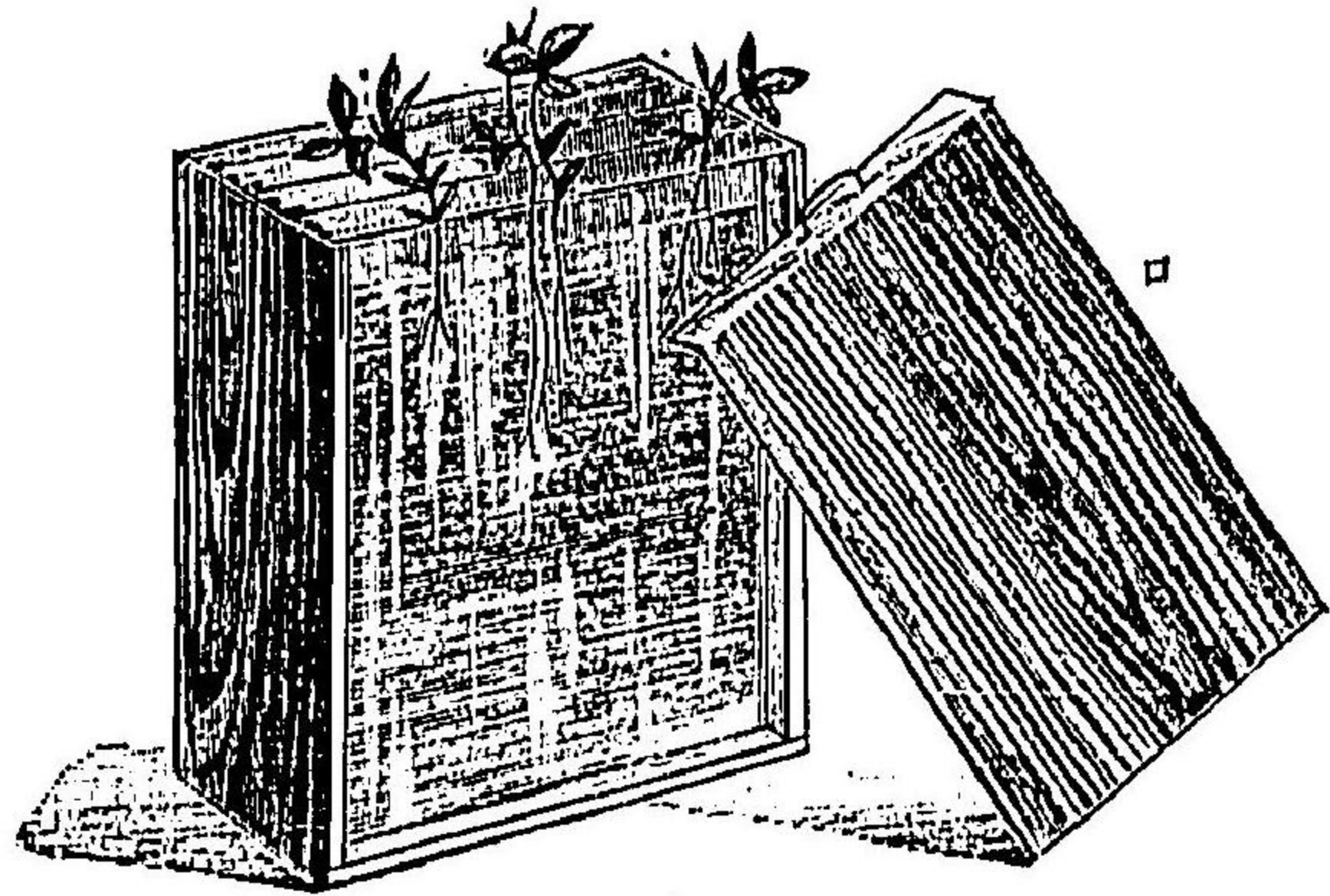
ラズ同時ニ其逃路ヲ索メテ下降スルモノハ紙片ニ逢フテ復々上昇スベシ、  
第三節 養蟲用はや

此ニハ特別製アレドモ普通ハ洋燈ノほやヲ用ユ、兩端ニハ寒冷紗ヲ張り之レヲ護  
謨若クハ絲ニテ留メ置クベシ、此ハ既ニ蛹化セルモノニ最モ便ナリ、又蛹化セント  
スルモノナレバ食草ヲ其中ニ入レ置クベシ、乾燥ヲ防グ爲メ時々兩端ノ紗ヲ濕ス  
ベシ、又植木鉢ニアル小昆蟲ヲ飼育スルトキハほやヲ以テ之レヲ覆ヒ上口ニハ紗  
布ヲ縊リ置クベシ、然ラバ急速ノ蒸發ヲ防グノミナラズ、幼蟲ノ逃路ヲ塞ギ得ベシ、  
寄生蜂若クハ寄生蠅ノ習性若クハ宿主ヲ知ラント欲セバ色々ノ幼蟲ヲほやノ内  
ニ容レ同時ニ生ケル寄生蟲ヲ放ツベシ、此場合ニハ其内ニすべりひゆノ如キ雜草  
ノ二三片ヲ入レ置クベシ、然ラバ乾燥ヲ防ギ得ベシ、又小蟲ナレバ化學用ノ試験管  
ヲ利用シ得ベシ、

第四節 食根蟲ノ養蟲箱

此ハ第九十四圖ノ如キ木製若クハ亞鉛製ノ箱ニシテ前後ノ兩面ヲ硝子板トナシ  
其上ニ更ニ(ロ)ノ如キ亞鉛板ヲ箝ム、硝子板ノ間ハ狭クシテ此間ニ土ヲ入レ其内ニ

第九十四圖 食根蟲ノ養箱

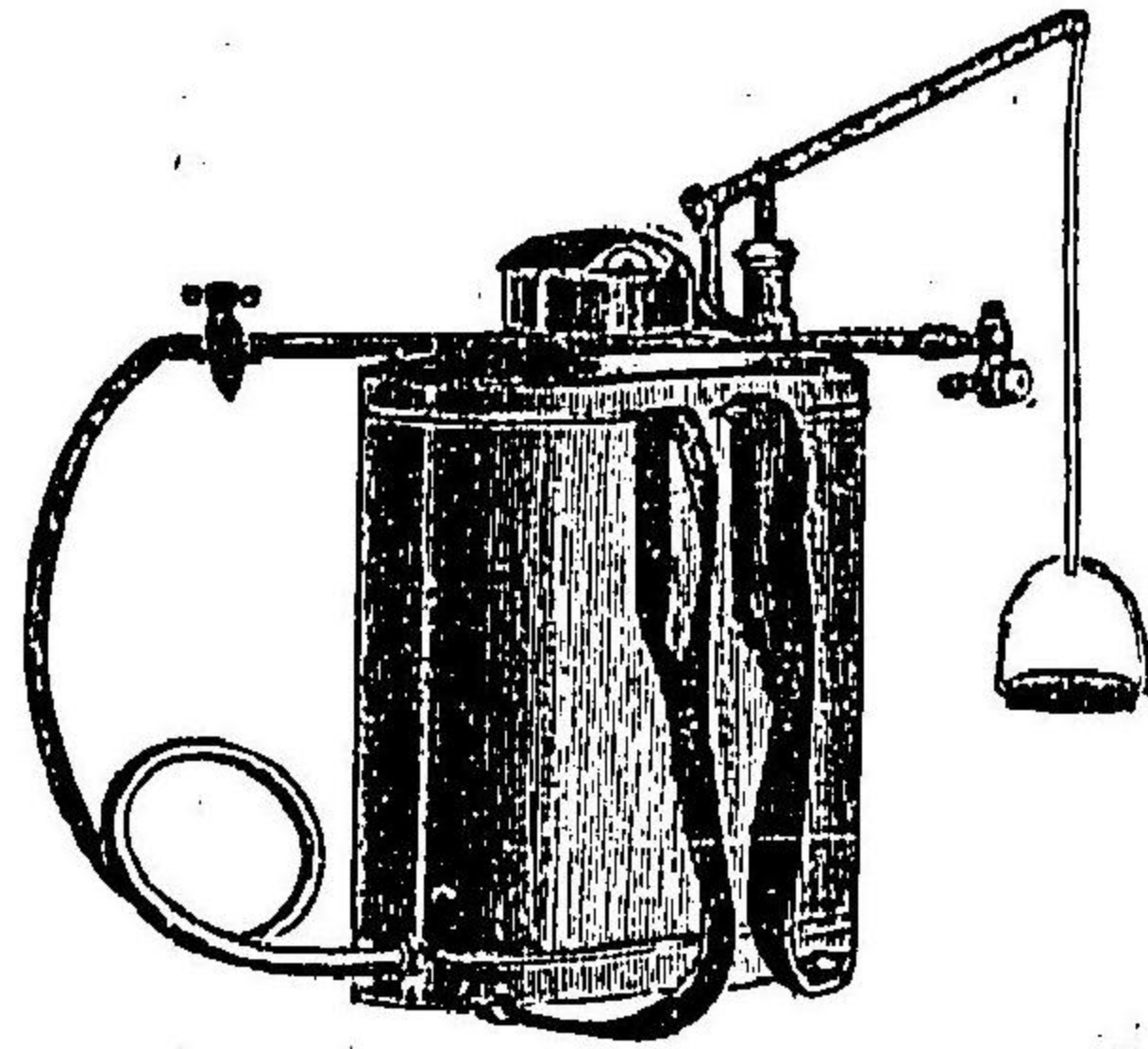


播種スルカ若クハ稚苗ヲ移植シテ試験用ニ供  
ス、此土ノアル處ハ狭キガ爲メニ根部ノ分支セ  
ルト幼蟲ノ來リテ加害スルノ狀況ヲ認メ得ベ  
シ、平時ハ亞鉛板ノ(ロ)ヲ箝メ置キテ暗黒トナス、  
こむすごつく氏ハ此裝置ヲ野外ニ埋メ置キテ  
時々必要ノ場合ニ之レヲ舉ゲテ見ル方安全ナ  
リトセリ、

第五節 水棲昆蟲ノ養池 (Aquaria)

水棲ノ昆蟲ヲ飼育セント欲セバ特別ノ裝置ヲ  
要ス、此ハ大ナル硝子製ノ金魚鉢ニテ充分ナリ、  
尤モ第九十五圖ノ如ク此目的ヲ以テ製造セラ  
レタルモノアリ、底ニハ細砂ヲ布キ上ニハ水草  
ヲ入レ置クベシ、蜻蛉ノ如キ食肉性ノ幼蟲ヲ養ハント欲セバ絶へズ子子其他あか  
こノ如キ動物性ノ食物ヲ與ヘザルベカラズ、又松藻蟲其他水蟲ノ如キ成蟲ハ夜間

圖七十九第  
(くっさぶんな) 唧水用帶携



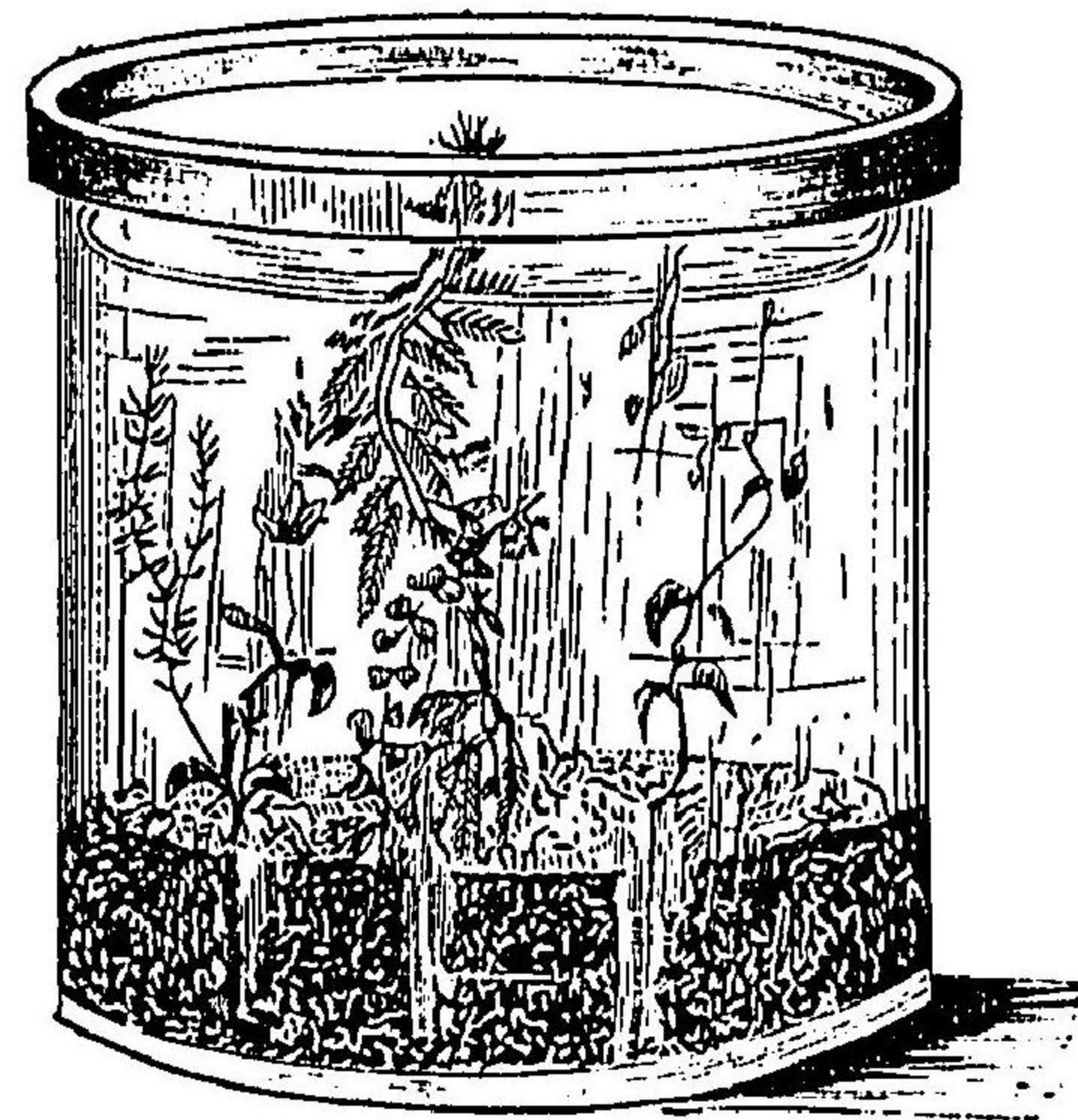
第五編 昆蟲飼育法

テ輕便ナルモノニシテ小箱ナガラ十數種ノ昆蟲ヲ飼育シ得ベシ此ニハ既ニ蛹化シタルモノ若クハ蛹化セントスルモノヲ移スナリ底ニハ細砂ヲ入レ置クヲ以テ其漏出ヲ防グ爲メ入口ニハ一片ノ横木ヲ置クベシ、

第七節 給水器

昆蟲飼育中最モ注意スベキハ濕氣ノ缺乏ニアリ故ニ時々給水スベシ給水スルニハなっぶさくノ如キ細霧ノ水唧ヲ用ユルヲ第一トス又細孔ノ如露ニテモ其目的ヲ達シ得ベシ試驗管若クハはやノ栓ナル綿片ヲ濕スニハびっべと若クハすばいとヲ用ユベシ植物ハ兎ニ角床板ヲモ時々濕スベシ但シ砂土ヲ濕ス場合ハ前述ノ如ク護謨管ヨリ内部ニ入ルノ構造タラシムベシ、

池養ノ蟲昆棲水 圖五十九第



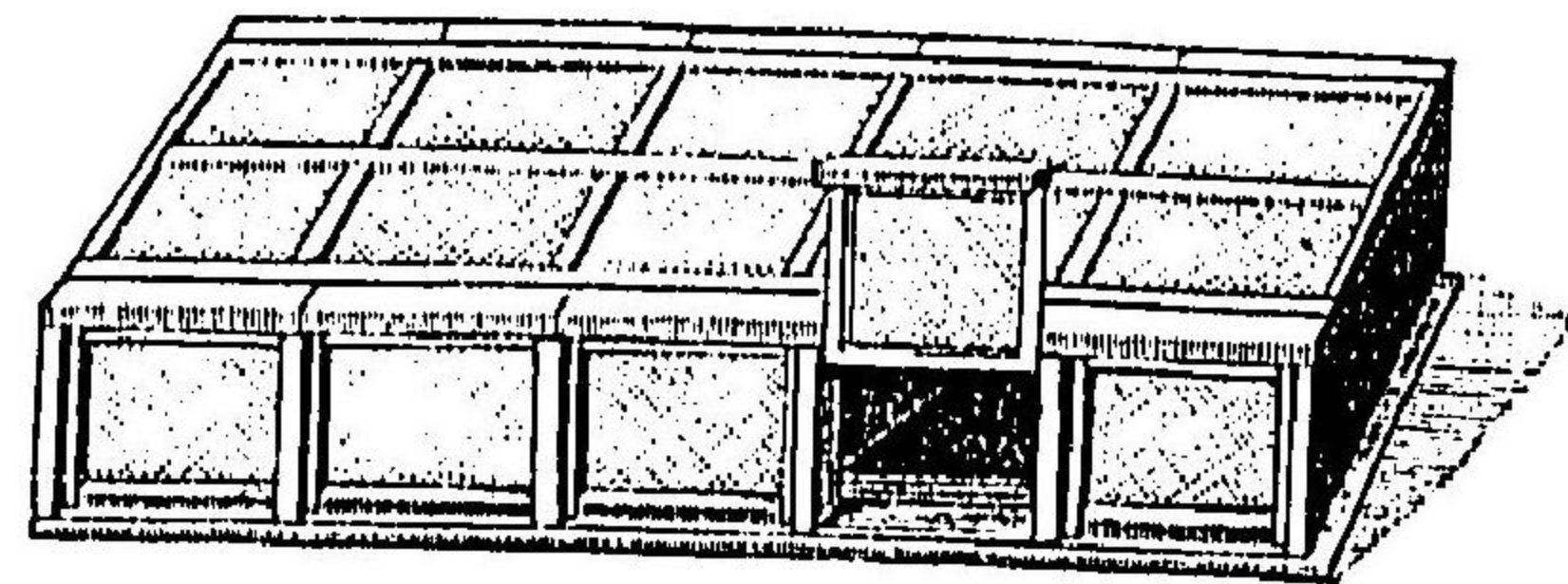
第五編 昆蟲飼育法

第六節 蛹化箱

此ハ第九十六圖ノ如ク木製ニシテ普通長サ一尺八寸高サ四寸幅八寸ナリ此ハ十室ヲ有シ五室宛ニ列ヲナス各室ノ隔壁ハ三面板ニシテ上面及ビ前面ハ細金網ナリ此ハ極メ

飛翔スルヲ以テ寒冷紗ニテ被ヒ置クベシ蚊ノ如キハ溜水ヲ用ヒ積翅蟲ノ如キハ流水ヲ要ス兎ニ角水中昆蟲ノ經過ハ長時ニ亘ルヲ以テ之レヲ知ラント欲セバ容易ナラズ、

箱化蛹 圖六十九第



### 第二章 野外飼育法

野外飼育ハ重ニ幼蟲ノ儘若クハ繭中ニ越年スル幼蟲ニ向テ殊ニ適切ナルモノナリ、室内ニテ到底飼育シ能ハザルモノ例令バ大豆ノ害蟲ナルまめのしんくひノ如キハ野外ニ飼育スルヲ以テ最モ安全トス、

#### 第一節 無底幼蟲箱

此ニハ種類多シト雖ドモ普通ハ高サ一尺五寸、幅七八寸位ノ本製ノ框ヲ造リ之ニニ濫引ノ寒冷紗若クハ蚊帳布ヲ張ルベシ、金網ハ鏽ヲ生ズルヲ以テ好マシカラズ、尤モ稻、麥其他高丈ヲ有スル一年草ニハ高サ二尺位、幅一尺位ノ無底箱ヲ造ルベシ、四面硝子トナシ上ノミ寒冷紗ヲ張ルモ可ナリ、此箱ヲ以テ自然ニ成長セル植物ヲ被ヒ、自然同様ニ試験スルニアリ、幼蟲若クハ繭中ニ越年スルモノハ其儘野外ニ放置スベシ、尤モ金針ヲ曲ゲ之レニ寒冷紗ヲ張ルモ可ナリ、尙樽ノ底ヲ去リ之レニ紗ヲ張り食草ヲ被ヒ飼育スルモ一法ナリ、

#### 第二節 紗袋

此ハ寒冷紗ノ袋ニシテ底ハ可成穹狀ニナスベシ、之レヲ以テ喬木ノ枝ニアル幼蟲ヲ被ヒ自然同様ニ飼育スルニアリ、此ハ給草、給水ノ煩累ナク、且ツ幼蟲ヲ見失ハザルノミナラズ、寄生蟲其他食肉蟲ノ侵害ヲ免レ得ベシ、此ハ又旅行中幼蟲ヲ飼育スルニ利用セラル、モノニシテ案外便利ナリ、即チ食草及ビ幼蟲ヲ紗袋ニ入レ置キ旅行先ニテ食草ヲ給與スルニアリ、

#### 第三節 輕便被蓋

此ハ野外ニアリテ大形ナル蝶蛾類ノ卵子ヲ得ルニ便利ナリ、野外ニ出ヅルトキハ寒冷紗ヲ携ヘ行キ臨機二本ノ柳枝若クハ竹ヲ採リテ穹狀ニ彎曲シ、兩端ヲ地中ニ刺シテ相互ニ交叉セシメ、其上ニ紗ヲ蔽ヒ、地邊ニ接スル布片ノ風ニ浮キ上ラザル爲メ木針ヲ以テ留メ置クベシ、其裝置終リタルトキハ蝶蛾ヲ之レニ放ツベシ、然ラバ其卵子ヲ得ルコトアリ、尤モ其場合ニハ食草ヲ入レ置カザルベカラズ、

### 第三章 飼育法ノ注意

#### 第一節 食物

食草ハ鉢植ニセバ便利ナリ、普通ハ塚ニ挿立ス、此場合ニハ時々新鮮ナルモノヲ換  
 與スベシ、稻其他ノ螟蟲ヲ飼育セント欲セバ鉢植ニナサルベカラズ、稀有ナル蝶  
 蛾ノ卵子ヲ得ント欲セバ先ヅ之レヲ養蟲箱ニ入レ其食草ヲ與フベシ、其産卵セザ  
 ルトキハ食物ヲ給與スベシ、此時ハ皿ニ糖液ヲ盛リテ箱中ニ入レ置クベシ、又海綿  
 ニ浸シテ與フルモ可ナリ、若シ又食液ヲ認メザル場合ニハ螺旋狀ニ回旋セル口吻  
 ヲ針端ニテ靜ニ解キ其味ヲ知ラシムベシ、少クモ二三匹ヲ入レ置キ此等互ニ相爭  
 鬪スルニ當リ葉上ニ靜止スルモノ、往々ニシテ産卵スルコトアリ、若シ又産卵セ  
 ズシテ死セル場合ニハ指ヲ以テ尾端ヲ壓シ卵子ヲ搾出セシムベシ、雨天ニハ食草  
 ヲ室内ニ乾燥シ而シテ後ニ給與スベシ、  
 澱粉、穀粒ヲ食スルモノハ之レヲ換與スルノ必要ナシ、然レドモ其口部ハ普通堅  
 牢ナルヲ以テ可成ほや若クハ塚ニ入レ綿ニテ緩ク栓ヲナスベシ、寒冷紗ヲ張リタ  
 ル箱ノ如キハ容易ニ噛ミ破ラルベシ、かまきりノ如キ食肉性昆蟲ヲ飼育セント欲  
 セバ絶ヘズ浮塵子若クハ蚊ノ如キ小昆蟲ヲ網ニテ捕ヘ與フベシ、水棲昆蟲ニハ其  
 性質ニ從ヒ水草若クハ小蟲ヲ給與スベシ、

第二節 湿度

昆蟲ノ飼育ニ於テ最モ注意ヲ要スルモノハ湿度ナリ、殊ニ冬季ハ乾燥ニ失シ易キ  
 ヲ以テ供試昆蟲ヲ殺スコト屢々ナリ、故ニ冬季ハ穴倉ヲ造リテ其内ニ藏シ置クベ  
 シ、尙其乾燥ヲ防グ爲メニ藜苔ヲ以テ之レヲ蔽フベシ、養蟲室ニハ檢濕器ヲ懸ケ置  
 キ常ニ七十五度空氣飽和水分ノ二分ノ一位ニナシ置クベシ、又餘リ濕氣ノ多キト  
 キハ鹽化加里ヲ以テ水ヲ吸收セシメルカ若クハ火鉢ニ火ヲ盛リテ水分ヲ蒸發セ  
 シムベシ、水ヲ與フルニハ前述ノ如露若クハ水唧ヲ用ヒテ床上ニ散布シ、同時ニ供  
 試植物ニモ注グベシ、

第三節 温度

昆蟲ノ飼育ハ温度ト甚ダシク關係ヲ有ス、寒冷ナレバ其成長遅ク、温暖ナレバ其成  
 長迅速ナリ、即チ温暖ナレバ食葉スルコト速ナルヲ以テ從テ給葉モ頻繁ナラザル  
 ベカラズ、温度ノ不順ハ其成長ヲ害スルヲ以テ室内ニハ寒暖計ヲ置キ一定ノ温度  
 ニテ飼育スベシ、又絶ヘズ温暖ナレバ卵子ノ孵化セザルコト并ニ蛹ノ羽化セザル  
 コトアリ、春蠶卵ハ一度冬季ヲ經過セザレバ孵化セズ、銀蜂若クハ没食子蜂ノ如キ

自然ノ寒氣ニ遇ハシメザレバ羽化スルコト稀ナリ、故ニ冬季ハ何レノ種類(但シ熱帶産昆蟲ヲ除キ)ヲ問ハズ穴庫ニ貯ヘ置キ春時ニ至リ養蟲室ニ取り出スベシ、

第四節 空 氣

養蟲室ノ温度高ケレバ其成長ヲ迅速ナラシムベシト雖ドモ之レガ爲メ其室内ヲ閉塞セザルヲ得ザル爲メ新鮮ナル空氣ノ缺乏ヲ生ズルコトアリ、又温暖ナレバナル程空氣中ノ酸素量ヲ減ズルヲ以テ衛生ニ好マシカラズ、故ニ温度ハ新鮮ナル空氣ノ得ラル、程度ニ高ムルヲ宜シトス、兎ニ角養蟲室ハ空氣ノ通流ヲ完全ナラシムベシ、濕温其宜シキヲ得バ健全ノ幼蟲ヲ養ヒ得ベシ、

第五節 飼育ノ注意

幼蟲ハ總シテ手ニ觸レザルヲ可トス、新鮮ナル枝ニ移サント欲スル場合ハ其靜止セル小枝トモ切リテ移スベシ、箱ニハ必ズ番號ヲ附シ其番號ノ日記ニハ卵、幼蟲、及ビ蛹ノ色澤、形狀、習性及ビ月日等ヲ記入スベシ、又蛹化箱ニ移ス場合ニハ可成紙片ニ其特性ヲ記シテ入レ置クベシ、然ラザレバ往々紛ヲ生ズルコトアリ、飼育室ハ可成南北ノ風ヲ透過スル様ナスベシ、幼蟲ハ常ニ北側ニ置キ直接日光ニ當テザル様

注意スベシ、

新式昆蟲標本全書終

明治四十一年七月末日印刷  
明治四十一年七月八日發行

Y40



著者 醫學博士 松村 松年

發行者 東京市京橋區區役所三丁目十五番地 福永文之助

印刷者 福岡市本田町五丁目八十七番地 村岡平吉

發行所 東京市京橋區區役所三丁目十五番地 警醒社書店

印刷所 福岡市山下町八十一番地 福音印刷合資會社

凡購原本全書與此  
定價 肆圓廿五錢

年

電話新橋一五八七  
振替貯金口座番



東北農科大學教授  
理學博士 松村松年先生著

# 日本千蟲圖解

全四卷

第一、二、三、四卷  
定價 各金五圓宛  
小包料金十五錢宛

圖譜なきの説明により本邦に産する三萬餘の昆蟲を識別せんと欲す、事容易にあらず著者爰に感あり故に海外留學中にも常に之れが材料を蒐集し今や五年の星霜を経て漸く完成せり

## 第一卷

には十七枚の圖版を以て彈尾目十二種、蠅翅目五種、直翅目五十九種、蜻蛉目二十五種、脈翅目十五種、積翅目三種、白蟻目一種、蜂蟬目五種、嚙蟲目六種、毛翅目十三種、有吻目五十四種合計百九十七種を説明せり

## 第二卷

には十八枚の圖版を以て有吻目百二種、双翅目八十六種、鞘翅目六十四種、合計二百五十二種を説明せり

## 第三卷

には二十枚の圖版を以て鞘翅目二百八十八種を説明せり

## 第四卷

には二十四枚の圖版を以て鞘翅目百六種、鱗翅目百五十九種合計二百六十四種を説明せり

以上記載せる千種の昆蟲は盡く學名を附し其學名は著者が歐洲に在學中各専門家に就き質せし正確なるものを選び總論には從來本邦に知られたる昆蟲科二百三十五の特性を擧げ之れを最近の分類法によりて説明せり又圖譜は堪能なる藪工村松竹夫氏の健筆に成り著者監督の下に四年の星霜を経て上梓したり著者松村博士は斯學の爲めに獨國に三年間の留學を命せられ歸朝後先づ此著に従事せられたり氏は今や此學の泰斗として其著書ヲソリチナーたる世既に定論あり

# 最近昆蟲學

東北農科大學  
教授理學博士 松村松年先生著

此は著者が最近の昆蟲學界より最も正確なる事實を選び編纂したるものにして昆蟲の記載に必要な局部及び學語は盡く之れを説明し終に本邦産の昆蟲を最近の分類法によりて説明し之れを補ふに鮮明なる圖譜數百を挿入せり初學者は之れを讀で其幾分を知り得べく高等教育を受けたる者は之によりて學說の變遷新事實の富饒なるを知り得べし。

定價 上製 金二圓  
並製 金一圓五十錢  
小包料 各 金八錢

本邦未だ一部の昆蟲目錄なきは著者の甚だ遺憾とせし處なり故に著者の海外に遊ぶや常に之が材料を蒐集し其學名を有する者已に約壹萬に達せり第一卷は二千餘の蝶蛾を最近の分類法により記載したる者にして之れ

東北農科大學教授理學博士 松村松年先生著

## 日本昆蟲總目錄

第一卷 鱗翅目之部 (蝶蛾)

定價 金 貳圓  
小包料 金 八錢

東京銀座尾張町 警 醒 社 書 店

電話新橋一五八七  
桐蔭貯金五五三番

に和名、しのにむ、分布(北海道、四國、九州、琉球及び臺灣)記者の畧字解、學名及び和名の索引并に參考書を添記せるを以て初學者と雖も容易に其如何なる種類なるやを知り得べし。

東北農科大學 教授理學博士 松村松年先生著

# 昆蟲分類學

上卷

定價 五圓  
小包料 十二錢

昆蟲學の基礎は分類學にあり著者松村に日本昆蟲學を著し其當時の昆蟲分類學の紹介より今や星移り學進み大に其趣きを異にせり乃ち茲に改題して日本昆蟲分類學と云ふ頁數三百四十(多く六號活字を用ゆ)圖畫約四百を挿入して説明を便にせり之れ日本昆蟲學の基礎にして近年の大著述なり

東京 警興社 發行

東北農科大學 教授理學博士 松村松年先生序 高野應藏君編著

# 蝶類名稱類纂

コロタイプ版入  
定價 一圓二十錢  
小包 十錢

昆蟲和名一定の議論道せらるゝや久し著者は和名統一の抱負を有するものなり先づ著者の數年來研究し來れる蝶類に向て其第一歩を進めたり著者は又本書を以て本邦動物學索引の一部たらしめんとす

新編 昭和六年六月 川田昌隆 著

東北農科大學校長 農學博士 佐藤昌介序  
同 教授 農學士 高岡熊雄 校閱  
東北大學カメラ會著

# 二宮尊徳翁研究

定價 四十錢  
郵稅 六錢

留岡幸助著

# 二宮尊徳と其風化

定價 四十錢  
郵稅 六錢

留岡幸助著

# 農業者と二宮尊徳

定價 五十二錢  
郵稅 十二錢

留岡幸助著

# 二宮尊徳と劍持廣吉

定價 四十五錢  
郵稅 六錢

留岡幸助著

# 二宮翁と諸家

定價 三十五錢  
郵稅 四錢

留岡幸助著  
二宮尊徳翁逸話  
近刊

内村鑑三著

よろづ短言

定價五十錢  
郵税六錢

日露戦争前三年間著者が萬朝報に投せし短文の中より其粹を抜き之を一書行せし書なり、文學、宗教、天然、社交、非戦に涉り精讀、價值ある再讀するのべし

松村介石著

不朽の道

定價五十五錢  
郵税六錢

今や基督教は革命時期に際す而して破壊建  
宇内を通して、革命時期に入り來り此時に不朽の道  
設時代に入り來り此時に不朽の道  
宗教の眞髓を道破せるものなり

大宮季貞君編

沙良寛和歌集

寫真版入  
定價四十錢  
郵税四錢

于茲凡そ百有餘年の間、天下の耳目より隠れ、社  
會の歴史外に看過されたる高僧、歌聖、書仙こそ  
顯はれたれ、抑も其高僧、歌聖、書仙とは何者ぞ、  
徳川の末世、北越の片田舎、岡上山の中腹に、五  
合庵と稱ふる庵を結び、悠々自適七十有四年の歳  
月を歴たりし一介の乞食僧良寛上人その人なりま  
た近代の名僧たりし原坦山禪師は曰く、「我朝佛學  
の纏奥を究し者空海以下唯此人あるのみ」と、以て  
知るべきのみ、故に編者は多年の苦辛と崇敬の念  
を以て、先づ今回は良寛上人の和歌集を世に公  
けにせり、この高僧、歌聖、書仙たる彼の崇高な  
る人格と、彼に因て顯はされたる自然及び人生と  
を味はんと欲する者は、よろしくこの歌集を讀め、  
必ず嘆美の弊を絶つ能はざるものあるべし、

内村鑑三著

### よろづ短言

定價 五十錢  
郵税 六錢

日露戦争前三年間著者が萬朝報に投せし短文の中より其粹を抜き之を一書行せし書な**文學、宗教、天然**等の諸問題に涉り精讀、**價值**ある再讀するのべし

松村介石著

### 不朽の道

定價 五十五錢  
郵税 六錢

今や基督教は**革命時期**に際す而して破壊建**設時代**に入り來れり此時に**不朽の道**を以**宗教の真髓**を道破せるものなり

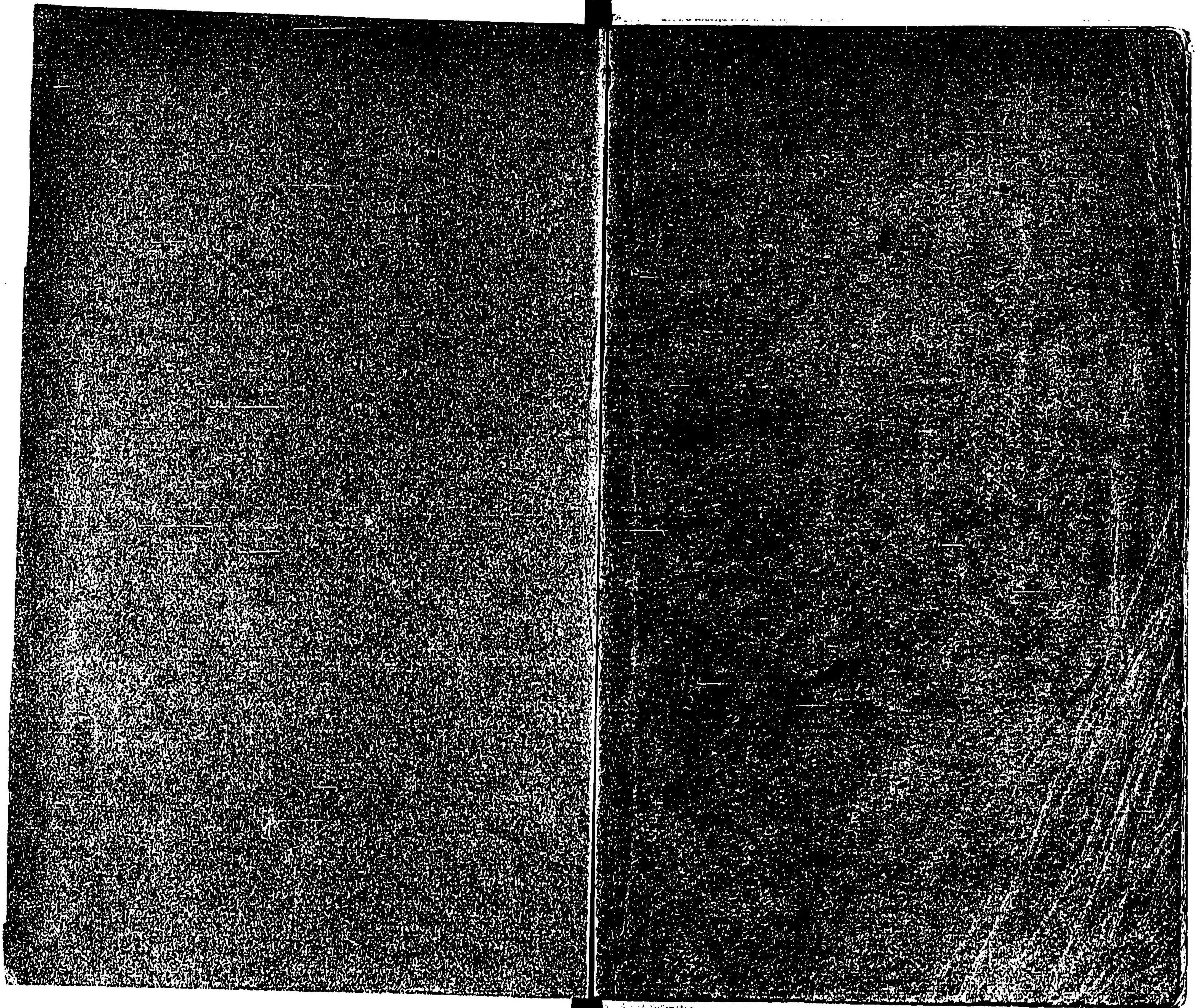
大宮季貞君編

### 沙良寛和歌集

寫真版入  
定價 四十錢  
郵税 四錢

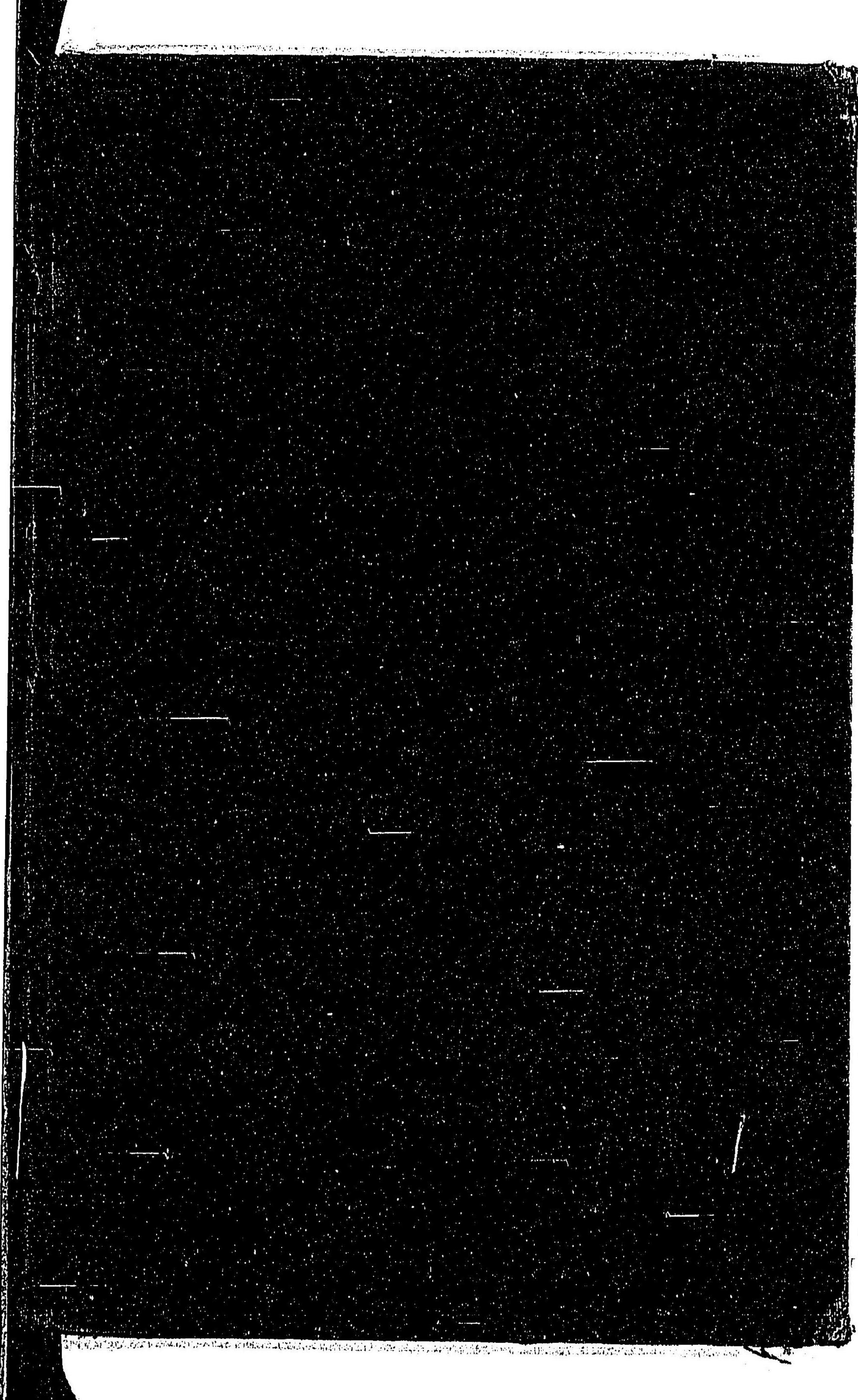
于茲凡そ百有餘年の間、天下の耳目より隠れ、社會の歴史外に看過されたる高僧、歌聖、書仙こそ顯はれたれ、抑も其高僧、歌聖、書仙とは何者ぞ、徳川の末世、北越の片田舎、岡上山の中腹に、五合庵と稱ふる庵を結び、悠々自適七十有四年の歲月を歴たりし一介の乞食僧良寛上人その人なりまた近代の名僧たりし原坦山禪師は曰く、「我朝佛學の蘊奥を究し者空海以下唯此人あるのみ」と、以て知るべきのみ、故に編者は多年の苦辛と崇敬の念とを以て、先づ今回は良寛上人の和歌集を世に公けにせり、この高僧、歌聖、書仙たる彼の崇高なる人格と、彼に因て顯はされたる自然及び人生とを味はんと欲する者は、よろしくこの歌集を讀め、必ず嘆美の聲を絶つ能はざるものあるべし、

63  
155



63

153





63  
155

057493-000-4

63-155

新式昆蟲標本全書

松村 松年 / 著

M41

CAR-0069

